

奈良市
子育てに関するニーズ調査
調査結果報告書

平成 31 年 3 月

奈良市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査方法.....	1
4	調査期間.....	1
5	回収状況.....	1
6	報告書の留意点・見方.....	1
II	調査結果のまとめ	3
1	調査対象について.....	3
	(1) 子どもと家庭の状況について.....	3
	(2) 保護者の就労状況について.....	5
2	平日の定期的な教育・保育事業について.....	6
	(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	6
	(2) 平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望.....	7
	(3) 幼児教育の無償化が実施された場合について.....	9
3	育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について.....	11
4	放課後の過ごし方について.....	13
5	子育てに関する悩み事や環境への満足度について.....	14
	(1) 子育てに関して日常悩んでいること.....	14
	(2) 子育てにおける環境や支援への満足度.....	15
6	子育てしやすいまちについて.....	16
7	子どもにやさしいまちについて.....	17

Ⅲ 調査結果	19
1 就学前児童（0～2歳、3～5歳）.....	19
1-1. お住まいの地域について.....	19
1-2. 子どもと家族の状況について.....	20
1-3. 保護者の就労状況について.....	25
1-4. 平日の定期的な教育・保育事業について.....	35
1-5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	55
1-6. 病気の際の対応について.....	61
1-7. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	70
1-8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	86
1-9. 小学校入学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ）.....	95
1-10. 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について.....	102
1-11. 子育てに関する困りごとなどについて.....	112
1-12. 子どもにやさしいまちについて.....	120
2 小学生.....	125
2-1. お住まいの地域について.....	125
2-2. 子どもと家族の状況について.....	126
2-3. 保護者の就労状況について.....	129
2-4. 子どもの放課後の過ごし方について.....	136
2-5. バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用について.....	146
2-6. 子どもの居場所について.....	149
2-7. 病気の際の対応について.....	150
2-8. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	155
2-9. 一時預かり等の利用状況について.....	158
2-10. 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について.....	164
2-11. 子育てに関する困りごとなどについて.....	169
2-12. 子どもにやさしいまちについて.....	175
3 母子健康手帳交付者.....	177
3-1. お住まいの地域について.....	177
3-2. ご家族の状況について.....	178
3-3. 就労状況について.....	182
3-4. 平日の施設・事業の利用について.....	187
3-5. 土曜・休日の施設や事業の利用希望について.....	190
3-6. 地域の子育て支援事業の利用希望について.....	191
3-7. 育児休業など、職場の支援制度について.....	196
3-8. 子どもにやさしいまちについて.....	199
4 地区別集計結果.....	200
Ⅳ 自由意見のまとめ	215

I 調査の概要

1 調査目的

平成 24 年 8 月に成立した「子ども・子育て支援法」に基づく奈良市の第二期子ども・子育て支援事業計画の策定に当たり、ニーズ調査の実施、集計及び分析を行うことで、事業計画における「確保方策」検討の基礎資料となるデータを整備することを目的とする。

2 調査対象

- ① 調査地域：奈良市全域
- ② 調査対象：奈良市在住の就学前 0～2 歳児、3 歳～5 歳児の保護者各 1,000 人
奈良市内の小学生（2 年生・5 年生）の保護者 2,029 人
母子健康手帳交付者 223 人
- ③ 標本数：4,252 人

3 調査方法

- ① 就学前児童（0～2 歳、3～5 歳） … 郵送配布・回収
- ② 小学生 … 学校配布・郵送回収
- ③ 母子健康手帳交付者 … 市役所の窓口配布・郵送回収

4 調査期間

- ① 就学前児童（0～2 歳、3～5 歳）、小学生 … 平成 30 年 12 月 1 日～12 月 17 日
- ② 母子健康手帳交付者 … 平成 30 年 12 月 1 日～12 月 28 日

5 回収状況

アンケート調査	配布数	回答数	有効回答率
0～2歳	1,000通	516通	51.6%
3～5歳	1,000通	508通	50.8%
小学生	2,029通	1,185通	58.4%
計	4,029通	2,209通	54.8%

	配布数	回答数	有効回答率
母子健康手帳交付者	223通	56通	25.1%

6 報告書の留意点・見方

- ・回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が総数と一致しない場合があります。
- ・複数回答を可能とした設問では、回答比率の合計が 100％を超える場合があります。本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を可能とした設問になります。
- ・MA％（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
- ・3LA％（3 Limited Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものを 3 つまで選択する場合
- ・☒では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合があります。

Ⅱ 調査結果のまとめ

Ⅱ 調査結果のまとめ

1 調査対象について

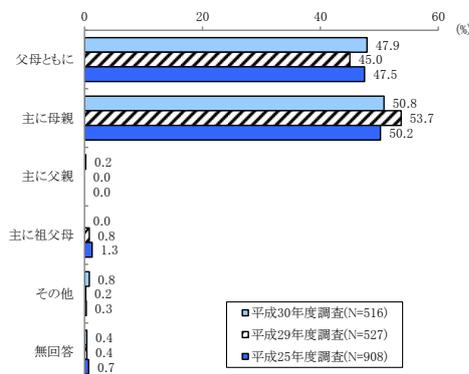
(1) 子どもと家族の状況について

子育てについて、主に行っているのは「母親」の割合が約50%にのぼり、「父母ともに」の割合をやや上回っており0～2歳、3～5歳、小学生での大きな差はありません。小学生については「父母ともに」の割合が未就学児よりも低く、「主に母親」の割合より5%以上低くなっています。

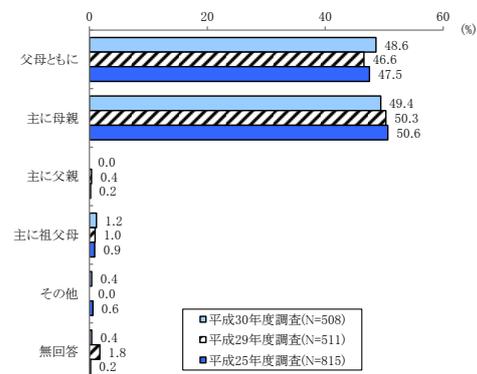
また、日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいるかについて、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が、0～2歳では66.5%、3～5歳では63.4%、小学生では59.7%と最も高くなっています。また、「いずれもない」の割合は1割程度となっています。

- ・あて名のお子さんの子育てについて（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。（1つに○）

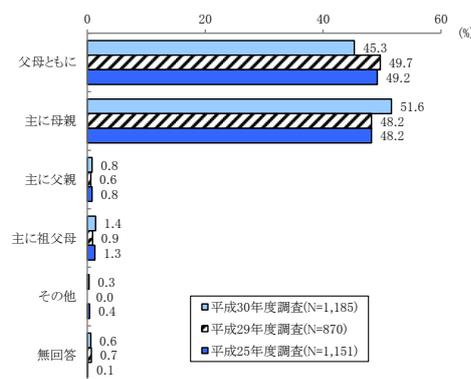
【0～2歳】 : 問4



【3～5歳】 : 問4

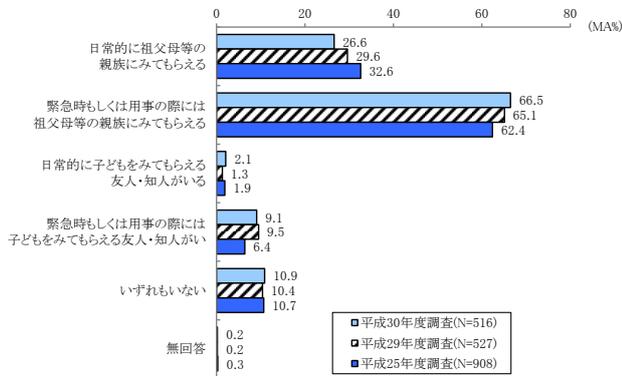


【小学生】 : 問4

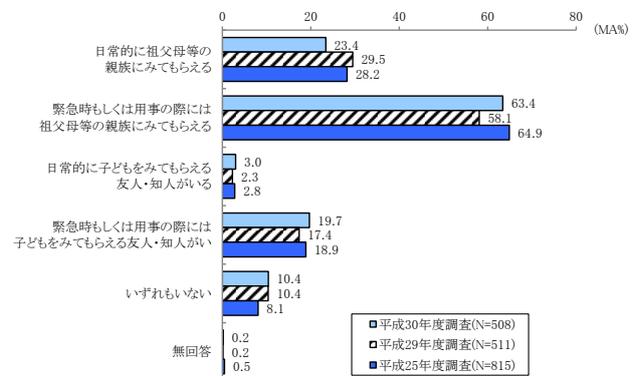


・日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

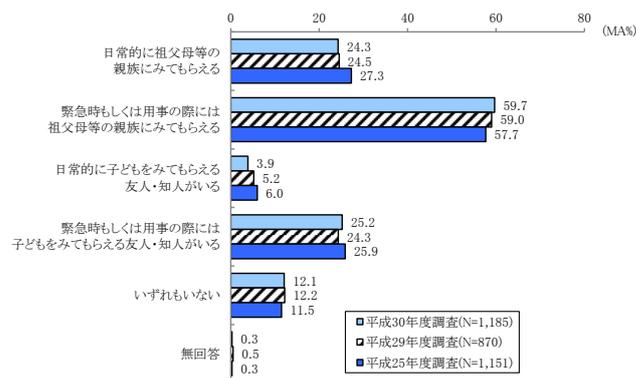
【0～2歳】：問5



【3～5歳】：問5



【小学生】：問5



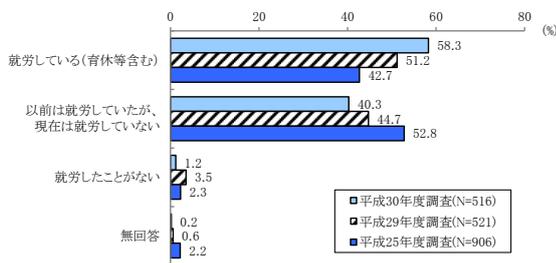
(2) 保護者の就労状況について

・母親の就労状況

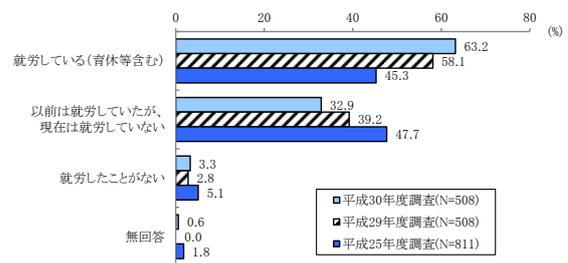
母親の就労状況について、「就労している」の割合が0～2歳では58.3%、3～5歳では、63.2%、小学生では、70.3%、母子健康手帳交付者では57.1%と最も高くなっています。経年で見ると、0～2歳、3～5歳、小学生ともに「就労している」が5ポイント以上高くなっており、「以前は就労していたが、現在は就労していない」を大きく上回っています。

・あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお答えください。

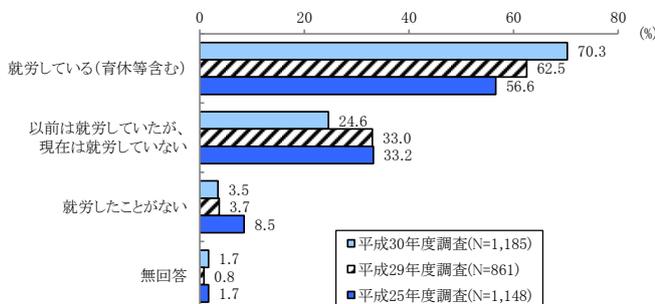
【0～2歳】 : 問6



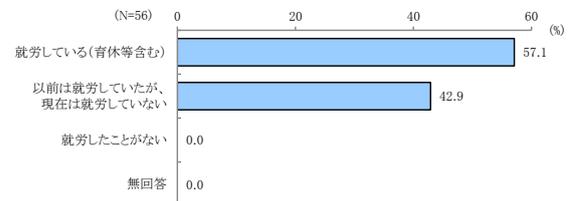
【3～5歳】 : 問6



【小学生】 : 問6



【母子健康手帳交付者】 : 問8



2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

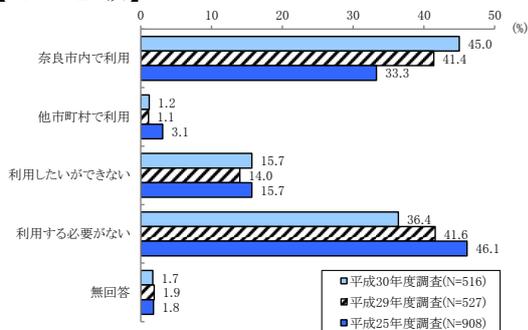
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

「定期的な教育・保育事業」の利用状況は、0～2歳では市内での利用が45.0%、市外での利用が1.2%、「利用する必要がない」の割合が36.4%となっています。一方、3～5歳では市内での利用が92.3%、市外での利用が3.3%、「利用する必要がない」の割合が1.2%となっており、経年で見ると0～2歳、3～5歳ともに「利用する必要がない」の割合が減少し、奈良市内での利用が増加しています。

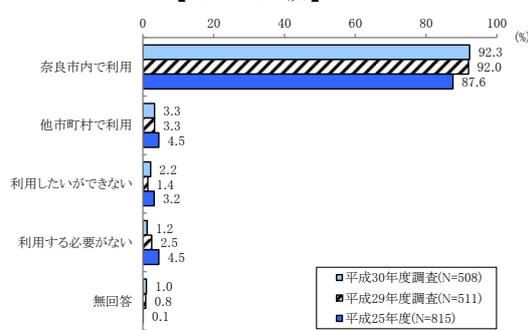
現在利用している事業については、0～2歳では「認可保育所」の割合が52.5%と最も高く、3～5歳では「幼稚園」の割合が36.6%と最も高くなっています。経年で見ると、0～2歳および3～5歳ともに「認定こども園」の割合が増加しています。

- ・あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(あてはまる番号1つに○) : 問7

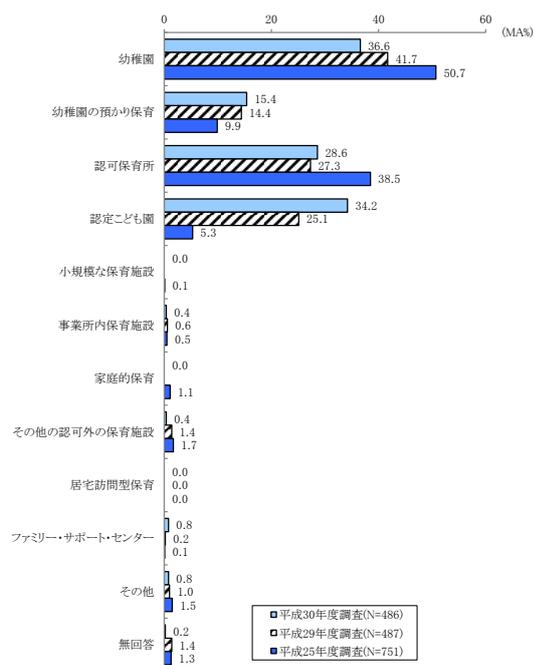
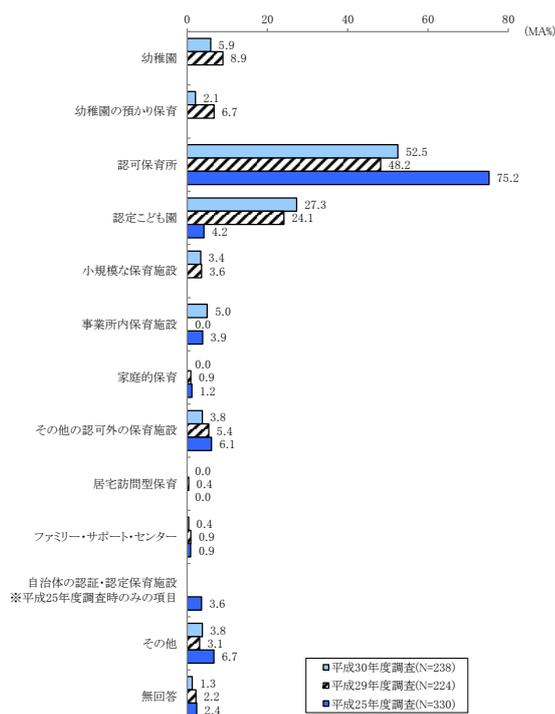
【0～2歳】



【3～5歳】



- ・現在平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)
(定期的な教育・保育事業を奈良市内、奈良市外で利用している方) : 問7-1①



※平成25年度調査では「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」の選択肢はありません。

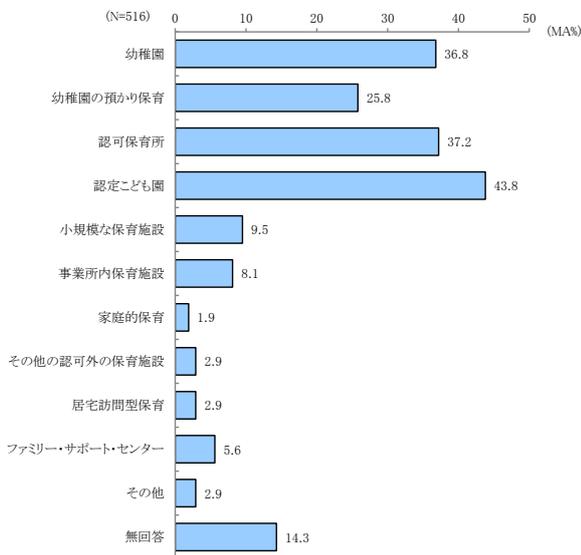
(2) 平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望

平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望において、無回答を除き0～2歳では「認定こども園」の割合が43.8%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が37.2%となっています。一方、3～5歳では「認定こども園」の割合が25.4%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が20.9%となっています。母子健康手帳交付者においては、「認定こども園」の割合が80.0%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が70.9%となっています。

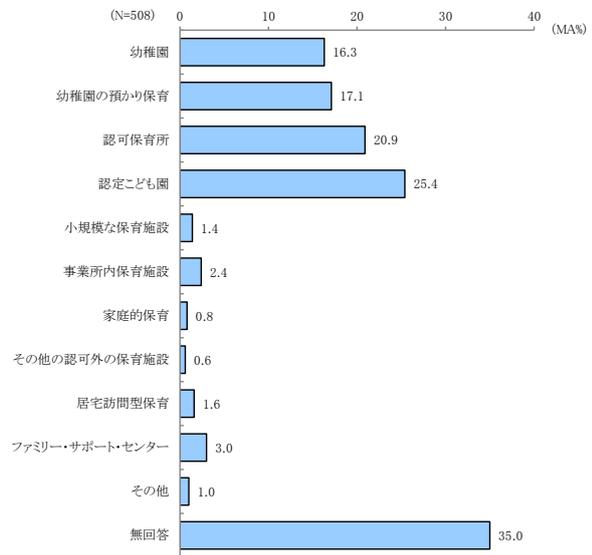
幼稚園（通常の就園時間の利用）の希望の利用開始年齢については、「3歳」の割合が0～2歳では69.5%、3～5歳では72.3%、母子健康手帳交付者では78.9%と、それぞれ最も高くなっています。

- ・ 今後利用したい教育・保育事業はどれですか。（現在定期的な教育・保育事業を利用している人、利用していない人の回答の合計）（あてはまる番号すべてに○）

【0～2歳】 : 問7-1②

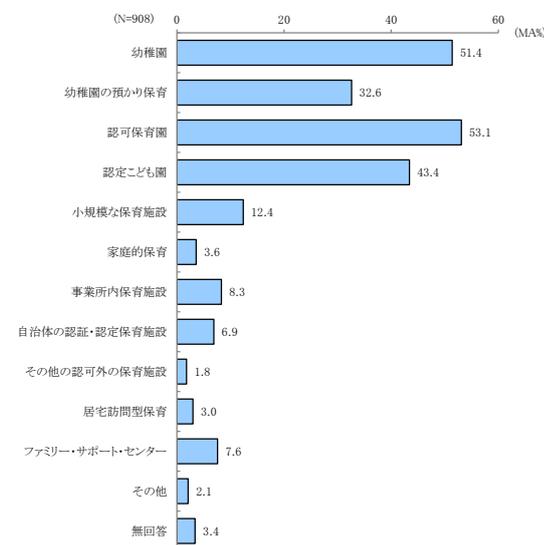


【3～5歳】 : 問7-1②

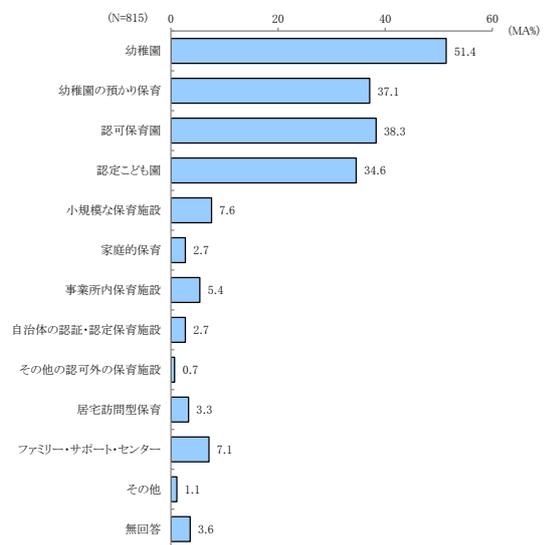


【参考：平成25年度調査結果】 ※現在の利用にかかわらずどの施設を利用したいか

【0～2歳】

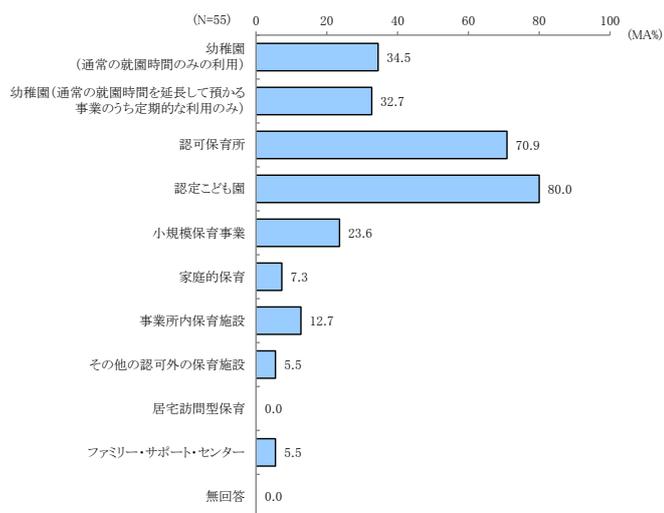


【3～5歳】



・日常的に利用したい教育・保育事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

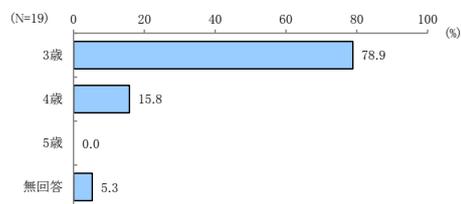
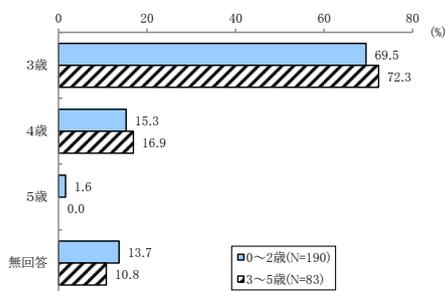
【母子健康手帳交付者】 : 問 9-1



・平日の定期的な教育・保育事業の利用希望において、
お子さんが何歳になったら「幼稚園 (通常の就園時間の利用)」を利用したいか。

【0～2歳・3～5歳】 : 問 7-9

【母子健康手帳交付者】 : 問 9-3

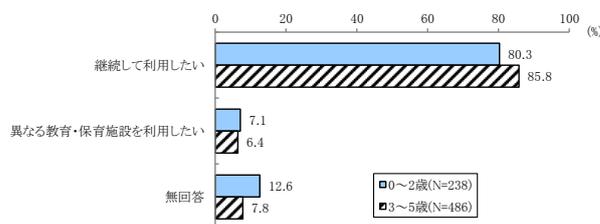


(3) 幼児教育の無償化が実施された場合について

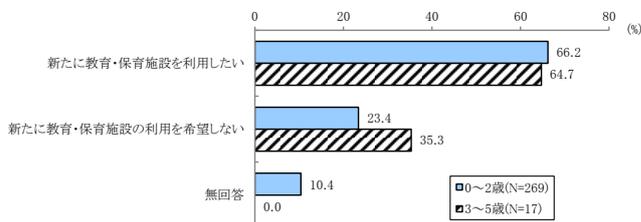
幼児教育の無償化が実施された場合、「定期的な教育・保育事業」を利用している人については、0～2歳、3～5歳ともに80%以上が継続して現在の事業を利用したいと答えています。また、現在事業を利用していない人について、0～2歳では66.2%、3～5歳では64.7%が新たに事業を利用したいと答えています。また、母親の就労状況について、0～2歳においては、17.6%が就労を開始すると答えています。

【0～2歳・3～5歳】

現在「定期的な教育・保育事業」を利用している人のうち、継続して現在の事業を利用したいかどうか。： 問7-11



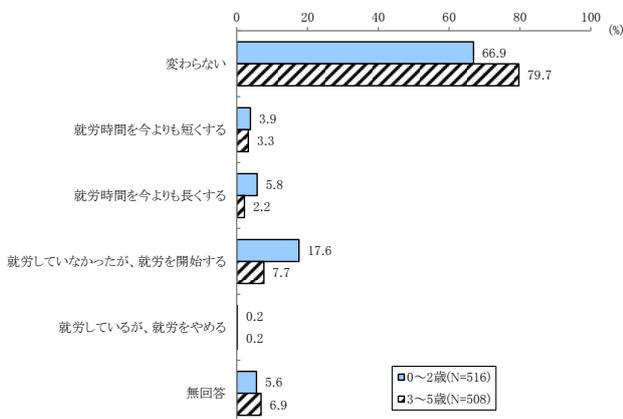
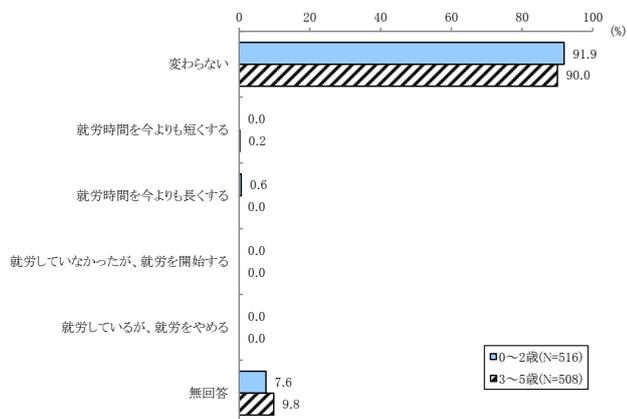
現在は「定期的な教育・保育事業」を利用していない人のうち、新たに教育・保育施設を利用したいかどうか。： 問7-13



保護者の方の就労状況が変わるかどうか。： 問7-15

<父親>

<母親>



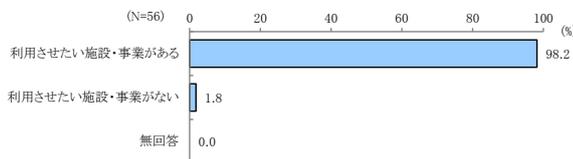
【母子健康手帳交付者】

母子健康手帳交付者における幼児教育の無償化が実施された場合についての回答では、利用したい施設・事業があるかにおいて、「無償化実施後にもっとも利用したい施設・事業がある」の割合が92.9%と最も高くなっています。

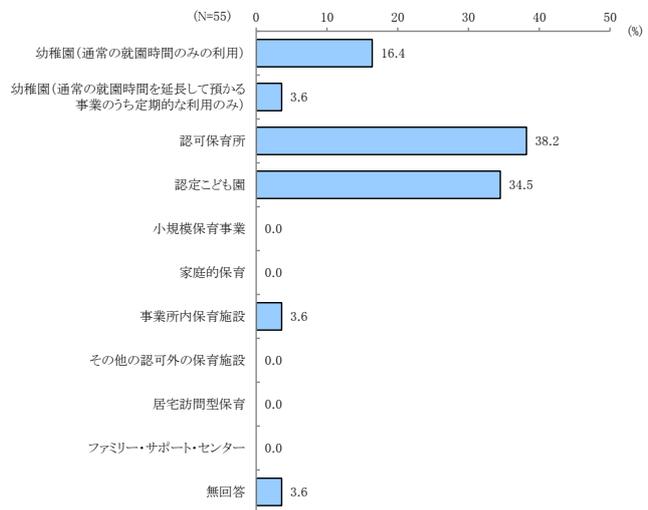
もっとも利用したいと思う施設・事業においては、「認可保育所」の割合が46.2%と最も高く、次いで、「認定こども園」の割合が26.9%、「幼稚園（通常の就園時間のみの利用）」の割合が15.4%となっています。

また、理想とする働き方（就労形態）は変わるかにおいては、あなた（母子健康手帳交付者）で「変わらない」の割合が55.4%と最も高く、次いで「就労時間を長くする」の割合が16.1%となっています。

・利用させたい施設・事業があるか：問9

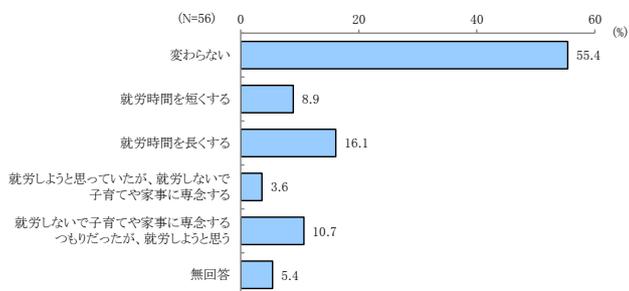


・もっとも利用させたいと思う施設・事業：問9-2

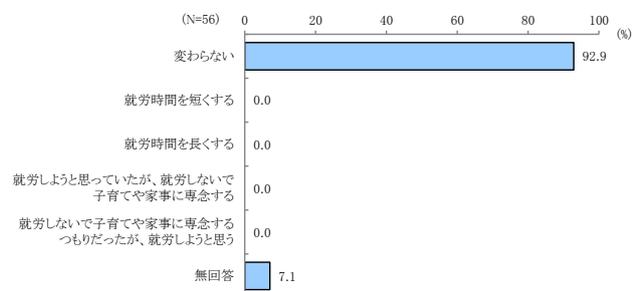


・理想とする働き方（就労状況）は変わるか：問10-1

あなた（母子健康手帳交付者）



配偶者・パートナー



3 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

<母親>

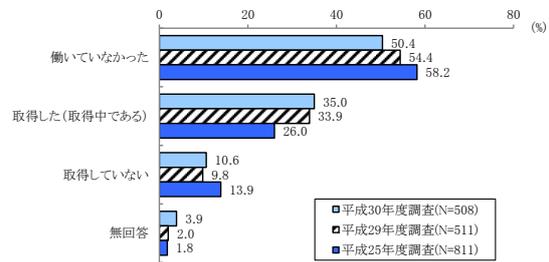
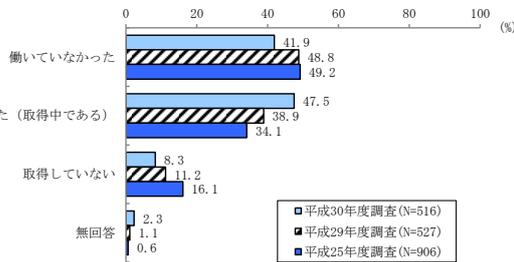
お子さんが生まれた時、育児休業を取得したかについて、母親が「取得した（取得中である）」の割合が0～2歳では47.5%、3～5歳では35.0%となっており、経年で見ても0～2歳、3～5歳ともに徐々に高くなっています。

また、母親が取得していない理由においては、0～2歳、3～5歳ともに「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が最も高くなっていますが、平成25年度調査からは徐々に割合が低くなってきています。

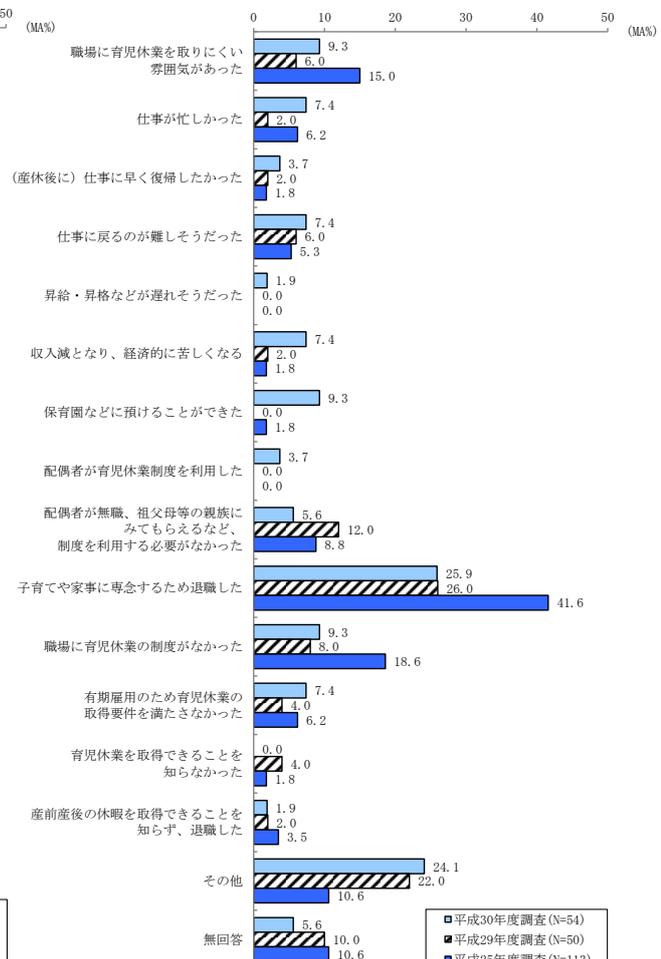
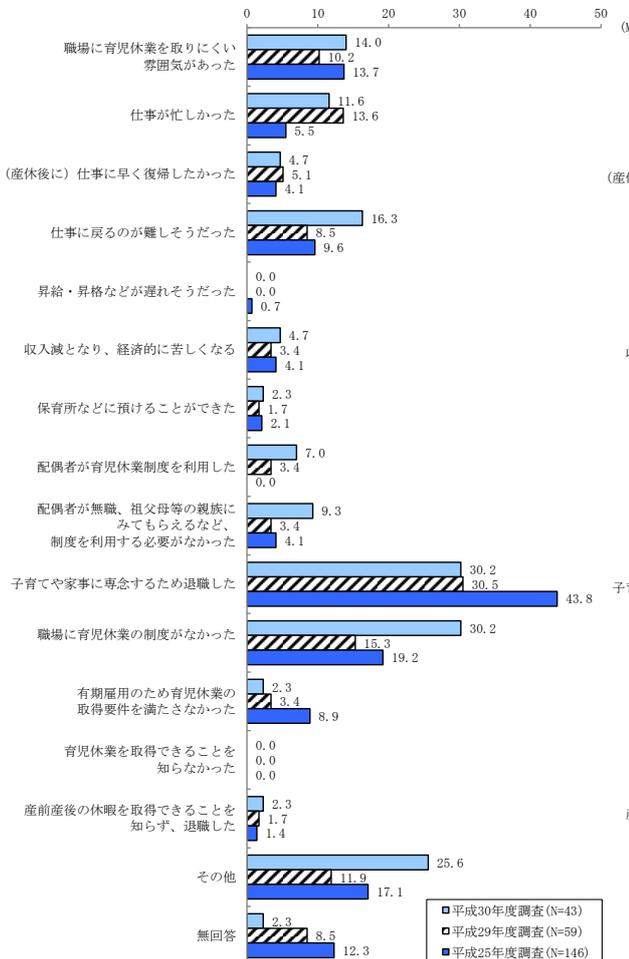
・母親の育児休業取得状況

【0～2歳】：問17

【3～5歳】：問20



・母親が育児休業を取得しなかった理由



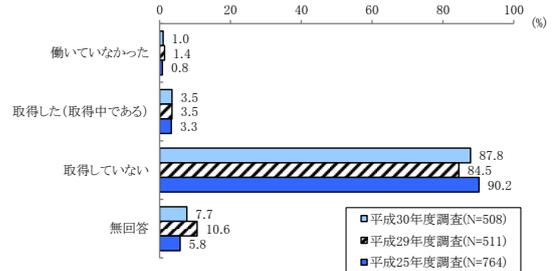
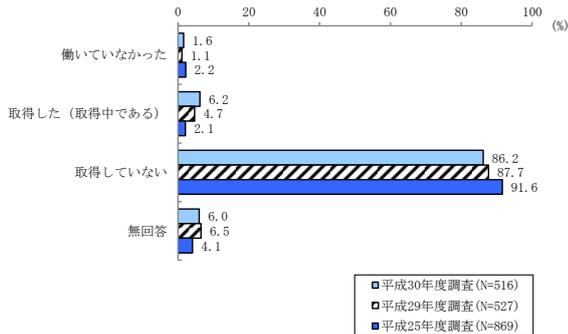
<父親>

一方で、父親は「取得していない」の割合が0～2歳、3～5歳ともに80%以上となっており、「取得した（取得中である）」では、経年で見ると0～2歳では平成25年度調査からわずかに割合が増加してきています。また、取得していない理由については、「仕事が忙しかった」「制度を利用する必要がなかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」といった割合が0～2歳、3～5歳ともに上位で多くみられます。

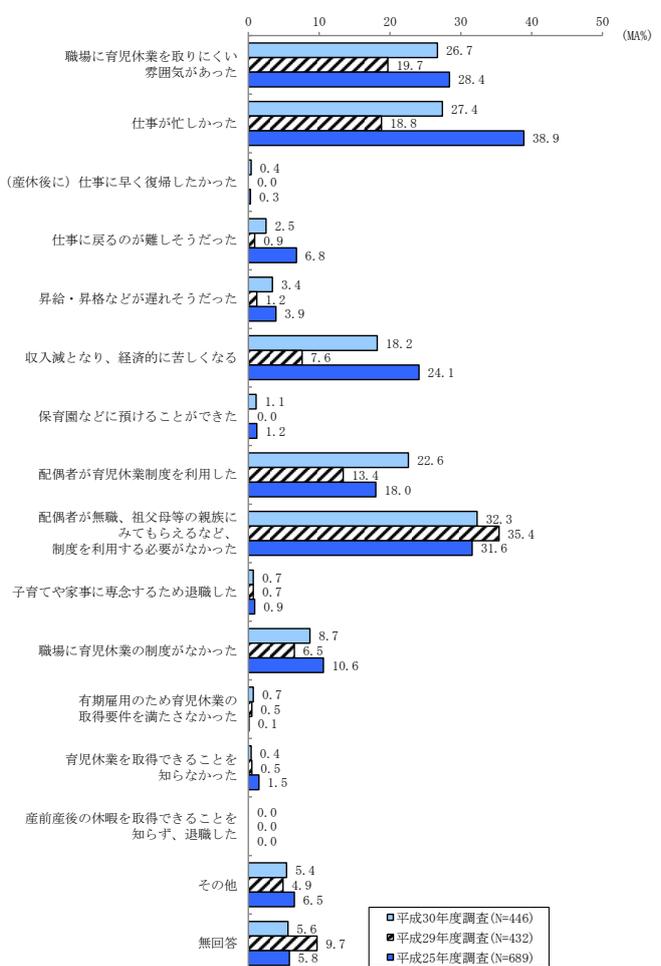
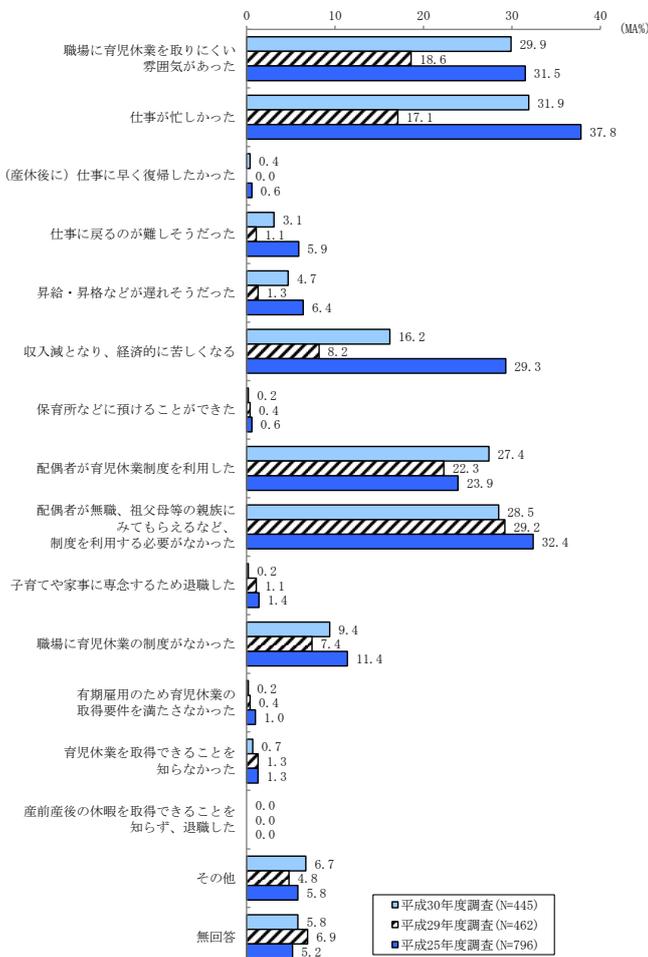
・父親の育児休業取得状況

【0～2歳】：問17

【3～5歳】：問20



・父親が育児休業を取得しなかった理由



4 放課後の過ごし方について

小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うかについて、3～5歳では「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が52.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が48.9%、「習いごとや塾」の割合が37.4%となっています。

一方で、小学生では「自宅」の割合が63.1%と最も高く、「習いごとや塾」の割合が55.8%、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が26.0%となっており、上位の項目では違いはありませんが、未就学児と小学生では希望の過ごし方にわずかに乖離がみられます。

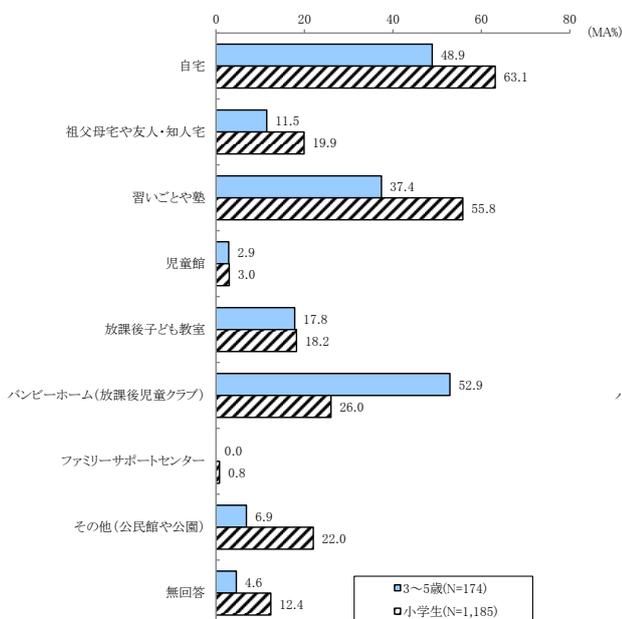
小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方について、3～5歳では「自宅」の割合が55.7%と最も高く、次いで、「習いごとや塾」の割合が52.9%、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が32.8%となっています。

一方、小学生では「自宅」の割合が67.2%と最も高く、次いで、「習いごとや塾」の割合が65.7%、「その他（公民館や公園）」の割合が23.8%となっています。

- ・あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年）の間、また、高学年（4～6年）の間には放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

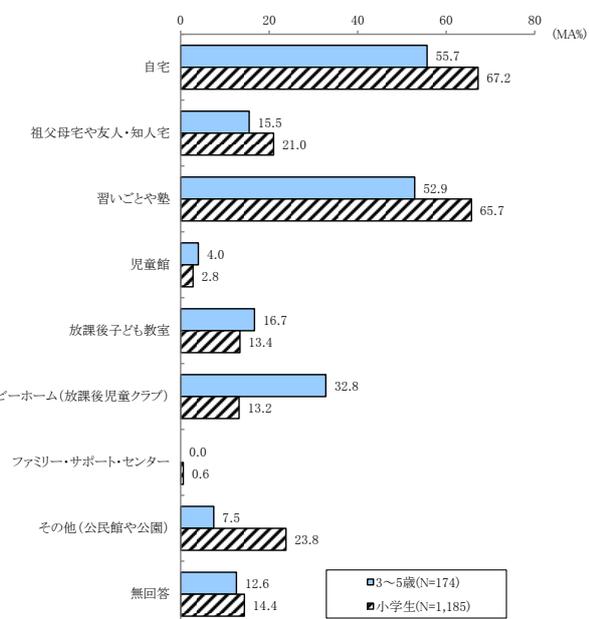
（1）小学校低学年（1～3年生）

【3～5歳】：問 18 【小学生】：問 8



（2）小学校高学年（4～6年生）

【3～5歳】：問 18 【小学生】：問 8



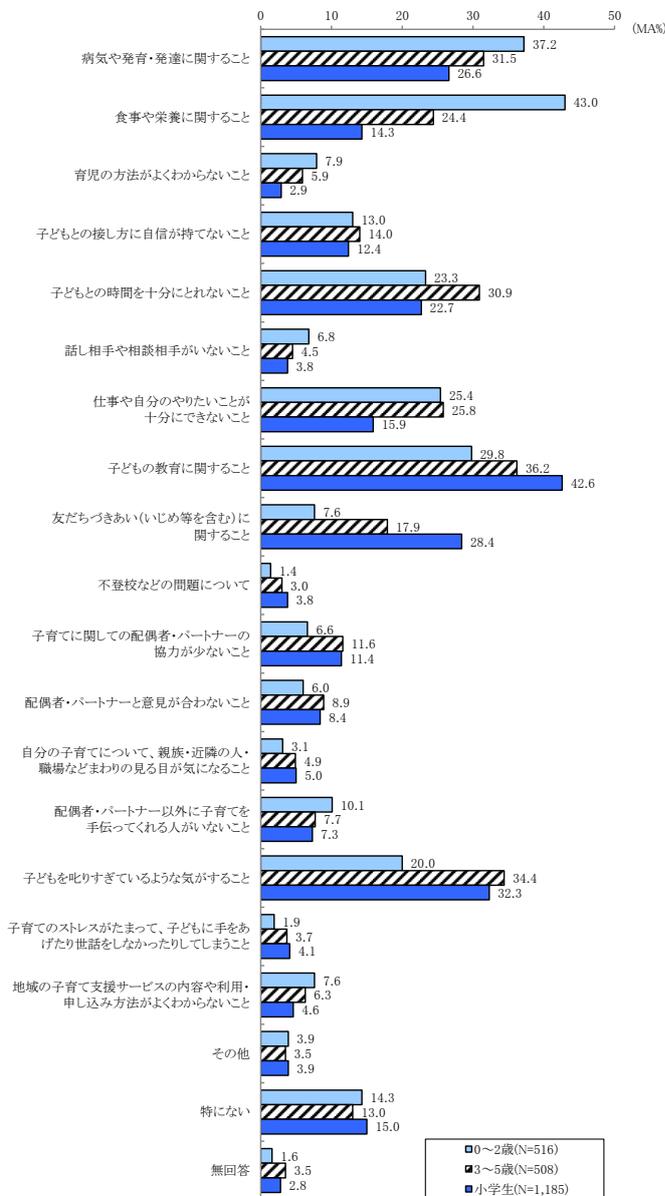
5 子育てに関する悩み事や環境への満足度について

(1) 子育てに関して日常悩んでいること

子育てに関して日常悩んでいること、または気になることについて、0～2歳では「食事や栄養に関すること」の割合が43.0%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」の割合が37.2%、「子どもの教育に関すること」の割合が29.8%となっています。3～5歳、小学生では上位2項目で「子どもの教育に関すること」「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が高くなっており、子どもの年齢が上がるにつれて、悩みが変化しています。

・子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

【0～2歳】：問20 【3～5歳】：問23 【小学生】：問22

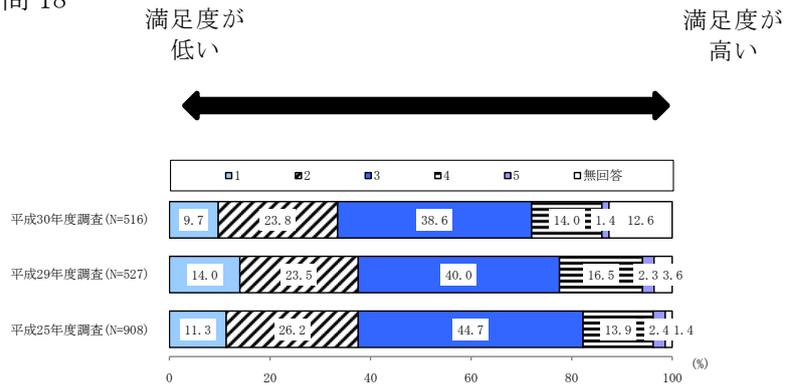


(2) 子育てにおける環境や支援への満足度

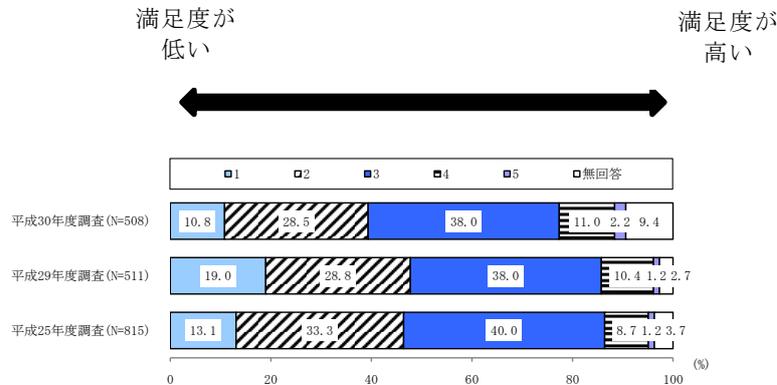
奈良市における子育ての環境や支援への満足度について、「3」の割合が0～2歳では38.6%、3～5歳では38.0%、小学生では32.2%と最も高く、次いで「2」の割合が高くなっており、0～2歳、3～5歳、小学生ともに満足度がやや低いほうに回答が集中しています。平成25年度調査と比較すると、「5」の満足度の高い割合が3～5歳では増加しているものの、0～2歳で減少し、小学生では変化が見られません。

・奈良市における子育ての環境や支援への満足度について（あてはまる番号1つに○）

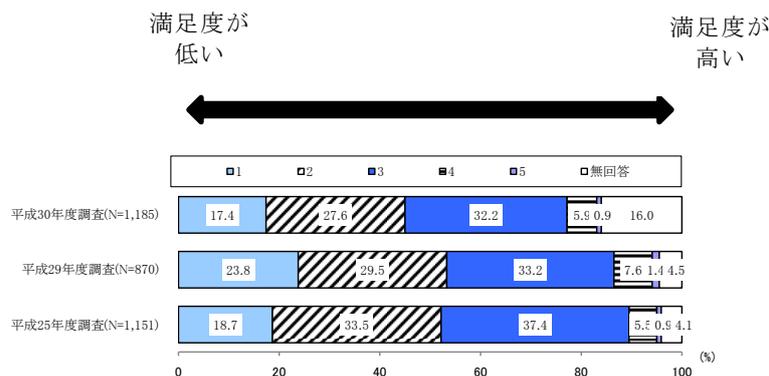
【0～2歳】：問18



【3～5歳】：問21



【小学生】：問20



6 子育てしやすいまちについて

奈良市は子育てしやすいまちかについて、「とてもそう思う」+「そう思う」の割合が、0～2歳では46.1%、3～5歳では42.2%、小学生では37.9%となっており、年齢が上がるにつれて、肯定的な意見の割合が低くなっています。

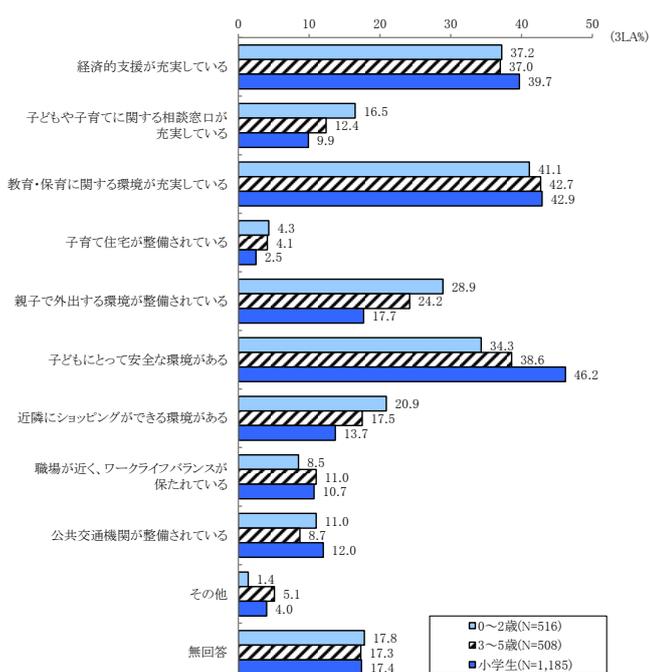
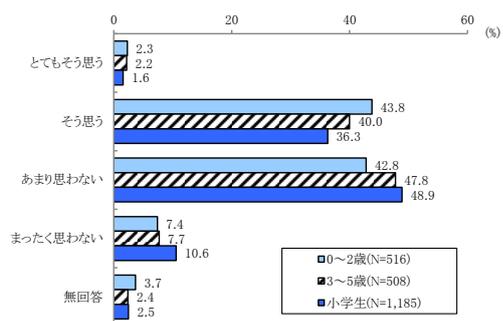
また、子育てしやすいまちだと感じる条件について、0～2歳、3～5歳、小学生ともに上位3項目は「教育・保育に関する環境が充実している」「経済的支援が充実している」「子どもにとって安全な環境がある」で、高い割合を占めています。小学生においては、「子どもにとって安全な環境がある」の割合が未就学児より突出しています。

・奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。(あてはまるもの1つに○)

【0～2歳】問25 【3～5歳】問28 【小学生】問27

・子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

【0～2歳】問25-1 【3～5歳】問28-1 【小学生】問27-1



7 子どもにやさしいまちについて

奈良市は子どもにやさしいまちかについて、「とてもそう思う」+「そう思う」の割合が0～2歳では39.7%、3～5歳では33.9%、小学生では29.6%、母子健康手帳交付者では48.2%となっており、年齢が上がるにつれて肯定的な意見の割合が低くなっています。

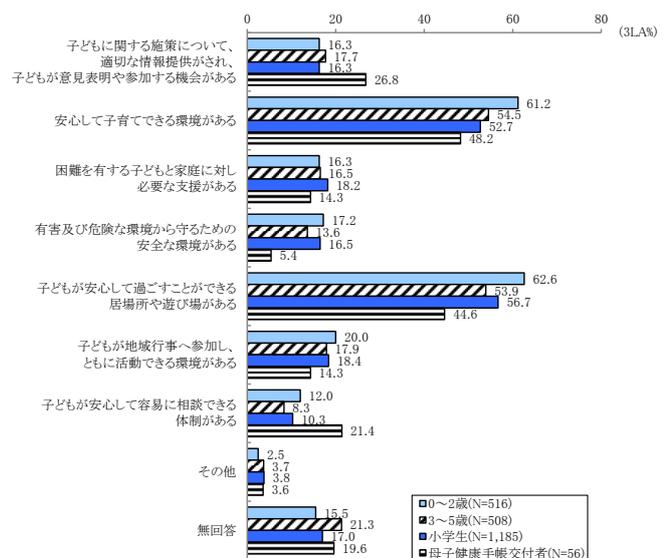
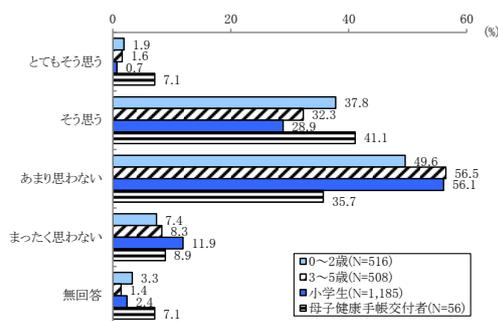
子どもにやさしいまちだと感じる条件について、0～2歳、3～5歳、小学生、母子健康手帳交付者ともに上位2項目が「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」「安心して子育てできる環境がある」となっています。

・奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。(あてはまるもの1つに○)

【0～2歳】問24 【3～5歳】問27 【小学生】問26 【母子健康手帳交付者】問15

・子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

【0～2歳】問24-1 【3～5歳】問27-1 【小学生】問26-1 【母子健康手帳交付者】問16



Ⅲ 調査結果

1 就学前児童（0～2歳、3～5歳）

Ⅲ. 調査結果

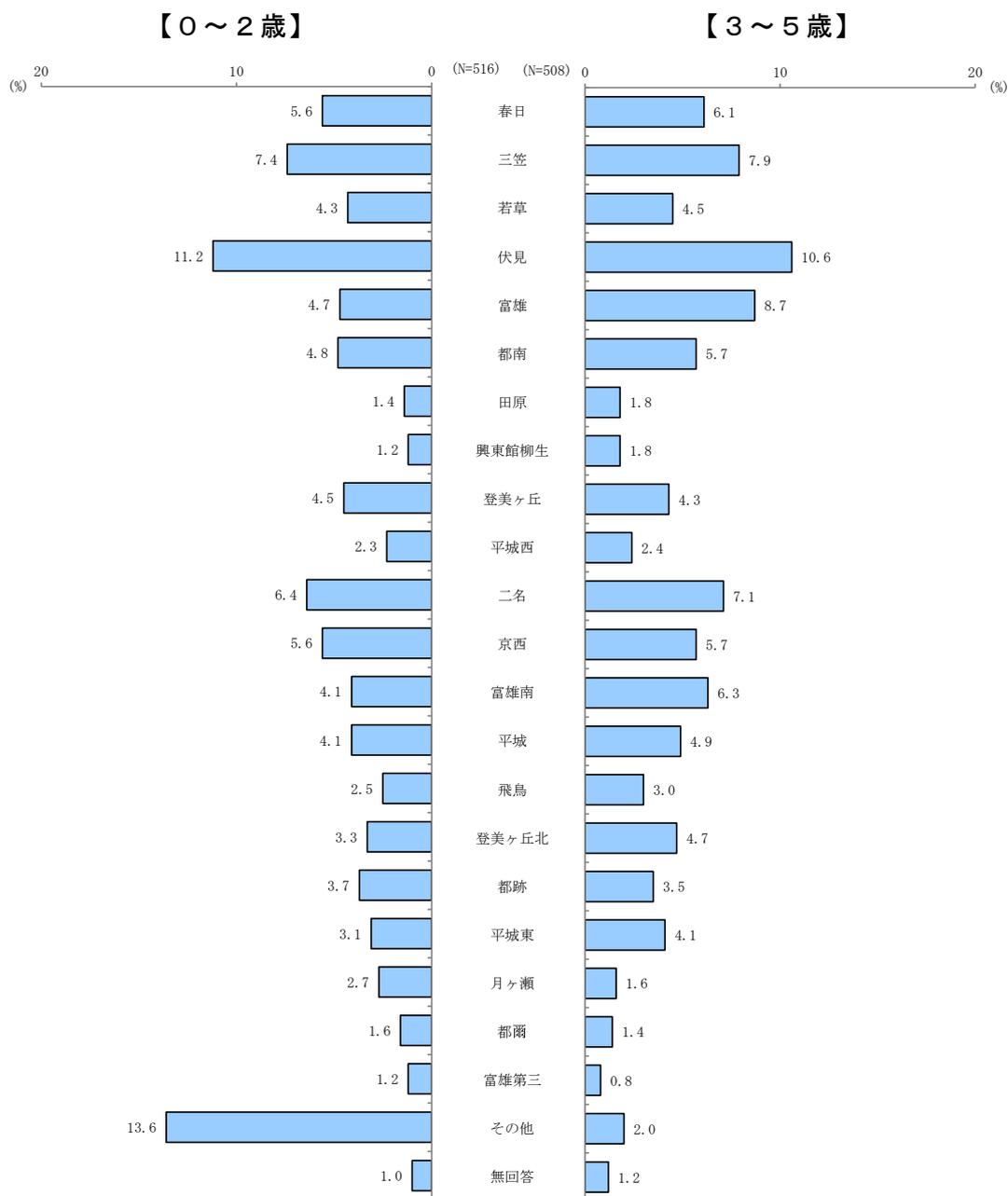
1 就学前児童（0～2歳、3～5歳）

1-1. お住まいの地域について

問 お住まいの中学校区（0～2歳：問1、3～5歳：問1）

0～2歳については、「中学校区がわからない場合」が13.6%と最も高く、次いで「伏見」が11.2%、「三笠」が7.4%となっています。

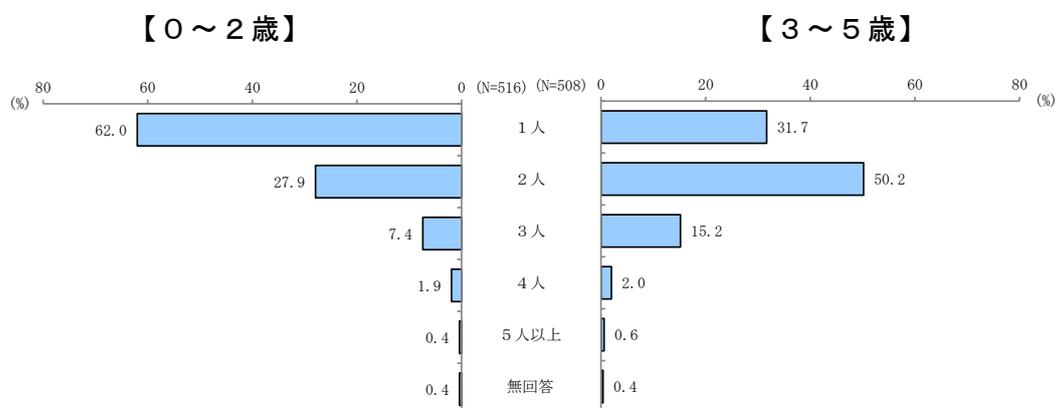
3～5歳については、「伏見」が10.6%と最も高く、次いで「富雄」が8.7%、「三笠」が7.9%となっています。



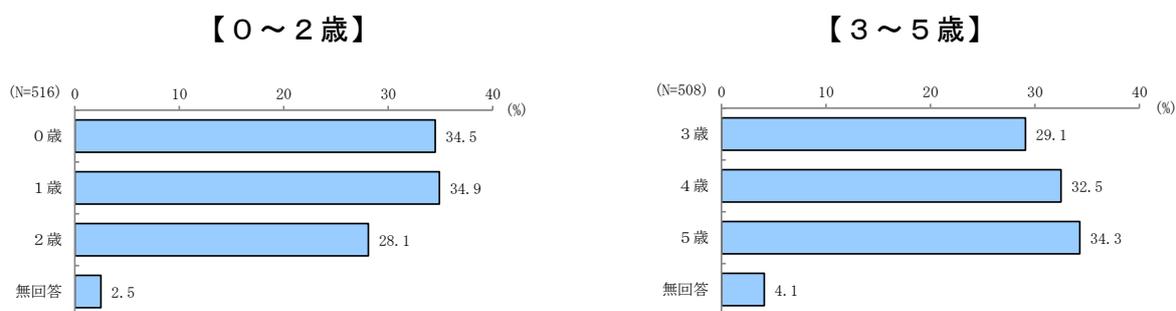
1-2. 子どもと家族の状況について

問 ご家族の状況についてお答えください。(0～2歳：問2、3～5歳：問2)

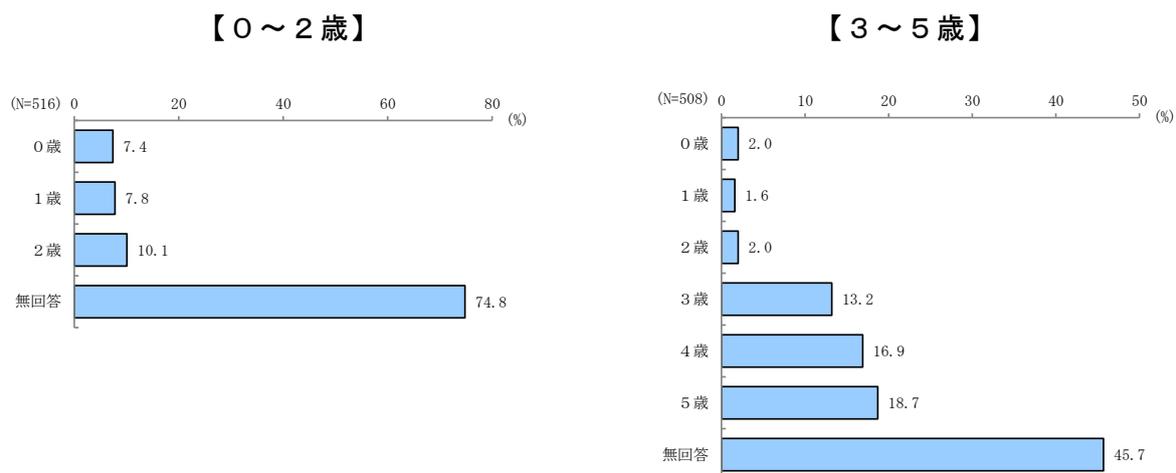
(1) お子さんの数(宛名の子含む)



(2) あて名のお子さんの生年月をお答えください。



(3) お子さんが2人以上の場合、一番下のお子さんの生年月をお答えください。

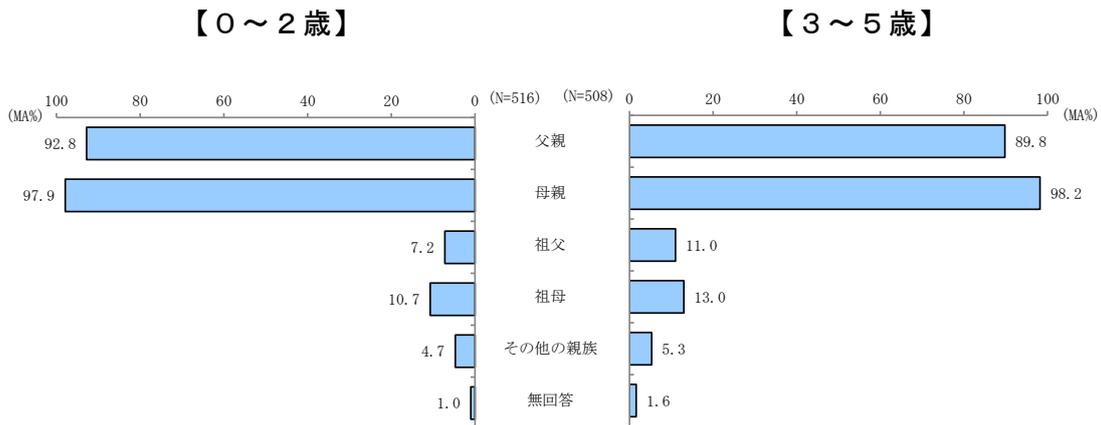


(4) あて名のお子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)を①の欄にお答えください。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。但し単身赴任等で別居されている場合は②の欄に○をつけてください。

①同居

0～2歳については、「母親」が97.9%と最も高く、次いで「父親」が92.8%、「祖母」が10.7%となっています。

3～5歳については、「母親」が98.2%と最も高く、次いで「父親」が89.8%、「祖母」が13.0%となっています。



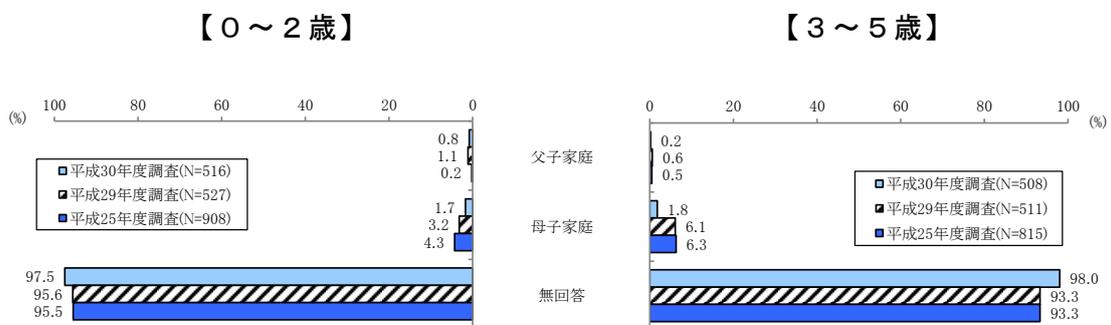
②単身赴任等で別居

「父親」が単身赴任の家族の割合は、0～2歳で2.9%、3～5歳で5.5%となっており、「母親」が単身赴任の割合は、0～2歳、3～5歳ともに0.2%となっています。

ひとり親家庭等

「父子家庭」の割合が、0～2歳では0.8%、3～5歳では0.2%となっています。「母子家庭」の割合が0～2歳では1.7%、3～5歳では1.8%となっています。

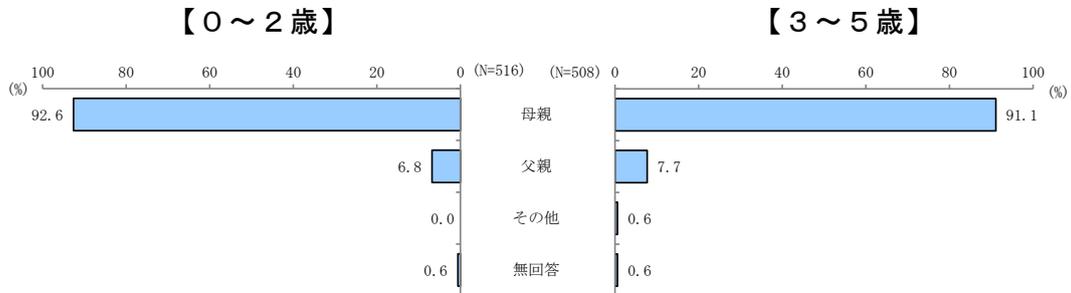
経年でみると、母子家庭が減少しています。



問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。（0～2歳：問3、3～5歳：問3）

0～2歳については、「母親」が92.6%と最も高く、次いで「父親」が6.8%となっています。

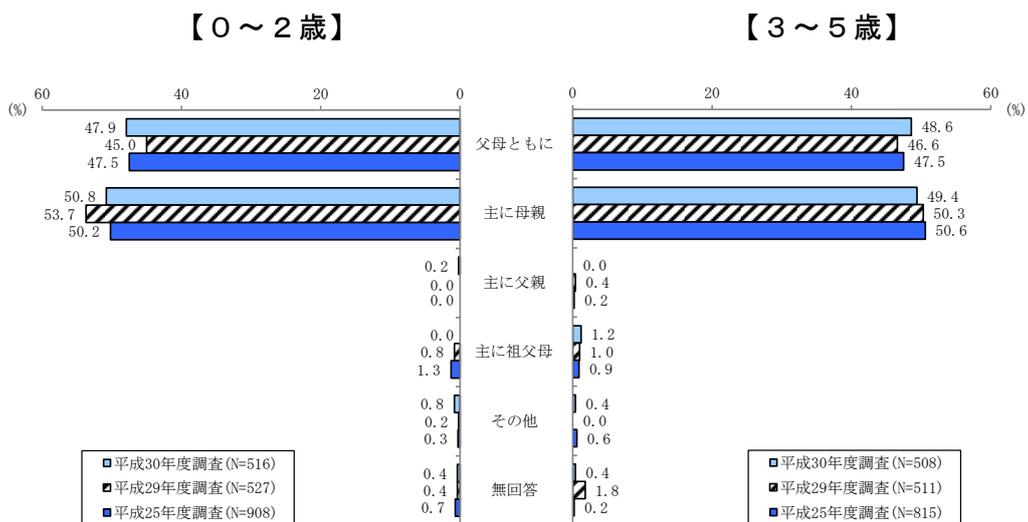
3～5歳については、「母親」が91.1%と最も高く、次いで「父親」が7.7%、「その他」が0.6%となっています。



問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。（0～2歳：問4、3～5歳：問4）

0～2歳については、「主に母親」が50.8%と最も高く、次いで「父母ともに」が47.9%、「主に父親」が0.2%となっています。

3～5歳については、「主に母親」が49.4%と最も高く、次いで「父母ともに」が48.6%、「主に祖父母」が1.2%となっています。

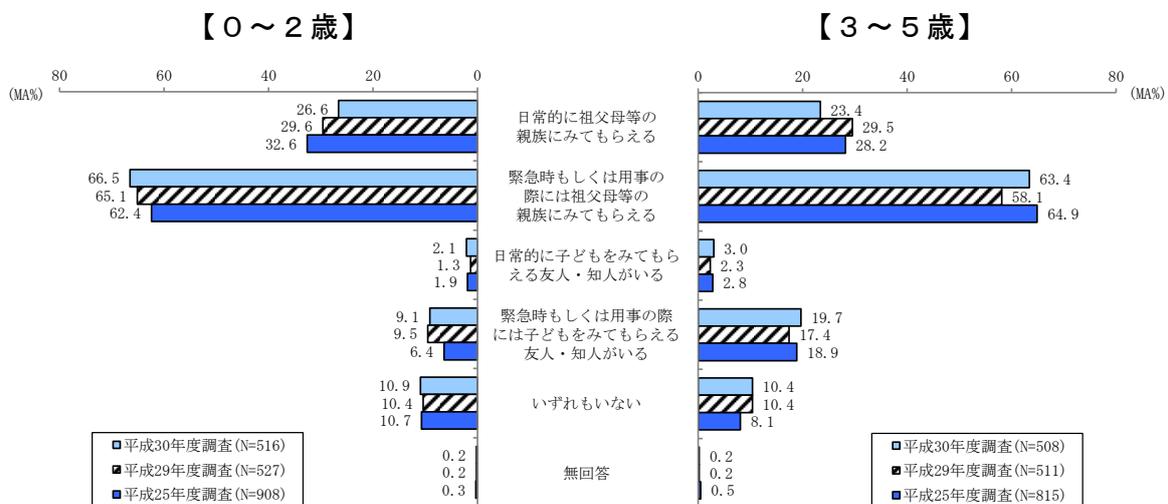


問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問5、3～5歳：問5)

0～2歳については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が66.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が26.6%、「いずれもない」が10.9%となっています。

3～5歳については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が23.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が19.7%となっています。

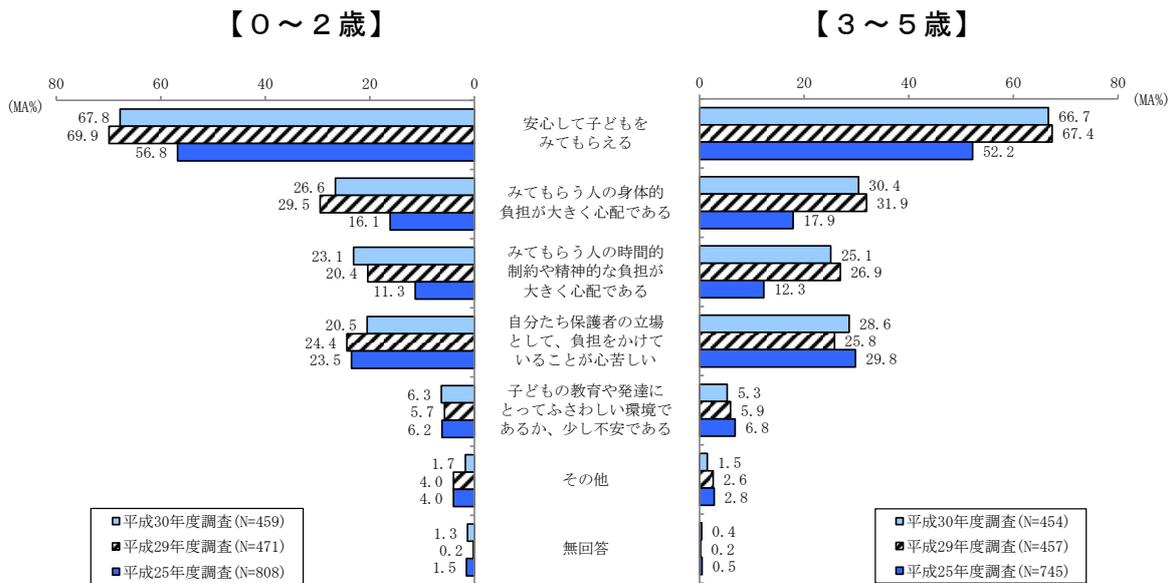
経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は減少傾向にありますが、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が0～2歳では増加しています。



問 前問で「1」～「4」とお答えの方にはうかがいます。祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問5-1、3～5歳：問5-1)

0～2歳については、「安心して子どもをみてもらえる」が67.8%と最も高く、次いで「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」が26.6%、「みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.1%となっています。

3～5歳については、「安心して子どもをみてもらえる」が66.7%と最も高く、次いで「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」が30.4%、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が28.6%となっています。



1-3. 保護者の就労状況について

問 あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。
 ①～⑩の項目ごとにあてはまる番号1つに○をつけてください。（0～2歳：問6、3～5歳：問6）

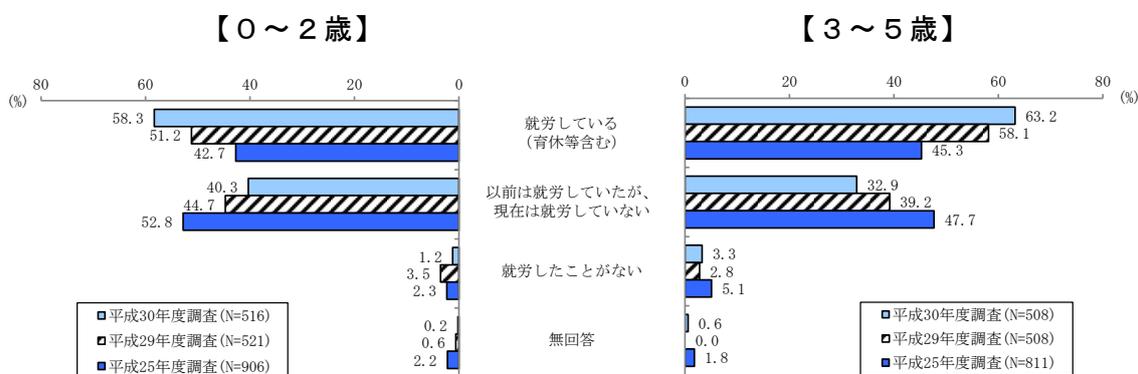
【母親】

①就労の有無

0～2歳については、「就労している（育休等含む）」が58.3%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が40.3%、「就労したことがない」が1.2%となっています。

3～5歳については、「就労している（育休等含む）」が63.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が32.9%、「就労したことがない」が3.3%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「就労している（育休含む）」が増加しています。

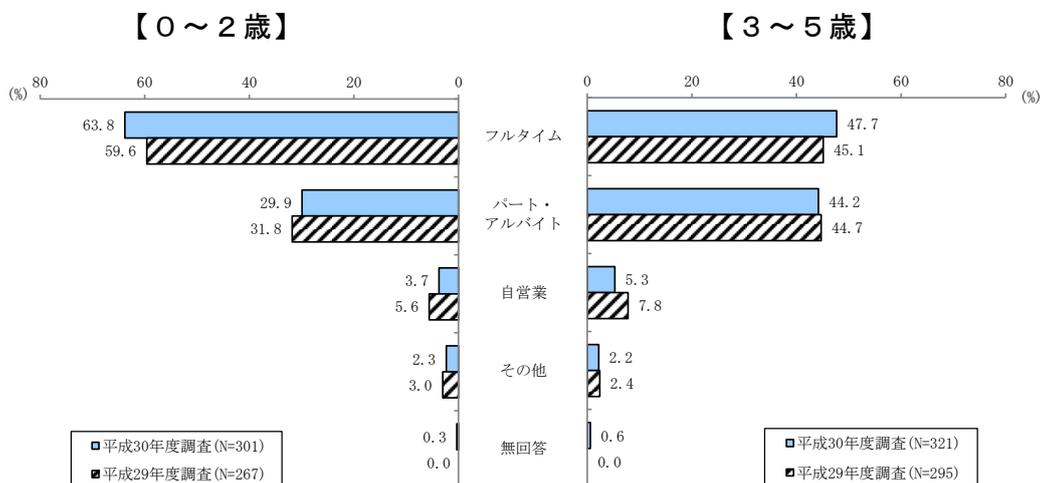


②就労形態（就労している人のみ）

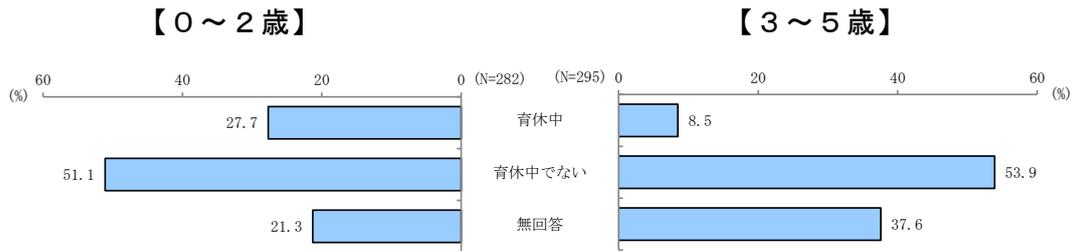
0～2歳については、「フルタイム」が63.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が29.9%、「自営業」が3.7%となっています。

3～5歳については、「フルタイム」が47.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が44.2%、「自営業」が5.3%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「フルタイム」が増加し、「パート・アルバイト」、「自営業」が減少しています。

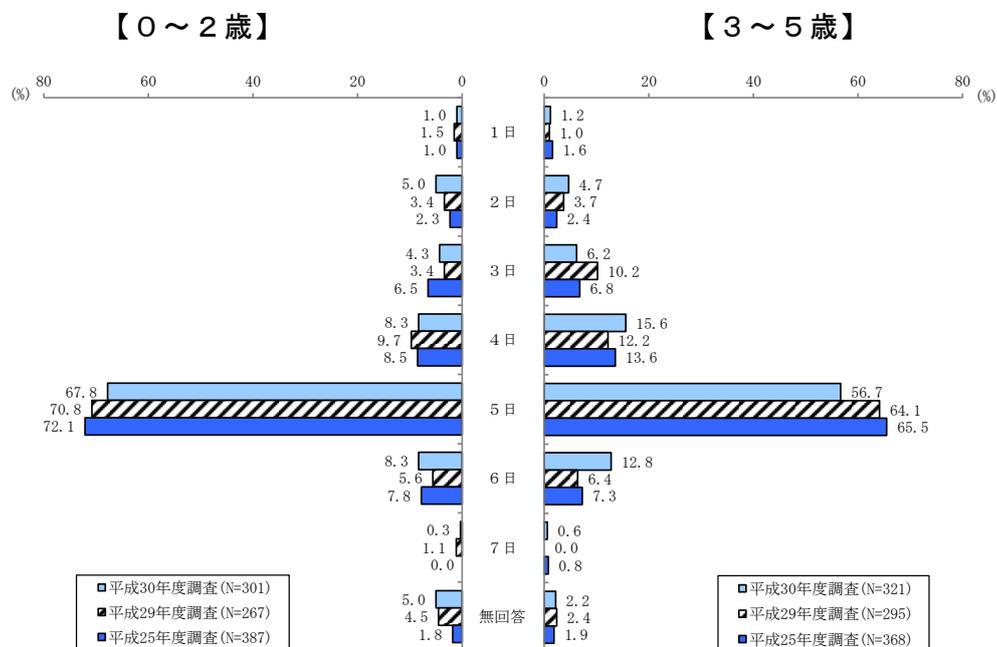


育児休業中か

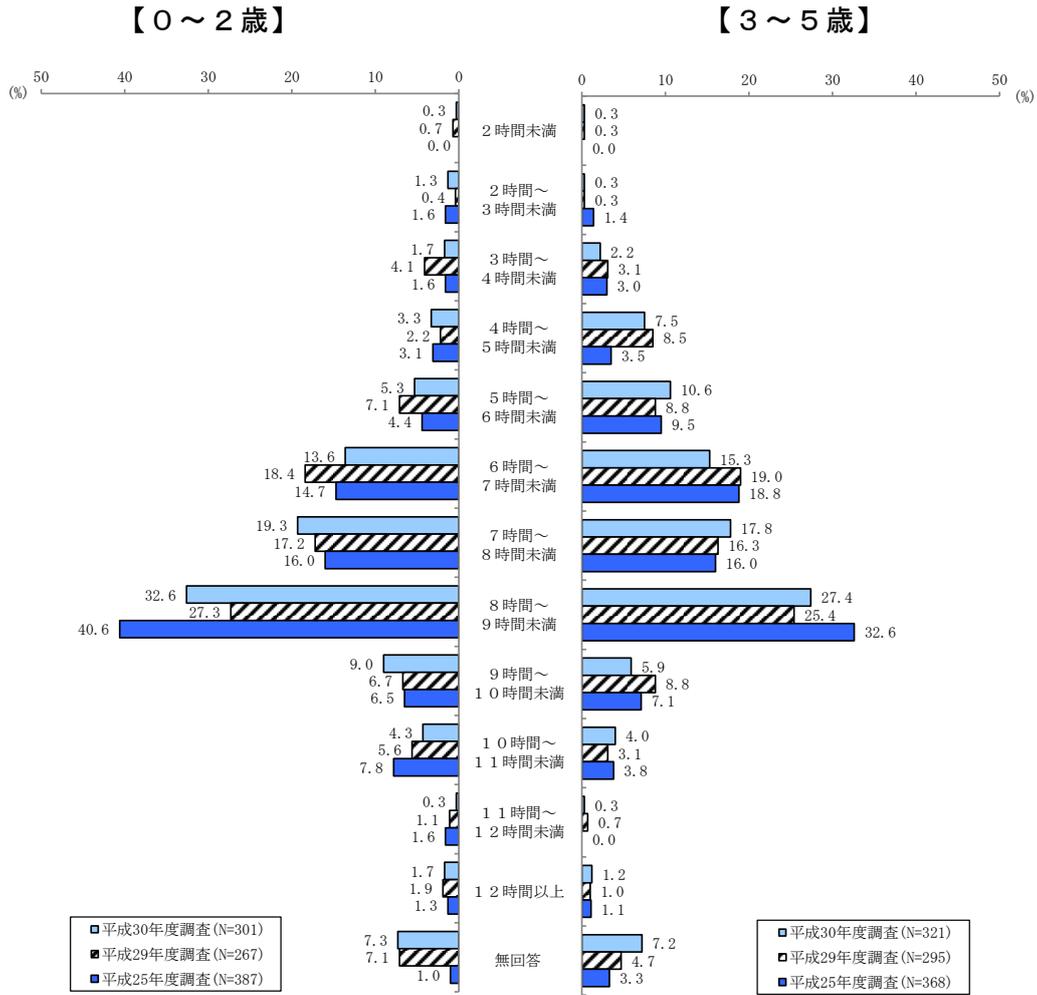


③ 1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（就労している人のみ）

就労日数

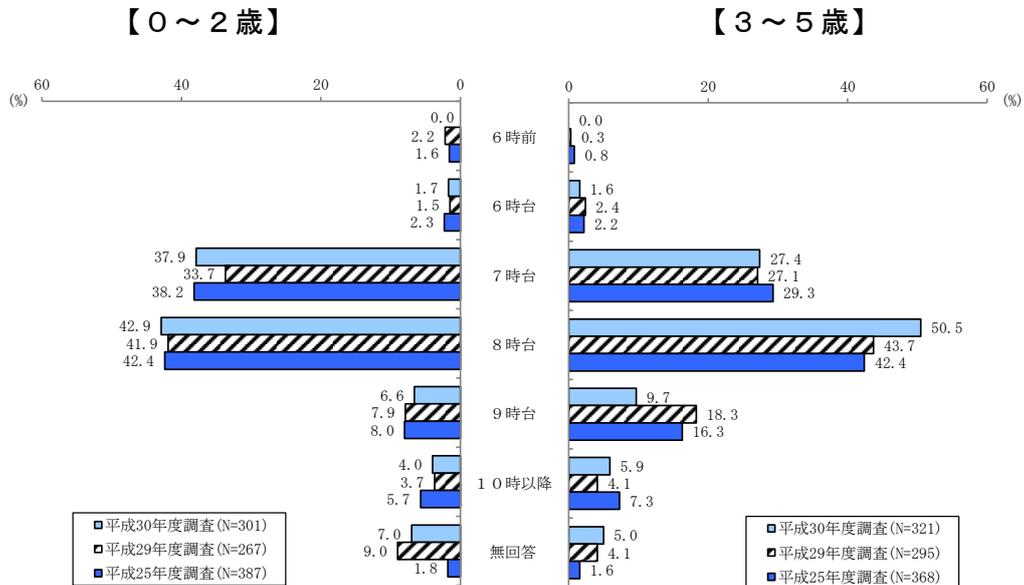


就労時間

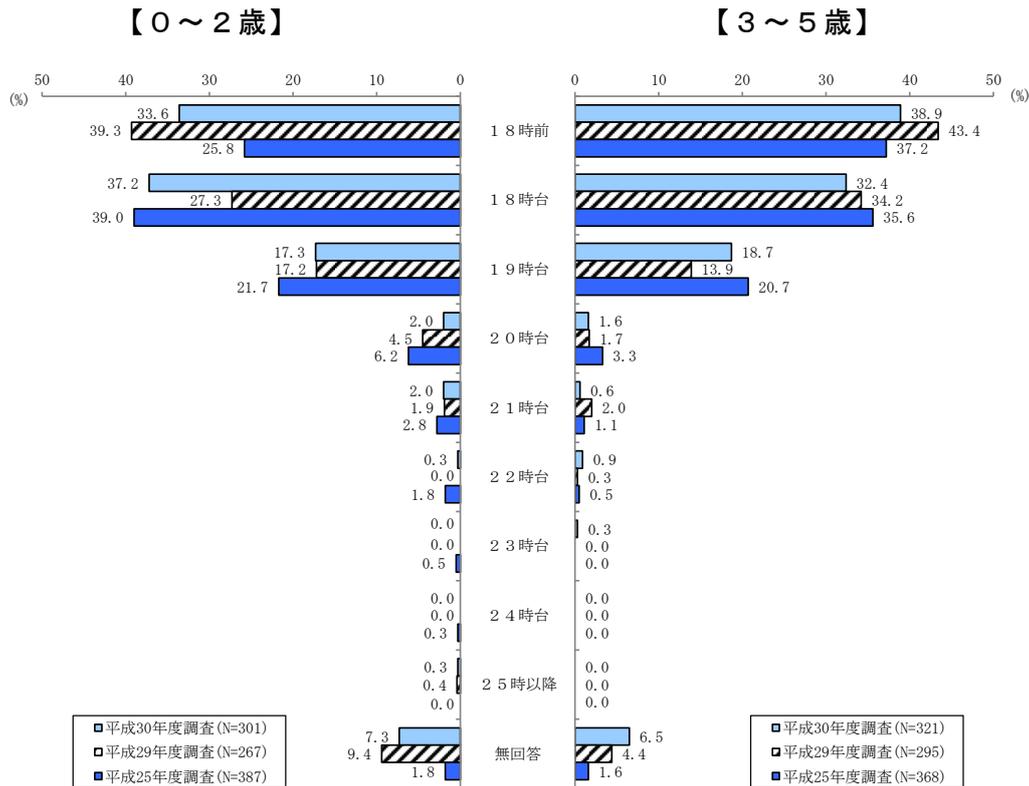


④家を出る時間と帰宅時間

家を出る時間



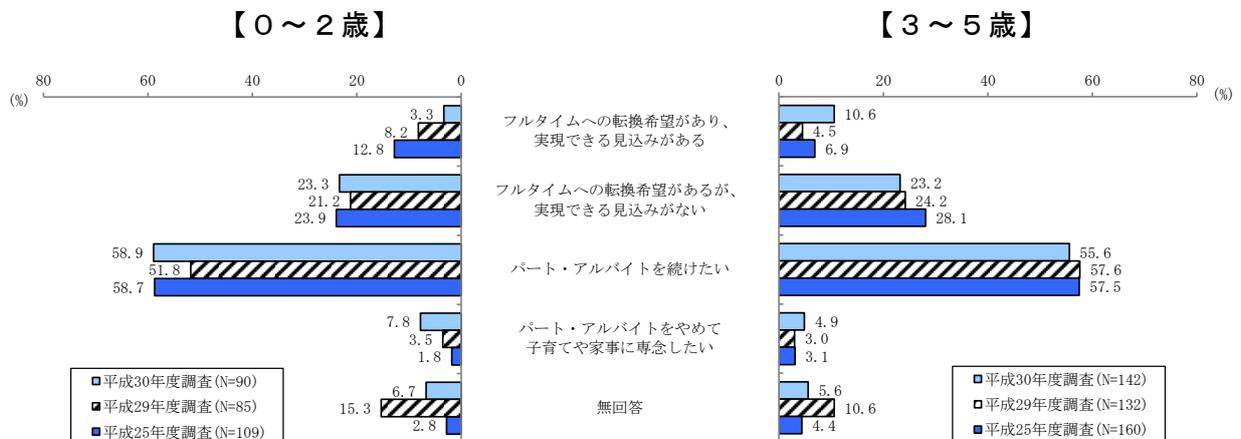
帰宅時間



⑤ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望

0～2歳については、「パート・アルバイトを続けたい」が58.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」が23.3%、「パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい」が7.8%となっています。

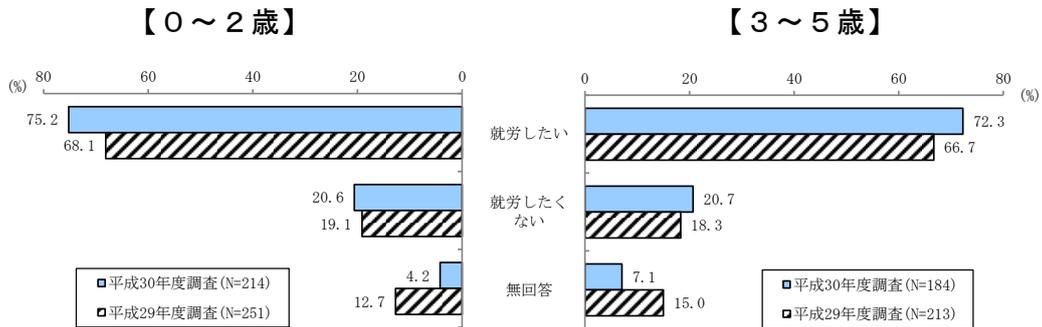
3～5歳については、「パート・アルバイトを続けたい」が55.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」が23.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.6%となっています。



⑥ (就労していない人) 就労希望の有無

0～2歳については、「就労したい」が75.2%と高くなっています。

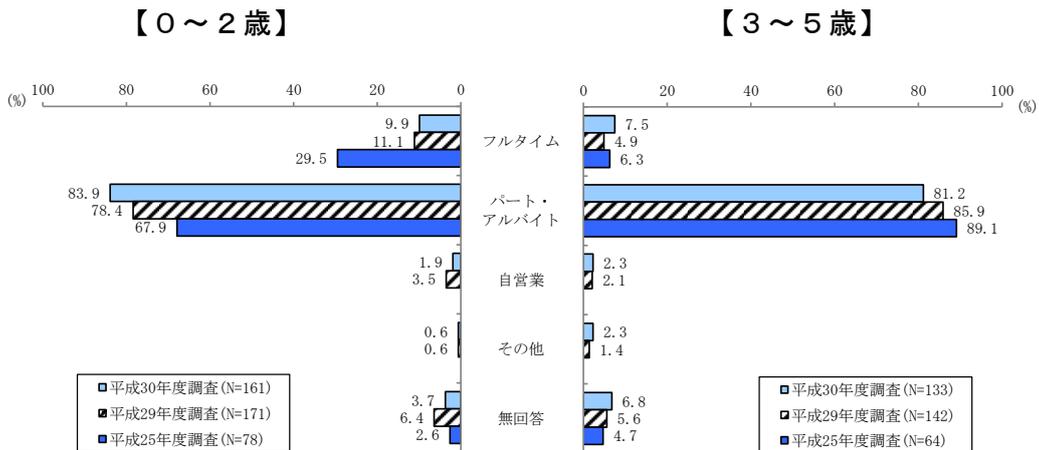
3～5歳については、「就労したい」が72.3%と高くなっています。



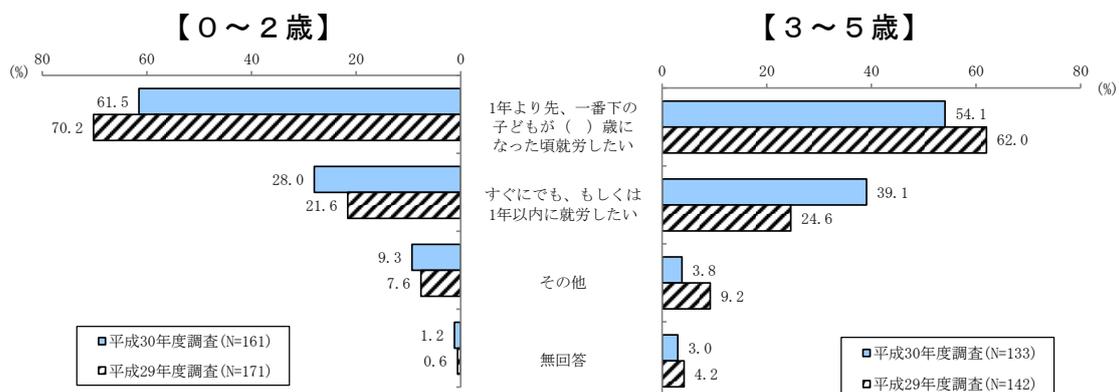
⑦ (就労したいと回答した人のみ) 希望の就労形態

0～2歳については、「パート・アルバイト」が83.9%と最も高く、次いで「フルタイム」が9.9%、「自営業」が1.9%となっています。

3～5歳については、「パート・アルバイト」が81.2%と最も高く、次いで「フルタイム」が7.5%、「自営業」、「その他」がそれぞれ2.3%となっています。



⑧ (就労したいと回答した人のみ) 希望の就労時期

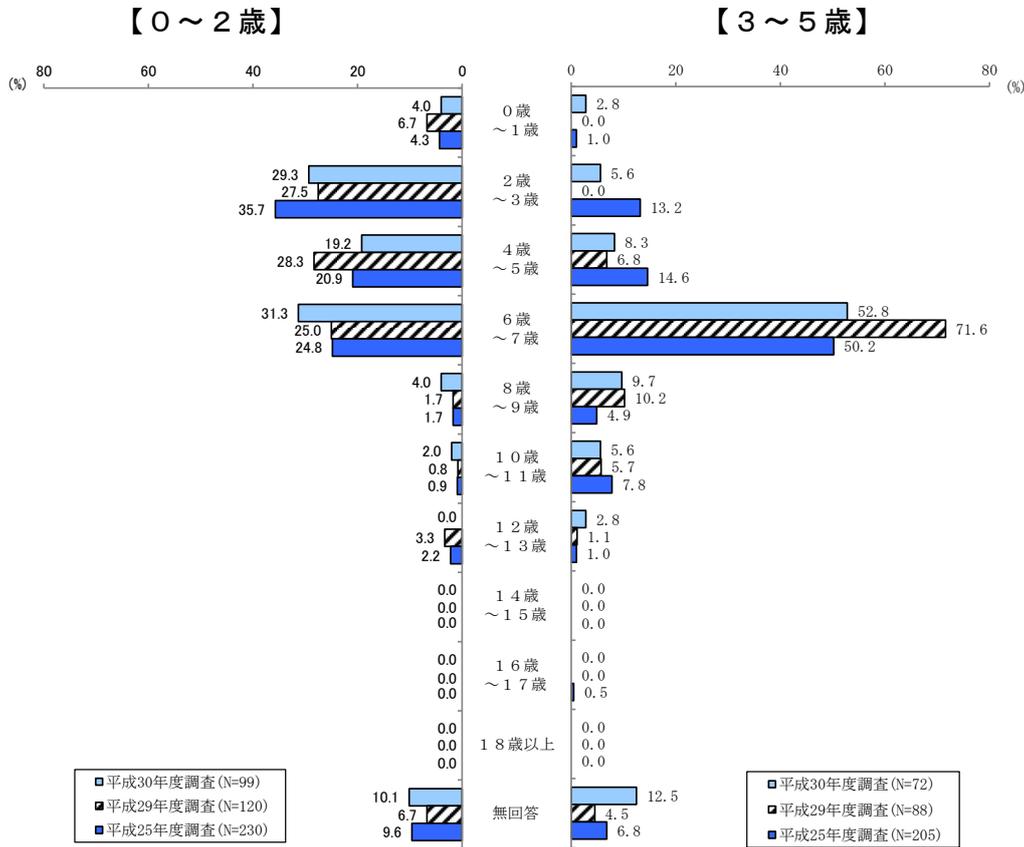


一番下の子どもが（ ）歳になったら頃就労したい

0～2歳については、「6歳～7歳」が31.3%と最も高く、次いで「2歳～3歳」が29.3%、「4歳～5歳」が19.2%となっています。

3～5歳については、「6歳～7歳」が52.8%と最も高く、次いで「8歳～9歳」が9.7%、「4歳～5歳」が8.3%となっています。

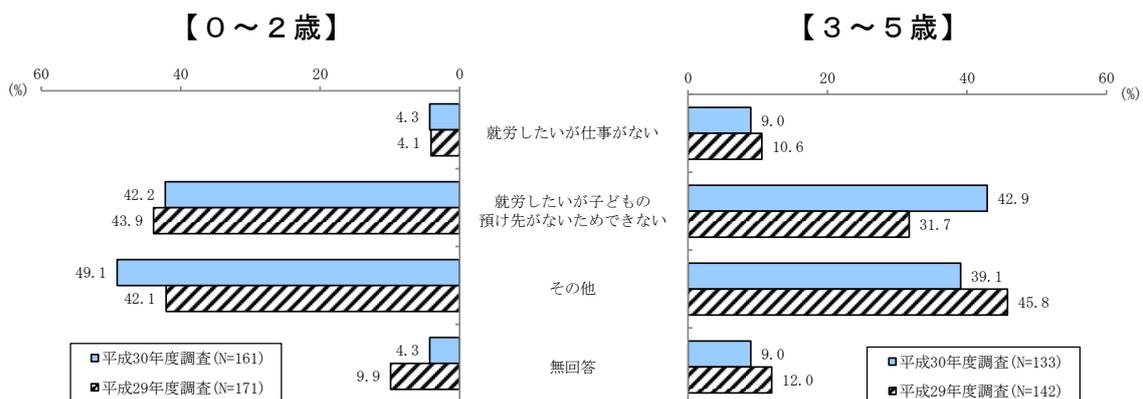
経年でみると、0～2歳では「6歳～7歳」が増加し、3～5歳では「0歳～1歳」「12歳～13歳」が増加しています。



⑨（就労したいと回答した人のみ）現在就労していない理由

0～2歳については、「その他」が49.1%と最も高く、次いで「就労したいが子どもの預け先がないためできない」が42.2%、「就労したいが仕事がない」が4.3%となっています。

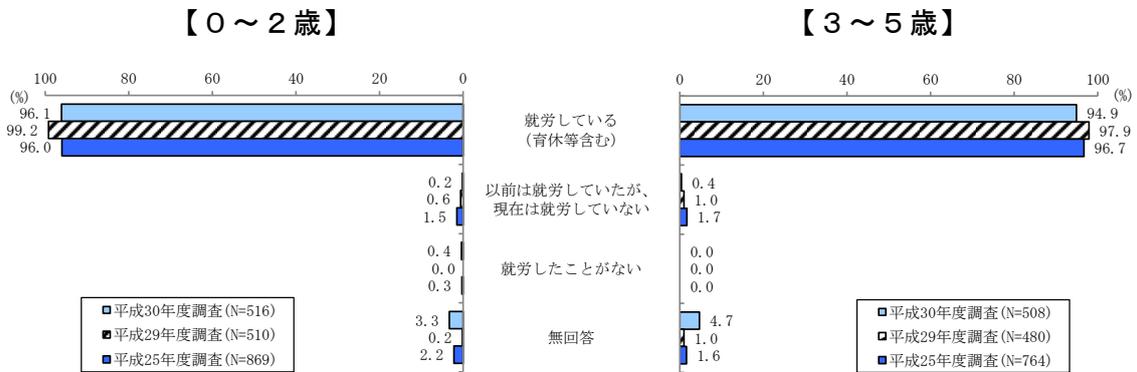
3～5歳については、「就労したいが子どもの預け先がないためできない」が42.9%と最も高く、次いで「その他」が39.1%、「就労したいが仕事がない」が9.0%となっています。



【父 親】

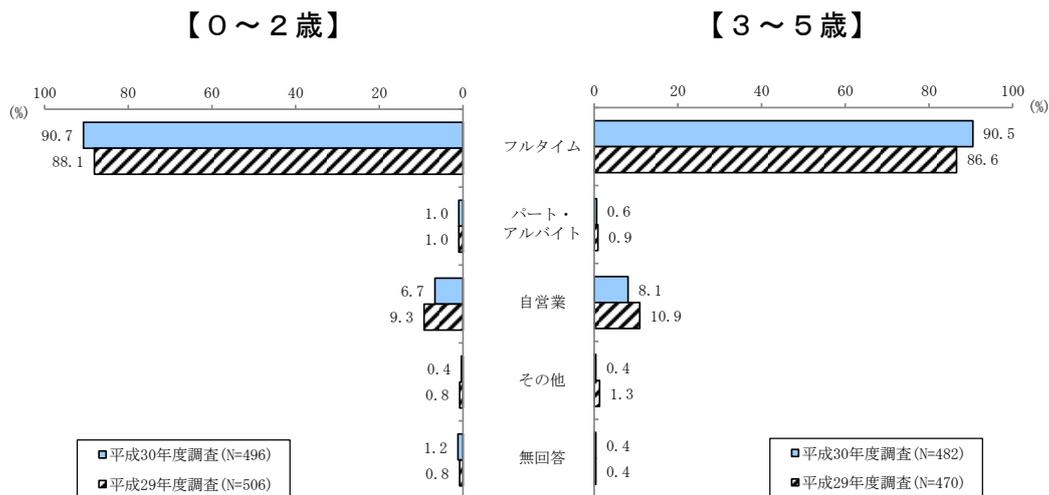
①就労の有無

0～2歳については、「就労している（育休等含む）」が96.1%と最も高くなっています。
 3～5歳については、「就労している（育休等含む）」が94.9%と最も高くなっています。

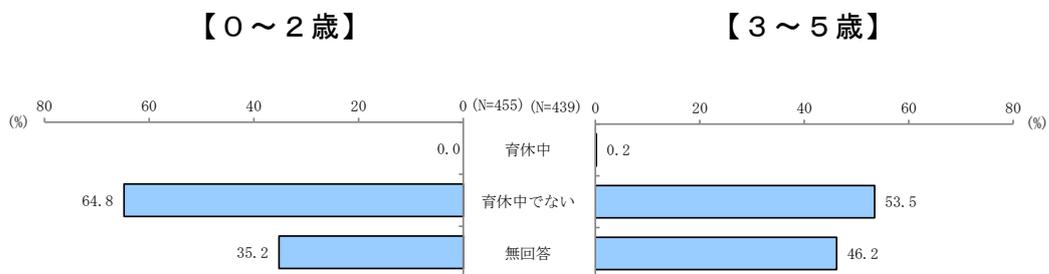


②就労形態（就労している人のみ）

0～2歳については、「フルタイム」が90.7%と最も高くなっています。
 3～5歳については、「フルタイム」が90.5%と最も高くなっています。

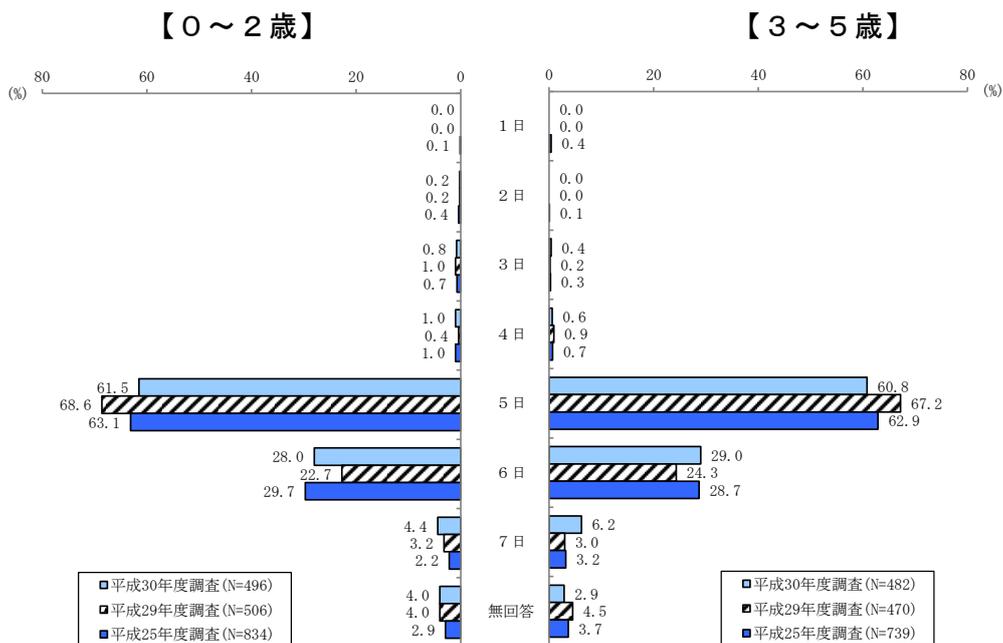


育児休業中か

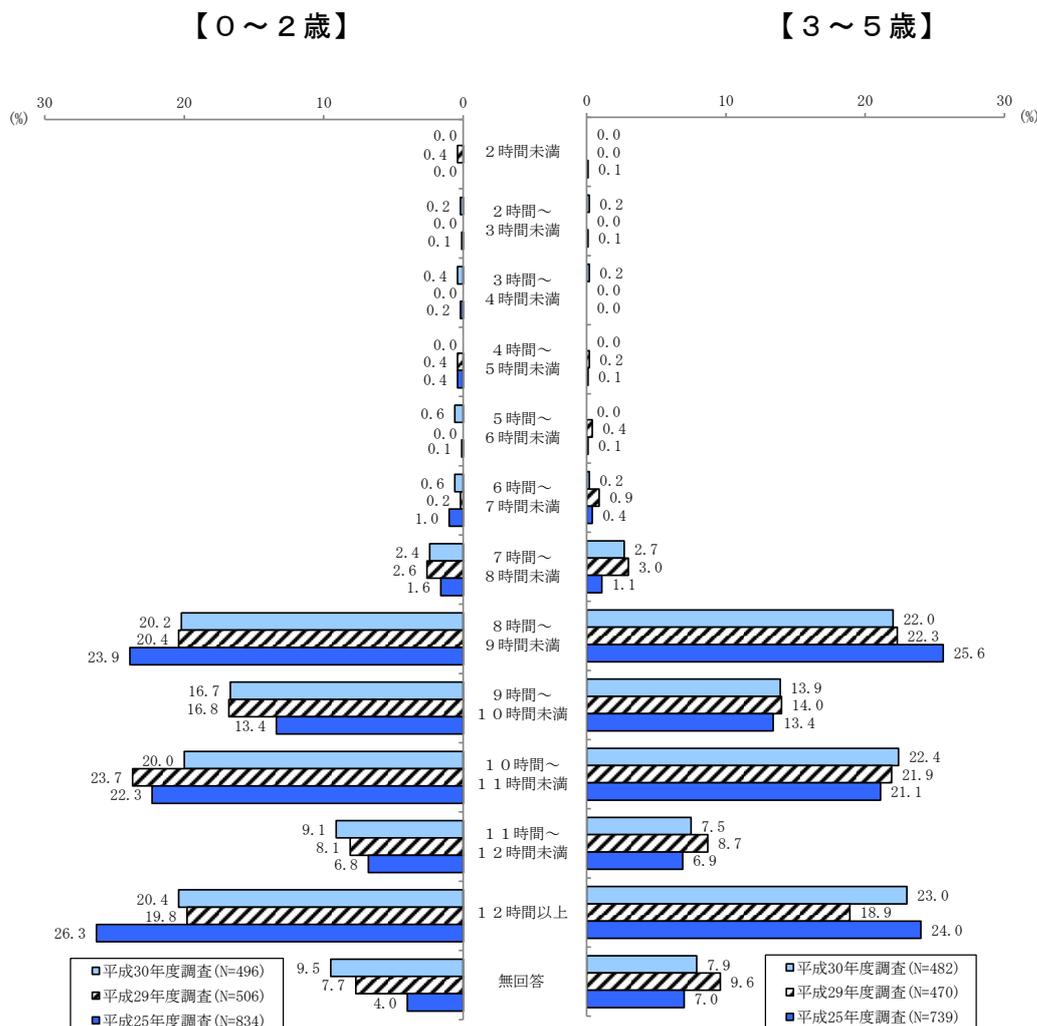


③ 1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（就労している人のみ）

就労日数

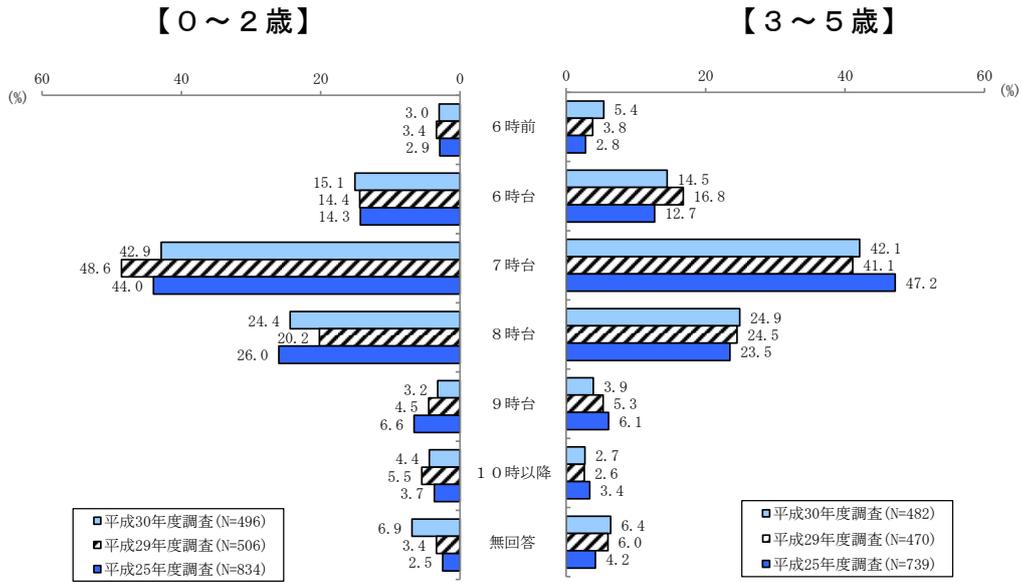


就労時間

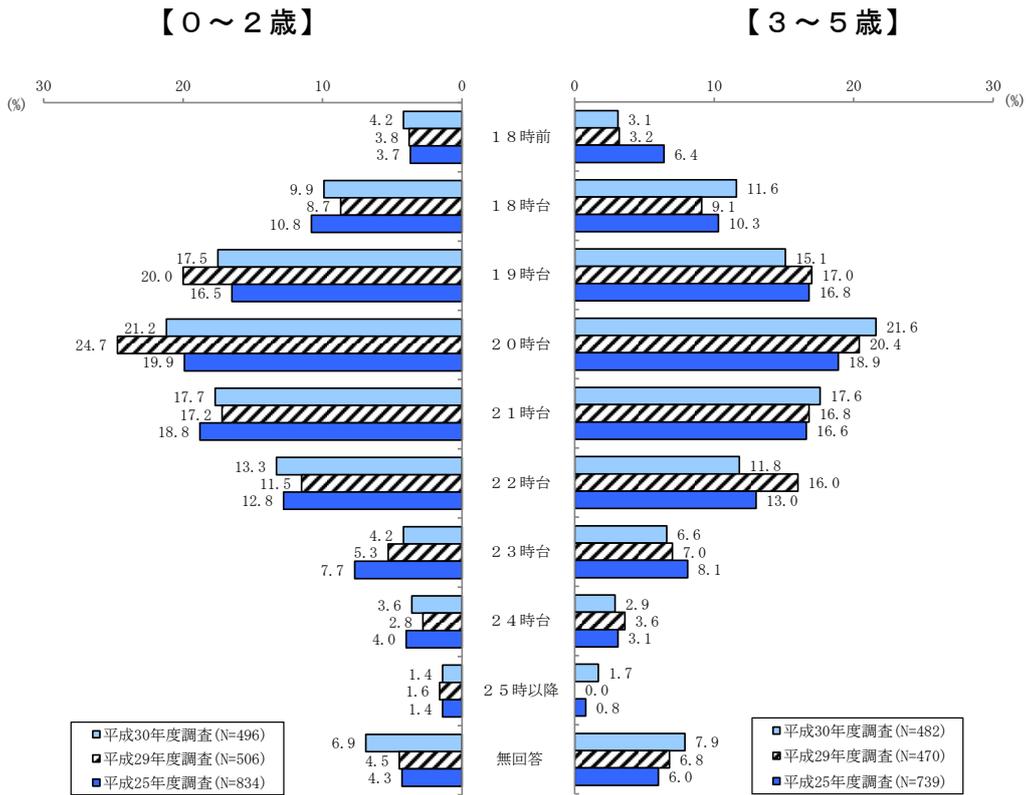


④家を出る時間と帰宅時間

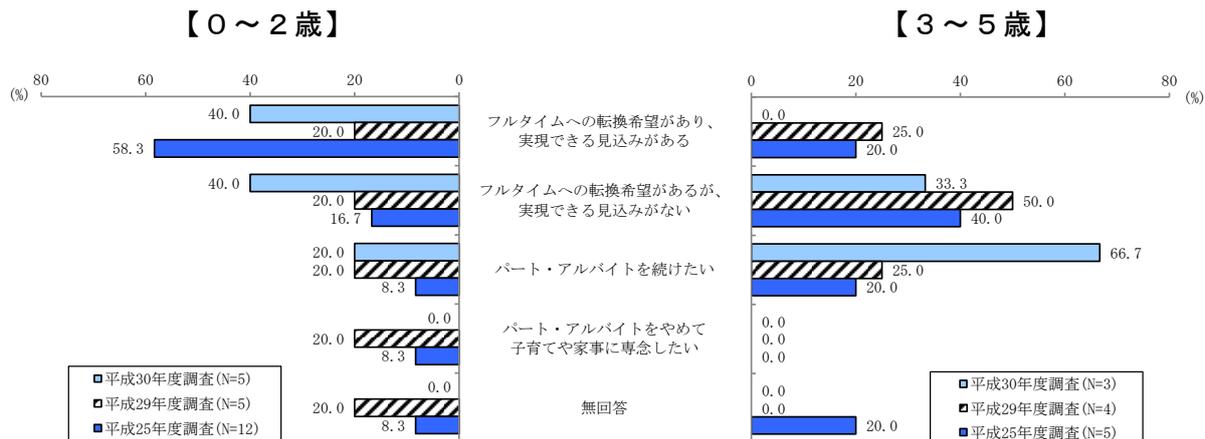
家を出る時間



帰宅時間



⑤ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望



⑥ (就労していない人) 就労希望の有無

「就労したい」が0～2歳は0件、3～5歳では1件、「就労したくない」が0～2歳は3件、3～5歳では0件となっています。

⑦ (就労したいと回答した人のみ) 希望の就労形態

「パート・アルバイト」が3～5歳で1件となっています。

⑧ (就労したいと回答した人のみ) 希望の就労時期

0～2歳、3～5歳ともに回答者無しとなっています。

⑨ (就労したいと回答した人のみ) 現在就労していない理由

0～2歳、3～5歳ともに回答者無しとなっています。

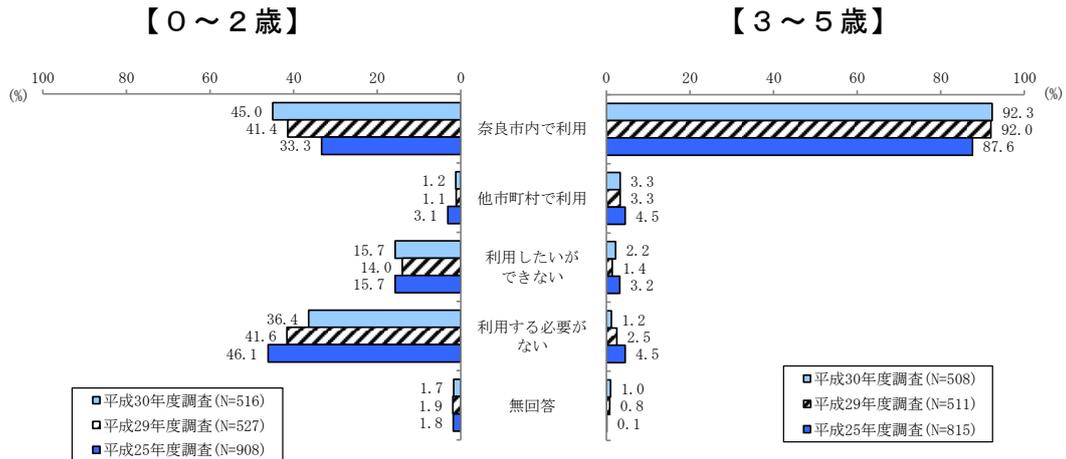
1-4. 平日の定期的な教育・保育事業について

問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(0～2歳：問7、3～5歳：問7)

0～2歳については、「奈良市内で利用」が45.0%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が36.4%、「利用したいができない」が15.7%となっています。

3～5歳については、「奈良市内で利用」が92.3%と最も高く、次いで「他市町村で利用」が3.3%、「利用したいができない」が2.2%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「奈良市内で利用」が増加しています。



問 現在「定期的な教育・保育事業」を利用している方（問7で「1」または「2」とお答えの方）にうかがいます。①現在平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。②今後利用したいものはどれですか。それぞれの欄に、あてはまる番号すべて○をつけてください。

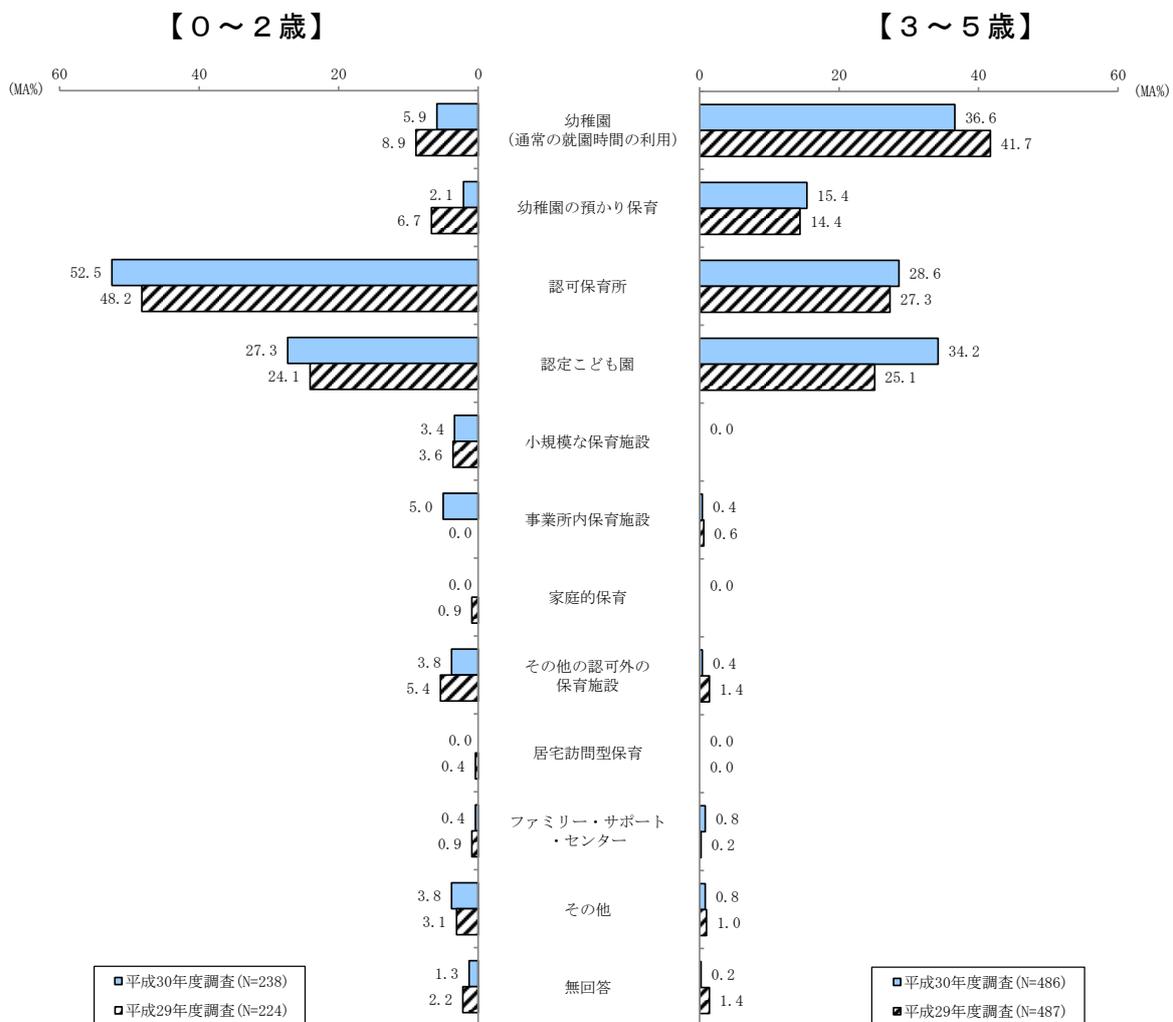
現在は「定期的な教育・保育事業」を利用していない方（問7で「3」または「4」とお答えの方）にうかがいます。②の覧のみ、定期的にご利用したいと考える事業の番号の欄にすべて○をつけてください。（0～2歳：問7-1、3～5歳：問7-1）

①現在利用している教育・保育事業

0～2歳については、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の許可を受けた定員20人以上のもの）」が52.5%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設）」が27.3%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）※概ね9時から14時」が5.9%となっています。

3～5歳については、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が36.6%と最も高く、次いで「認定こども園」が34.2%、「認可保育所」が28.6%となっています。

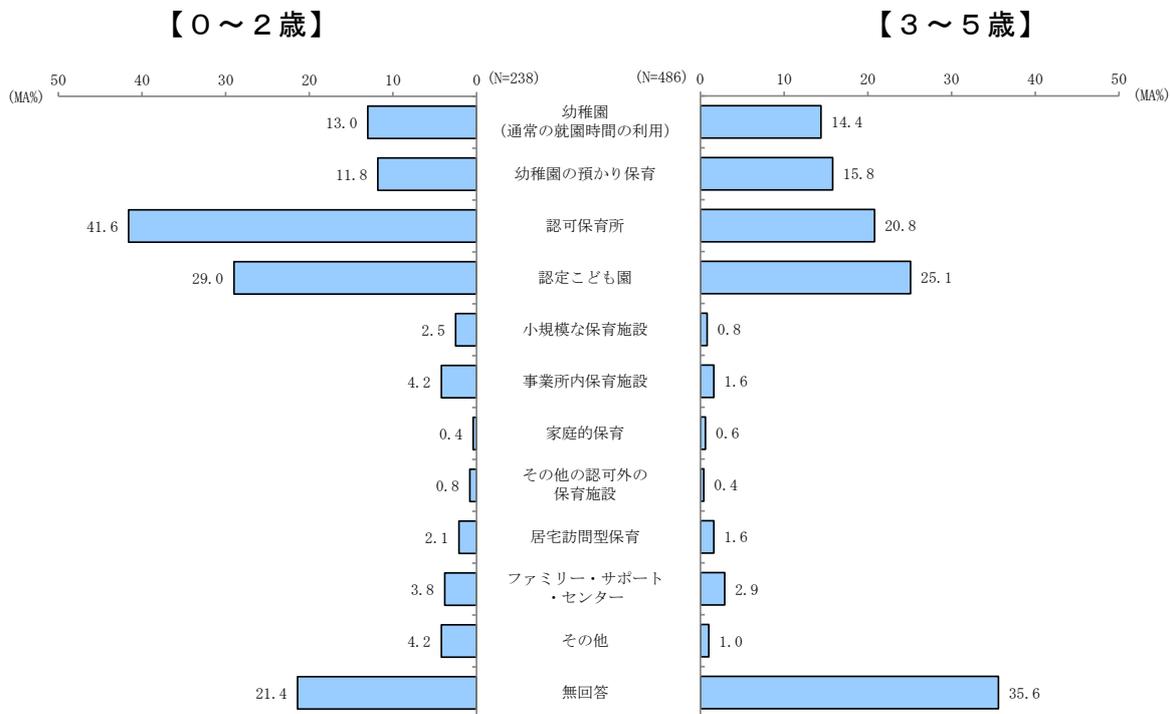
経年でみると、0～2歳では「認可保育所」、「認定こども園」、「事業所内保育施設」が増加しており、3～5歳では、「認定こども園」が増加しています。



②（現在利用している方）今後利用したい教育・保育事業

0～2歳については、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の許可を受けた定員20人以上のもの）」が41.6%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設）」が29.0%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）※概ね9時から14時」が13.0%となっています。

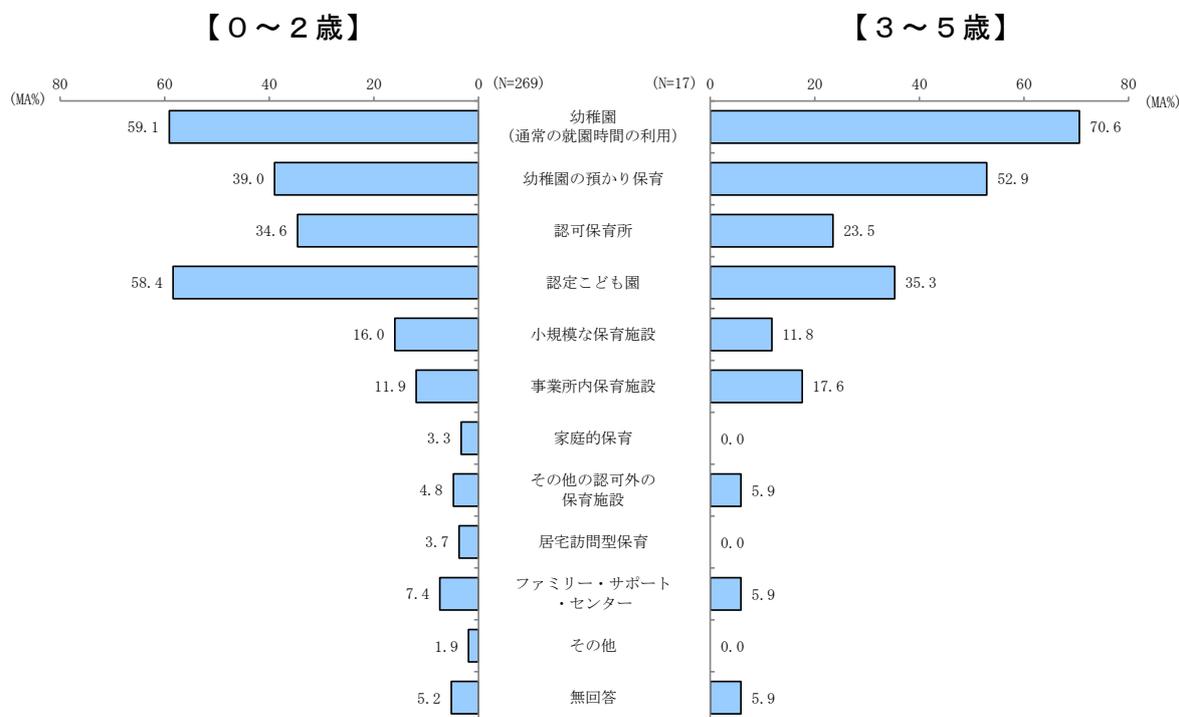
3～5歳については、「認定こども園」が25.1%と最も高く、次いで「認可保育所」が20.8%、「幼稚園の預かり保育」が15.8%となっています。



②（現在利用していない方）定期的に利用したいと考える教育・保育事業

0～2歳については、「幼稚園（通常の就園時間の利用）※概ね9時から14時」が59.1%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設）」が58.4%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的の利用のみ）」が39.0%となっています。

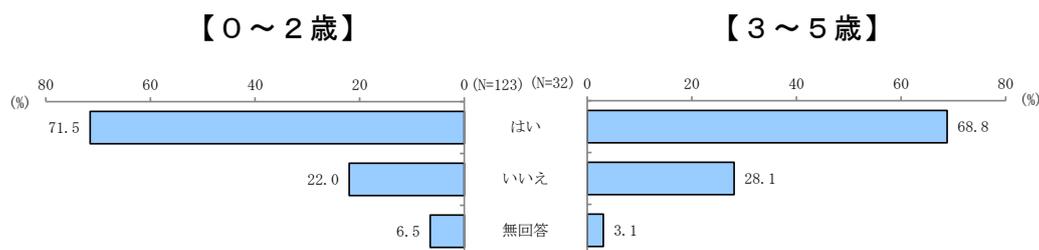
3～5歳については、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が70.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が52.9%、「認定こども園」が35.3%となっています。



問 前問の②希望の欄で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にうかがいます。
 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。（0～2歳：問7-2、3～5歳：問7-2）

0～2歳については、「はい」が71.5%と高くなっています。

3～5歳については、「はい」が68.8%と高くなっています。

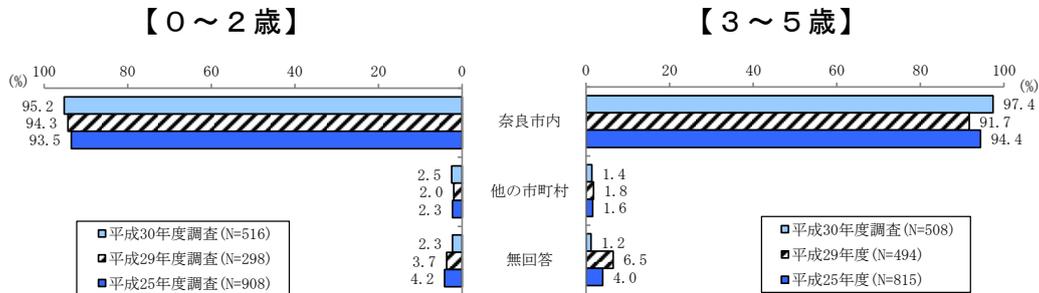


問 平日の教育・保育を利用したい場所について、いずれかに○をつけてください。(0～2歳：問7-3、3～5歳：問7-3)

0～2歳については、「奈良市内」が95.2%と高くなっています。

3～5歳については、「奈良市内」が97.4%と高くなっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「奈良市内」が増加傾向にあります。

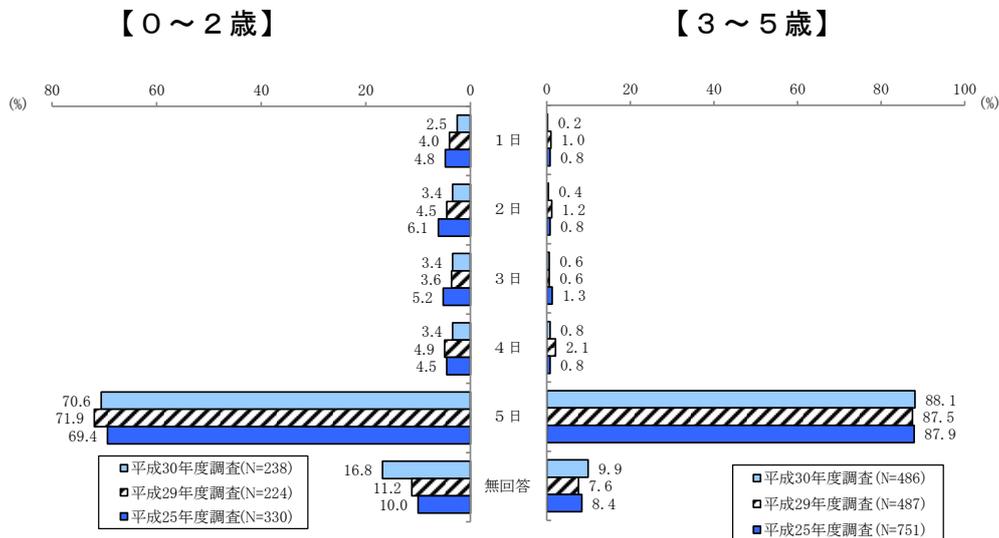


問 (1) 現在「定期的な教育・保育事業」を利用している方(問7で「1」または「2」とお答えの方) 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。

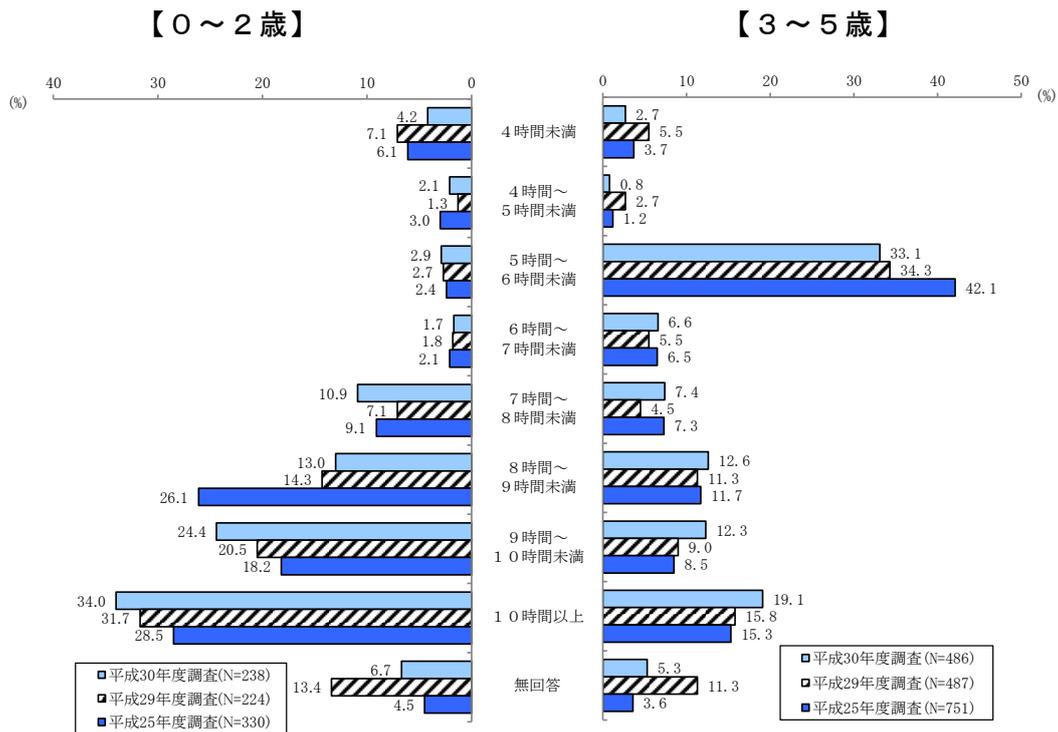
(2) すべての方 希望としてはどのくらい利用したいですか。(0～2歳：問7-4、3～5歳：問7-4)

(1) 現在の利用

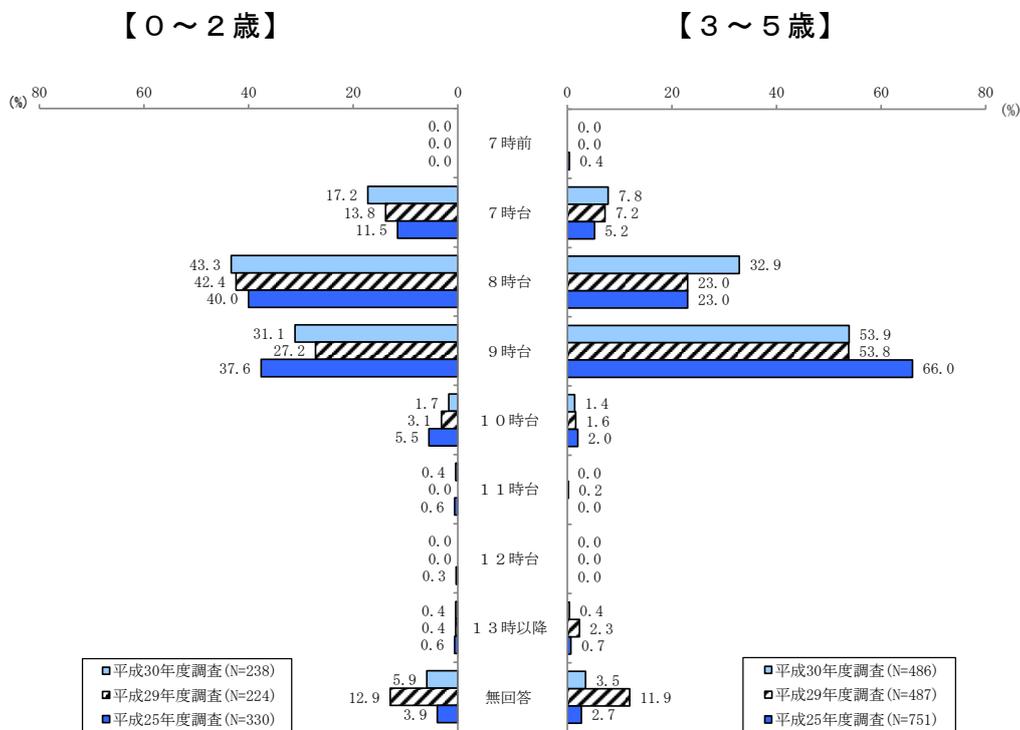
1週あたりの利用日数



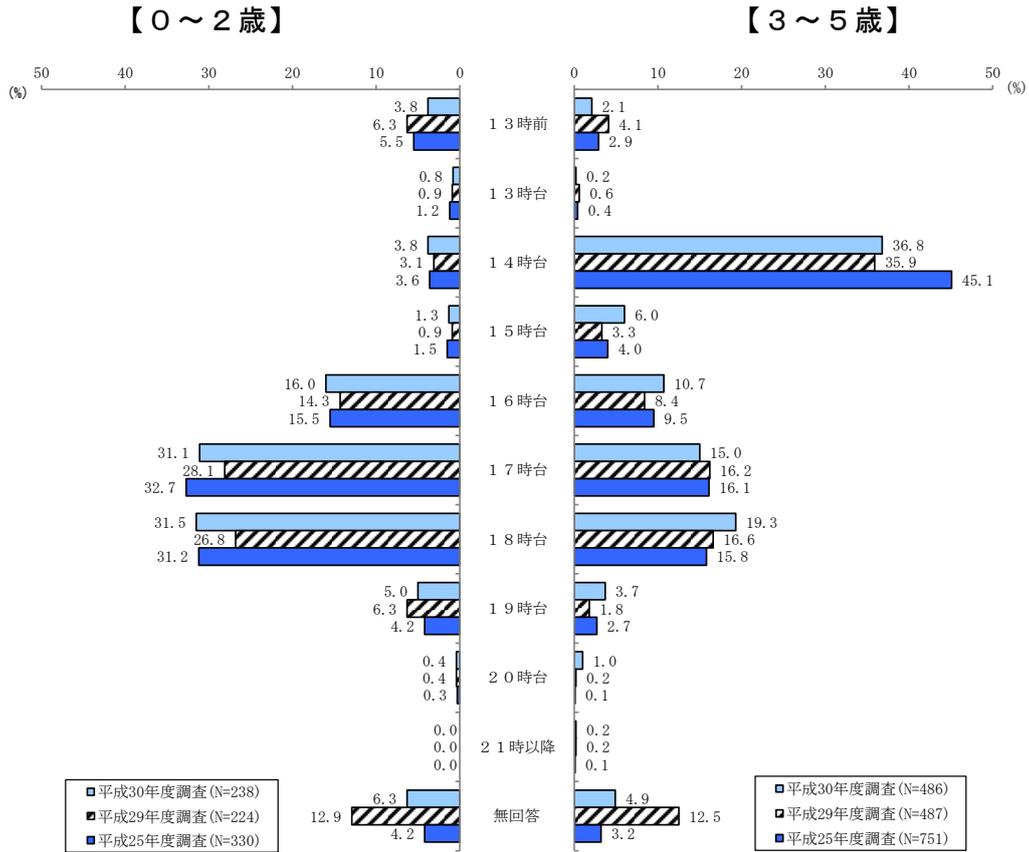
1日あたりの利用時間



利用開始時間

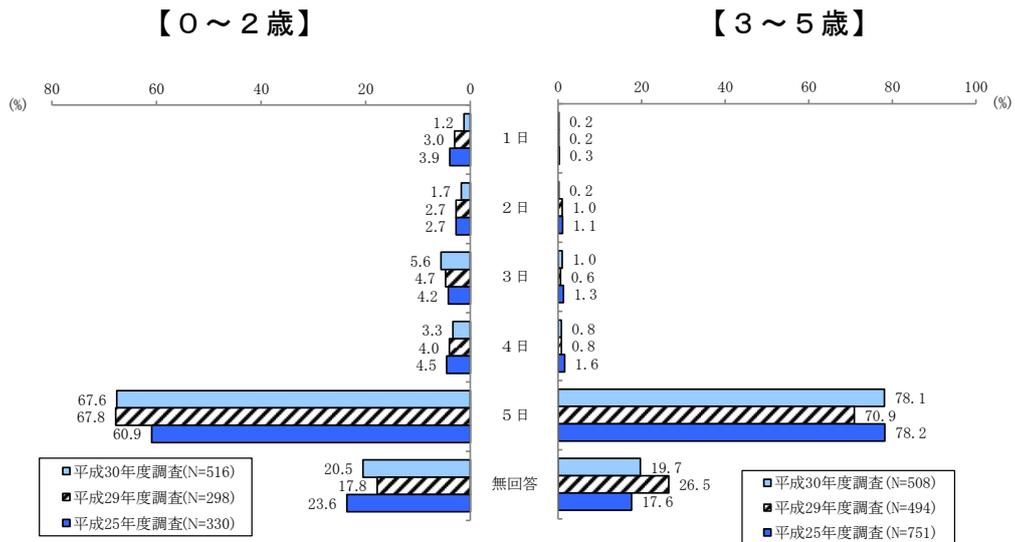


利用終了時間

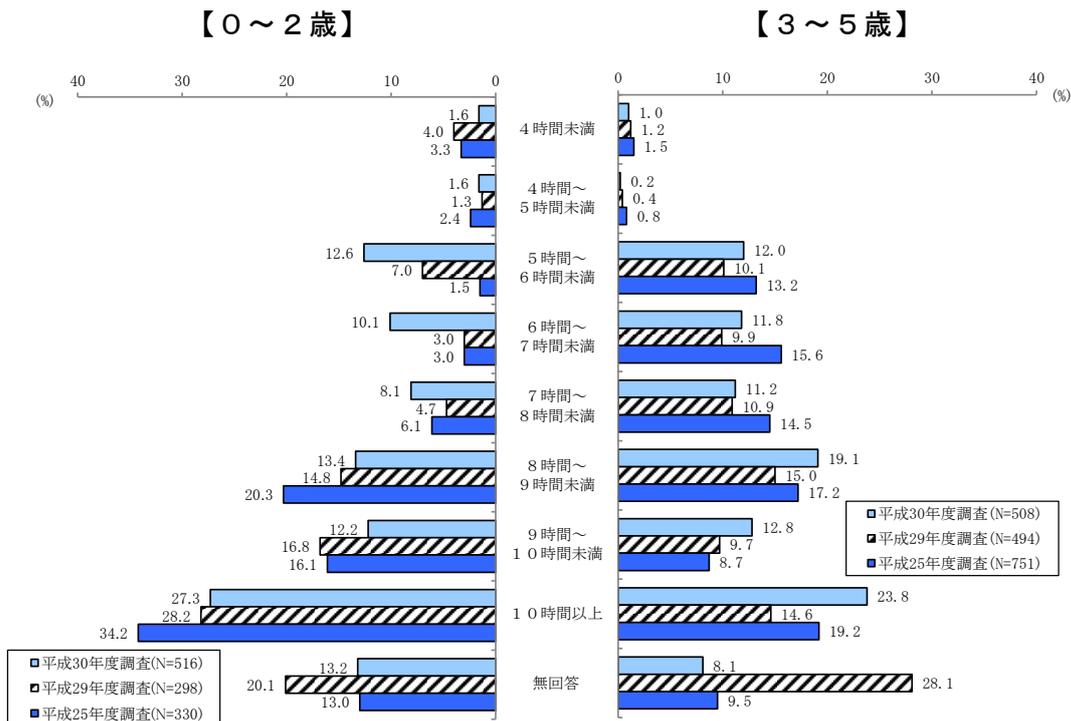


(2) 希望の利用

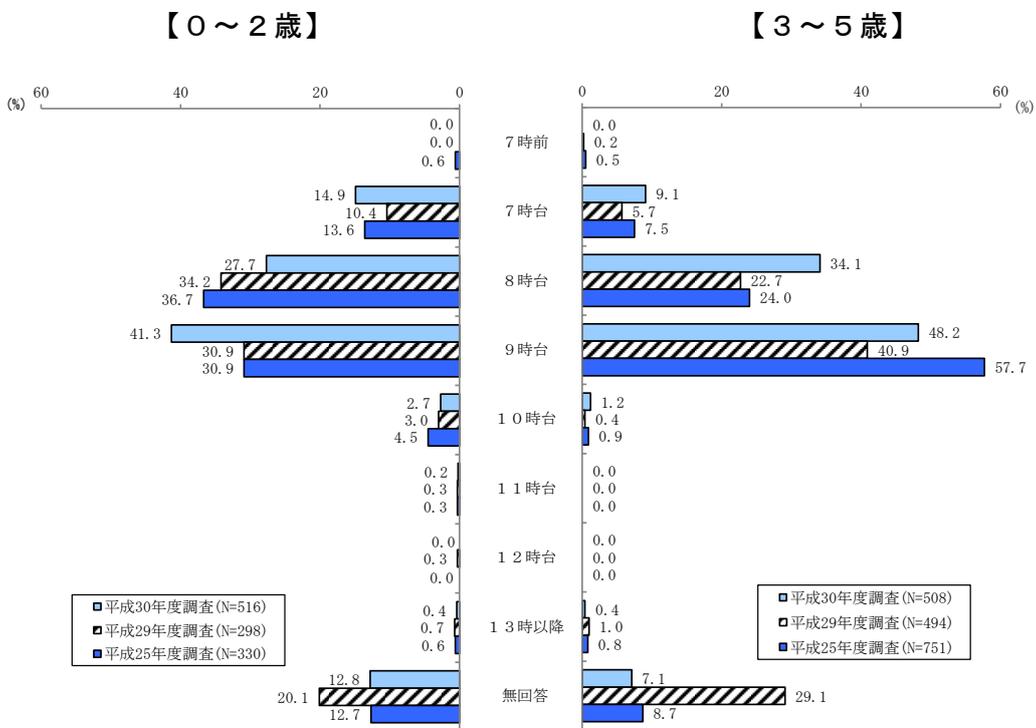
1週あたりの利用日数



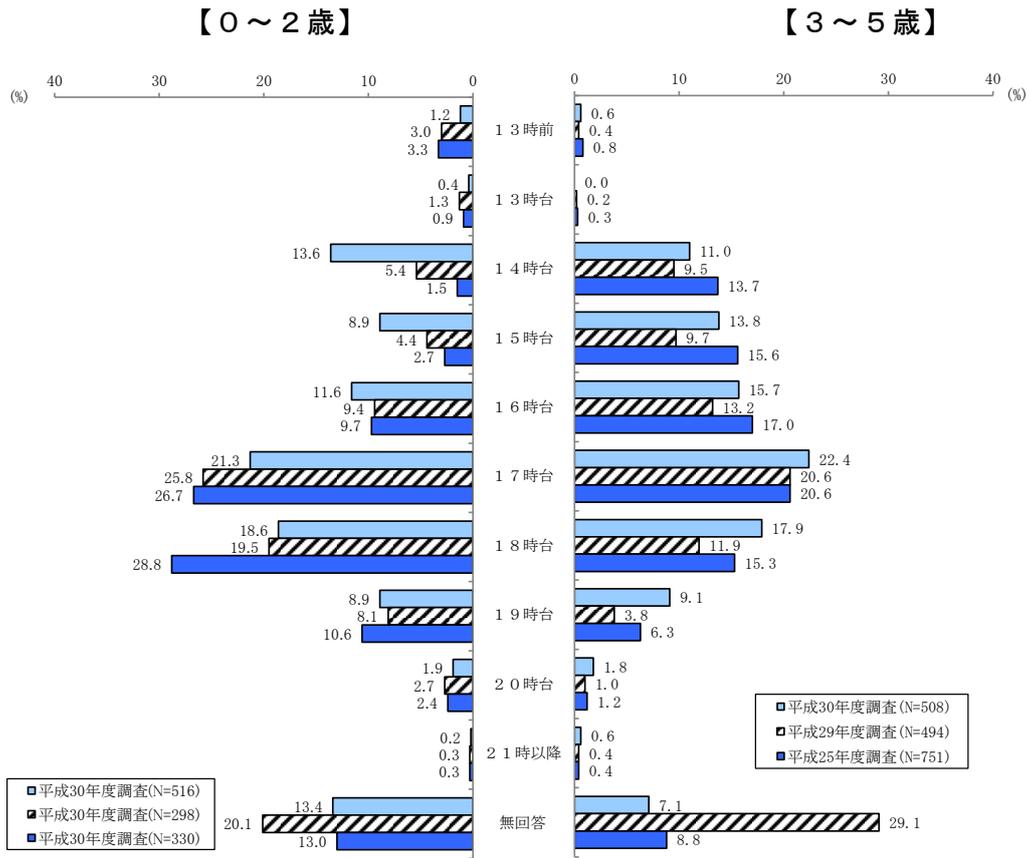
1日あたりの利用時間



利用開始時間



利用終了時間



問 現在「定期的な教育・保育事業」を利用している方（問7で「1」または「2」とお答えの方）

①現在利用している施設を選んだ理由についてあてはまる番号3つまで選んで○をつけてください。 ②今後新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、重視することについてあてはまる番号3つまで選んで○をつけてください。

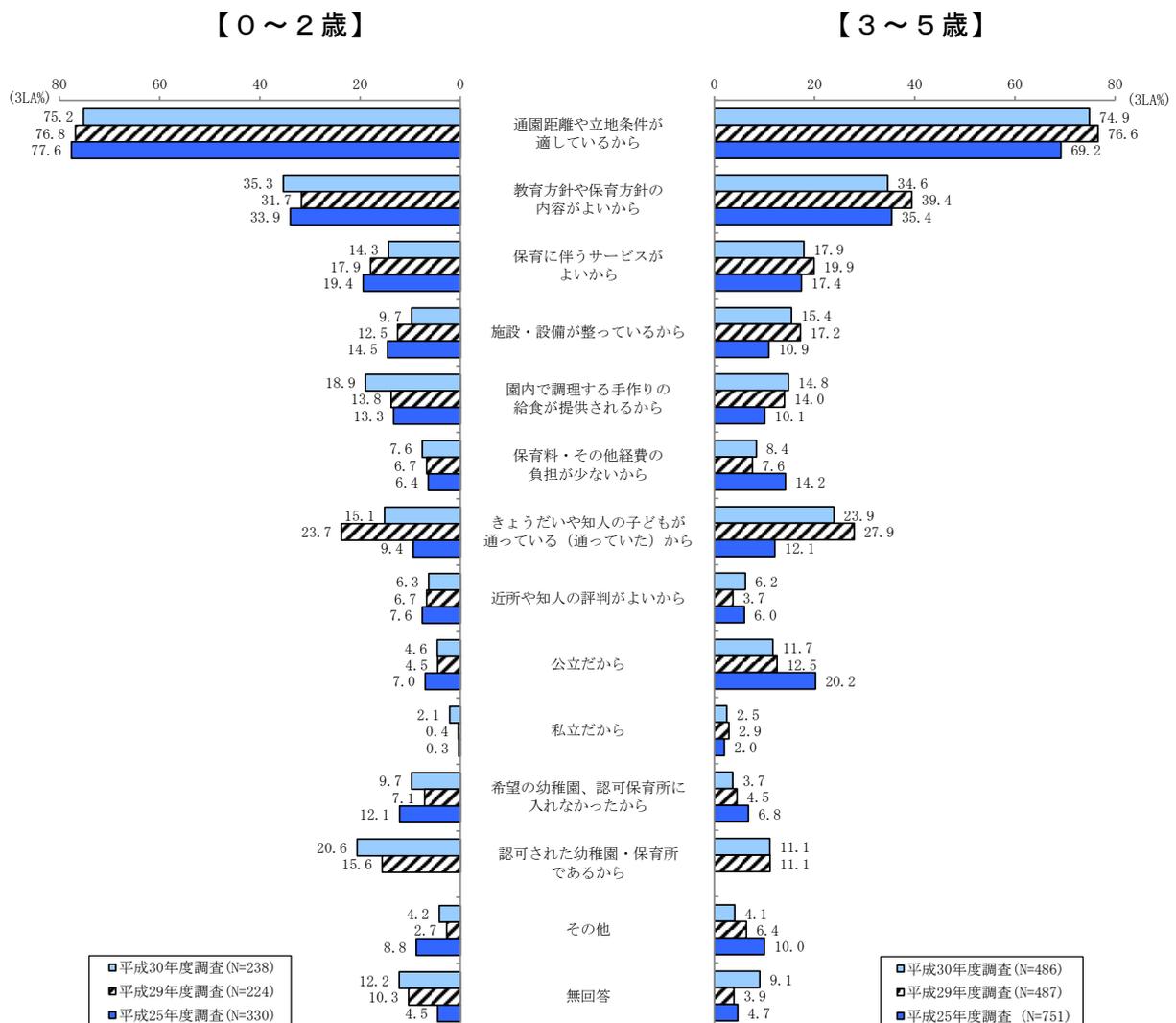
現在は「定期的な教育・保育事業」を利用していない方（問7で「3」または「4」とお答えの方） ②今後新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、重視することは何かあてはまる番号をそれぞれ3つまで選んで○をつけてください。（0～2歳：問7-5、3～5歳：問7-5）

①現在利用している施設を選んだ理由

0～2歳については、「通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）」が75.2%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容がよいから」が35.3%、「認可された幼稚園・保育所であるから」が20.6%となっています。

3～5歳については、「通園距離や立地条件が適しているから」が74.9%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容がよいから」が34.6%、「きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）から」が23.9%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）から」が増加傾向にあります。また、0～2歳では「園内で調理する手作りの給食が提供されるから」も増加し、3～5歳では「公立だから」が減少しています。

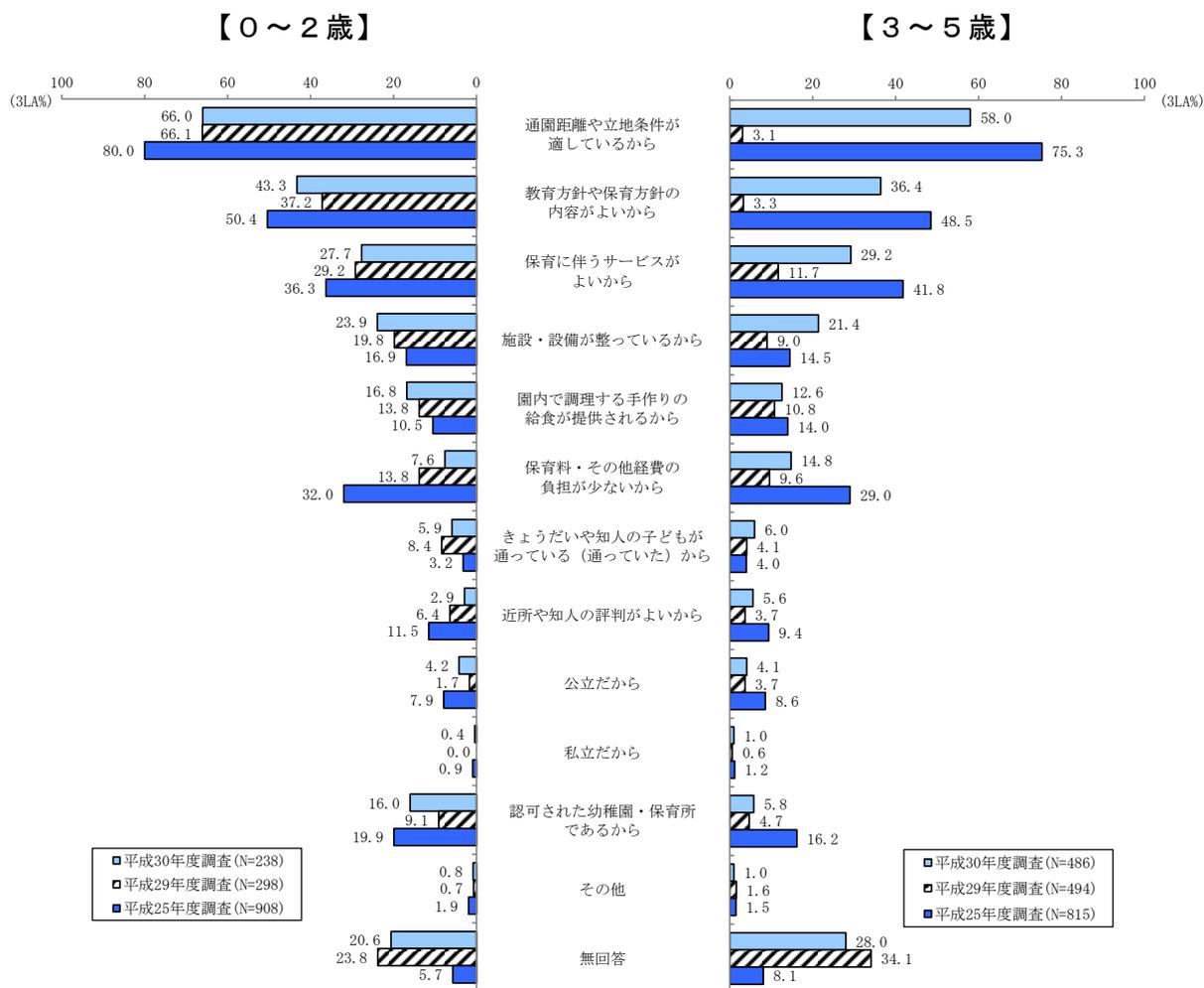


※平成25年度調査には「認可された幼稚園・保育所であるから」の選択肢はありません。

②（現在利用している方）今後選ぶときに重視すること

0～2歳については、「通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）」が66.0%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容がよいから」が43.3%、「保育に伴うサービスがよいから（預かり時間・バス送迎・課外教室等）」が27.7%となっています。

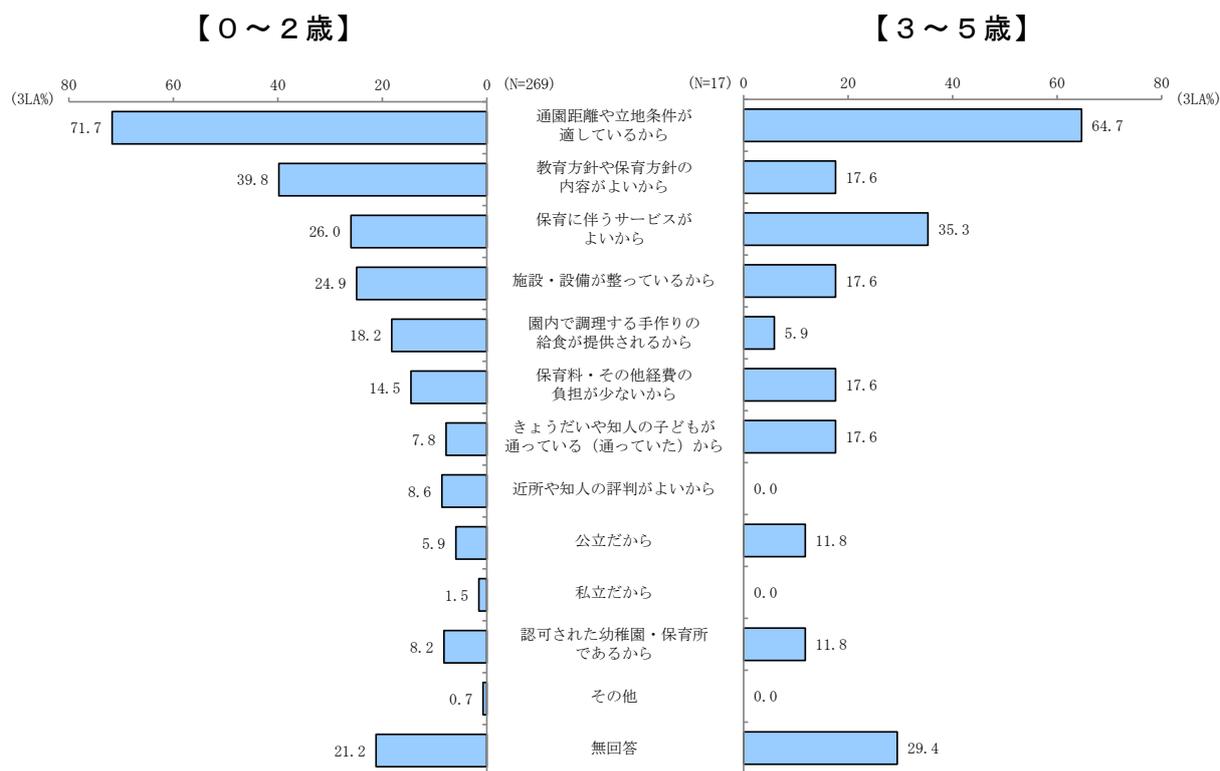
3～5歳については、「通園距離や立地条件が適しているから」が58.0%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容がよいから」が36.4%、「保育に伴うサービスがよいから」が29.2%となっています。



②（現在利用をしていない方）今後選ぶときに重視すること

0～2歳については、「通園距離や立地条件が適しているから（自宅・職場に近い、通勤経路にある等）」が71.7%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容がよいから」が39.8%、「保育に伴うサービスがよいから（預かり時間・バス送迎・課外教室等）」が26.0%となっています。

3～5歳については、「通園距離や立地条件が適しているから」が64.7%と最も高く、次いで「保育に伴うサービスがよいから」が35.3%、「教育方針や保育方針の内容がよいから」、「施設・設備が整っているから」、「保育料・その他経費の負担が少ないから」、「きょうだいや知人の子どもが通っている（通っていた）から」がそれぞれ17.6%となっています。

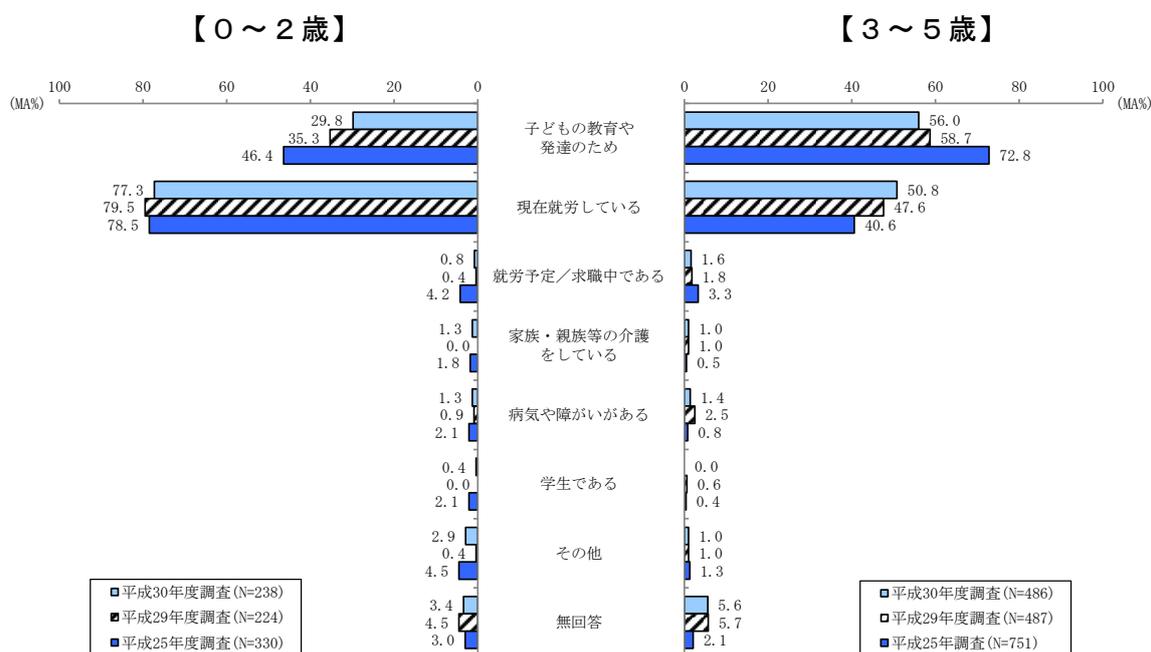


問 現在「定期的な教育・保育事業」を利用している方（問7で「1」または「2」とお答えの方）
平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についてうかがいます。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（0～2歳：問7-6、3～5歳：問7-6）

0～2歳については、「現在就労している」が77.3%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が29.8%、「家族・親族等の介護をしている」、「病気や障がいがある」がそれぞれ1.3%となっています。

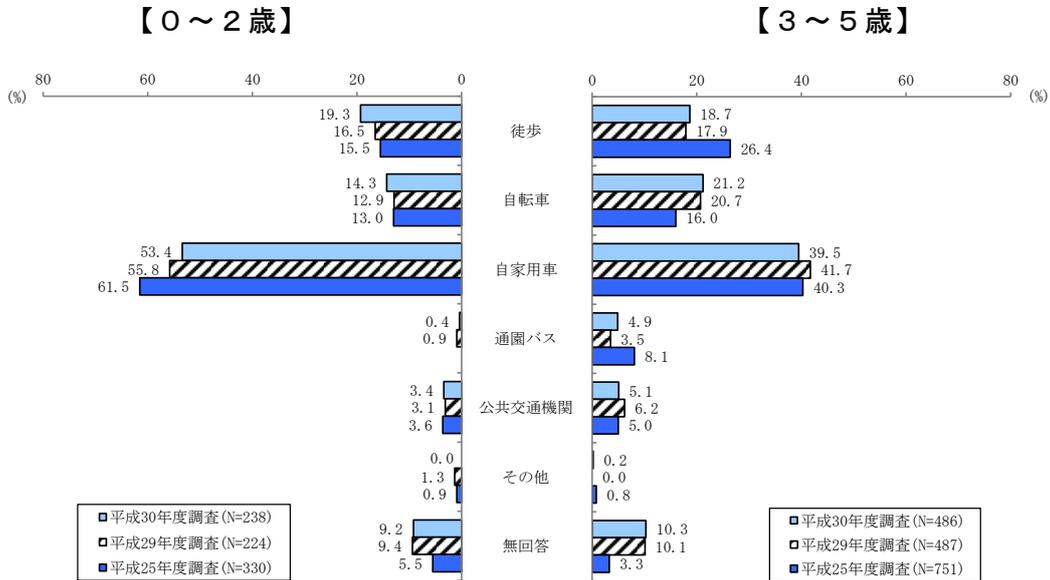
3～5歳については、「子どもの教育や発達のため」が56.0%と最も高く、次いで「現在就労している」が50.8%、「就労予定／求職中である」が1.6%となっています。

経年で見ると、0～2歳、3～5歳ともに「子どもの教育や発達のため」が減少しており、0～2歳では「現在就労している」が割合は高いものの減少傾向にあり、3～5歳では増加しています。



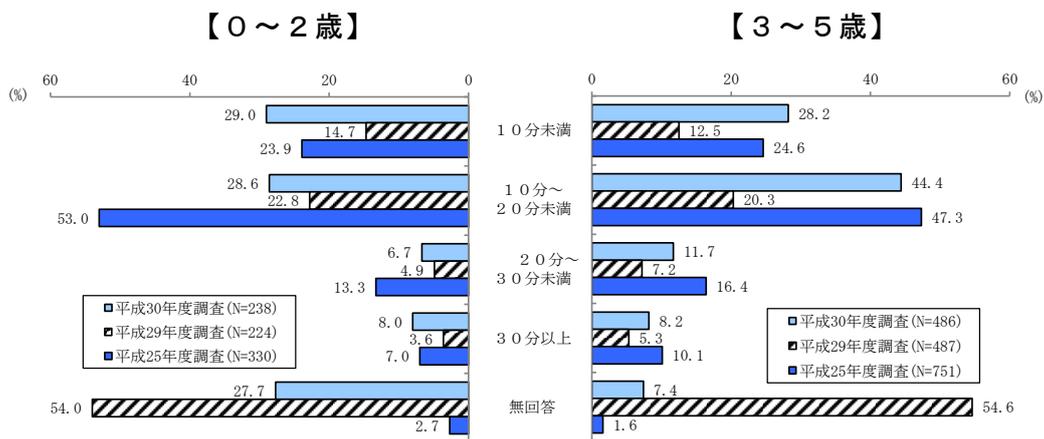
問 現在「定期的な教育・保育事業」を利用している方（問7で「1」または「2」とお答えの方）
 現在、利用している施設へ通園するための主な手段と所要時間についてうかがいます。あて
 はまる番号1つに○をつけ、片道の通園所要時間を記入してください。（0～2歳：問7-
 7、3～5歳：問7-7）

①現在の通園手段



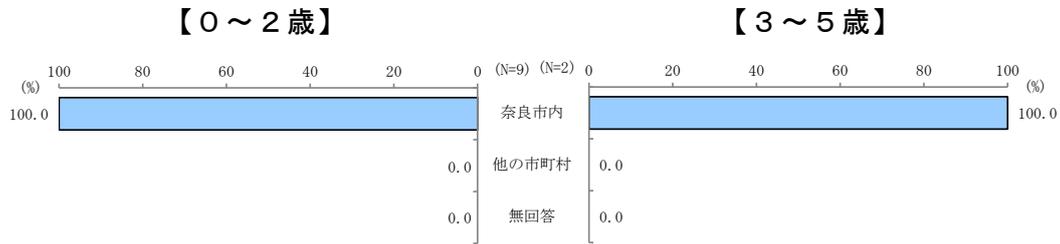
※0～2歳の平成25年度調査には「通園バス」の選択肢はありません。
 ※平成25年度調査では「公共交通機関」は「路線バス」「電車」となっています。

②現在の通園所要時間

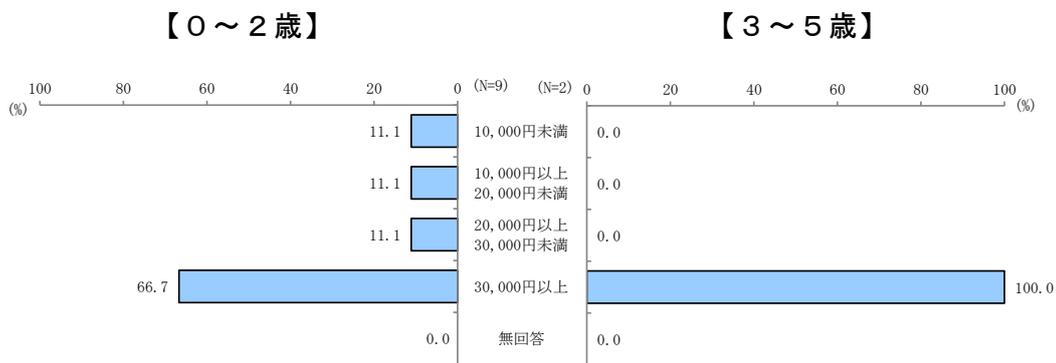


問 問 7-1 で現在の利用欄で「8. その他の認可外の保育施設」に○をつけた方にうかがいます。
 現在利用している認可外の保育施設についてお答えください。(0～2歳：問7-8、3～5歳：問7-8)

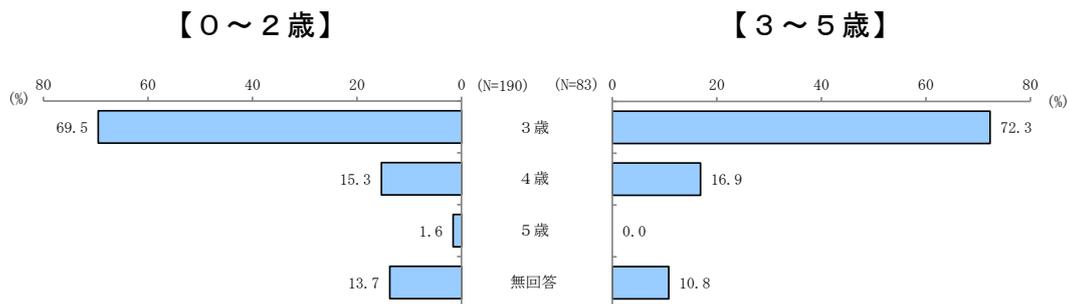
(1) 利用している施設がある場所



(2) 1ヶ月の保育料



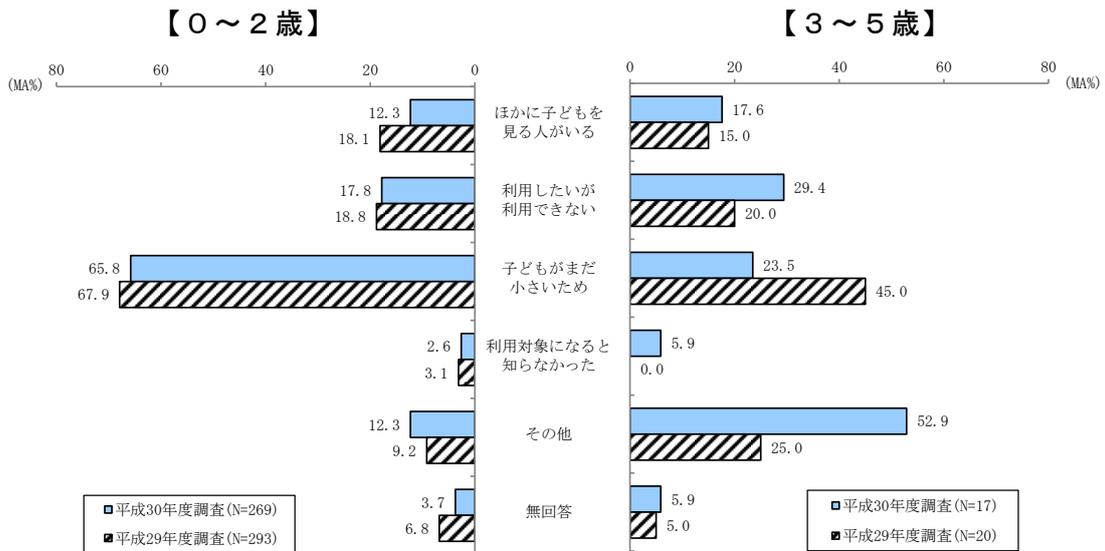
問 問 7-1 で希望の欄で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さん何歳になったら利用したい（もしくはしたかった）ですか。(0～2歳：問7-9、3～5歳：問7-9)



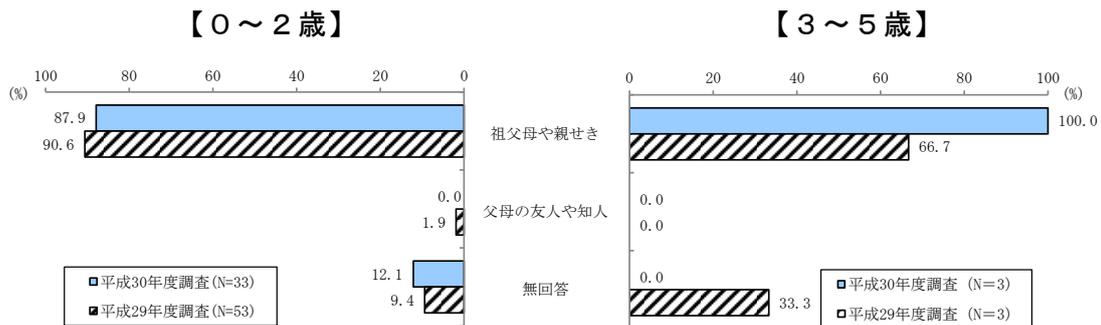
問 現在は「定期的な教育・保育事業1」を利用していない方（問7で「3」または「4」とお答えの方） 利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。3に○をつけた方は、何歳になったら利用したいか（ ）に記入してください。（0～2歳：問7-10、3～5歳：問7-10）

0～2歳については、「子どもがまだ小さいため」が65.8%と最も高く、次いで「利用したいが利用できない」が17.8%、「ほかに子どもを見る人がいる」が12.3%となっています。

3～5歳については、「その他」が52.9%と最も高く、次いで「利用したいが利用できない」が29.4%、「子どもがまだ小さいため」が23.5%となっています。



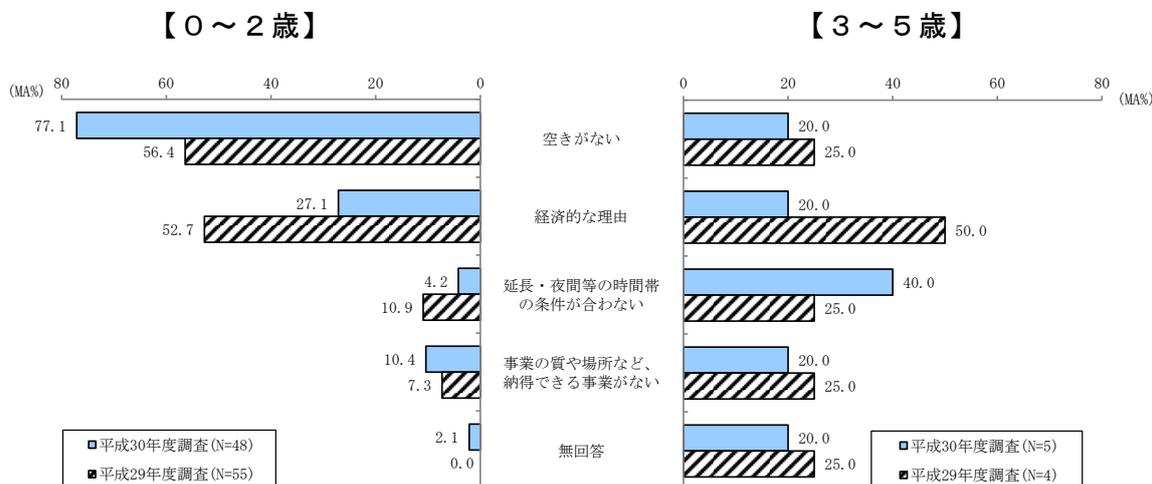
ほかに子どもを見る人がいる



利用したいができない理由

0～2歳については、「空気がない」が77.1%と最も高く、次いで「経済的な理由」が27.1%、「事業の質や場所など、納得できる事業がない」が10.4%となっています。

3～5歳については、「延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」が40.0%と最も高く、次いで「空気がない」、「経済的な理由」、「事業の質や場所など、納得できる事業がない」がそれぞれ20.0%となっています。

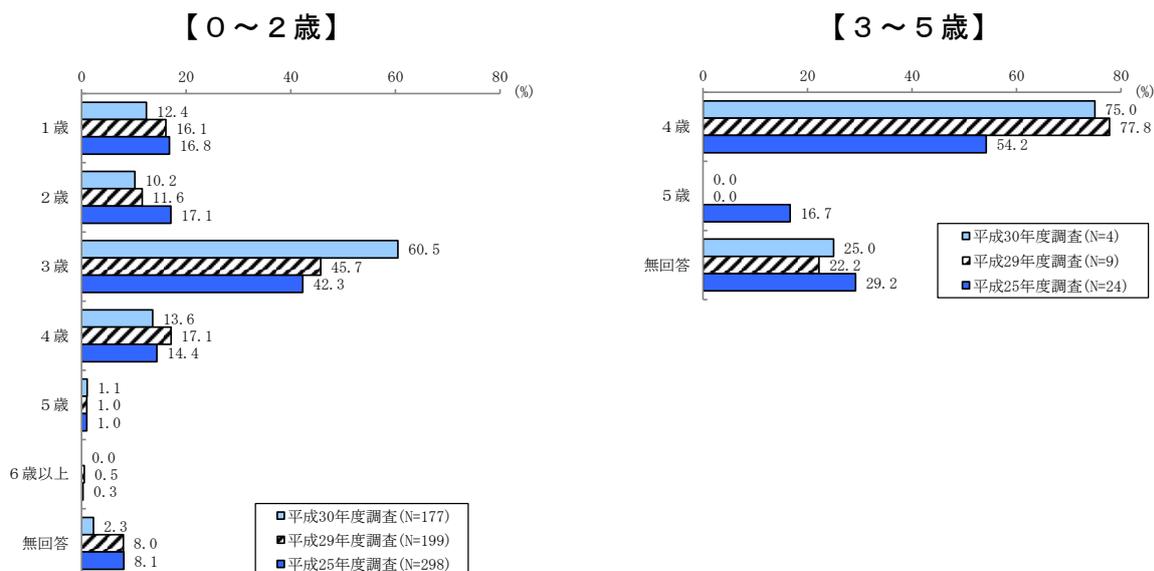


（「子どもがまだ小さいため」と回答した方）子どもが何歳になったら利用したいか

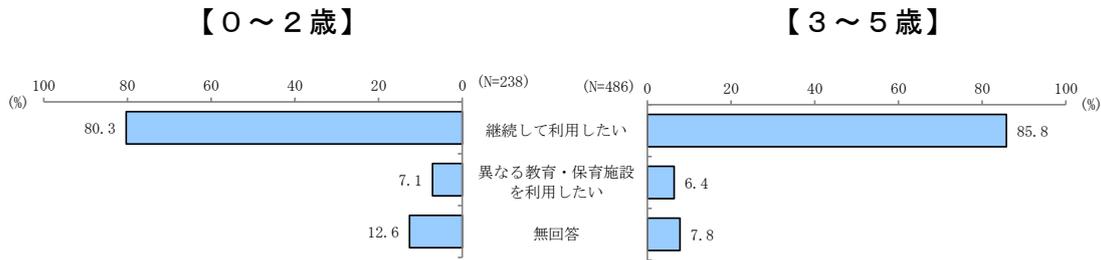
0～2歳については、「3歳」が60.5%と最も高く、次いで「4歳」が13.6%、「1歳」が12.4%となっています。

3～5歳については、「4歳」が3件となっています。

経年でみると、0～2歳では「3歳」が増加しています。3～5歳では有効回答者数が少ないため参考とします。



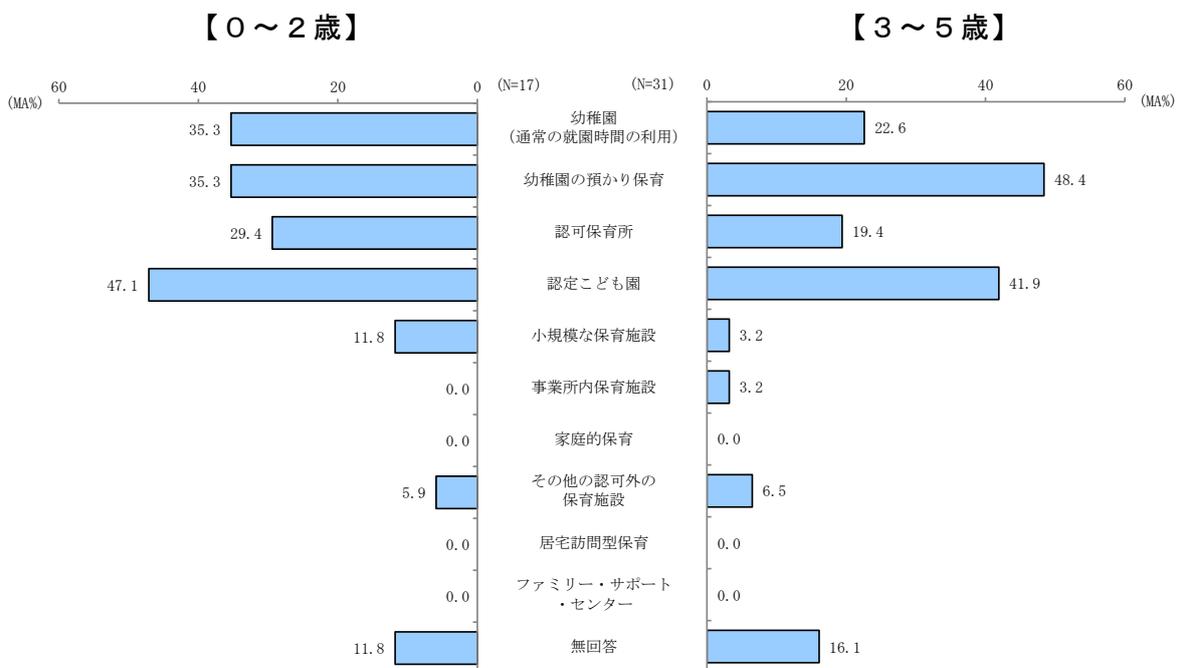
問 現在「定期的な教育・保育事業」を利用している方（問7で「1」または「2」とお答えの方）
幼児教育の無償化が実施された場合に、現在の利用を継続して利用したいですか。または
変更したいですか。（0～2歳：問7-11、3～5歳：問7-11）



問 前問で「2.異なる教育・保育施設を利用したい」とお答えの方にうかがいます。
幼児教育の無償化が実施された場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。下の表より
あてはまる番号をすべて記入してください。表にない場合は施設・事業名を記入してください。（0～2歳：問7-12、3～5歳：問7-12）

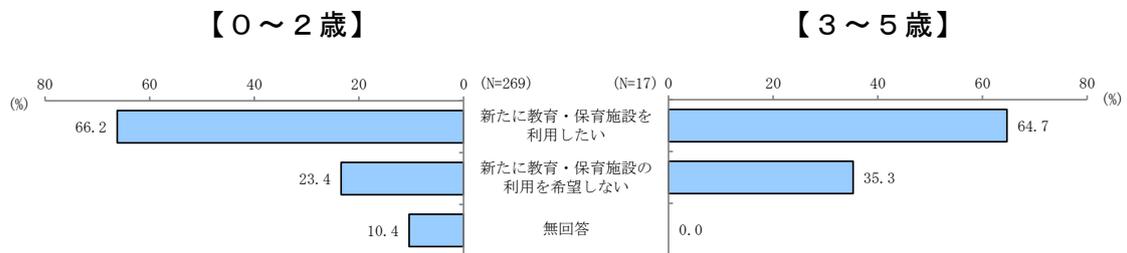
0～2歳については、「認定こども園（幼稚園と保育所の機能をもつ施設）」が47.1%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）※概ね9時から14時」、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」がそれぞれ35.3%となっています。

3～5歳については、「幼稚園の預かり保育」が48.4%と最も高く、次いで「認定こども園」が41.9%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が22.6%となっています。



問 現在は「定期的な教育・保育事業」を利用していない方（問7で「3」または「4」とお答えの方） 幼児教育の無償化が実施された場合に、新たに教育・保育施設の利用を希望しますか。（0～2歳：問7-13、3～5歳：問7-13）

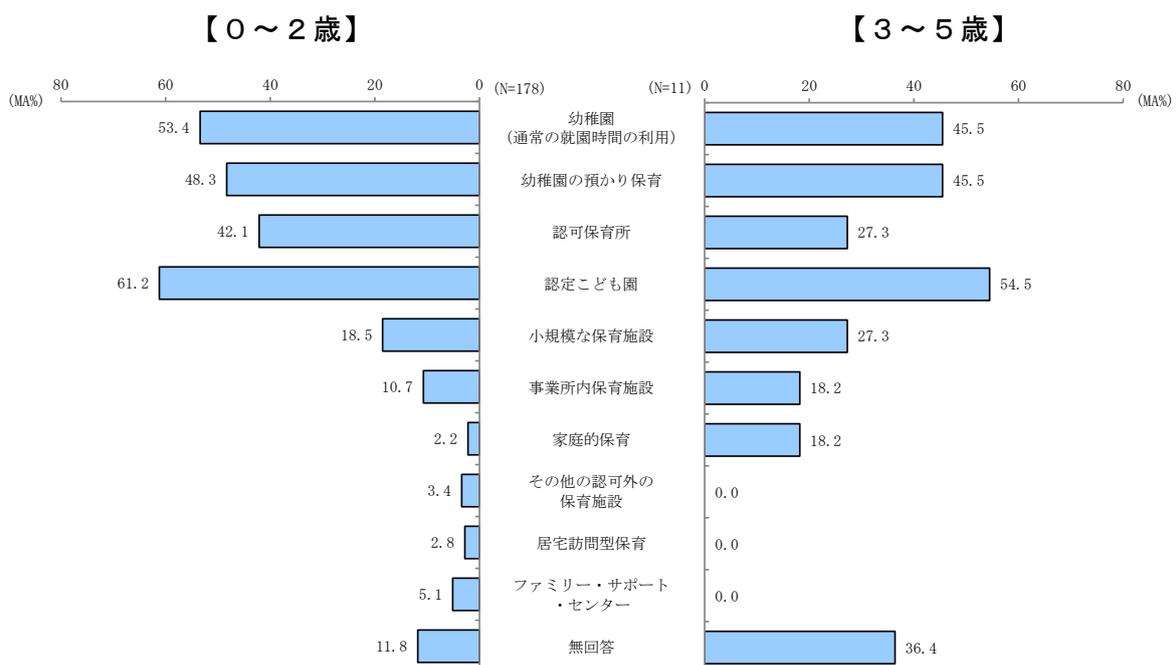
0～2歳については、「新たに教育・保育施設を利用したい」が66.2%と高くなっています。
3～5歳については、「新たに教育・保育施設を利用したい」が64.7%と高くなっています。



問 前問で「1. 新たに教育・保育施設を利用したい」とお答えの方にうかがいます。 幼児教育の無償化が実施された場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。下の表からあてはまる番号すべてに○をつけてください。表にない場合は施設・事業名を記入してください。（0～2歳：問7-14、3～5歳：問7-14）

0～2歳については、「認定子ども園（幼稚園と保育所の機能をもつ施設）」が61.2%と最も高く、次いで「幼稚園（通常就園時間の利用）※概ね9時から14時」が53.4%、「幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が48.3%となっています。

3～5歳については、「認定子ども園」が54.5%と最も高く、次いで「幼稚園（通常就園時間の利用）」、「幼稚園の預かり保育」がそれぞれ45.5%、「認可保育所」、「小規模な保育施設」がそれぞれ27.3%となっています。

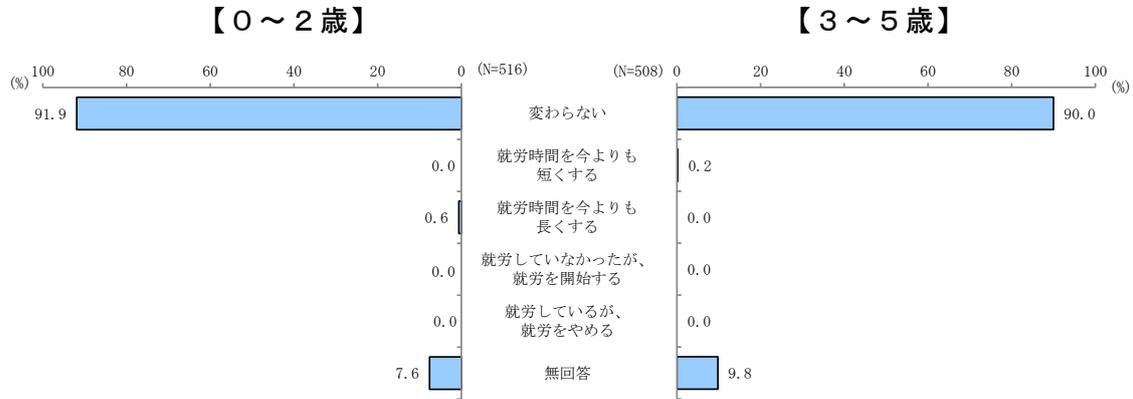


問 幼児教育の無償化が実施された場合に、あて名のお子さんの保護者の方の現在の就労状況は変わりますか。あてはまる番号の欄にそれぞれ○をつけてください。(0～2歳：問7-15、3～5歳：問7-15)

【父親】

0～2歳については、「変わらない」が91.9%と最も高くなっています。

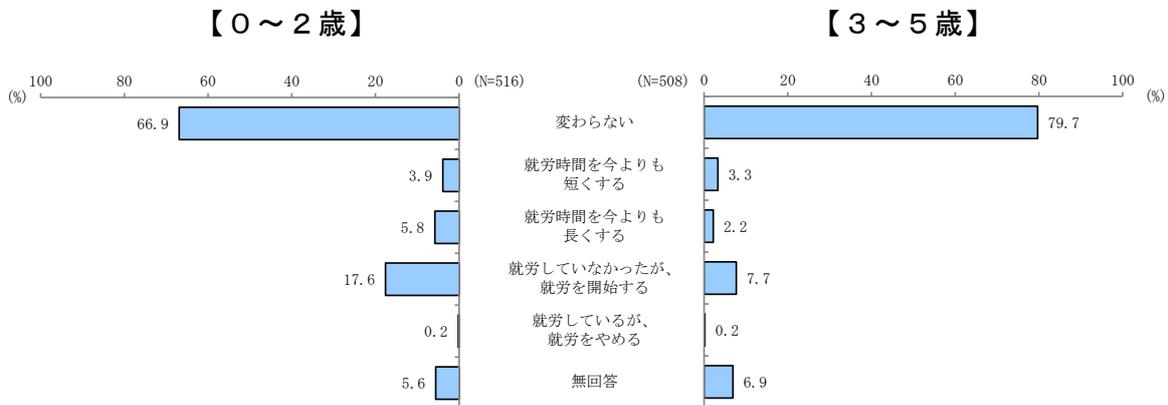
3～5歳については、「変わらない」が90.0%と最も高くなっています。



【母親】

0～2歳については、「変わらない」が66.9%と最も高く、次いで「就労していなかったが、就労を開始する」が17.6%となっています。

3～5歳については、「変わらない」が79.7%と最も高く、次いで「就労していなかったが、就労を開始する」が7.7%となっています。



1-5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

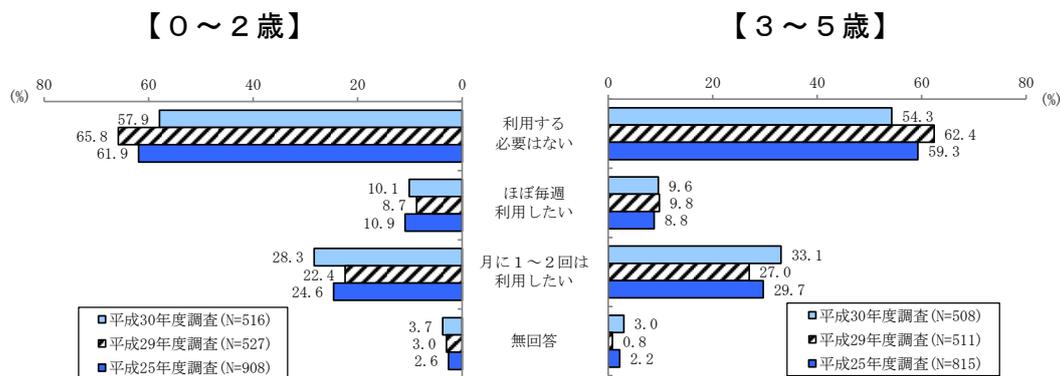
問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯 24 時間制でご記入ください。（0～2 歳：問 8、3～5 歳：問 8）

(1) 土曜日

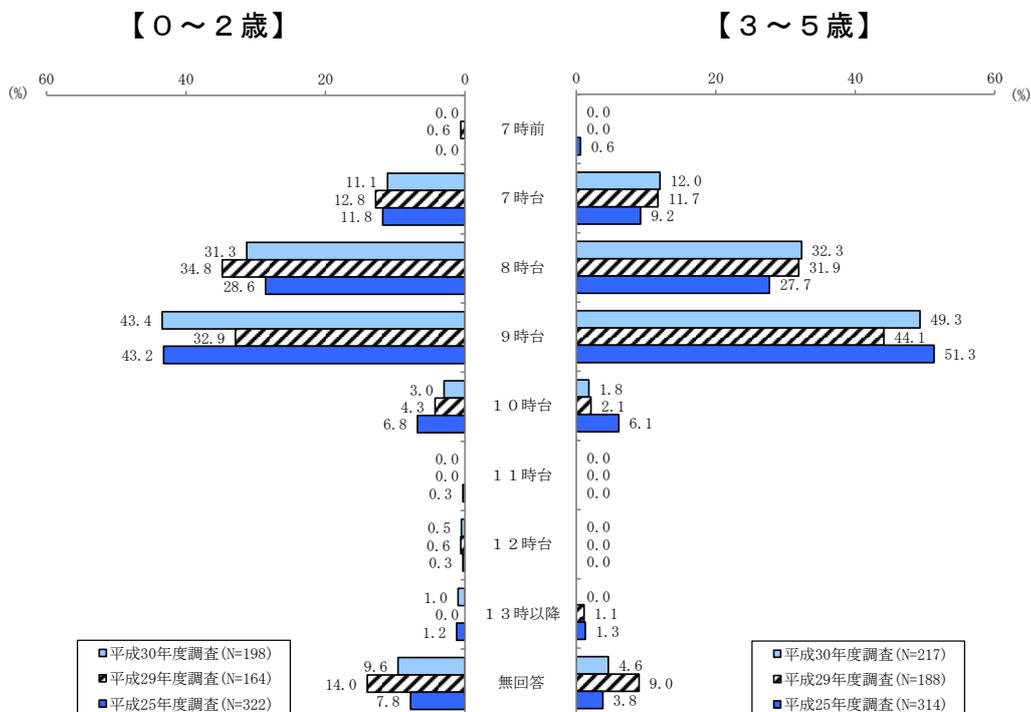
0～2 歳については、「利用する必要はない」が 57.9%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 28.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 10.1%となっています。

3～5 歳については、「利用する必要はない」が 54.3%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 33.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 9.6%となっています。

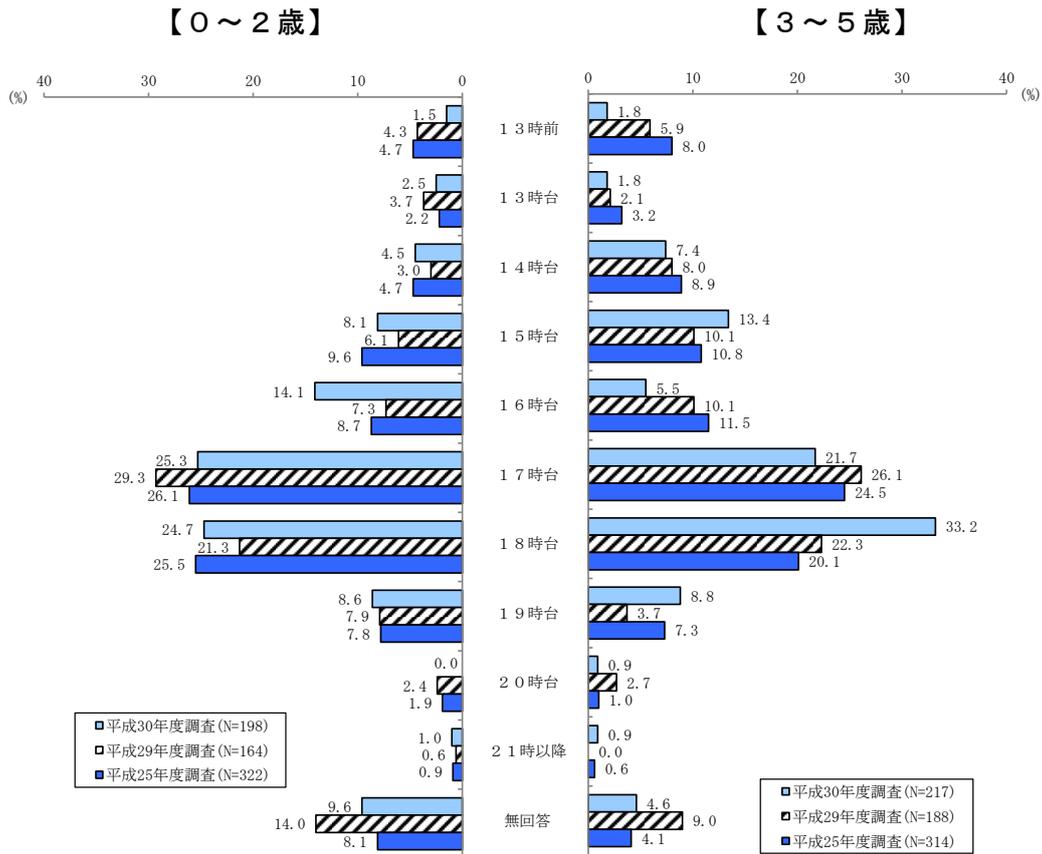
経年でみると、0～2 歳、3～5 歳ともに「月に 1～2 回は利用したい」が増加しています。



利用開始時間



利用終了時間

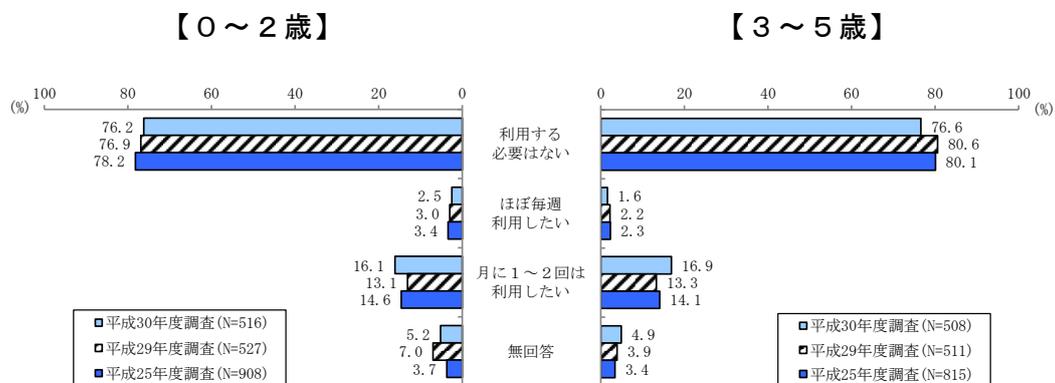


(2) 日曜・祝日

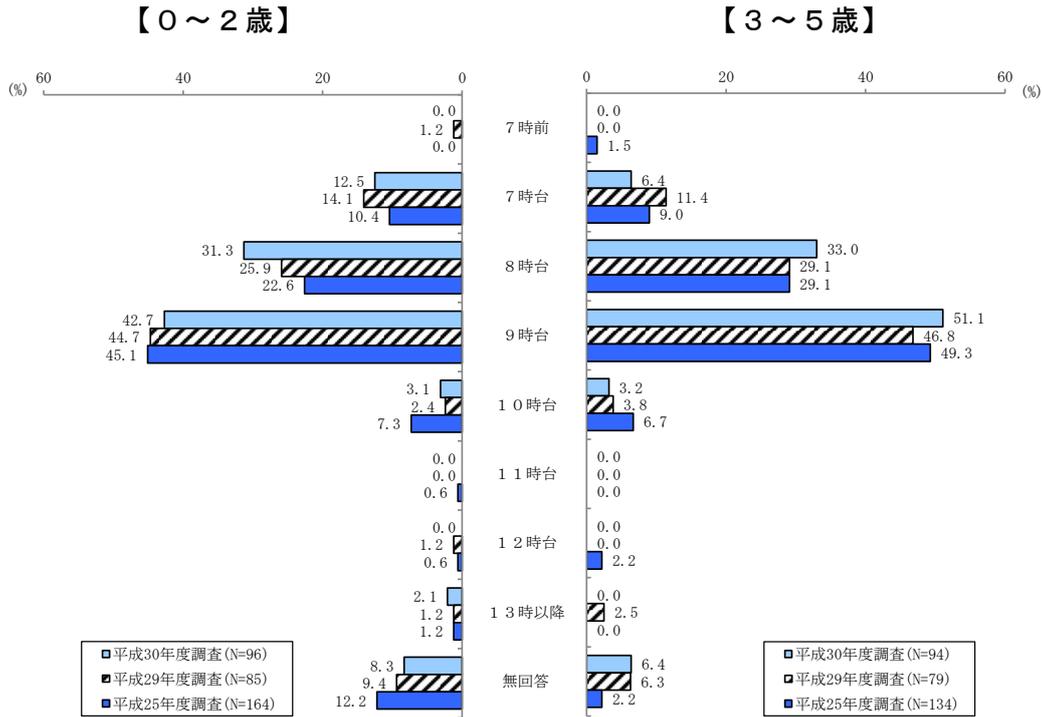
0～2歳については、「利用する必要はない」が76.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が16.1%、「ほぼ毎週利用したい」が2.5%となっています。

3～5歳については、「利用する必要はない」が76.6%と最も高く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が16.9%、「ほぼ毎週利用したい」が1.6%となっています。

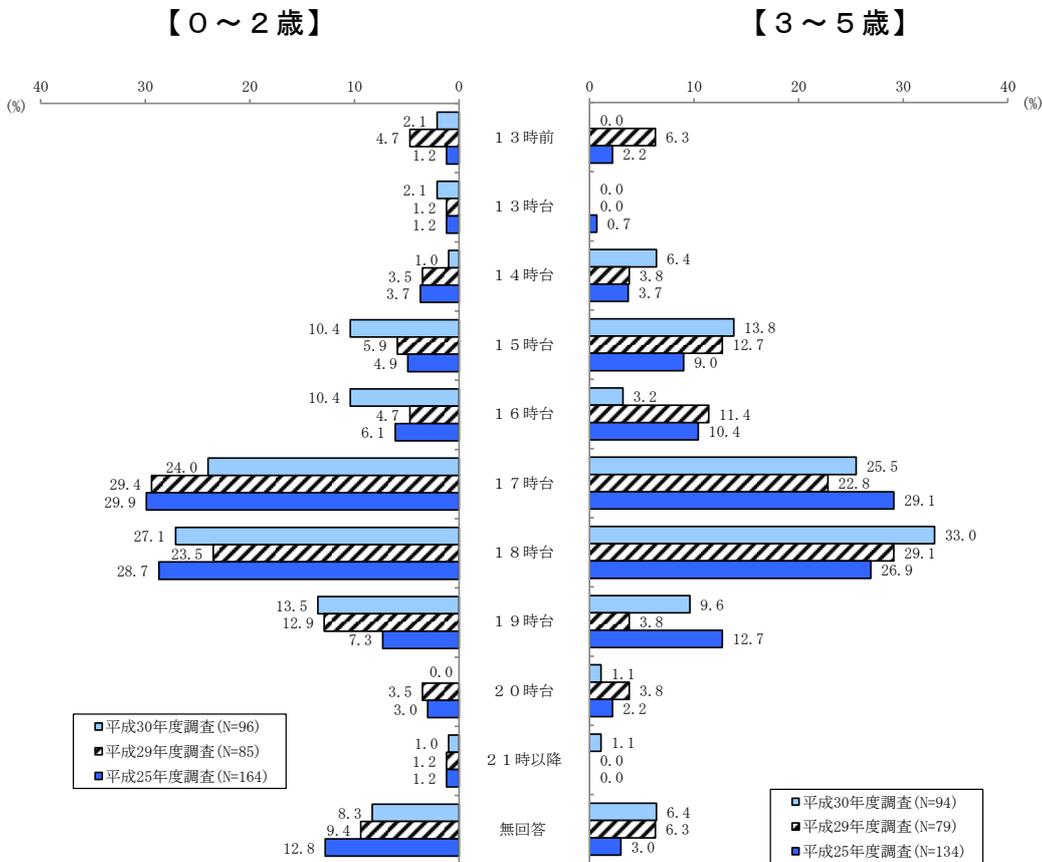
経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「月に1～2回は利用したい」が増加しています。



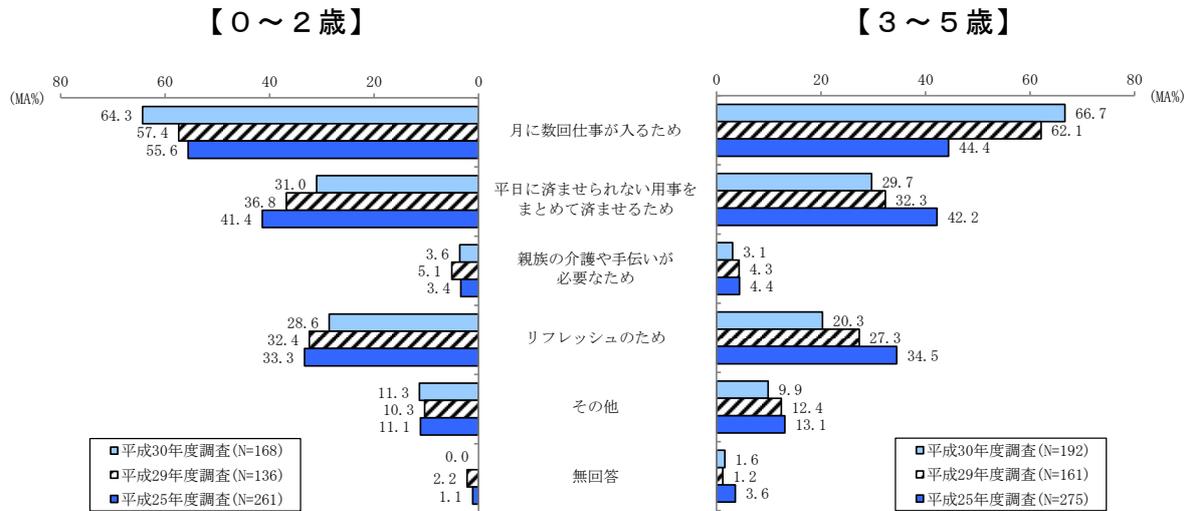
利用開始時間



利用終了時間



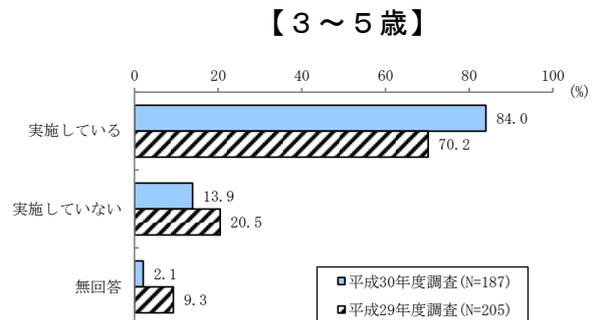
問 前問の（１）または（２）で、「3.月に1～2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（0～2歳：問8-1、3～5歳：問8-1）



問9～9-4までは「幼稚園」を利用している方にうかがいます。

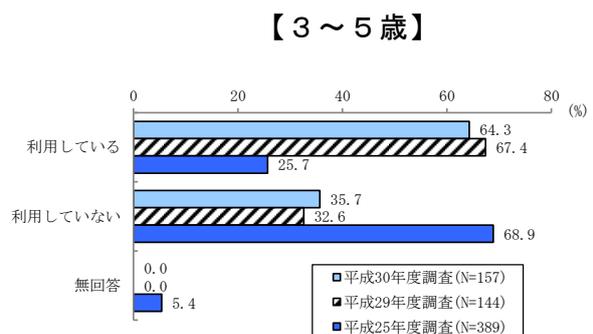
問 現在お子さんが利用している幼稚園では預かり保育を実施していますか。（3～5歳：問9）

幼稚園の預かり保育については、「実施している」が84.0%と高くなっています。



問 前問で「1.実施している」とお答えの方は、幼稚園の預かり保育を定期的に利用していますか。（3～5歳：問9-1）

定期的な利用については、「利用している」が64.3%と高くなっています。

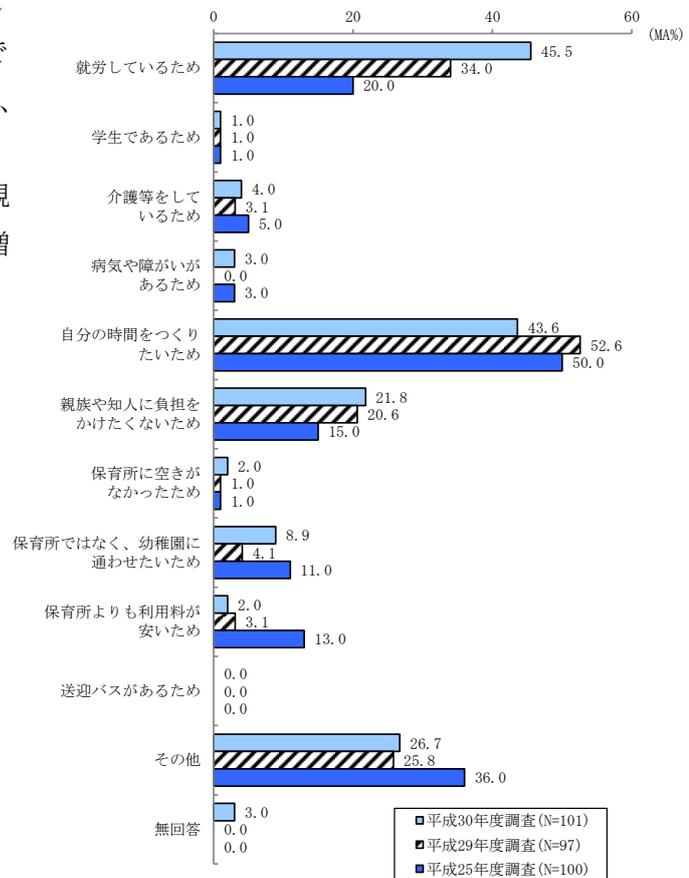


問 前問で「1. 利用している」とお答えの方はその理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください) (3～5歳：問9-2)

【3～5歳】

利用している理由については、「就労しているため」が45.5%と最も高く、次いで「自分の時間をつくりたいため」が43.6%、「その他」が26.7%となっています。

経年でみると、「就労しているため」、「親族や知人に負担をかけたくないため」が増加しています。

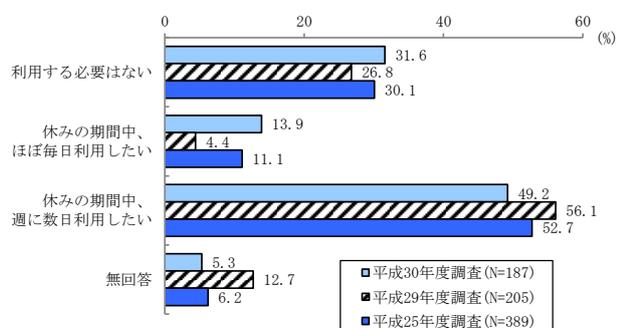


問 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の預かり保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時から18時のように24時間制でご記入ください。なお、預かり保育の利用には、一定の利用者負担が発生します。(3～5歳：問9-3)

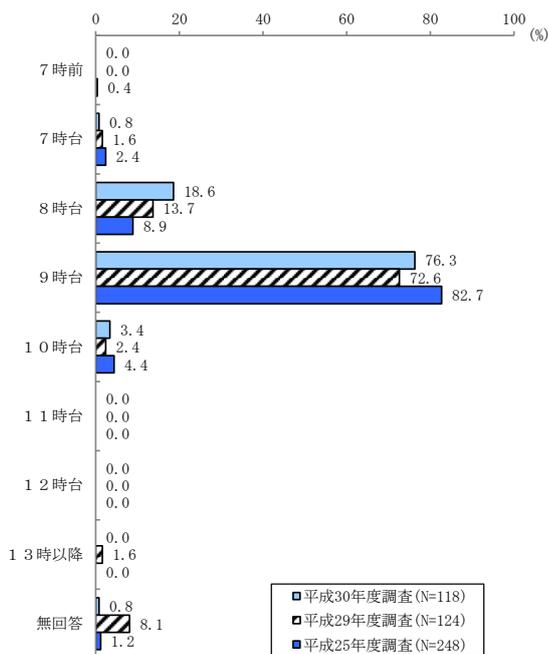
【3～5歳】

長期の休暇期間中の預かり保育の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が49.2%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が31.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が13.9%となっています。

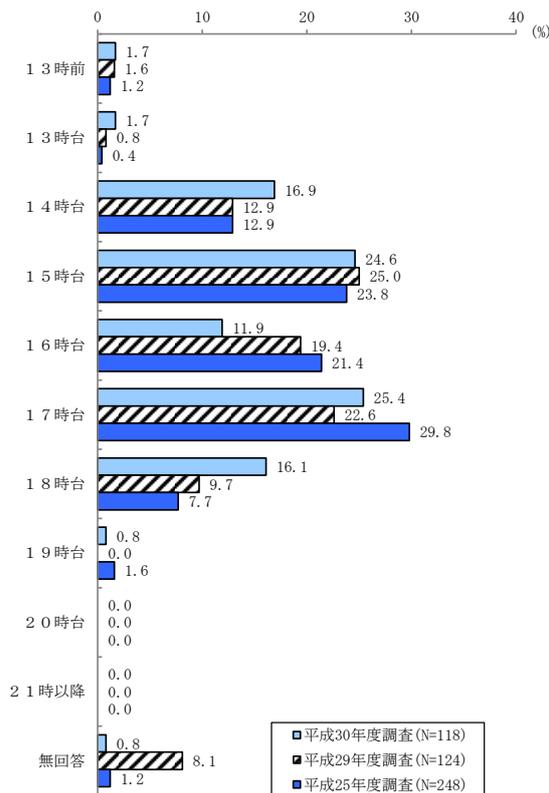
経年でみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が増加しています。



利用希望開始時間



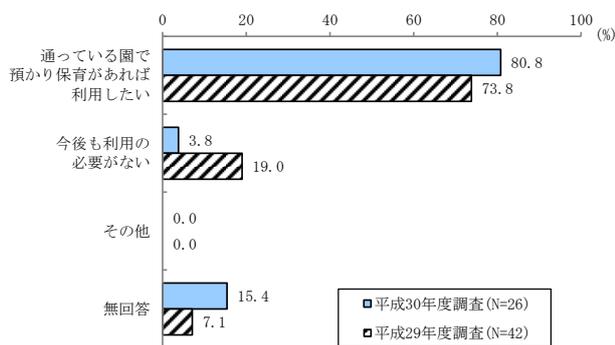
利用希望終了時間



問 問9で「2. 実施していない」とお答えの方は、あてはまるもの1つに○をつけてください。
 (3～5歳：問9-4)

【3～5歳】

「通っている園で預かり保育があれば利用したい」が80.8%、「今後も利用の必要がない」が3.8%となっています。



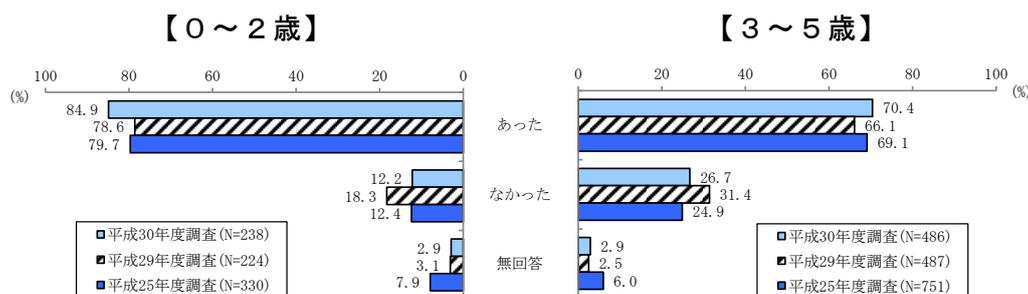
1-6. 病気の際の対応について

問 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えの方（問7で「1」または「2」と答えた方）にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（0～2歳：問9、3～5歳：問10）

0～2歳については、「あった」が84.9%と高くなっています。

3～5歳については、「あった」が70.4%と高くなっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「あった」が増加しています。

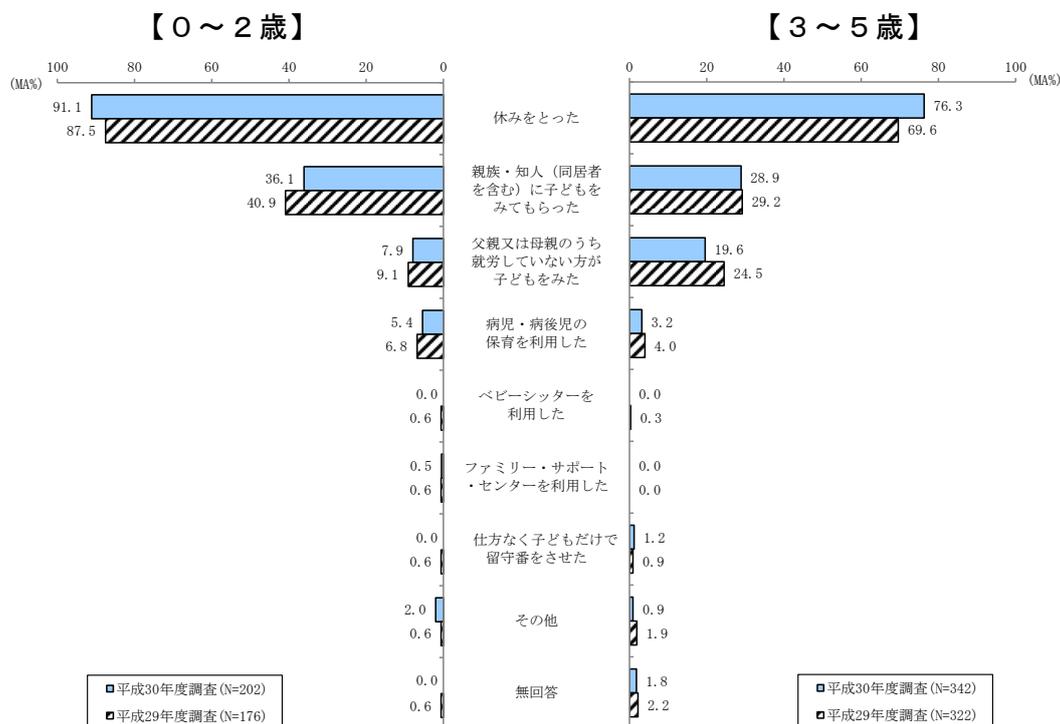


問 前問で「1. あった」とお答えの方のうかがいます。その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（0～2歳：問9-1、3～5歳：問10-1）

1年間の対応

0～2歳については、「休みをとった」が91.1%と最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が36.1%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が7.9%となっています。

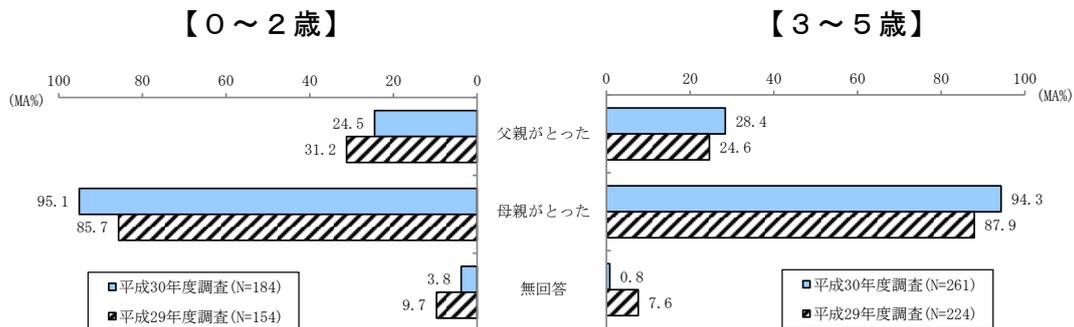
3～5歳については、「休みをとった」が76.3%と最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が28.9%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が19.6%となっています。



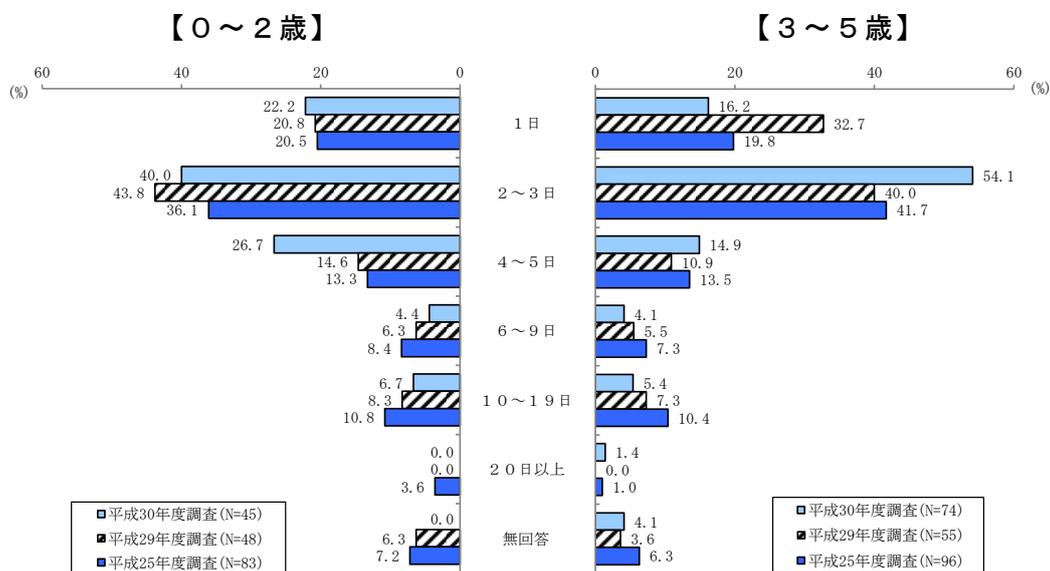
休みをとった人

0～2歳については、「母親がとった」が95.1%と高くなっています。

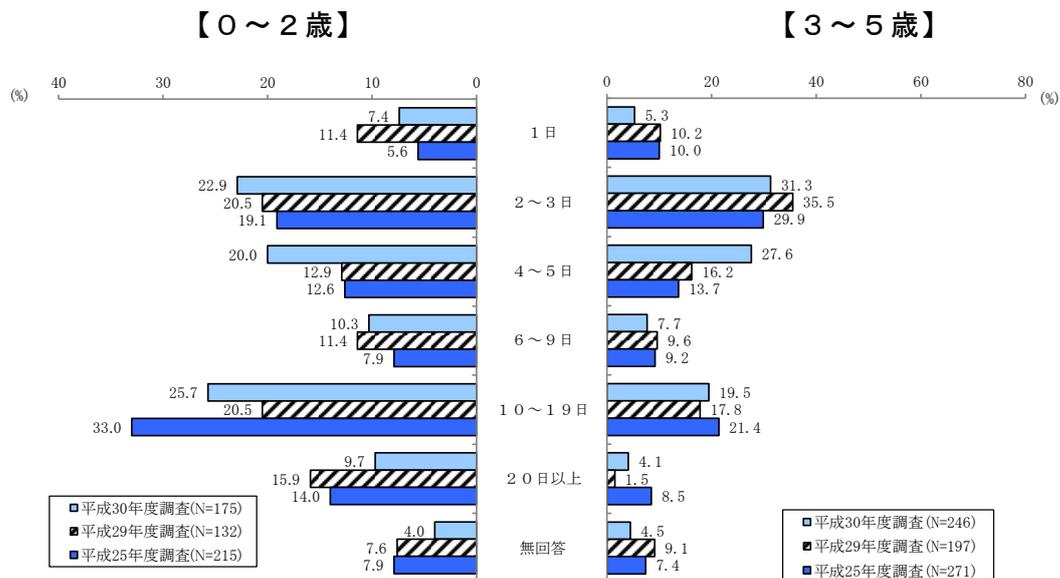
3～5歳については、「母親がとった」が94.3%と高くなっています。



父親が休みをとった日数



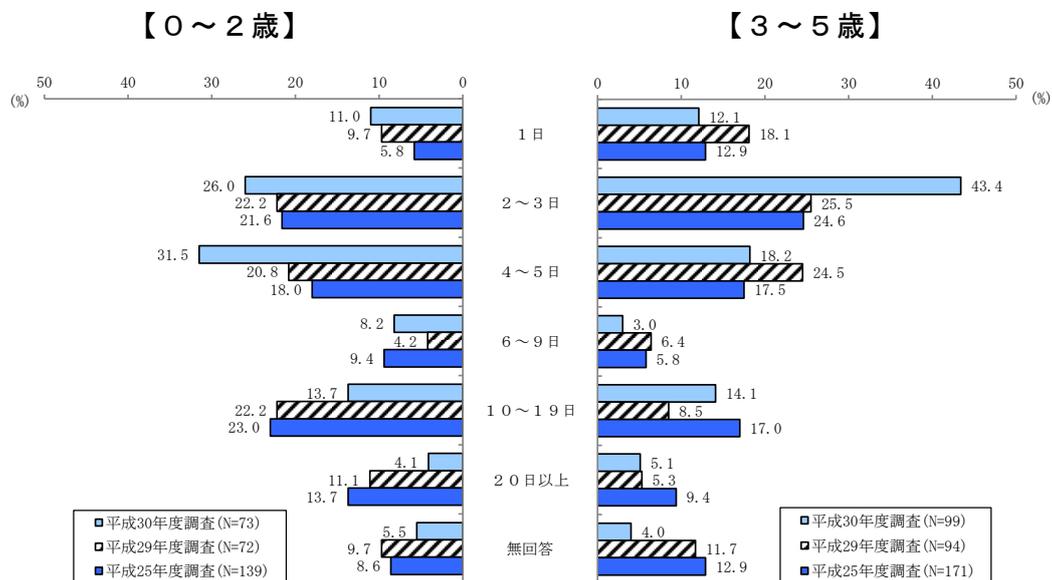
母親が休みをとった日数



親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった日数

0～2歳については、「4～5日」が31.5%と最も高く、次いで「2～3日」が26.0%、「10～19日」が13.7%となっています。

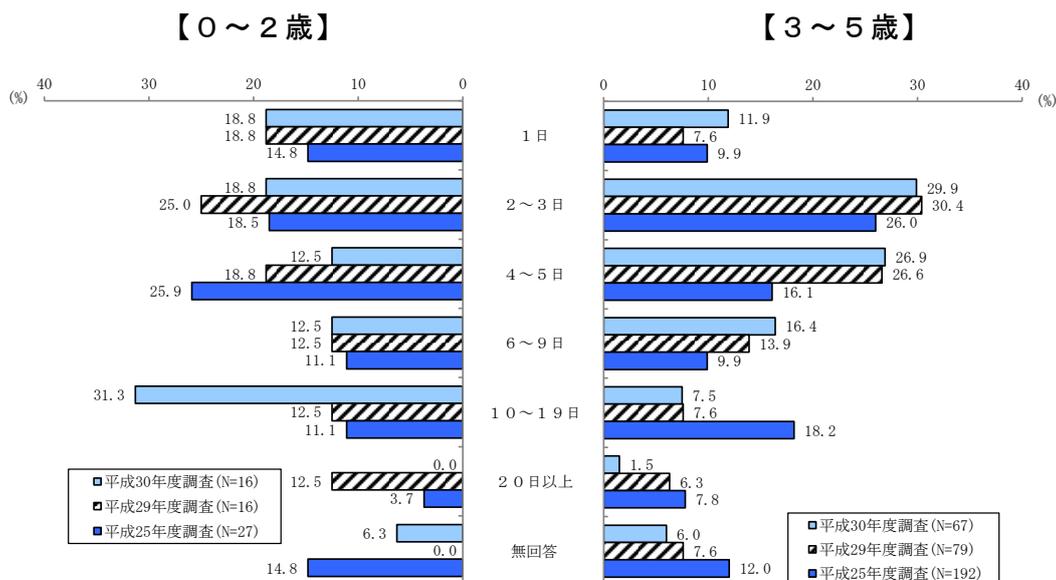
3～5歳については、「2～3日」が43.4%と最も高く、次いで「4～5日」が18.2%、「10～19日」が14.1%となっています。



父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

0～2歳については、「10～19日」が31.3%と最も高く、次いで「1日」、「2～3日」がそれぞれ18.8%となっています。

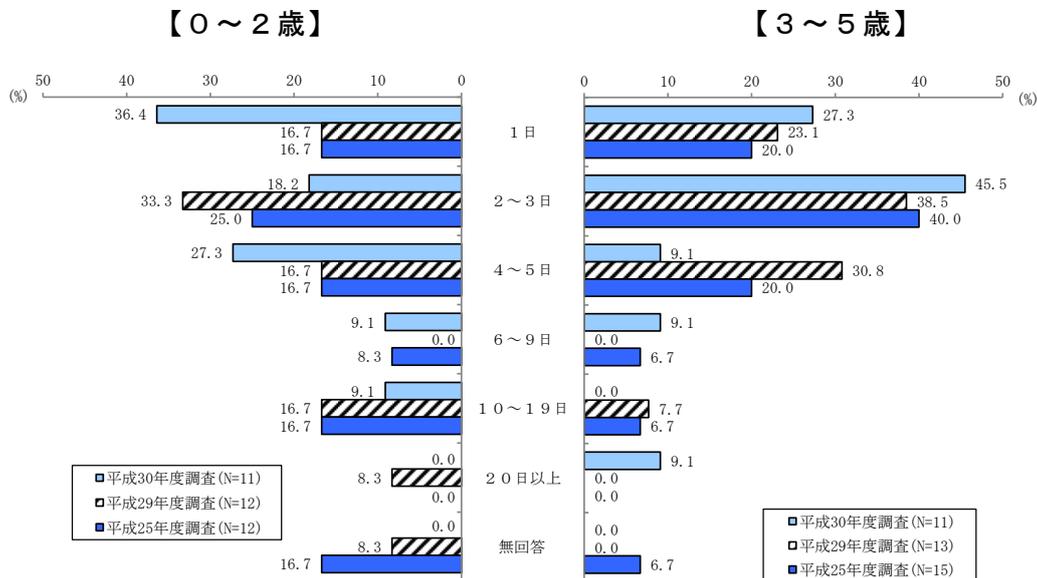
3～5歳については、「2～3日」が29.9%と最も高く、次いで「4～5日」が26.9%、「6～9日」が16.4%となっています。



病児・病後児の保育を利用した日数

0～2歳については、「1日」が36.4%と最も高く、次いで「4～5日」が27.3%、「2～3日」が18.2%となっています。

3～5歳については、「2～3日」が45.5%と最も高く、次いで「1日」が27.3%、「4～5日」、「6～9日」、「20日以上」がそれぞれ9.1%となっています。



ベビーシッターを利用した日数

0～2歳、3～5歳ともに回答者無しとなっています。

ファミリー・サポート・センターを利用した日数

0～2歳では「6～9日」が1件、3～5歳は回答者無しとなっています。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

0～2歳は回答者無しとなっています。

3～5歳では「1日」が2件、「4～5日」、「20日以上」がそれぞれ1件となっています。

その他の日数

0～2歳は「4～5日」が2件、「10～19日」が1件となっています。

3～5歳では、「4～5日」が3件となっています。

問 前問で「1. 休みをとった」とお答えの方にうかがいます。

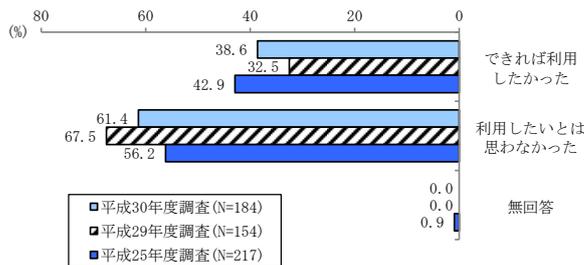
その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。
 なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（0～2歳：問9-2、3～5歳：問10-2）

0～2歳については、「利用したいとは思わなかった」が61.4%と高くなっています。

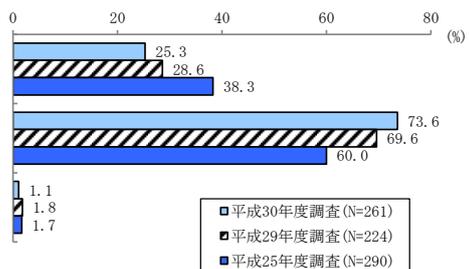
3～5歳については、「利用したいとは思わなかった」が73.6%と高くなっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「できれば利用したかった」が減少傾向にあります。

【0～2歳】

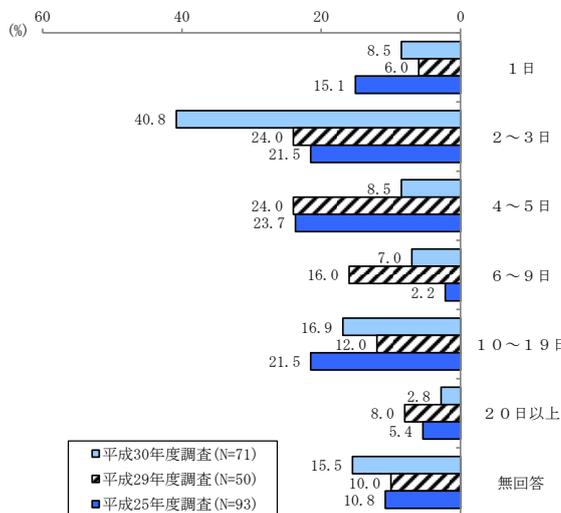


【3～5歳】

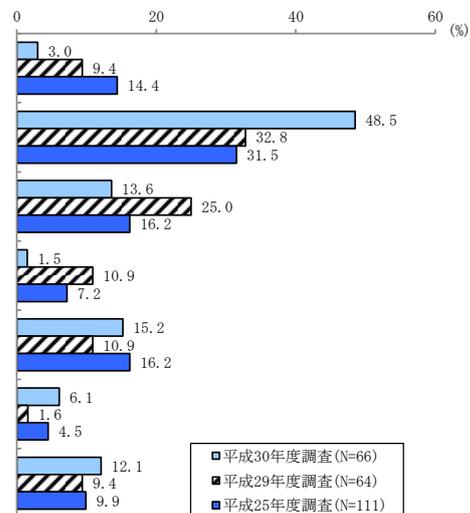


できれば利用したかった日数

【0～2歳】



【3～5歳】



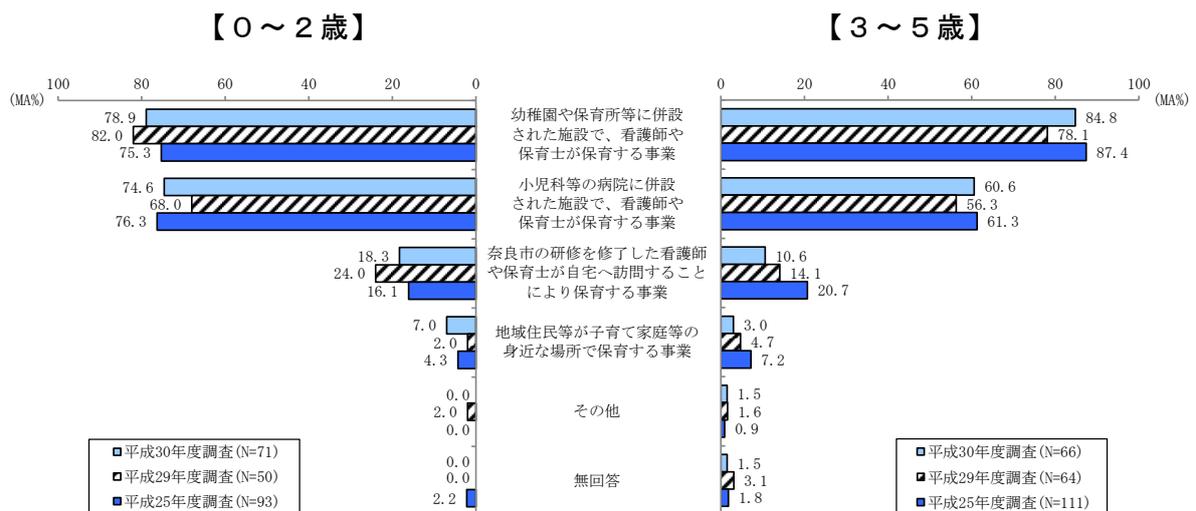
問 前問で「1. できれば利用したかった」とお答えの方にうかがいます。

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問9-3、3～5歳：問10-3)

0～2歳については、「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が78.9%と最も高く、次いで「小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が74.6%、「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」が18.3%となっています。

3～5歳については、「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が84.8%と最も高く、次いで「小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が60.6%、「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」が10.6%となっています。

経年で見ると、0～2歳では「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が増加傾向にあり、3～5歳では「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が減少傾向にあります。



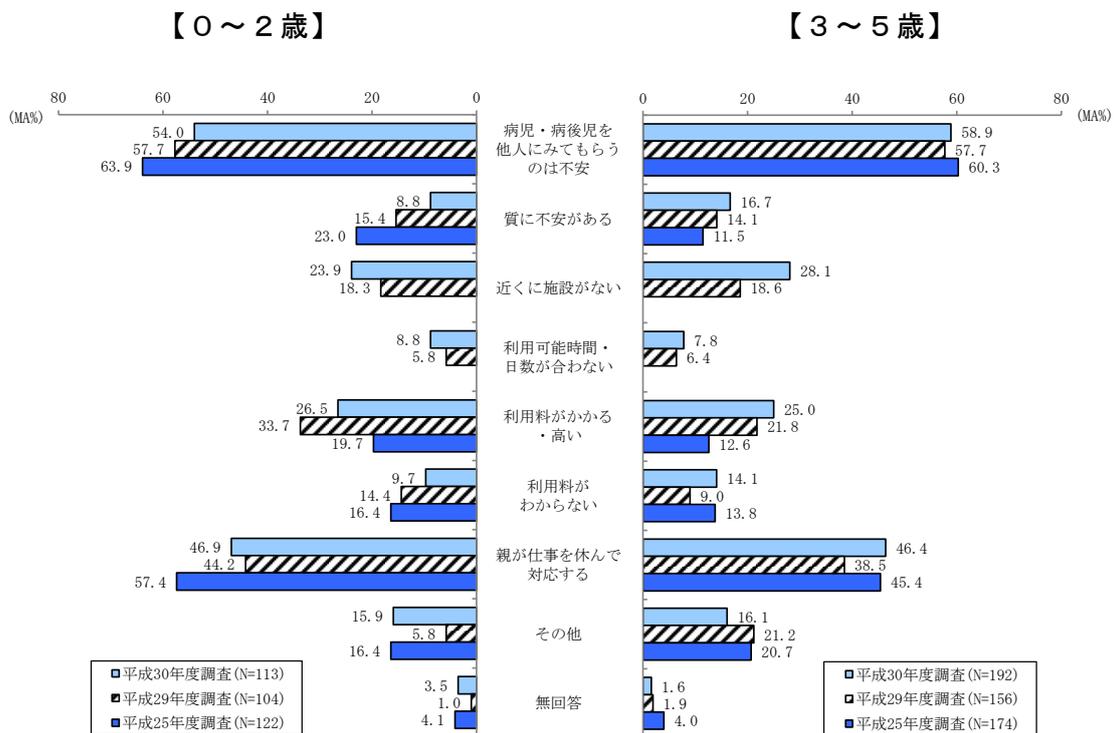
問 前問で「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方にはうかがいます。

そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問9-4、3～5歳：問10-4)

0～2歳については、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が54.0%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が46.9%、「利用料がかかる・高い」が26.5%となっています。

3～5歳については、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が58.9%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が46.4%、「近くに施設がない」が28.1%となっています。

経年でみると、0～2歳では「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」、「質に不安がある」、「利用料がわからない」、「親が仕事を休んで対応する」等が減少しています。3～5歳では、「質に不安がある」、「利用料がかかる・高い」が増加しています。



※平成25年度調査には「近くに施設がない」「利用可能時間・日数が合わない」の選択肢はありません。

問 前問で「2」～「8」（休みをとらず対応した）とお答えの方にうかがいます。

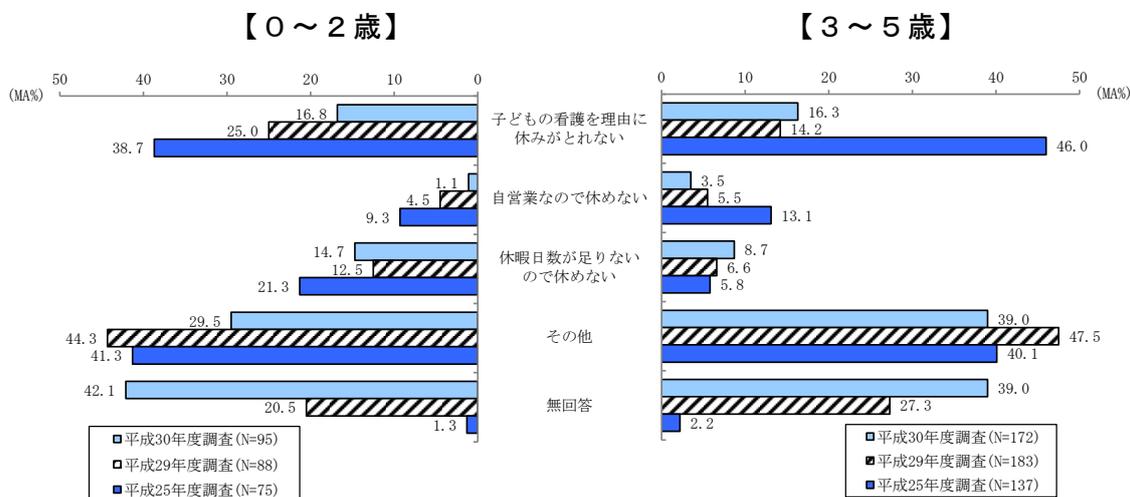
- (1) 休みを取らなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 (2) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。いずれかに○をつけ、「1」の場合は「2」～「8」の日数のうち仕事を休みたかった日数について数字でご記入ください。(0～2歳：問9-5、3～5歳：問10-5)

(1) 休みを取らなかった理由

0～2歳については、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が16.8%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が14.7%、「自営業なので休めない」が1.1%となっています。

3～5歳については、「その他」が39.0%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が16.3%、「休暇日数が足りないので休めない」が8.7%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「子どもの看病を理由に休みがとれない」、「自営業なので休めない」は減少しています。また、3～5歳では「休暇日数が足りないので休めない」が増加しています。

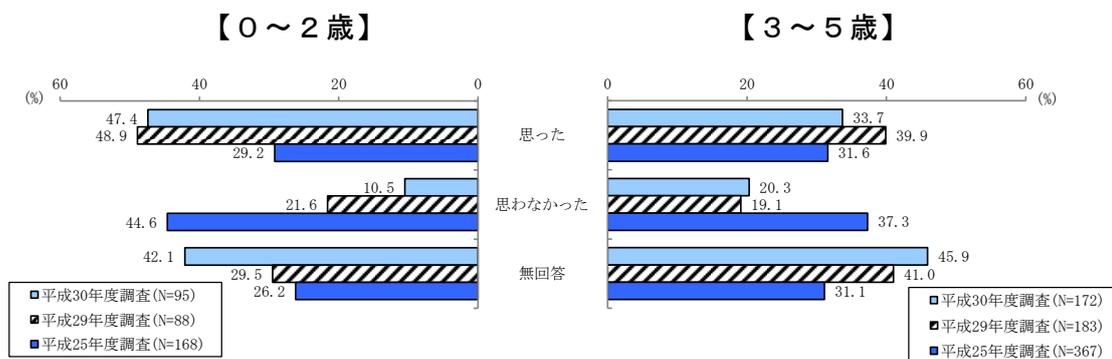


(2) できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったか

0～2歳については、「思った」が47.4%と高くなっています。

3～5歳については、「思った」が33.7%と高くなっています。

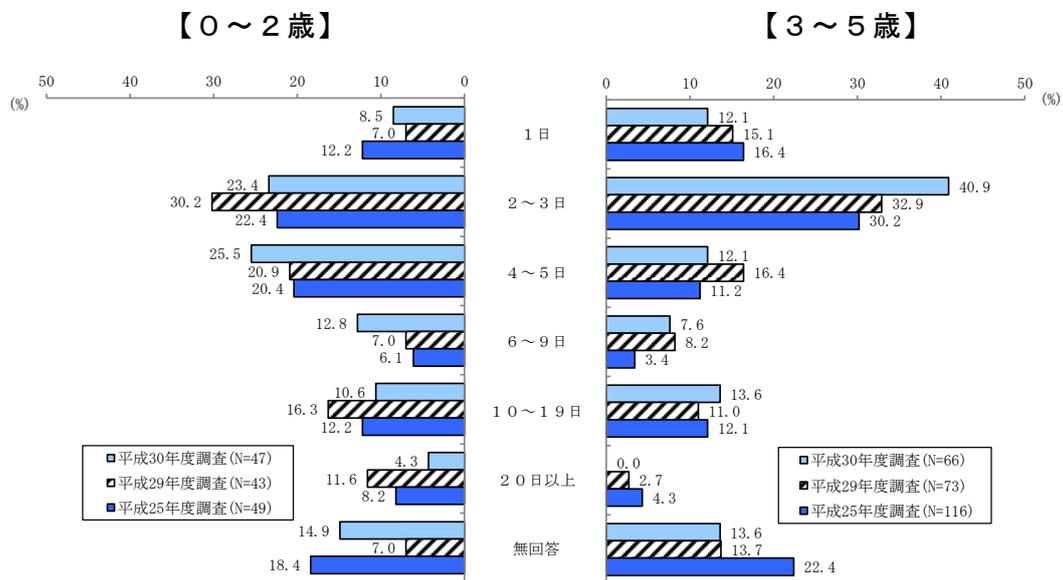
経年でみると、0～2歳では「思わなかった」が大きく減少しています。3～5歳では「思った」が増えています。



仕事を休んで看病したい日数

0～2歳については、「4～5日」が25.5%と最も高く、次いで「2～3日」が23.4%、「6～9日」が12.8%となっています。

3～5歳については、「2～3日」が40.9%と最も高く、次いで「10～19日」が13.6%、「1日」、「4～5日」がそれぞれ12.1%となっています。



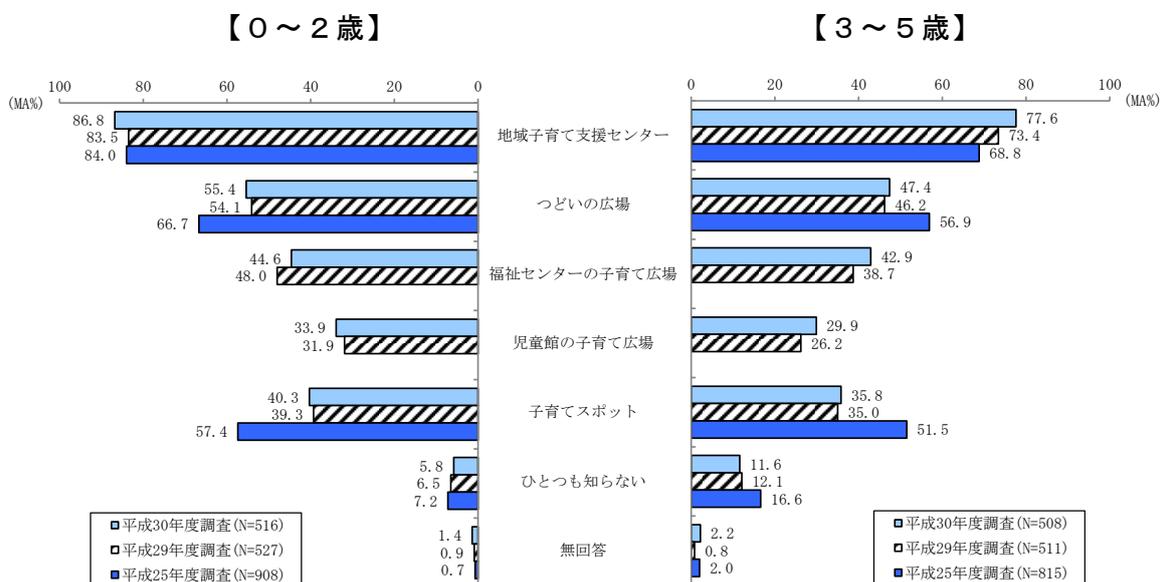
1-7. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 奈良市では、地域の子育て支援のために次のような事業を行っていますが、知っているものすべてに○をつけてください。(0～2歳：問10、3～5歳：問11)

0～2歳については、「地域子育て支援センター（公共施設や保育所等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施）」が86.8%と最も高く、次いで「つどいの広場（親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供）」が55.4%、「福祉センターの子育て広場（子育てスポットすくすく広場）」が44.6%となっています。

3～5歳については、「地域子育て支援センター」が77.6%と最も高く、次いで「つどいの広場」が47.4%、「福祉センターの子育て広場」が42.9%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「地域子育て支援センター」が微増しており、「つどいの広場」、「子育てスポット」が減少しています。



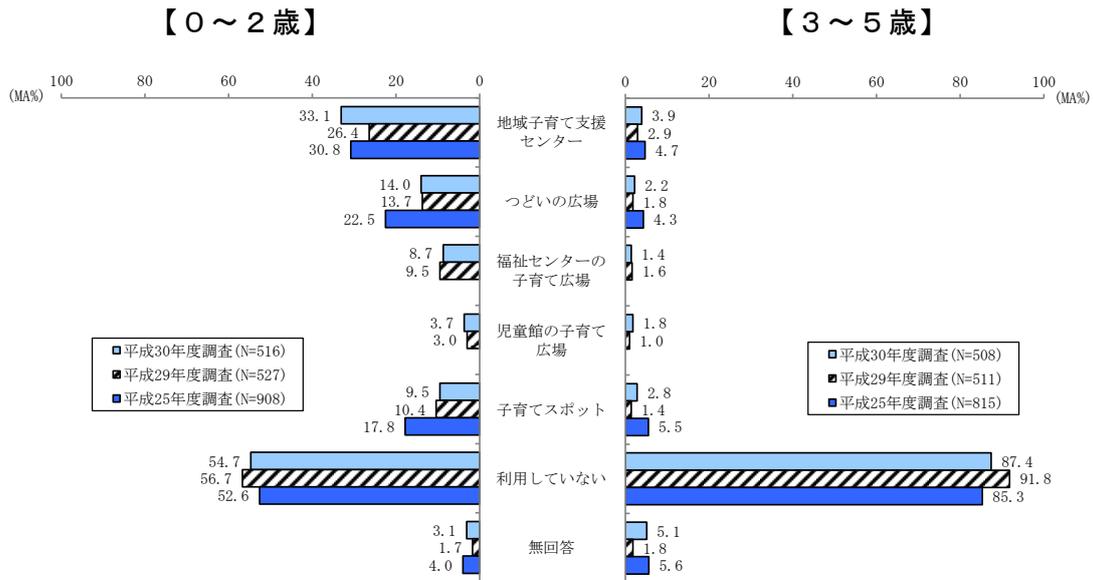
※平成25年度調査には「福祉センターの子育て広場」「児童館の子育て広場」の選択肢はありません。

問 あて名のお子さんは現在、「1」～「5」の事業を利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。(0～2歳：問11、3～5歳：問12)

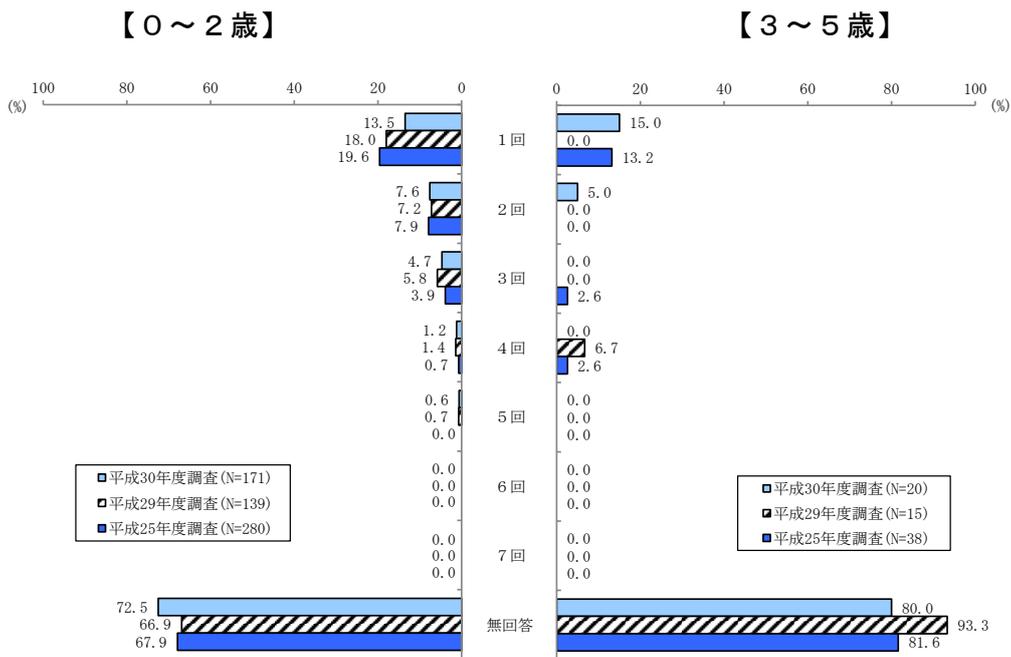
0～2歳については、「利用していない」が54.7%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」が33.1%、「つどいの広場」が14.0%となっています。

3～5歳については、「利用していない」が87.4%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」が3.9%、「子育てスポット」が2.8%となっています。

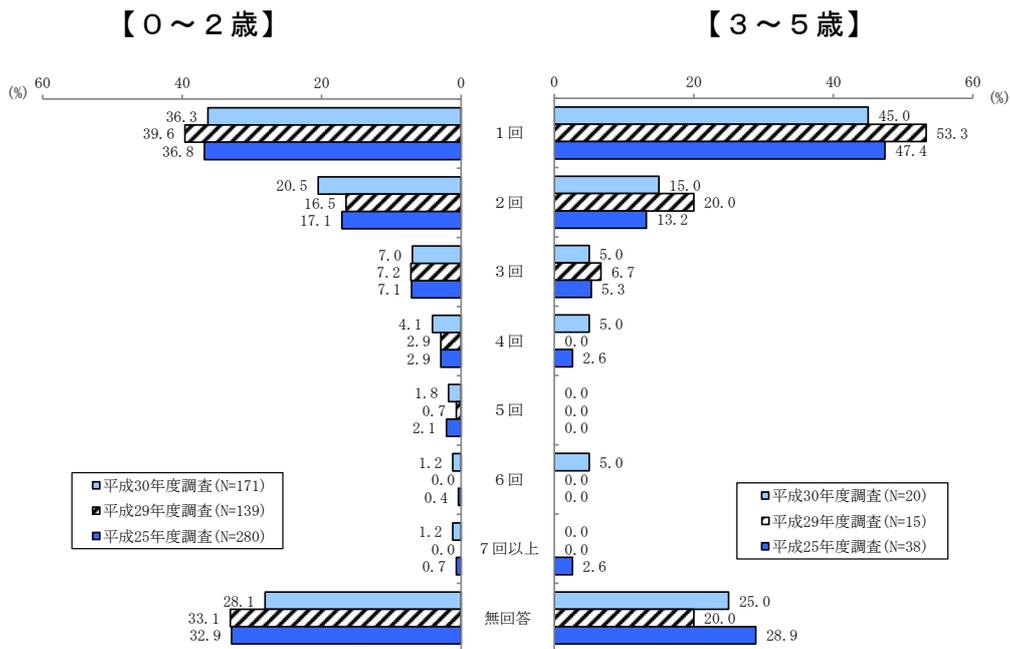
経年でみると、0～2歳では「つどいの広場」、「子育てスポット」が減少しています。3～5歳では大きな違いはありません。



地域子育て支援センター 1週あたりの利用回数

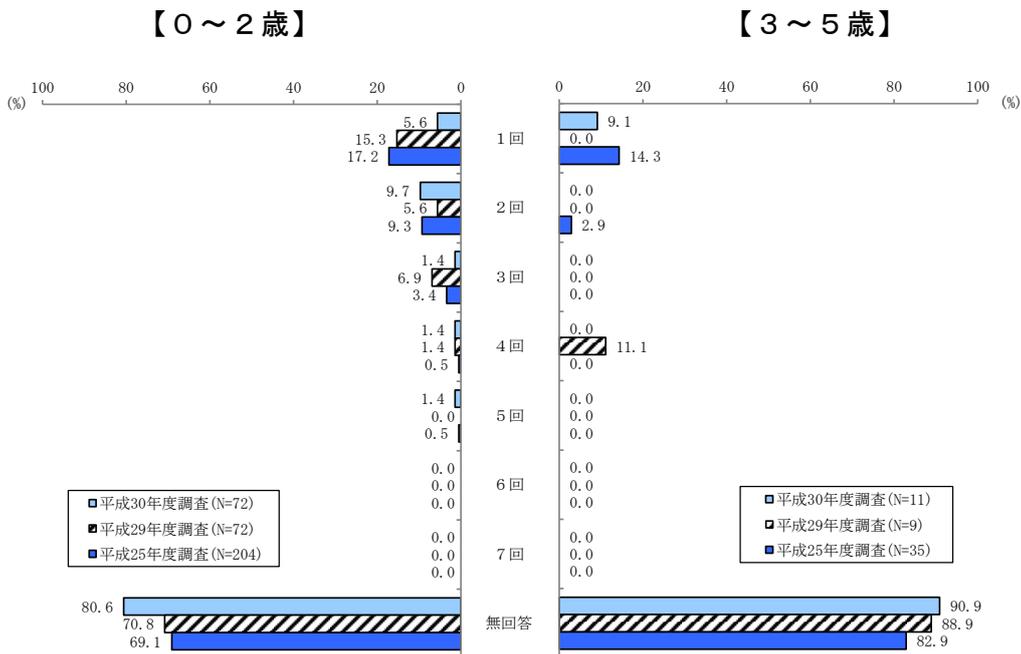


1ヶ月あたりの利用回数

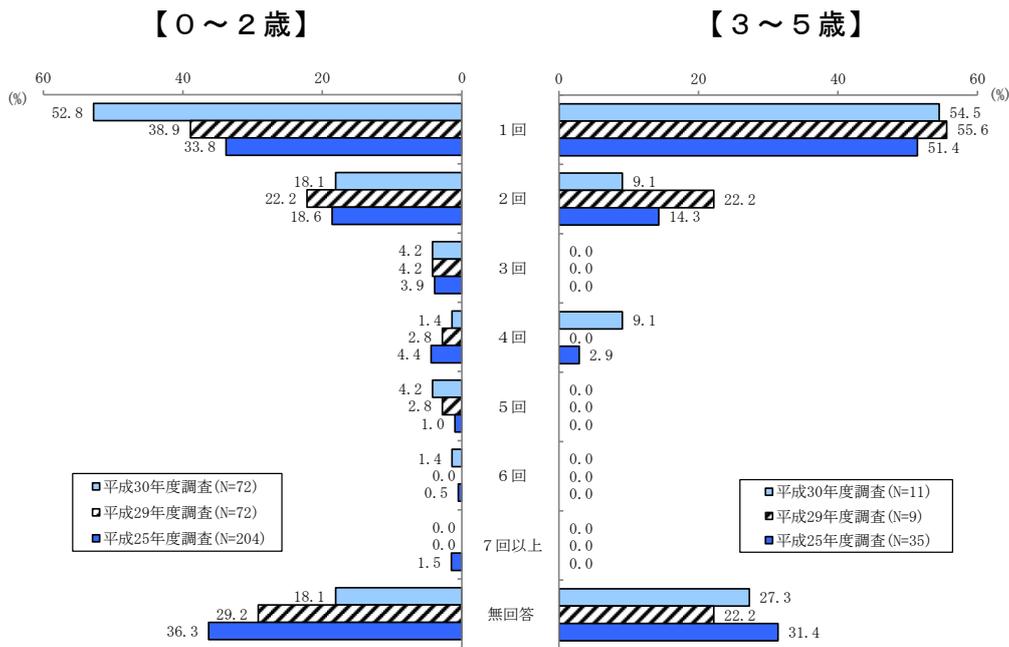


つどいの広場

1週あたりの利用回数

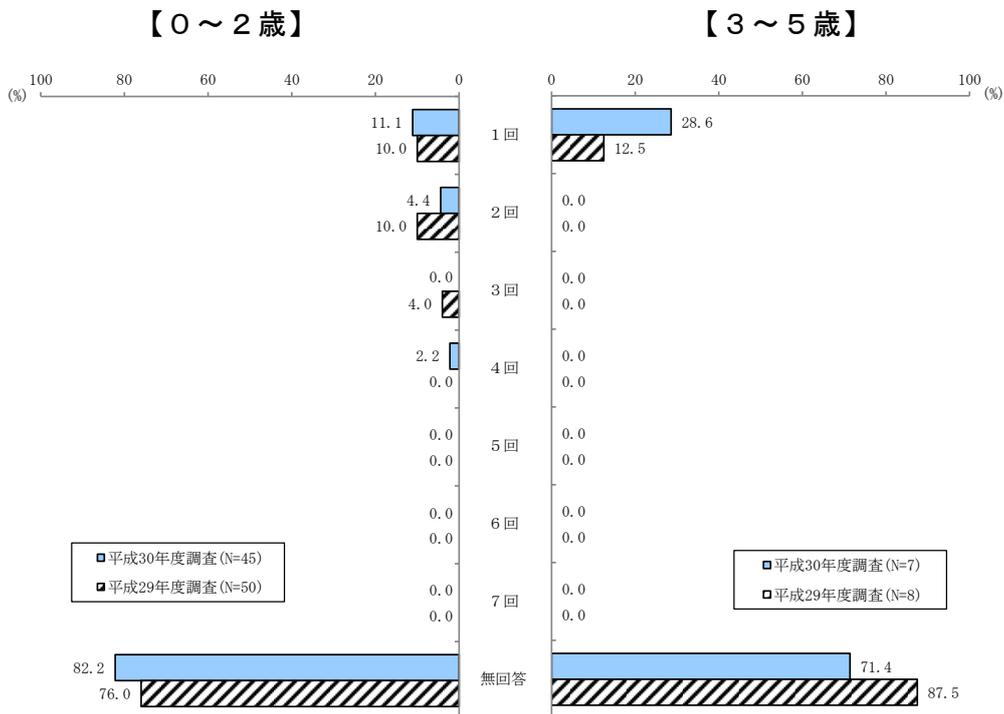


1ヶ月あたりの利用回数

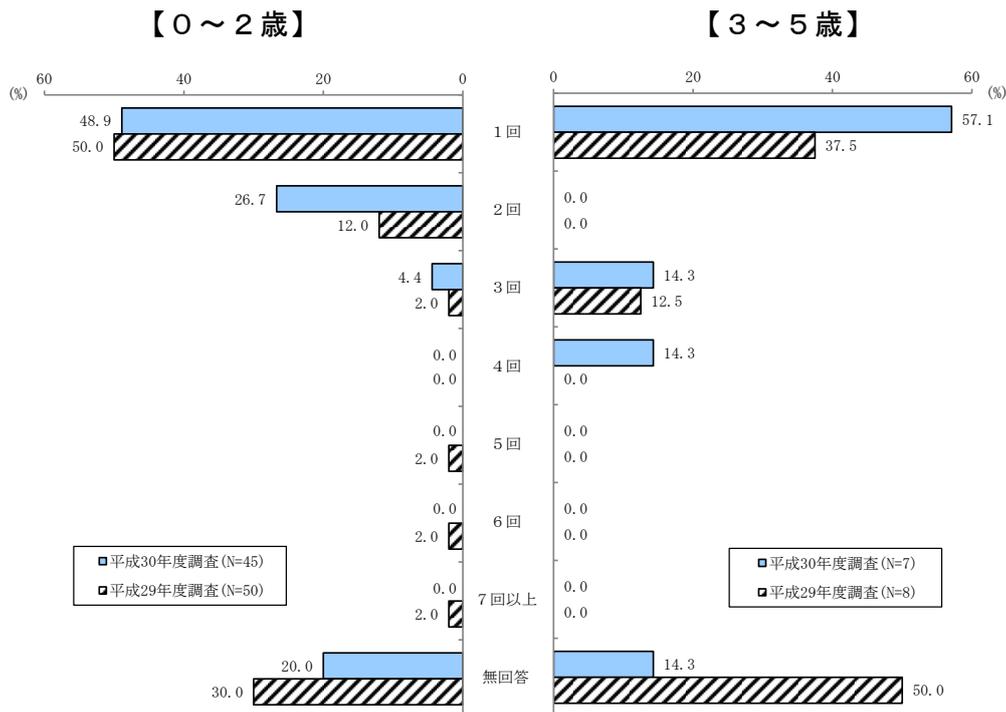


福祉センターの子育て広場

1週あたりの利用回数

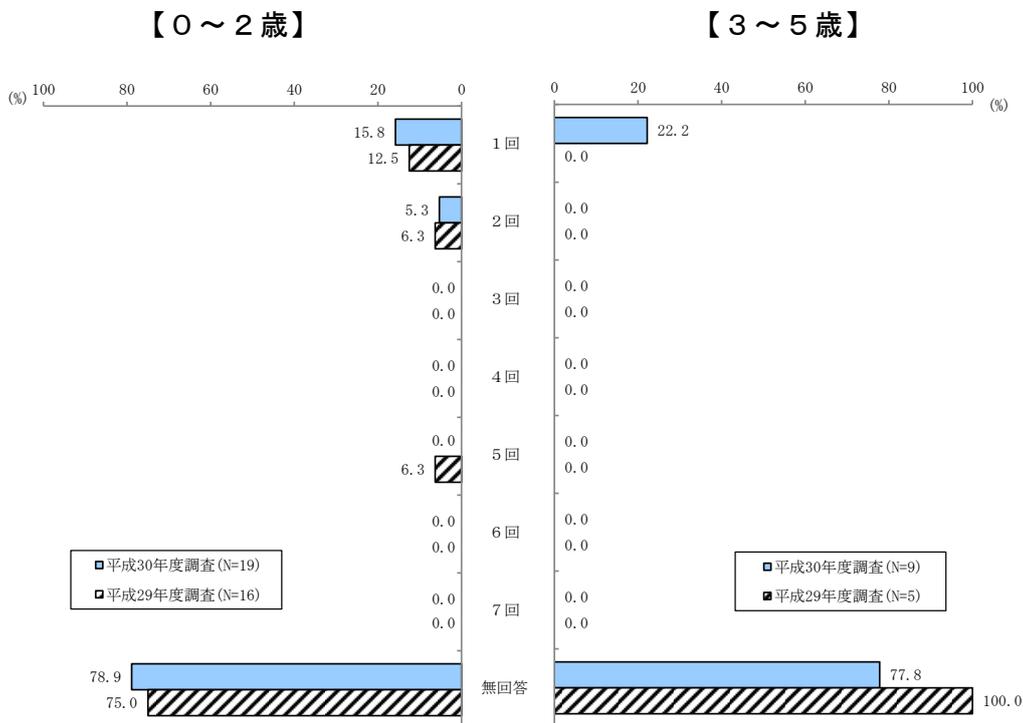


1ヶ月あたりの利用回数

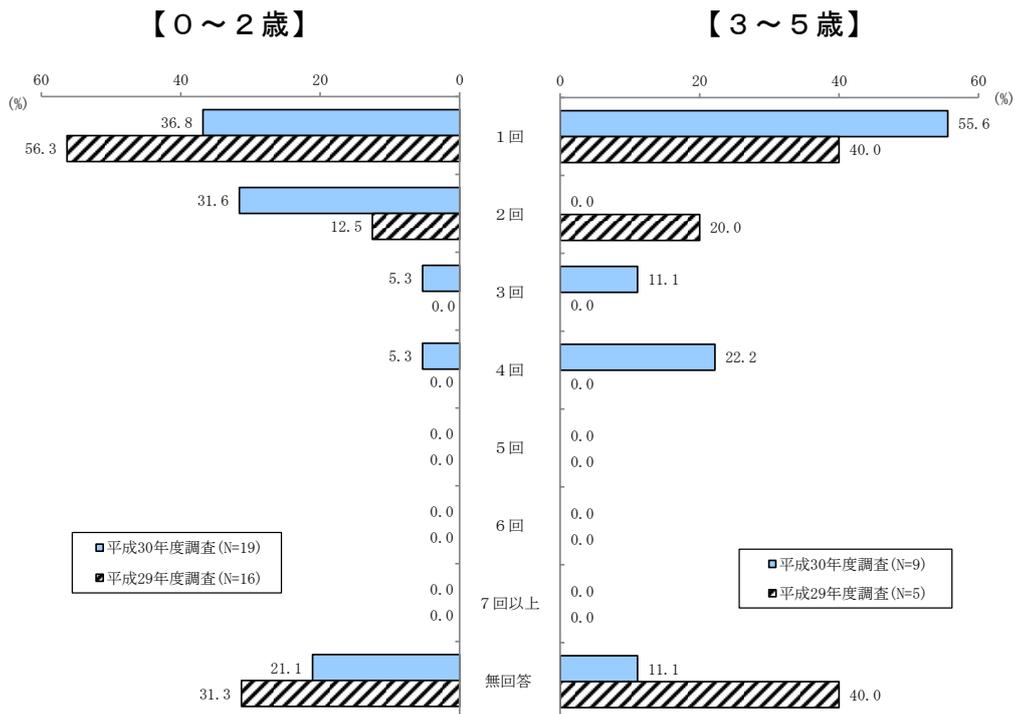


児童館の子育て広場

1週あたりの利用回数

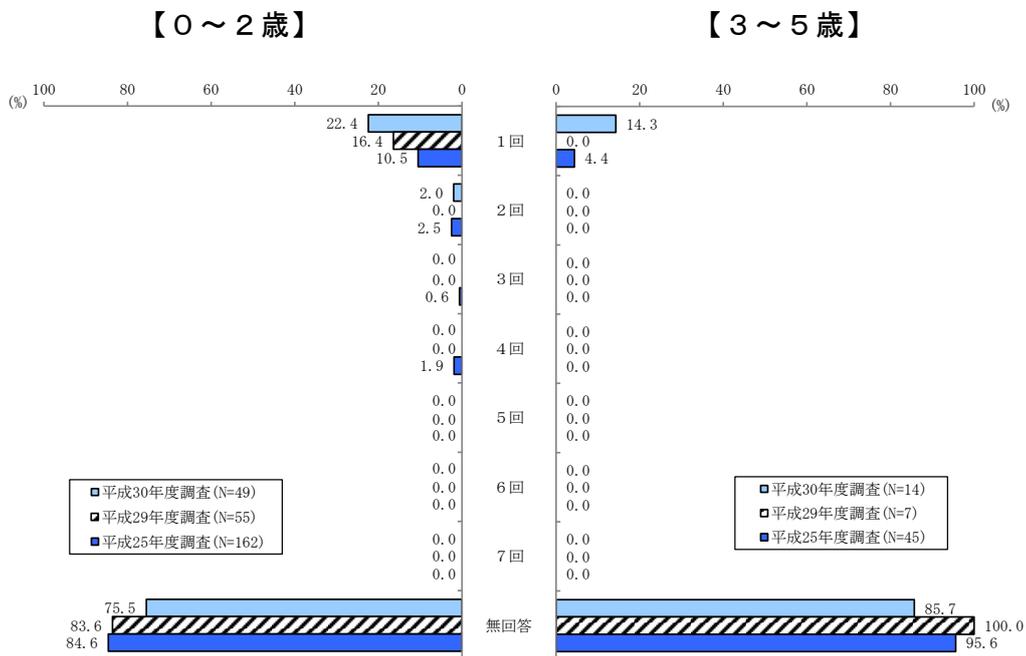


1ヶ月あたりの利用回数

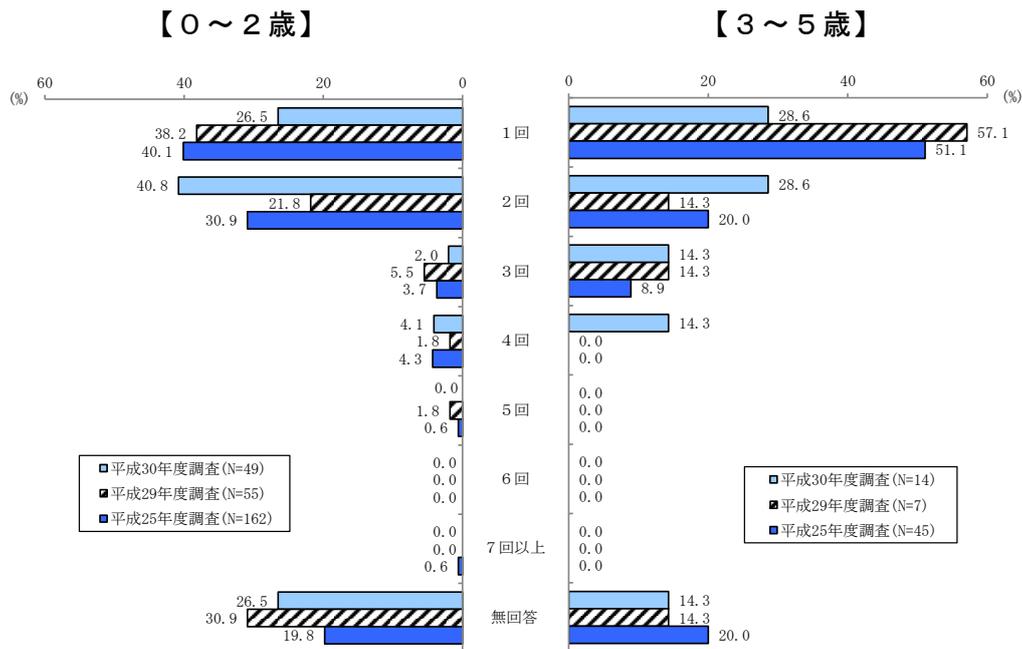


子育てスポット

1週あたりの利用回数

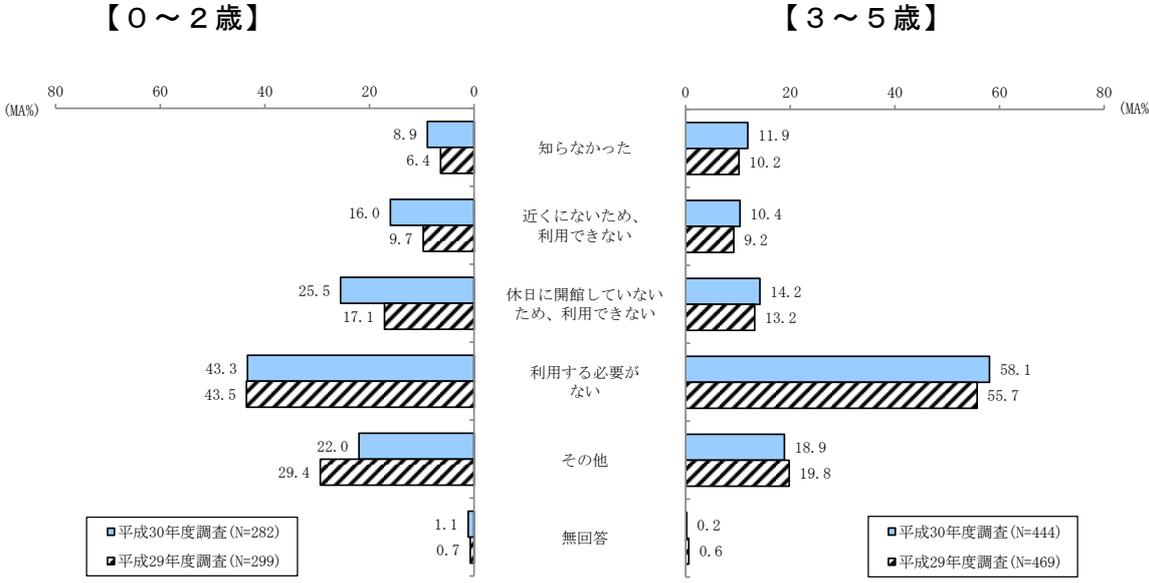


1ヶ月あたりの利用回数



問 前問で「6. 利用していない」と答えた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（0～2歳：問11-1、3～5歳：問12-1）

0～2歳については、「利用する必要がない」が43.3%と最も高く、次いで「休日に開館していないため、利用できない」が25.5%、「近くにないため、利用できない」が16.0%となっています。
 3～5歳については、「利用する必要がない」が58.1%と最も高く、次いで「その他」が18.9%、「休日に開館していないため、利用できない」が14.2%となっています。

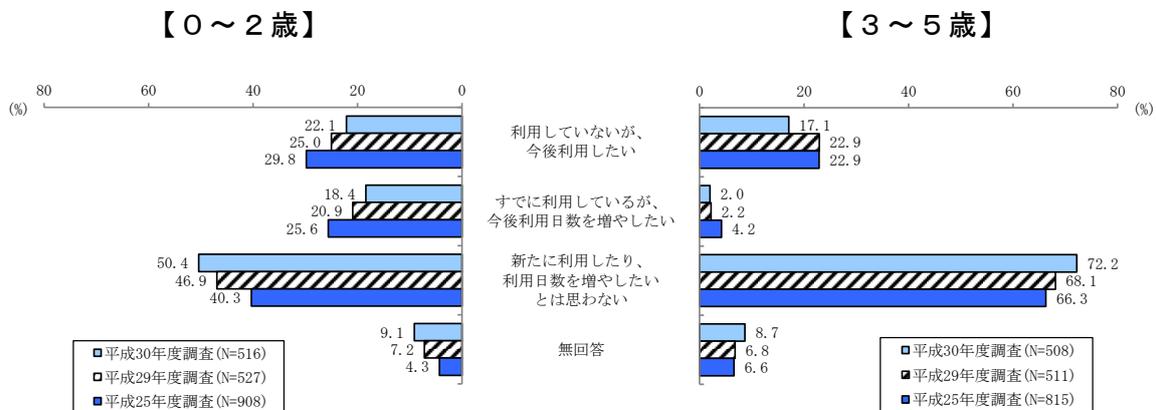


問 前問のような地域の子育て支援のための事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。（0～2歳：問12、3～5歳：問13）

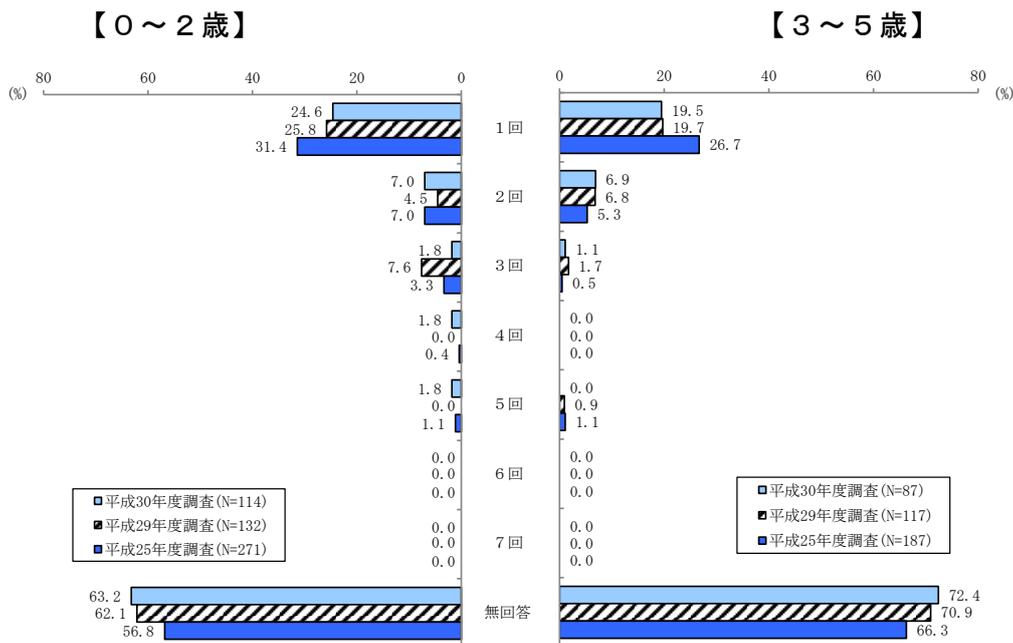
0～2歳については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が50.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が22.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が18.4%となっています。

3～5歳については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が72.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が17.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が2.0%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が増加しています。



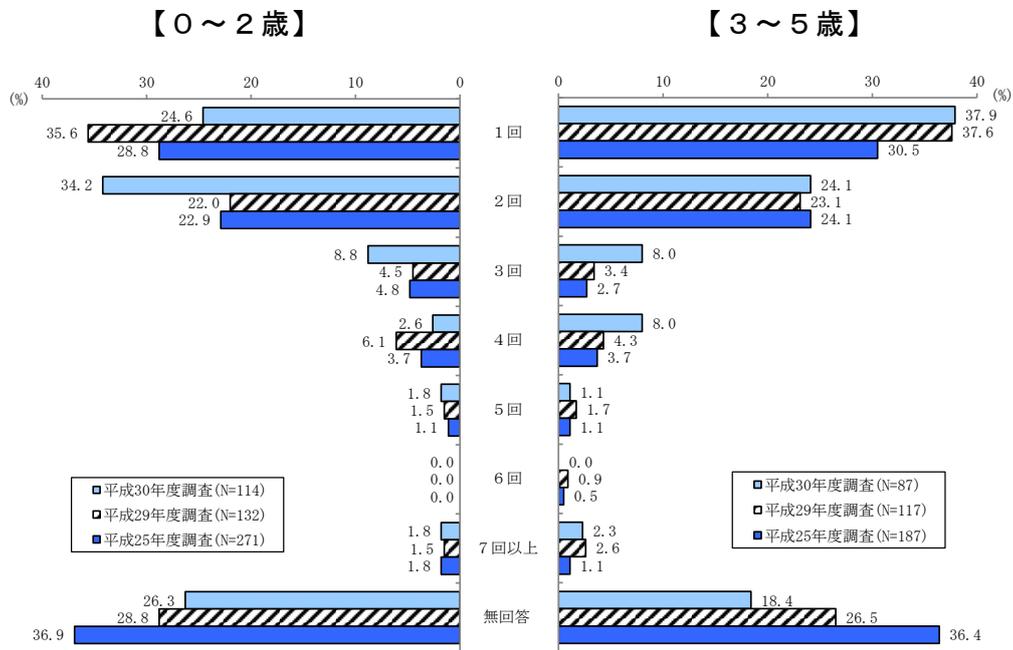
**利用していないが、今後利用したい
1週あたりの利用回数**



1ヶ月あたりの利用回数

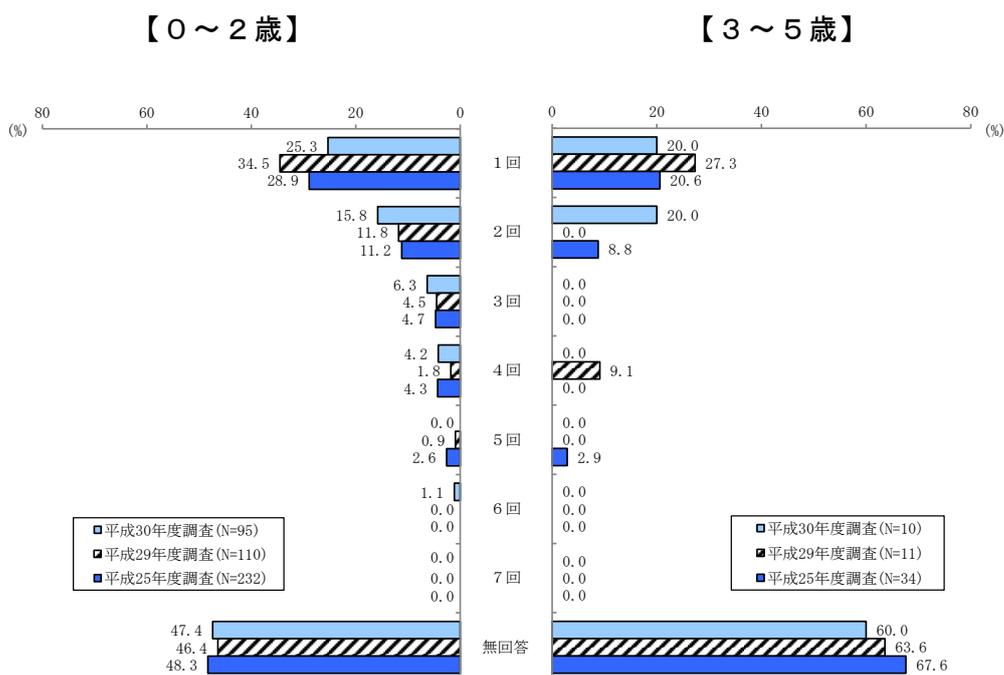
0～2歳については、「2回」が34.2%と最も高く、次いで「1回」が24.6%、「3回」が8.8%となっています。

3～5歳については、「1回」が37.9%と最も高く、次いで「2回」が24.1%、「3回」、「4回」がそれぞれ8.0%となっています。



すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

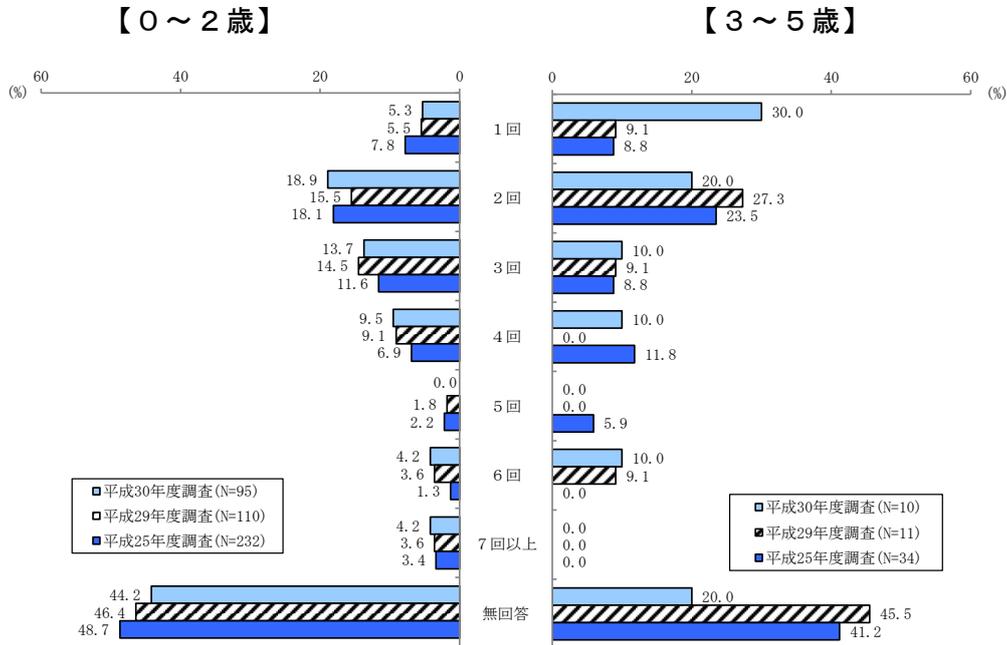
1週あたりの利用回数



1ヶ月あたりの利用回数

0～2歳については、「2回」が18.9%と最も高く、次いで「3回」が13.7%、「4回」が9.5%となっています。

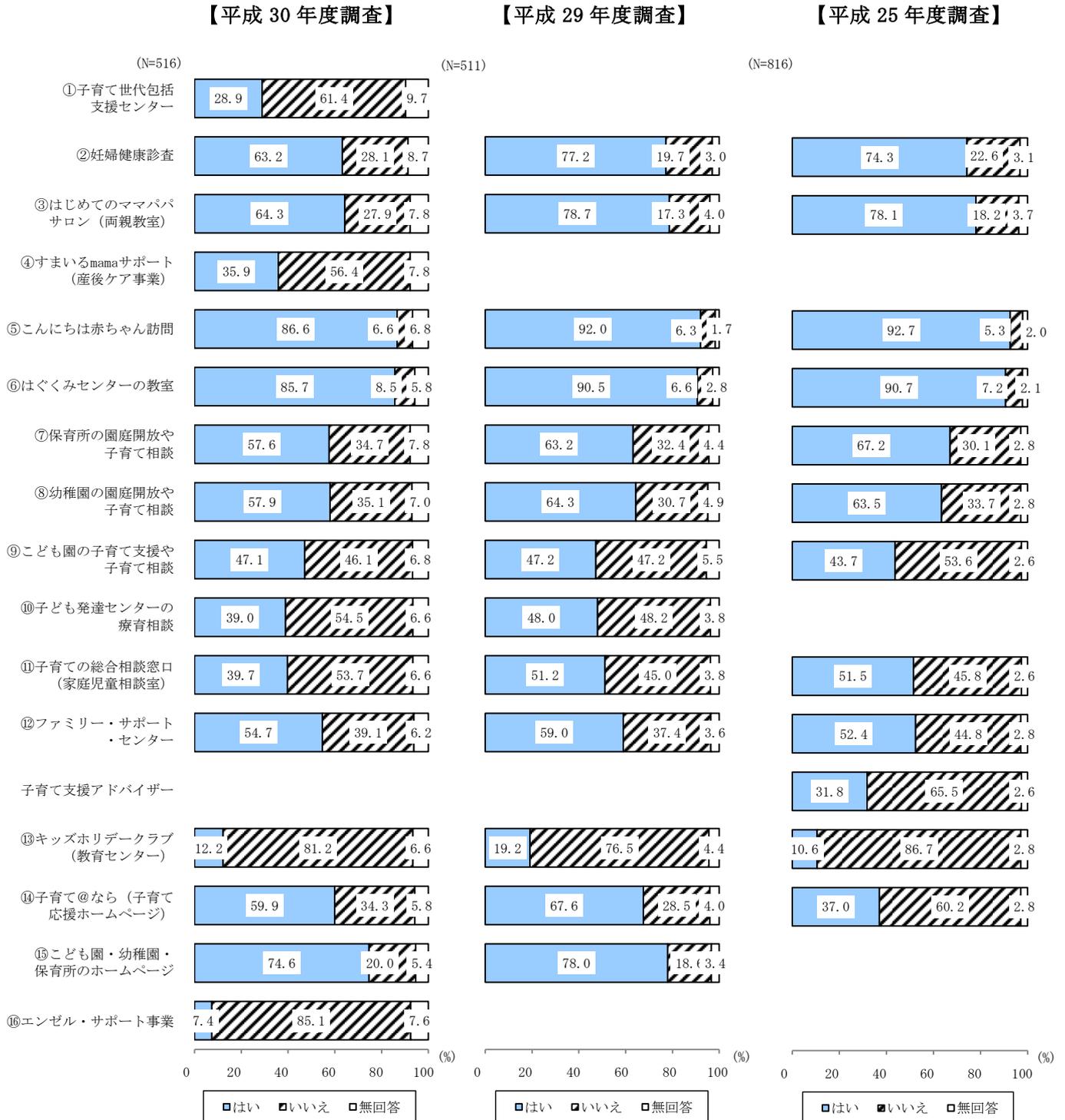
3～5歳については、「1回」が30.0%と最も高く、次いで「2回」が20.0%、「3回」、「4回」、「6回」がそれぞれ10.0%となっています。



問 奈良市では、下記の事業や取組を行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑯の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。(0～2歳：問13、3～5歳：問14)

<認知度>

【0～2歳】

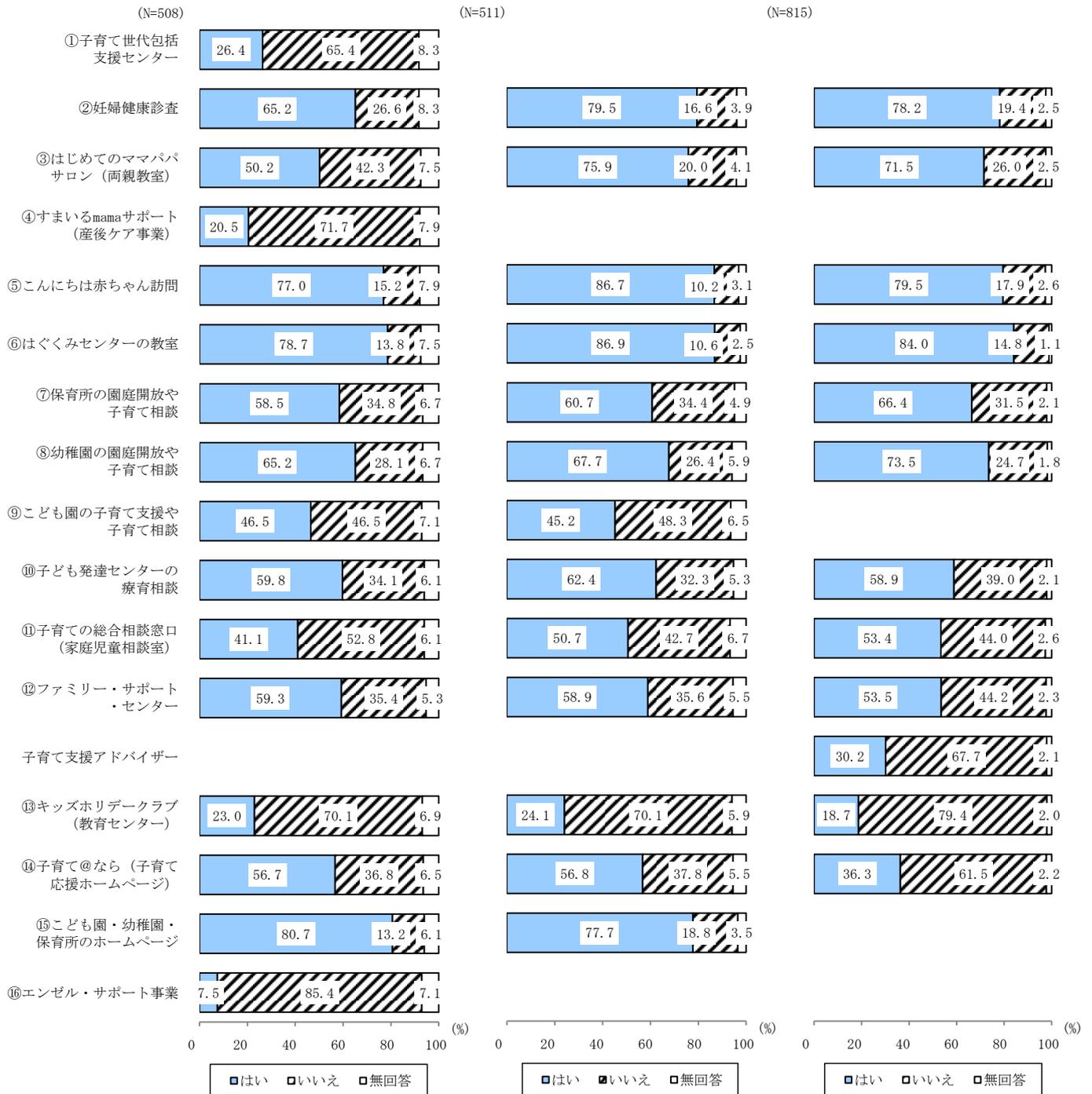


【3～5歳】

【平成30年度調査】

【平成29年度調査】

【平成25年度調査】



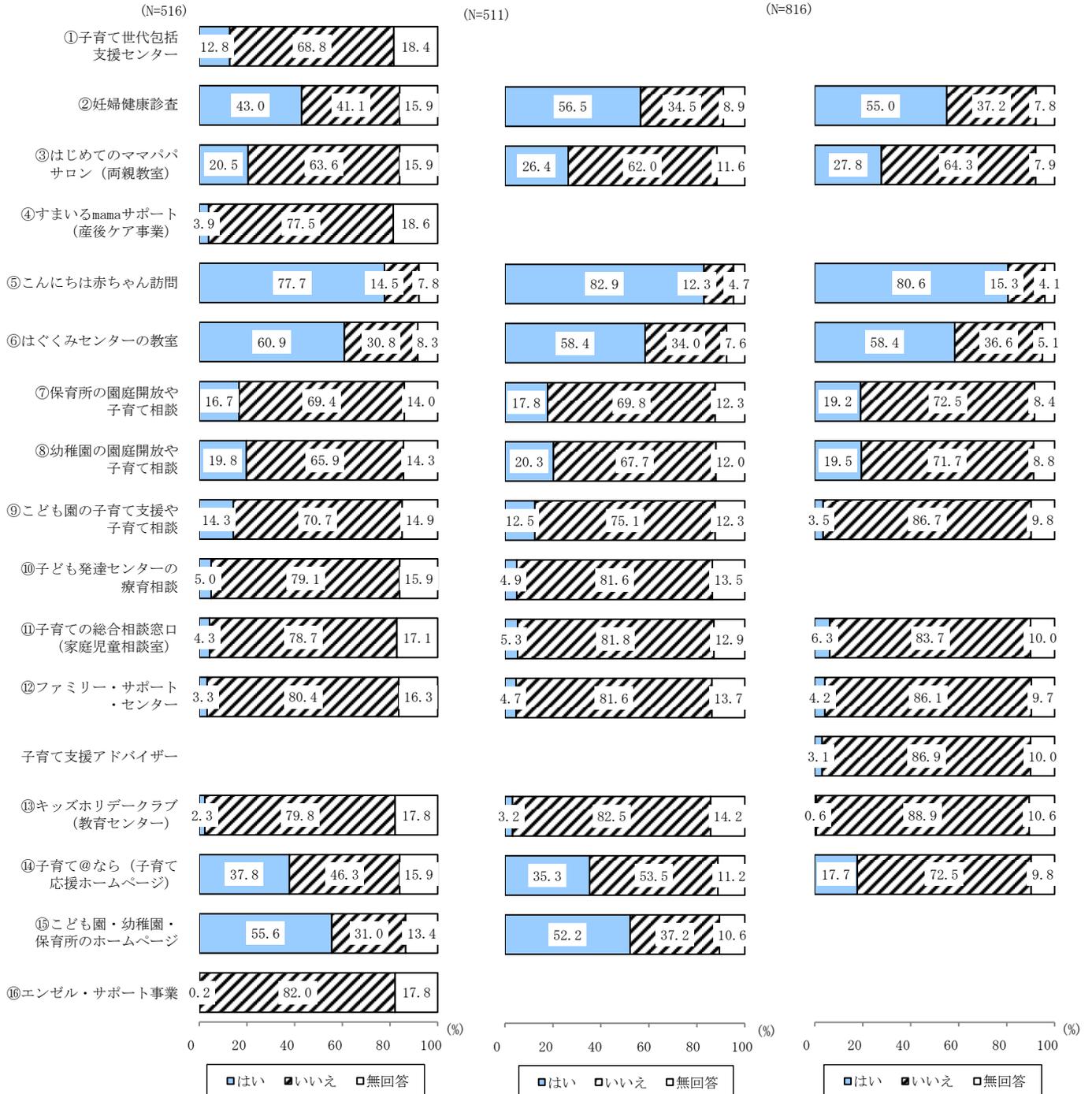
<利用の有無>

【0～2歳】

【平成30年度調査】

【平成29年度調査】

【平成25年度調査】

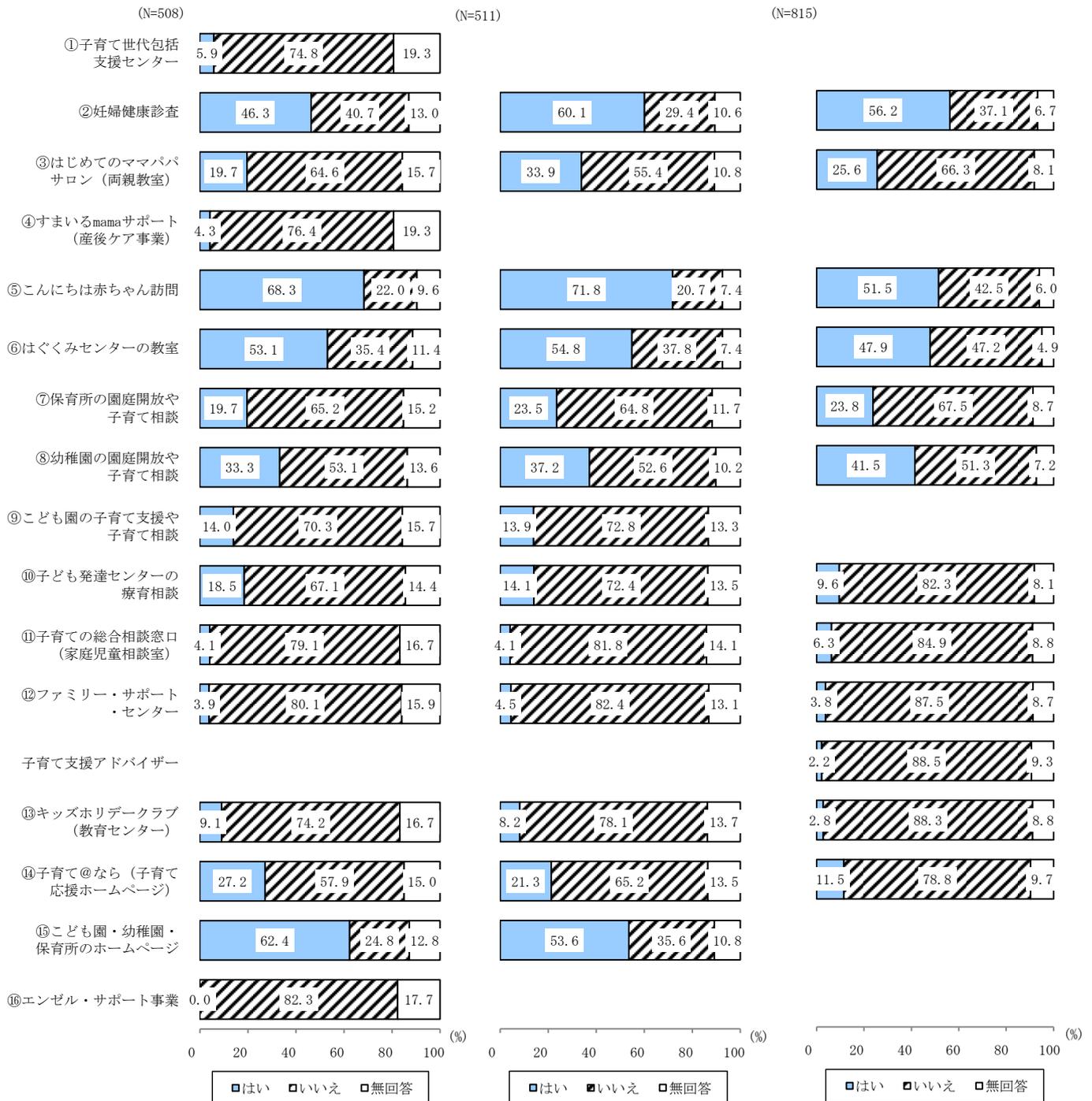


【3～5歳】

【平成30年度調査】

【平成29年度調査】

【平成25年度調査】



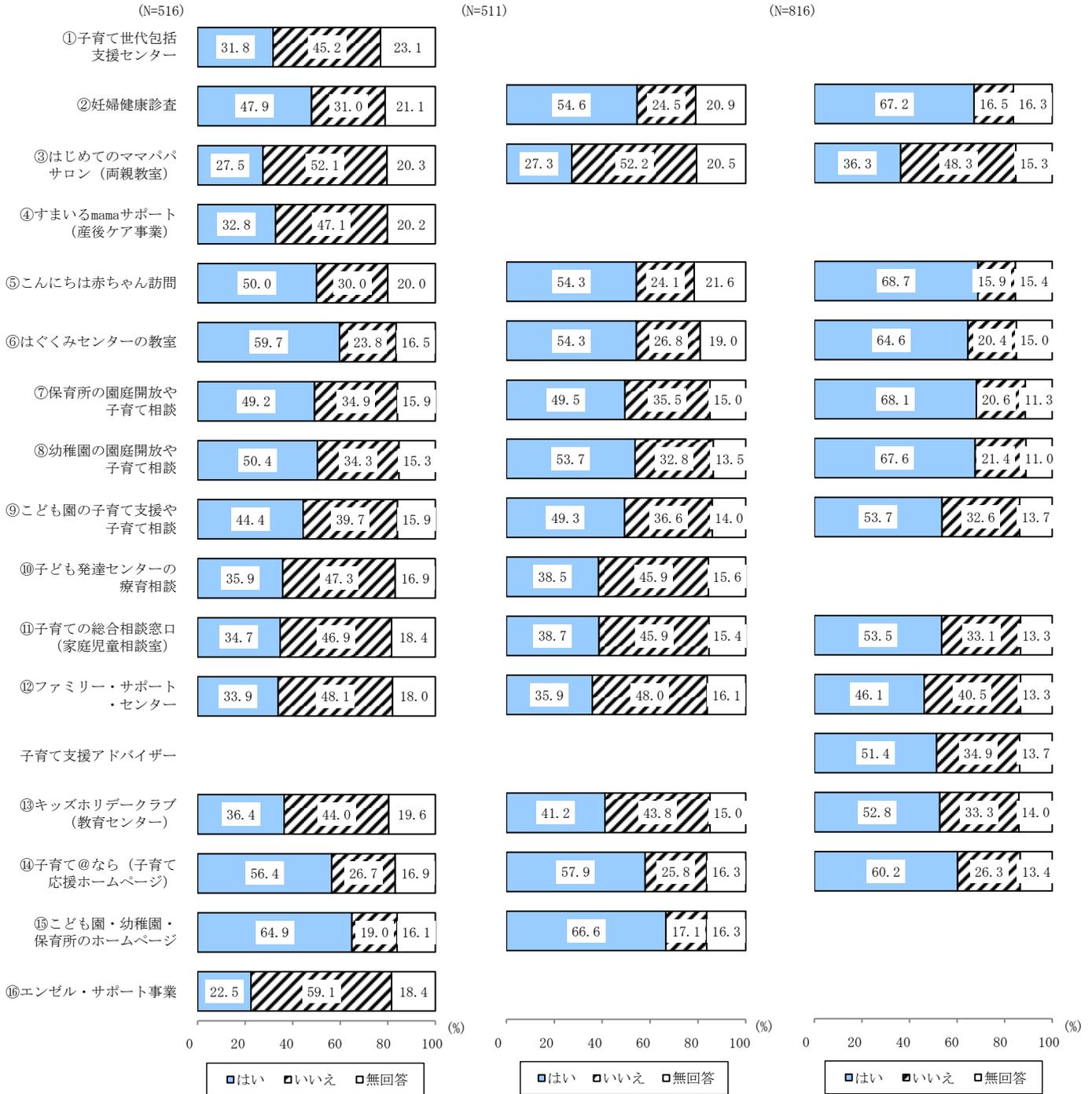
＜今後の利用意向＞

【0～2歳】

【平成30年度調査】

【平成29年度調査】

【平成25年度調査】

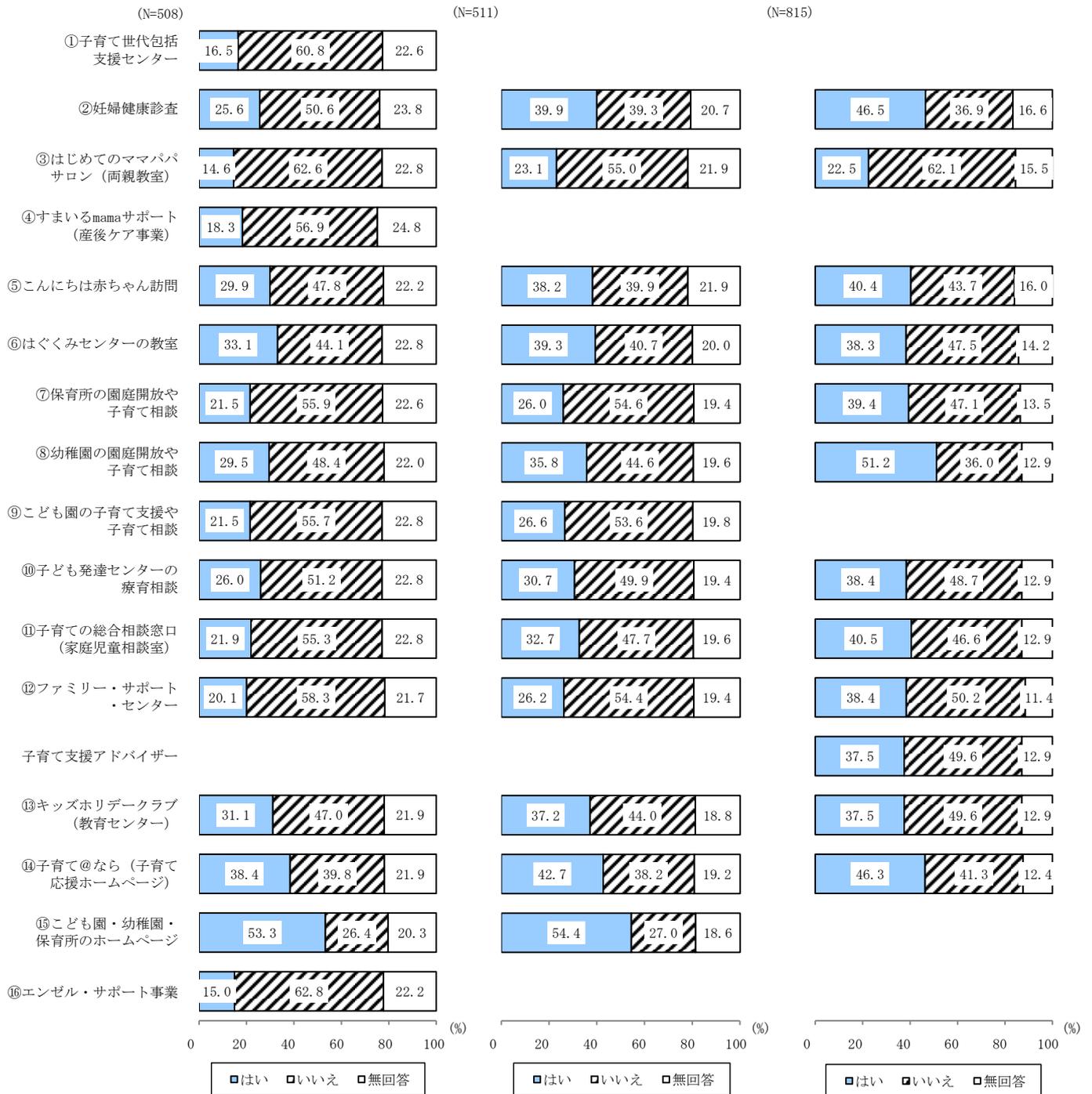


【3～5歳】

【平成30年度調査】

【平成29年度調査】

【平成25年度調査】



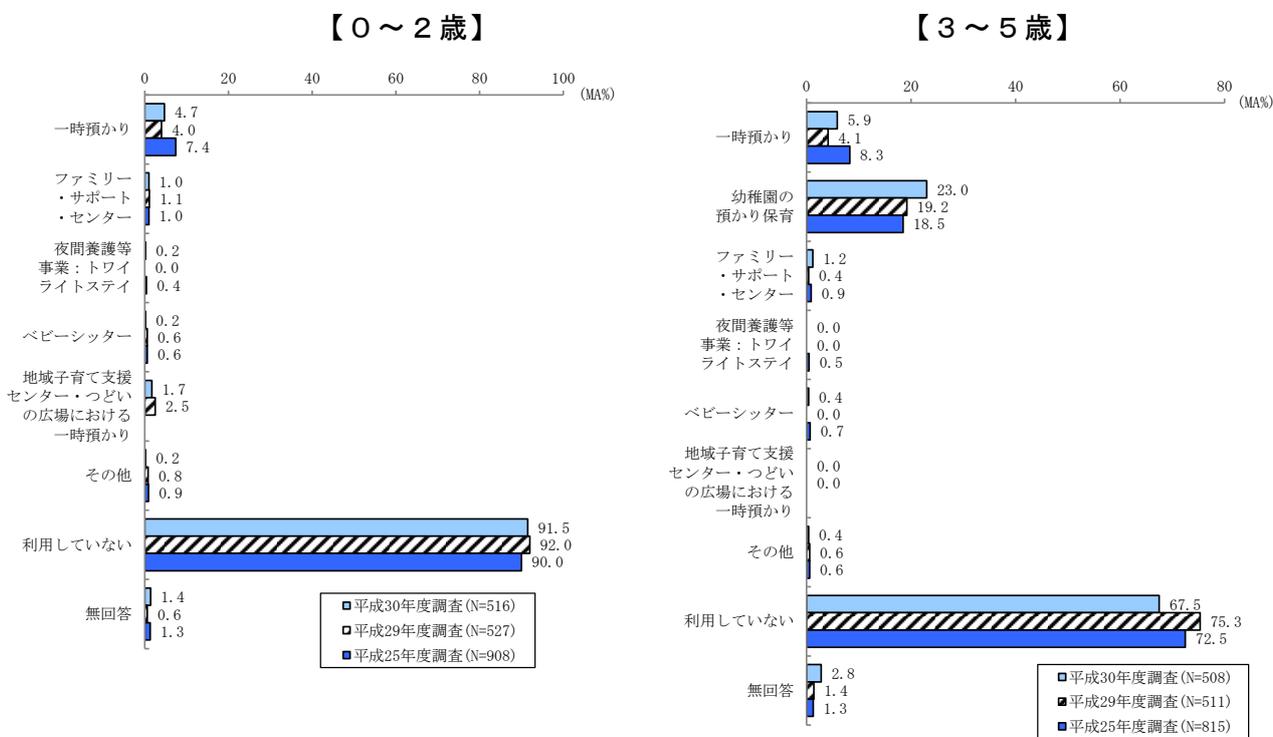
1-8. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、利用している場合は1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。(0～2歳：問14、3～5歳：問15)

0～2歳については、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が4.7%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり」が1.7%、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が1.0%となっています。

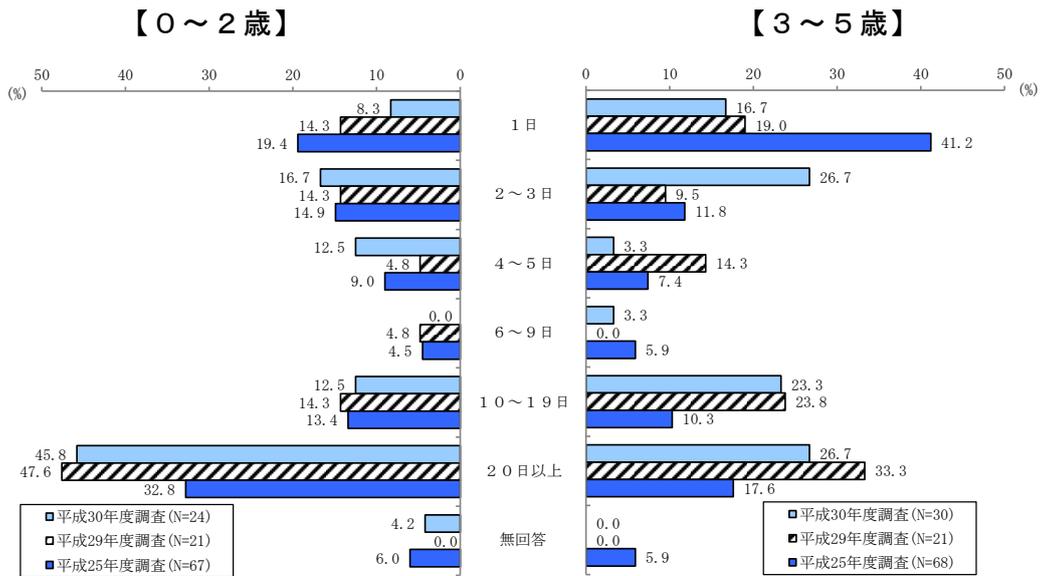
3～5歳については、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）」が23.0%と最も高く、次いで「一時預かり」が5.9%、「ファミリー・サポート・センター」が1.2%となっています。

経年でみると、0～2歳では大きな違いはありません。3～5歳では「幼稚園の預かり保育」が増加しています。

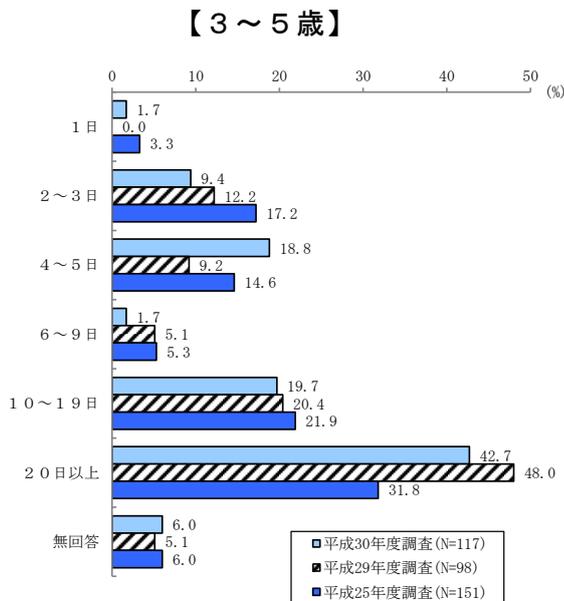


※平成25年度調査には「地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり」の選択肢はありません。

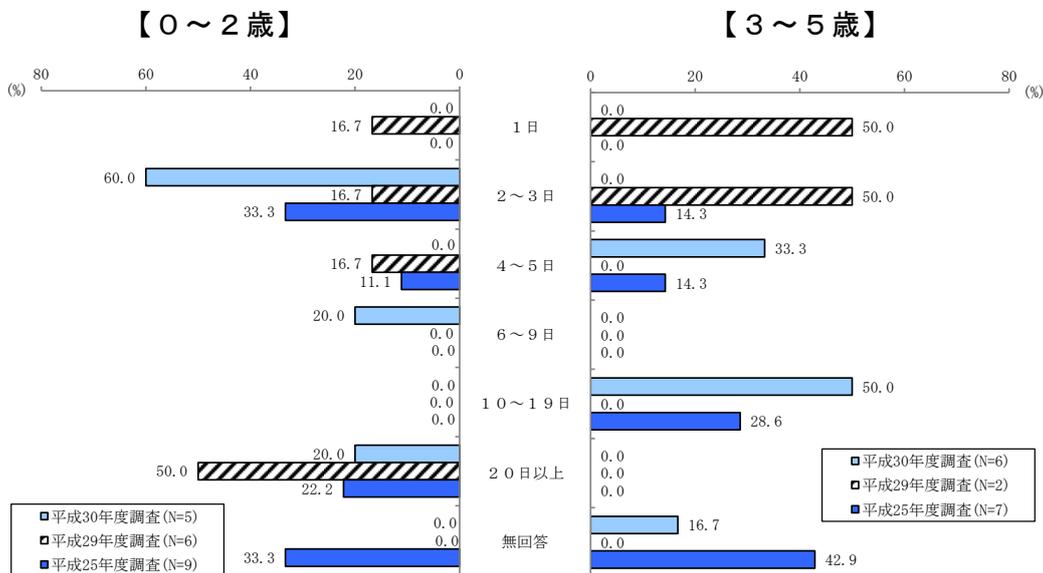
一時預かり 年間利用日数



幼稚園の預かり保育 年間利用日数



ファミリー・サポート・センター 年間利用日数



夜間養護等事業：トワイライトステイ 年間利用日数

0～2歳では、「1日」が1件となっています。

3～5歳は回答者なしとなっています。

ベビーシッター 年間利用日数

0～2歳は、「2～3日」が1件となっています。

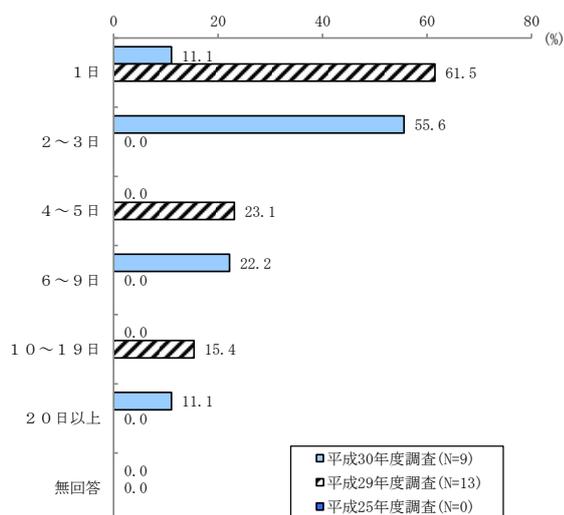
3～5歳では、「4～5日」、「10～19日」がそれぞれ1件となっています。

地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり 年間利用日数

0～2歳については、「2～3日」が55.6%と最も高く、次いで「6～9日」が22.2%、「1日」、「20日以上」がそれぞれ11.1%となっています。

3～5歳は回答者無しとなっています。

【0～2歳】



その他 年間利用日数

0～2歳は、「1日」が1件となっています。

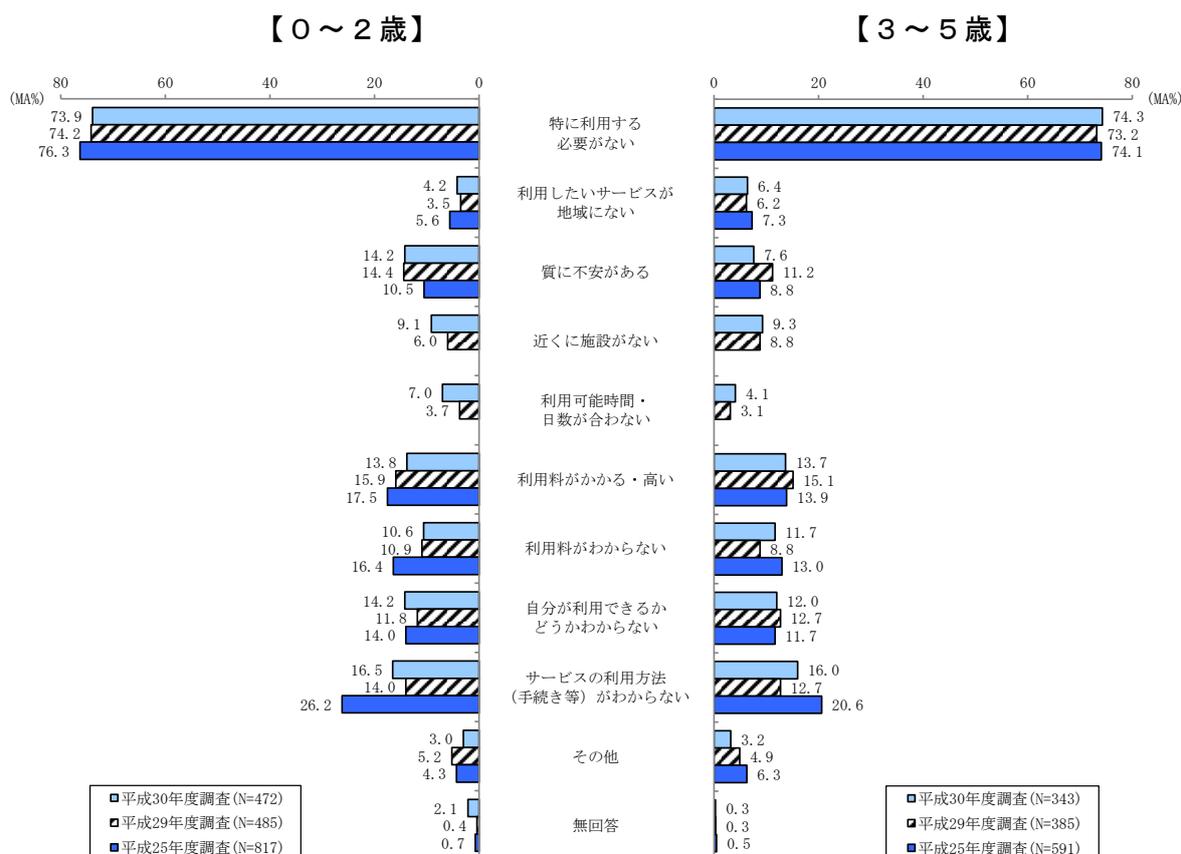
3～5歳では、「4～5日」が1件となっています。

問 前問で「利用していない」とお答えの方は、その理由にあてはまるものすべてに○をつけてください。(0～2歳：問14-1、3～5歳：問15-1)

0～2歳については、「特に利用する必要がない」が73.9%と最も高く、次いで「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」が16.5%、「質に不安がある」、「自分が利用できるかどうかわからない」がそれぞれ14.2%となっています。

3～5歳については、「特に利用する必要がない」が74.3%と最も高く、次いで「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」が16.0%、「利用料がかかる・高い」が13.7%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」が減少しています。



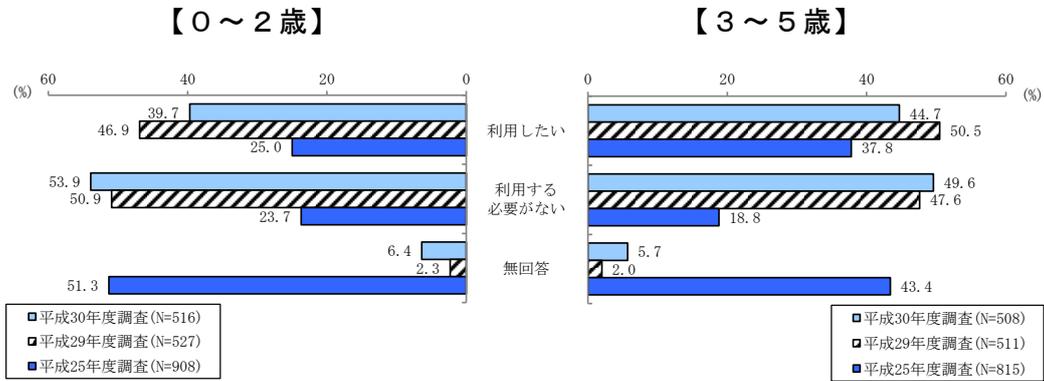
※平成25年度調査には「近くに施設がない」「利用可能な時間・日数が合わない」の選択肢はありません。

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で前問に示した事業を利用したいと思いますか。いずれか1つに○をつけてください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。(0～2歳：問15、3～5歳：問16)

0～2歳については、「利用する必要がない」が53.9%と高くなっています。

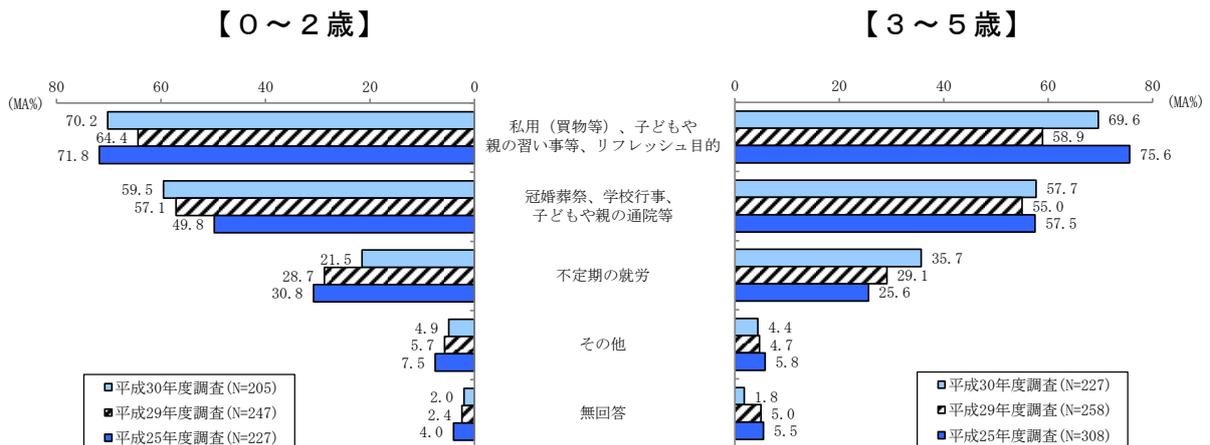
3～5歳については、「利用する必要がない」が49.6%と高くなっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「利用したい」が増加傾向にあります。

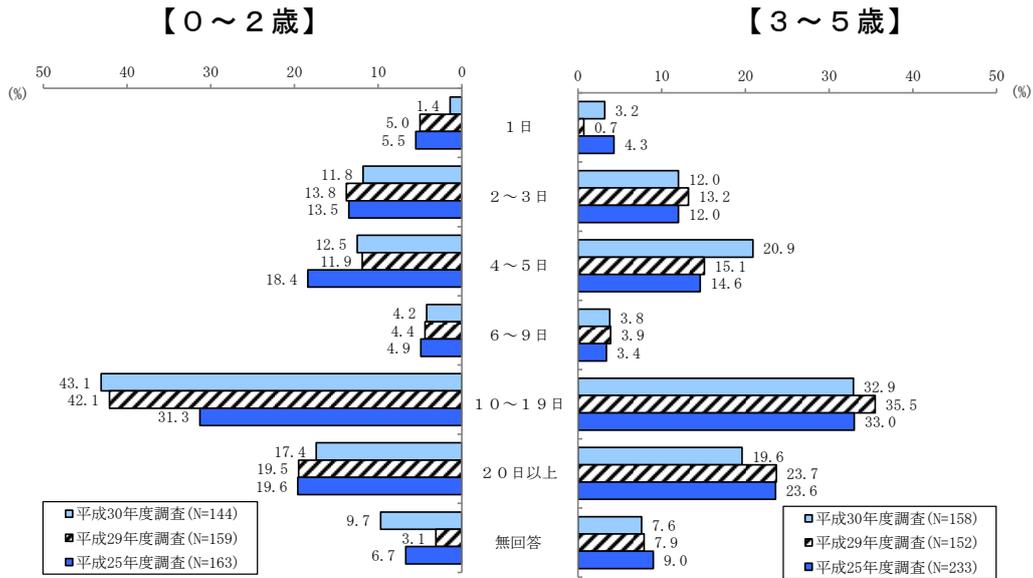


問 前問で「1. 利用したい」とお答えの方は、希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。①利用目的、②事業形態、それぞれあてはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を()内に数字でご記入ください。(0～2歳：問15-1、3～5歳：問16-1)

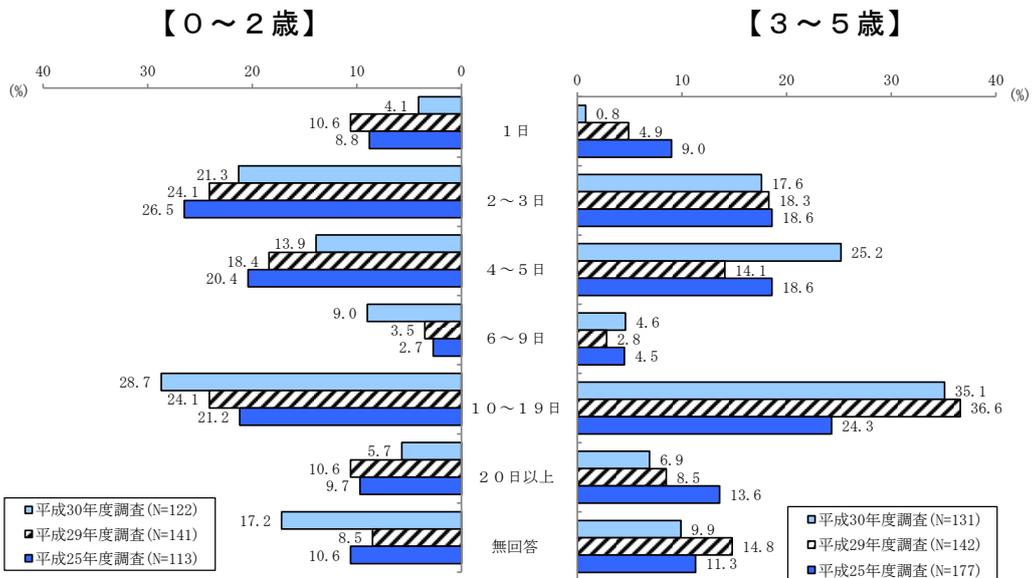
①利用目的



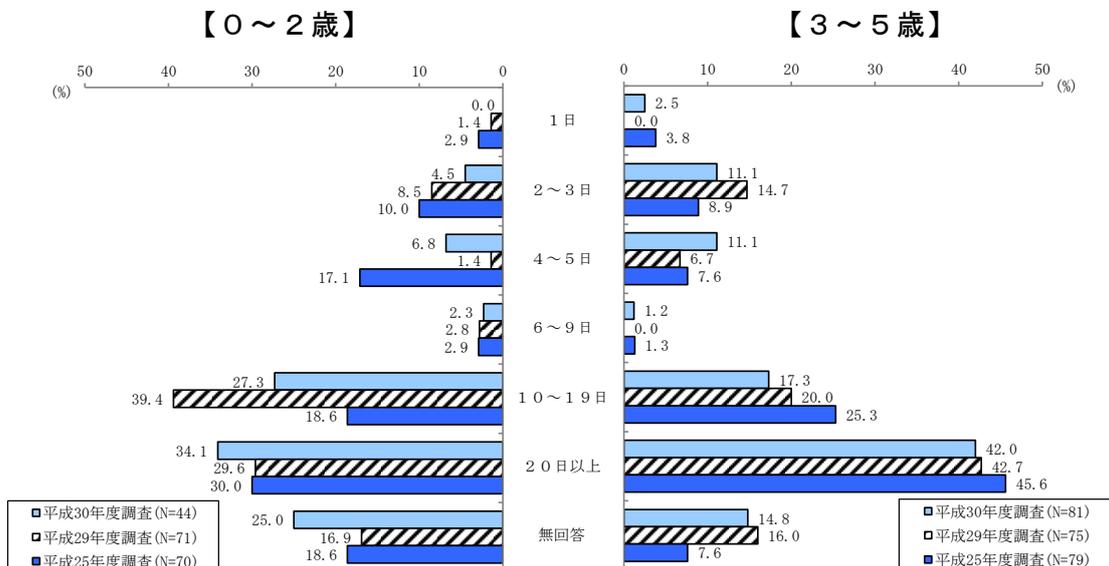
私用（買物等）、子ども（きょうだいを含む）や親の習いごと等、リフレッシュ目的 年間日数



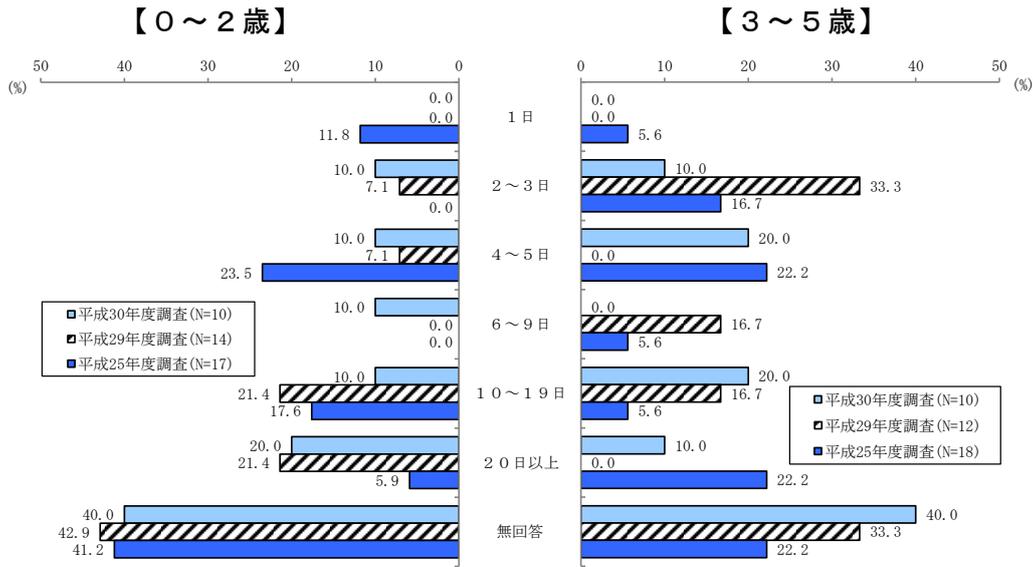
冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等 年間日数



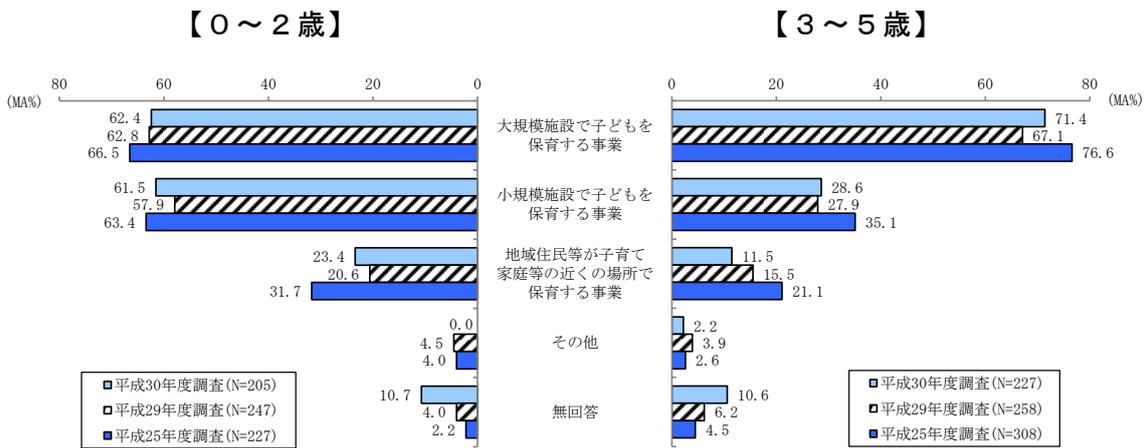
不定期の就労 年間日数



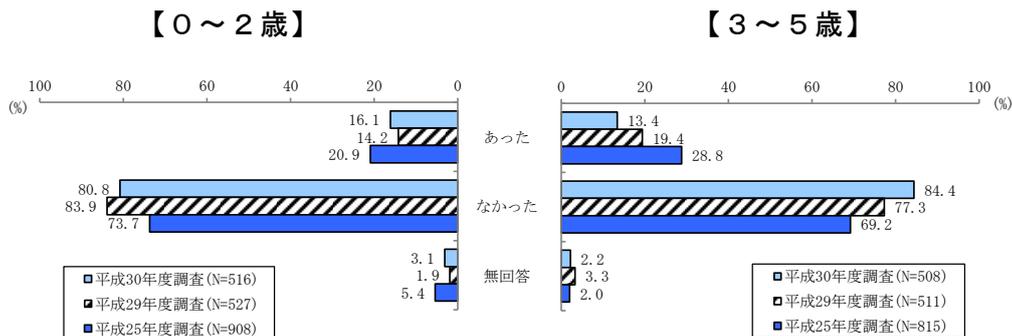
その他 年間日数



②事業形態



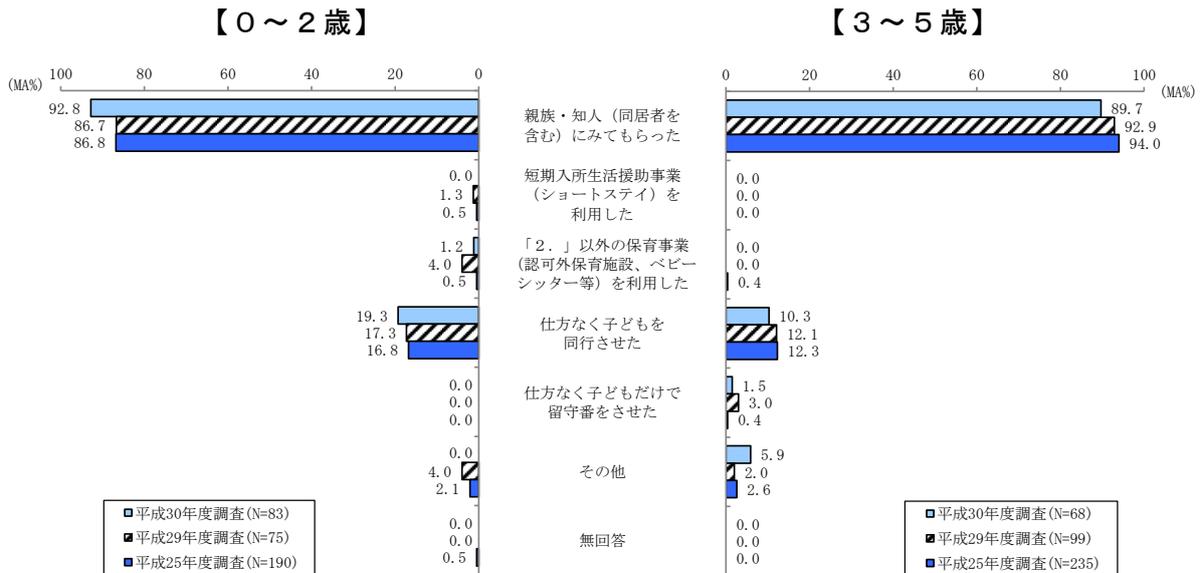
問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）（0～2歳：問16、3～5歳：問17）



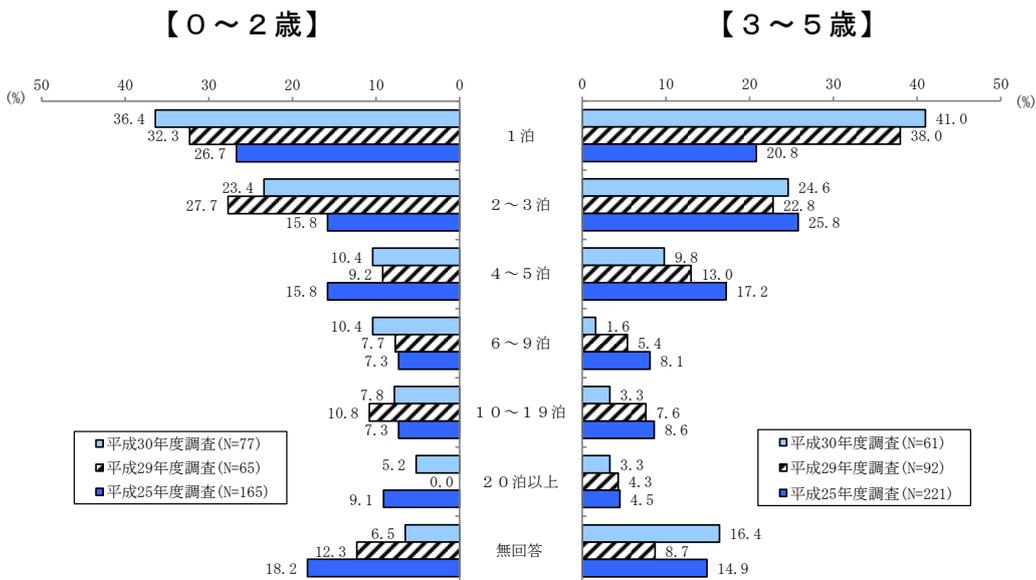
問 前問で「1. あった」とお答えの方、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの宿泊数も（ ）内に数字でご記入ください。（0～2歳：問16-1、3～5歳：問17-1）

0～2歳については、「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」が92.8%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が19.3%、「2」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」が1.2%となっています。

3～5歳については、「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」が89.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が10.3%、「その他」が5.9%となっています。



①親族・知人（同居者を含む）にみてもらった



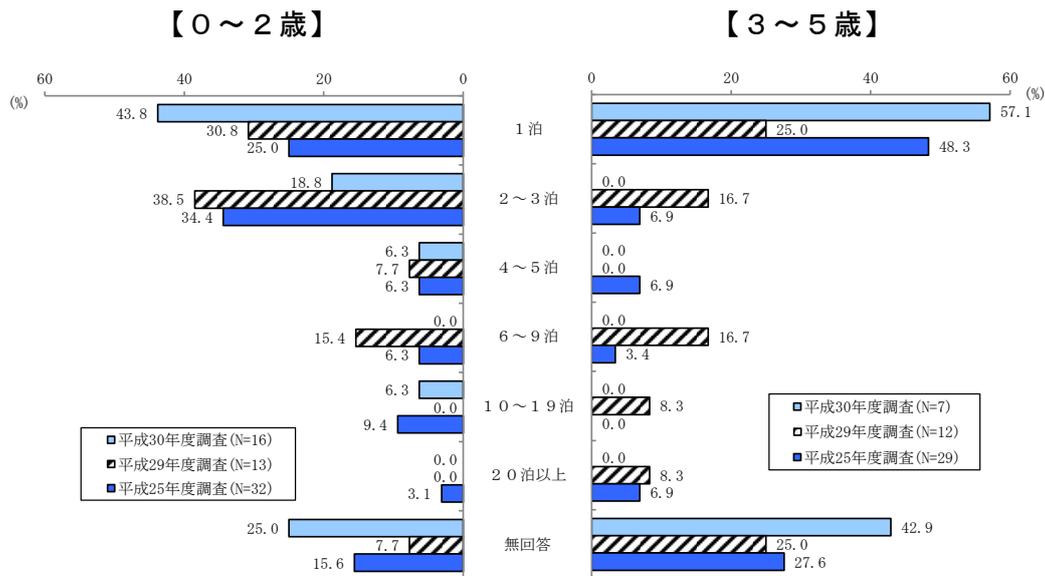
②短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した

0～2歳、3～5歳ともに、回答者無しとなっています。

③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した

0～2歳、3～5歳ともに、回答者無しとなっています。

④仕方なく子どもを同行させた



⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた

0～2歳は回答者無しとなっています。
3～5歳では、「1日」が1件となっています。

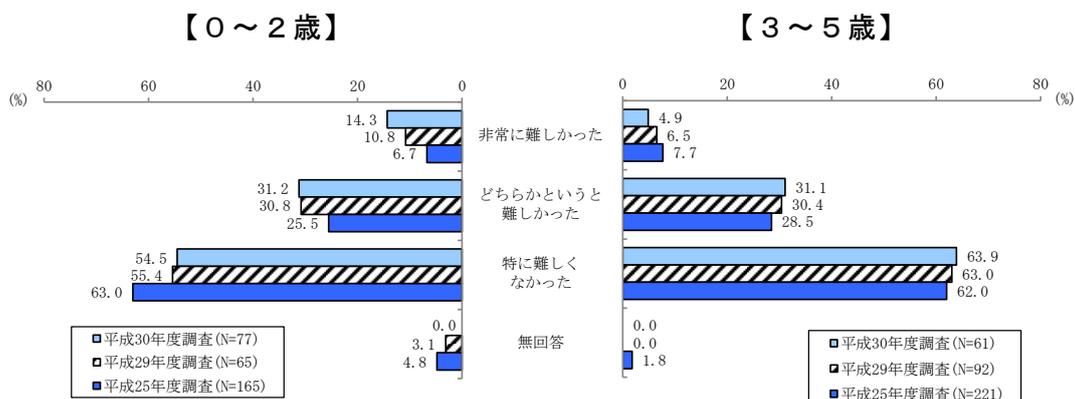
⑥その他

0～2歳は回答者無しとなっています。
3～5歳では、「1日」、「2～3日」、「10～19日」がそれぞれ1件となっています。

問 前問で「1. あった」「①親族(同居者を含む)・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんを「親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(0～2歳：問16-2、3～5歳：問17-2)

0～2歳については、「特に難しくなかった」が54.5%と最も高く、次いで「どちらかというとな難しかった」が31.2%、「非常に難しかった」が14.3%となっています。

3～5歳については、「特に難しくなかった」が63.9%と最も高く、次いで「どちらかというとな難しかった」が31.1%、「非常に難しかった」が4.9%となっています。



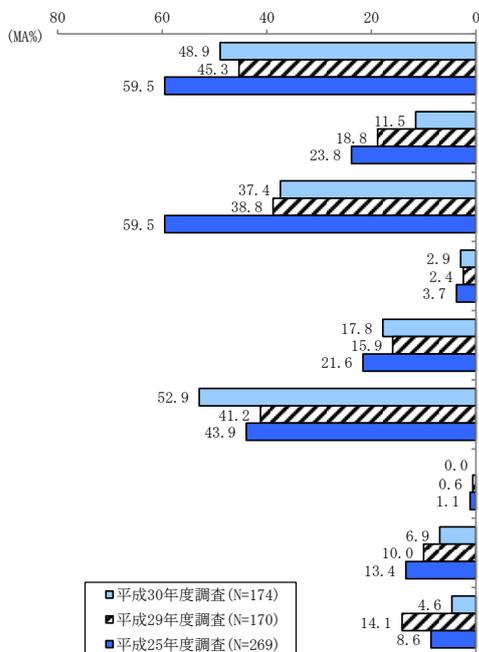
1-9. 小学校入学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ）

問 あて名のお子さんについて、①小学校低学年（1～3年生）の間、また、②高学年（4～6年）の間には放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」（放課後児童クラブ）の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。（3～5歳：問18）

①低学年（1～3年生）のあいだの希望

低学年のあいだの希望については、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」が52.9%と最も高く、次いで「自宅」が48.9%、「習いごとや塾」が37.4%となっています。

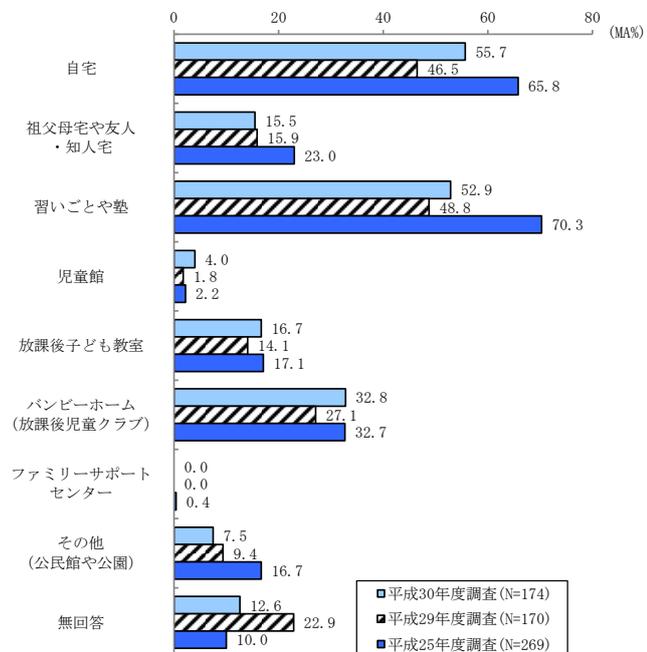
経年でみると、「自宅」、「習いごとや塾」が減少しています。



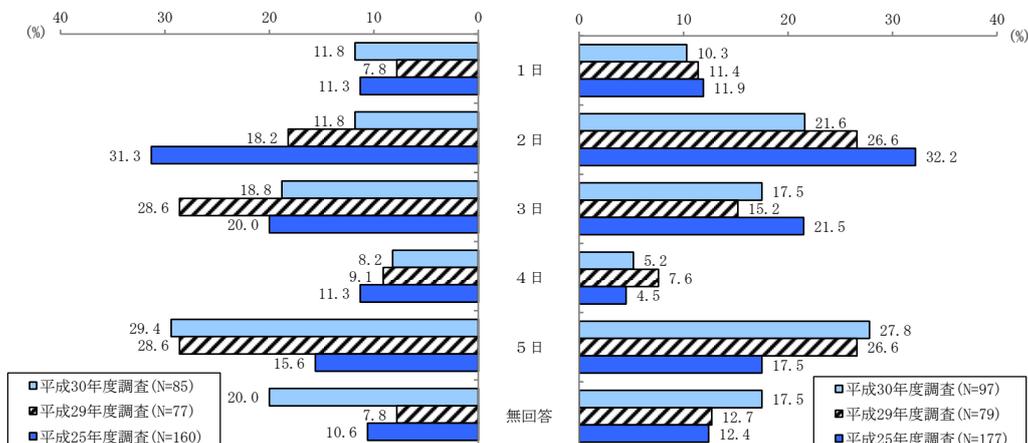
②高学年（4～6年生）のあいだの希望

高学年のあいだの希望については、「自宅」が55.7%と最も高く、次いで「習いごとや塾」が52.9%、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」が32.8%となっています。

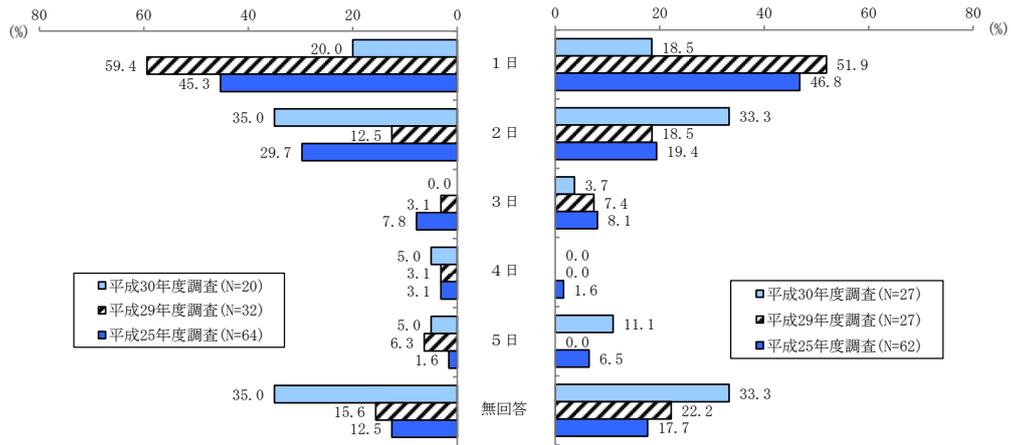
経年でみると、「自宅」、「習いごとや塾」が減少しています。



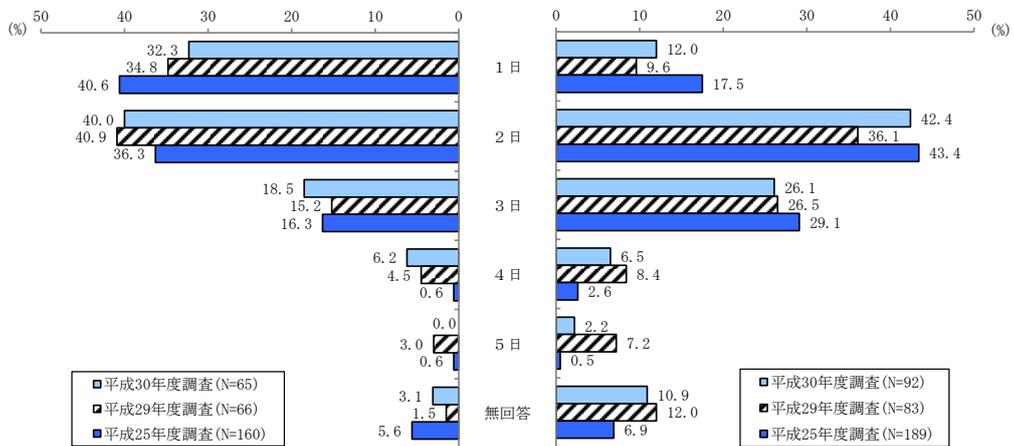
自宅の1週あたりの日数



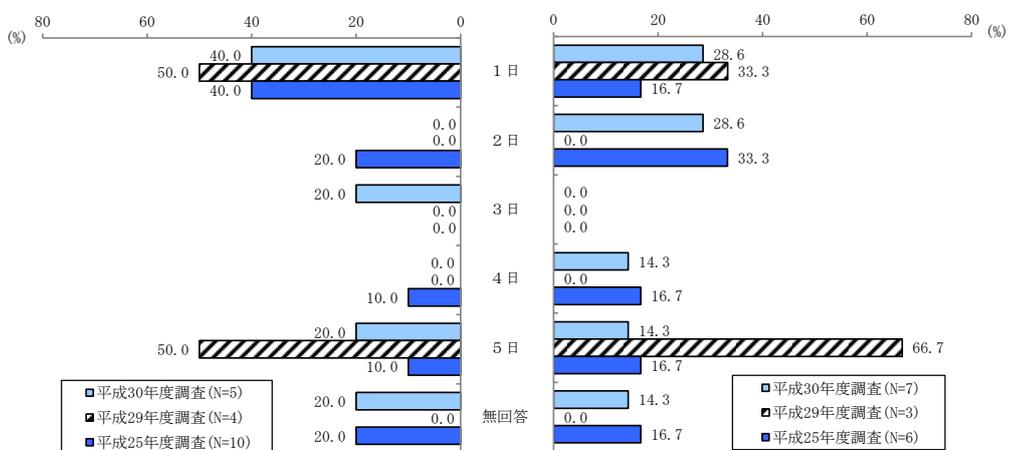
祖父母宅や友人・知人宅の1週あたりの日数



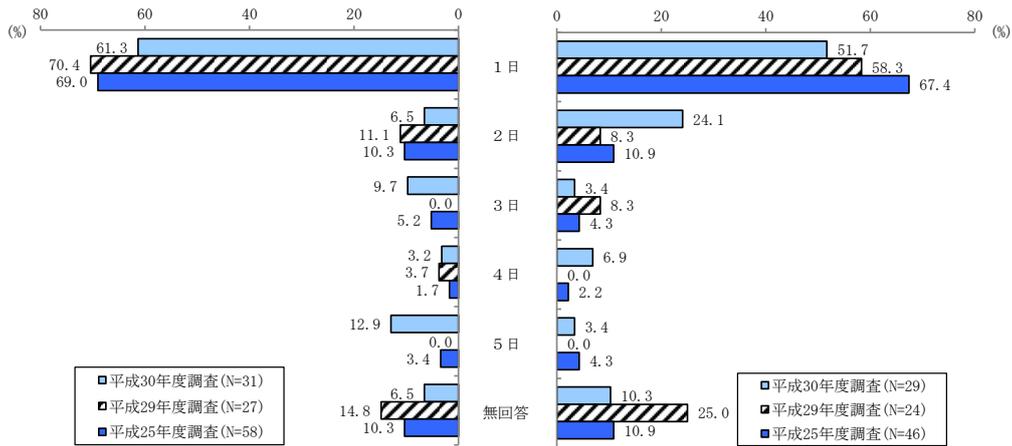
習いごとや塾の1週あたりの日数



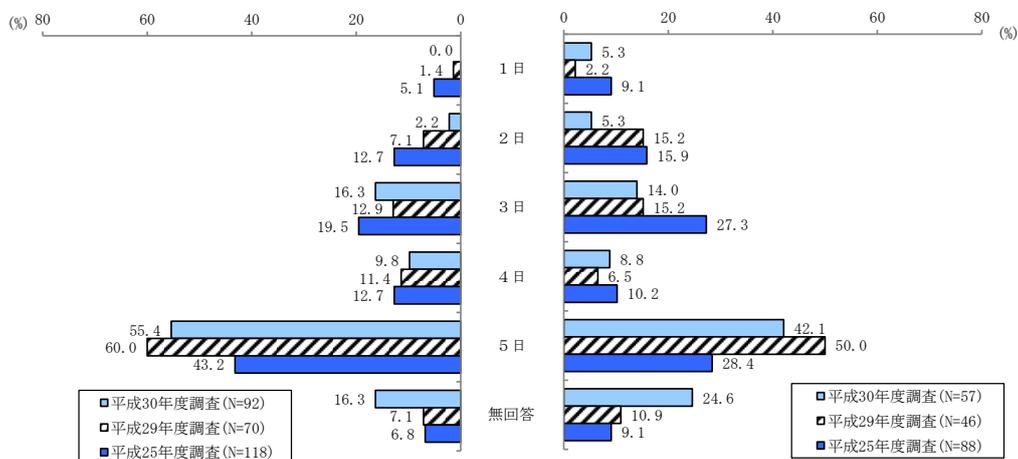
児童館の1週あたりの日数



放課後子ども教室の1週あたりの日数



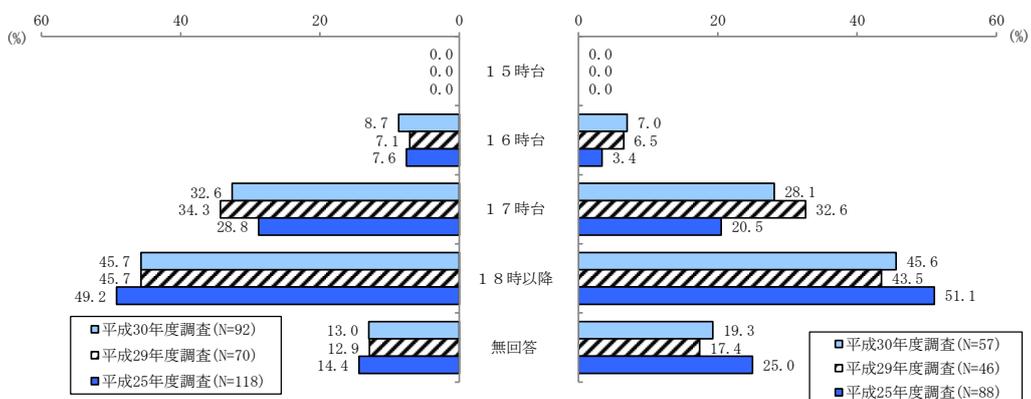
バンビーホームの1週あたりの日数



バンビーホームを下校時から () 時まで利用したいか

「18時以降」が45.7%と最も高く、次いで「17時台」が32.6%、「16時台」が8.7%となっています。

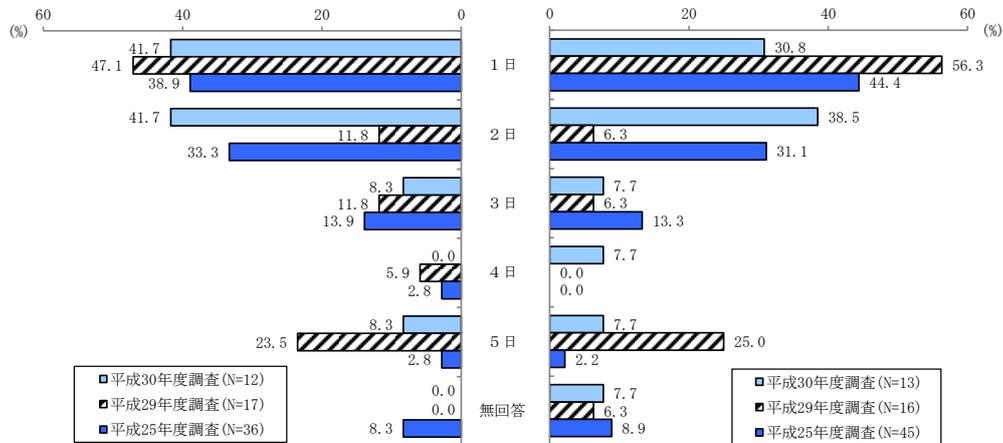
「18時以降」が45.6%と最も高く、次いで「17時台」が28.1%、「16時台」が7.0%となっています。



ファミリー・サポート・センターの1週あたりの日数

低学年の利用希望、高学年の利用希望ともに回答者無しとなっています。

その他（公民館や公園）の1週あたりの日数

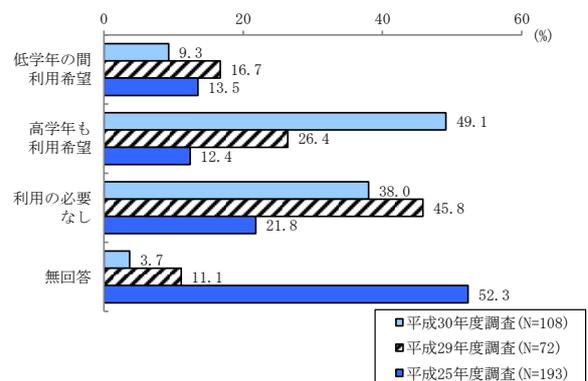


問 前問で「6.バンビーホーム」とお答えの方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を（ ）内に（例）9時から18時のように24時間制でご記入ください。なお、バンビーホームの利用には一定の利用料がかかります。（3～5歳：問19）

土曜日

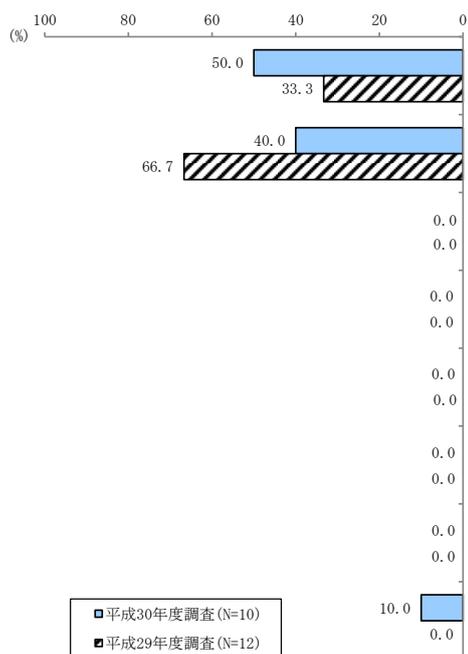
土曜日の利用については、「高学年も利用希望」が49.1%と最も高く、次いで「利用の必要なし」が38.0%、「低学年の間利用希望」が9.3%となっています。

経年でみると、高学年も利用希望が増加しています。



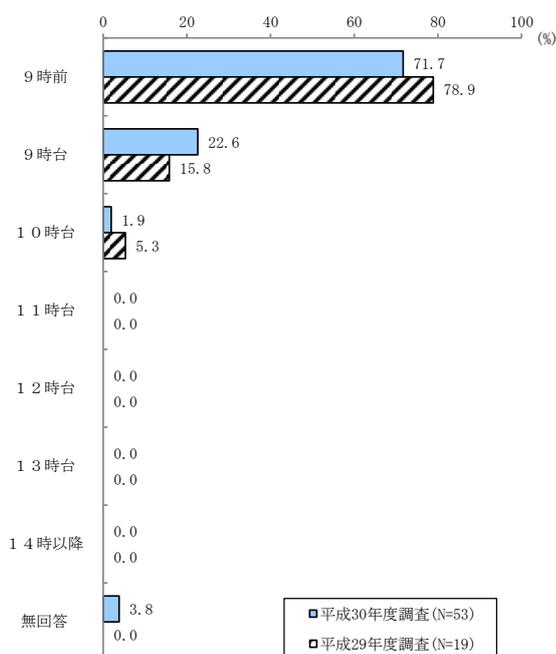
①低学年（1～3年生）のあいだの希望

希望利用開始時間

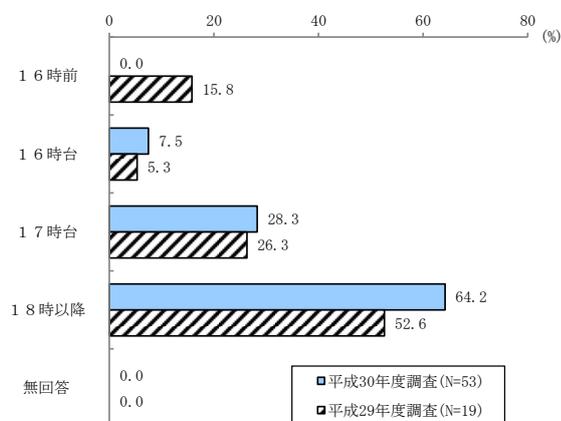
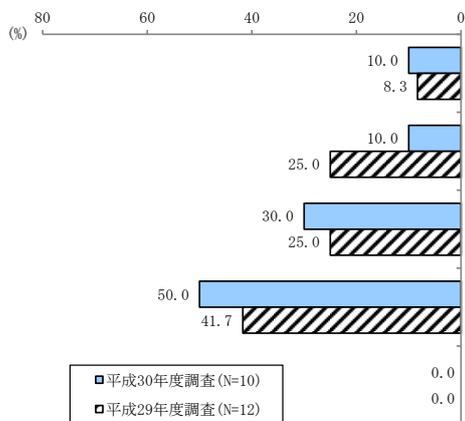


②高学年（4～6年生）のあいだの希望

希望利用開始時間



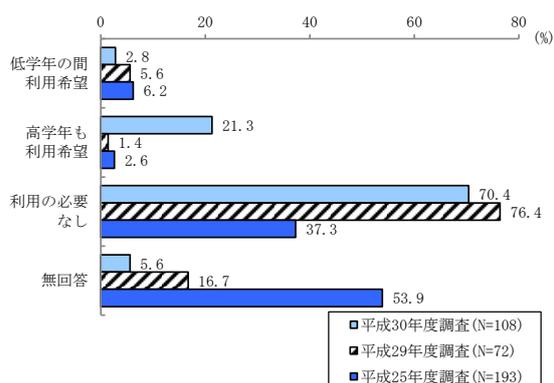
希望利用終了時間



日曜日・祝日

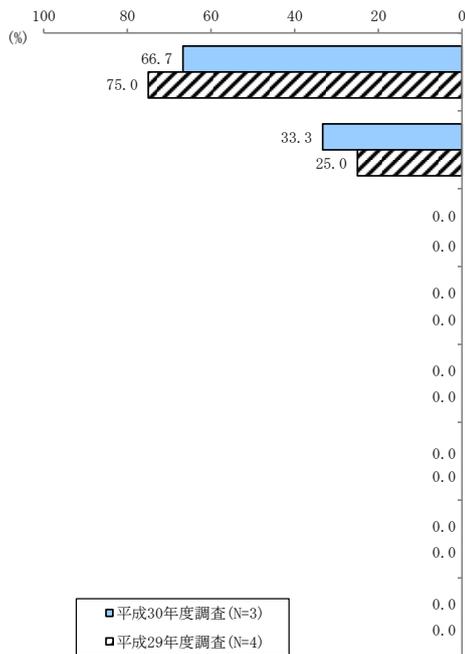
日曜日・祝日の利用については、「利用の必要なし」が70.4%と最も高く、次いで「高学年も利用希望」が21.3%、「低学年の間利用希望」が2.8%となっています。

経年でみると、「利用の必要なし」、「高学年も利用希望」が増加しています。

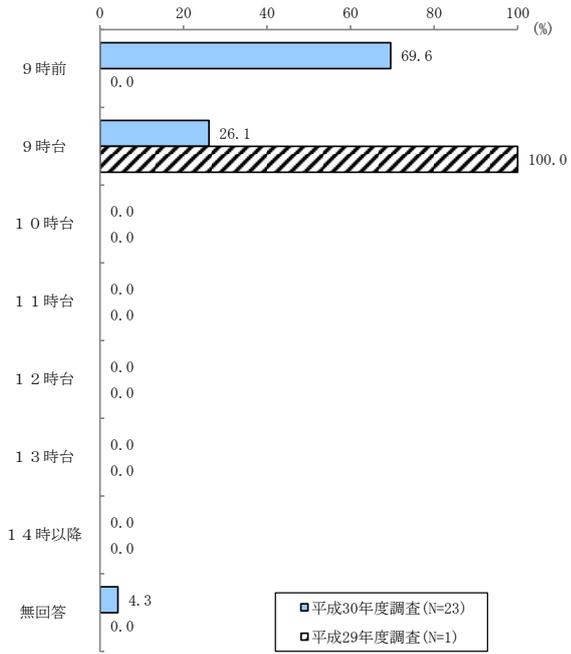


①低学年

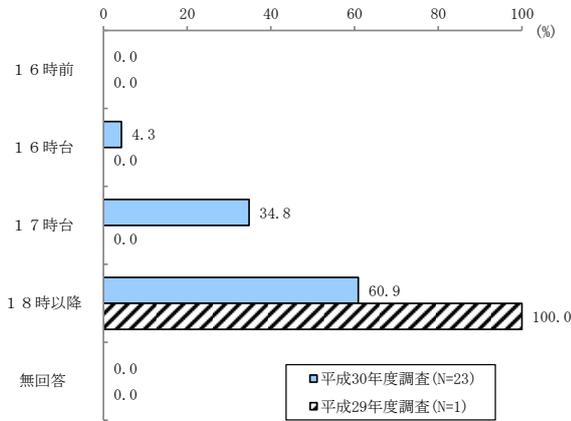
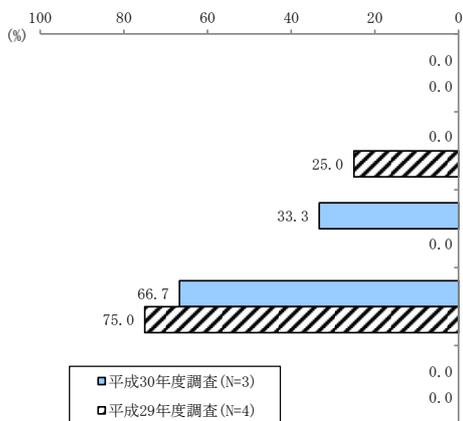
希望利用開始時間



②高学年



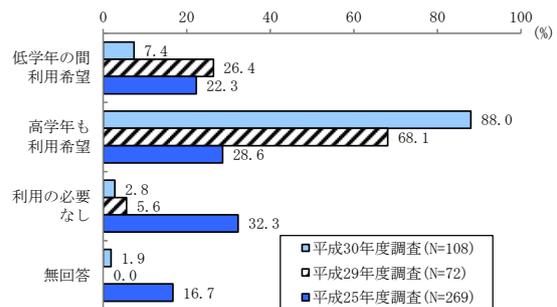
希望利用終了時間



夏休み・冬休み等長期休暇中

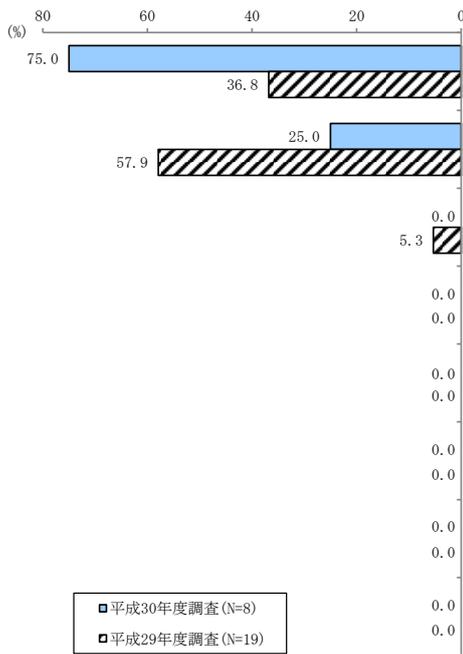
夏休み・冬休み等長期休暇中の利用については、「高学年も利用希望」が88.0%と最も高く、次いで「低学年の間利用希望」が7.4%、「利用の必要なし」が2.8%となっています。

経年でみると、「高学年も利用希望」が増加しています。

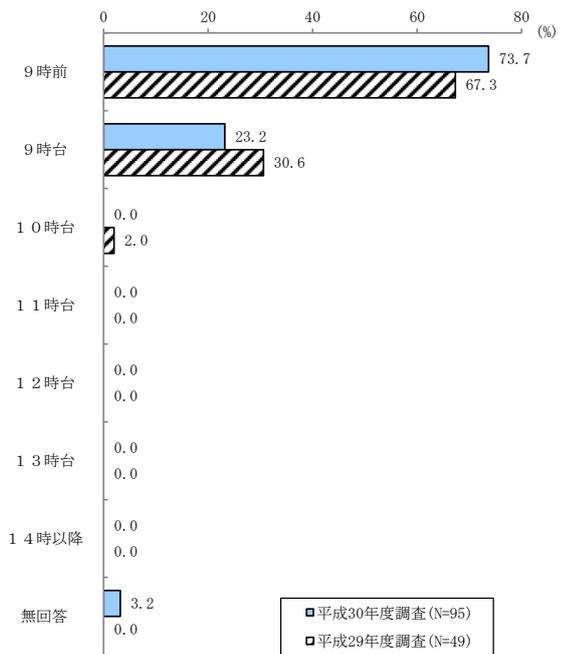


①低学年

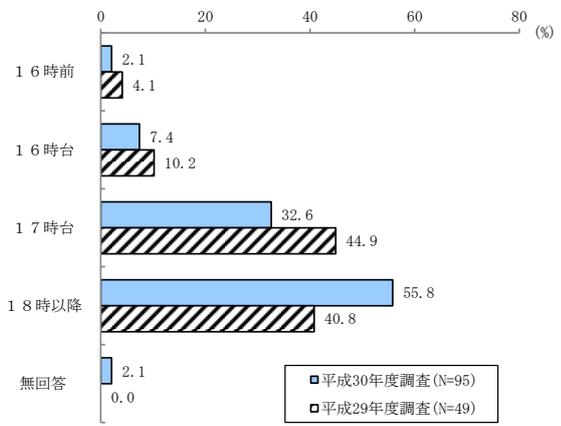
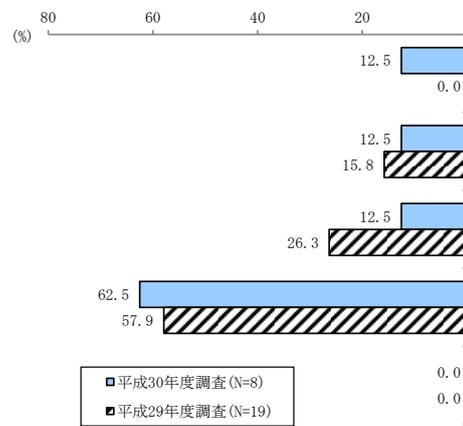
希望利用開始時間



②高学年



希望利用終了時間



1-10. 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

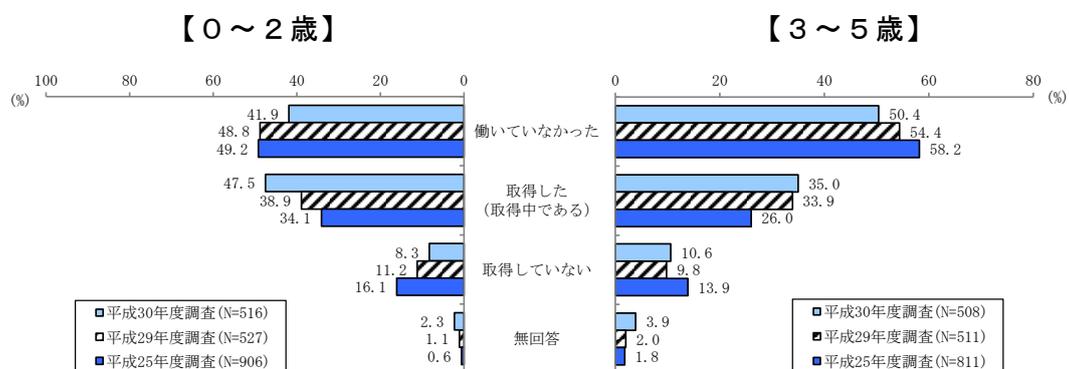
問 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。(0～2歳：問17、3～5歳：問20)

母親の育児休業取得状況

0～2歳については、「取得した(取得中である)」が47.5%と最も高く、次いで「働いていなかった」が41.9%、「取得していない」が8.3%となっています。

3～5歳については、「働いていなかった」が50.4%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が35.0%、「取得していない」が10.6%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「取得した(取得中である)」が増加しており、「働いていなかった」が減少傾向にあります。

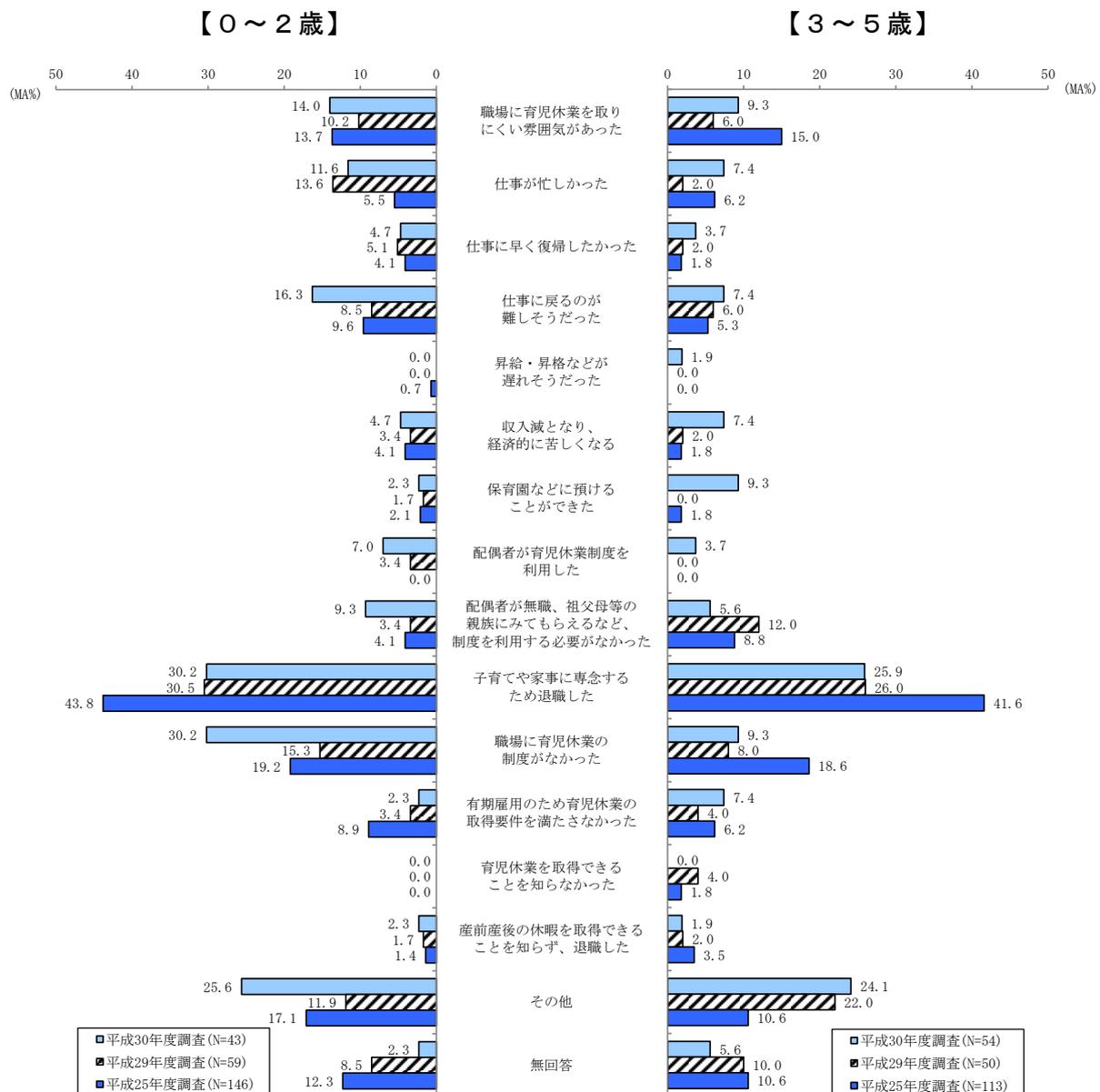


母親が育児休業を取得しなかった理由

0～2歳については、「子育てや家事に専念するため退職した」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がそれぞれ30.2%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が16.3%となっています。

3～5歳については、「子育てや家事に専念するため退職した」が25.9%と最も高く、次いで「その他」が24.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「保育園などに預けることができた」、「職場に育児休業の制度がなかった」がそれぞれ9.3%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「子育てや家事に専念するため退職した」が減少しています。0～2歳では「職場に育児休業の制度がなかった」、「仕事に戻るのか難しそうだった」等が、3～5歳では「保育園などに預けることができた」が増加しており、「配偶者が育児休業を利用した」は0～2歳、3～5歳ともに微増しています。

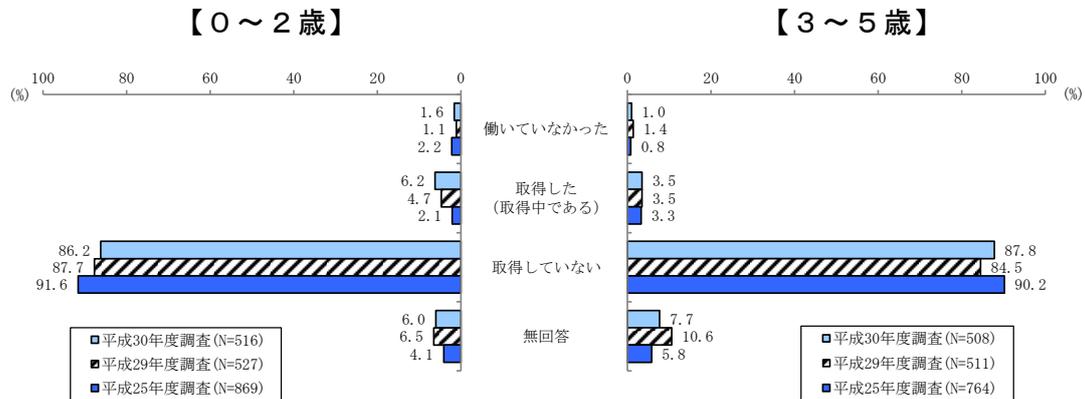


父親の育児休業取得状況

0～2歳については、「取得していない」が86.2%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が6.2%、「働いていなかった」が1.6%となっています。

3～5歳については、「取得していない」が87.8%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が3.5%、「働いていなかった」が1.0%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに大きな違いはありませんが、0～2歳では「取得した（取得中である）」が微増しています。

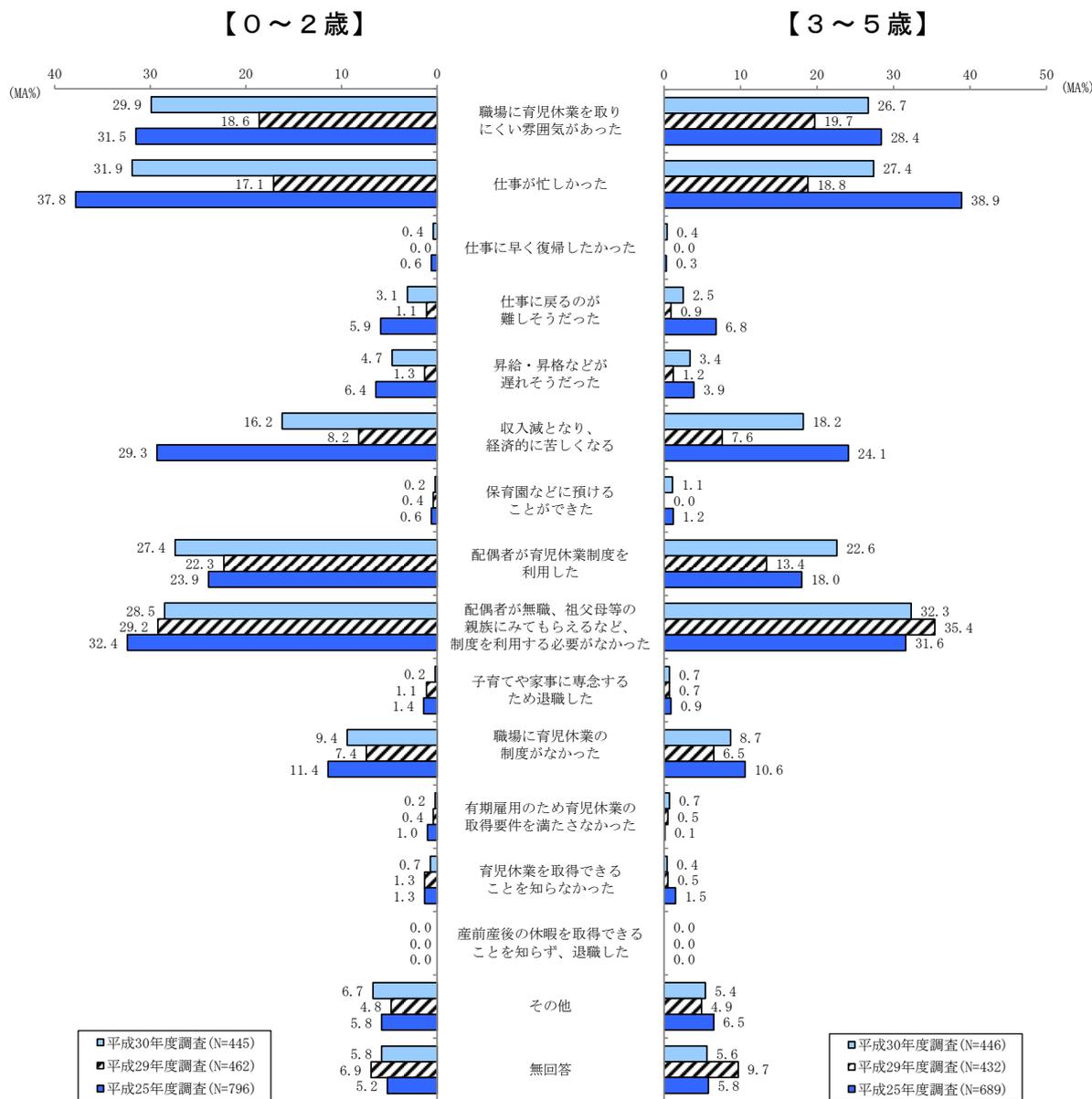


父親が育児休業を取得しなかった理由

0～2歳については、「仕事が忙しかった」が31.9%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が29.9%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が28.5%となっています。

3～5歳については、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が32.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が27.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が26.7%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「配偶者が育児休業制度を利用した」が増加し、「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が減少しています。



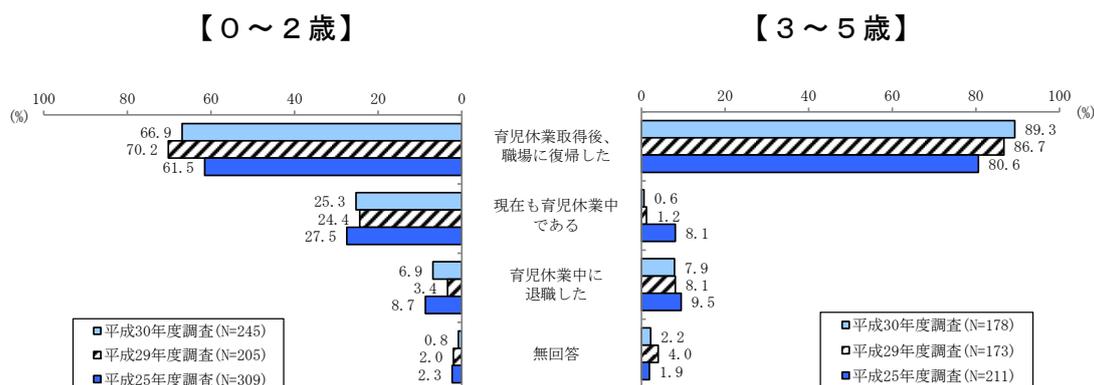
母親の方のみお答えください。

問 前問で「2. 取得した（取得中である）」とお答えの方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（0～2歳：問17-1、3～5歳：問20-1）

0～2歳については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が66.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が25.3%、「育児休業中に退職した」が6.9%となっています。

3～5歳については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が89.3%と最も高く、次いで「育児休業中に退職した」が7.9%、「現在も育児休業中である」が0.6%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに大きな違いはありません。



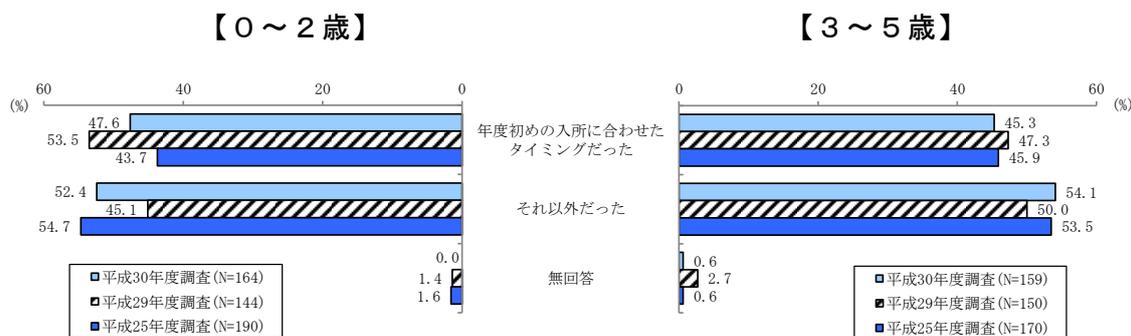
母親の方のみお答えください。

問 前問で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（0～2歳：問17-2、3～5歳：問20-2）

0～2歳については、「それ以外だった」が52.4%と高くなっています。

3～5歳については、「それ以外だった」が54.1%と高くなっています。

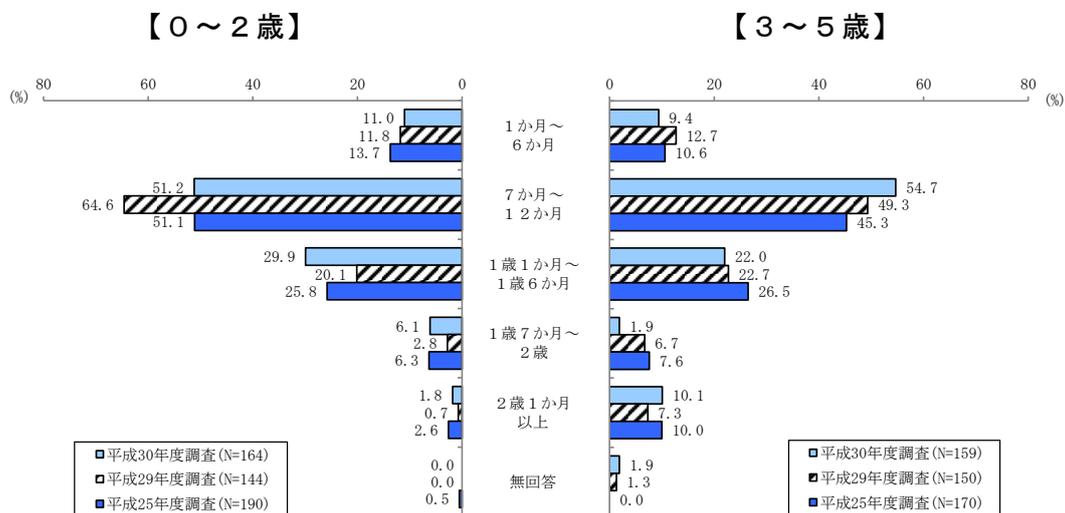
経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに大きな違いはありませんが、0～2歳では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が増加傾向にあります。



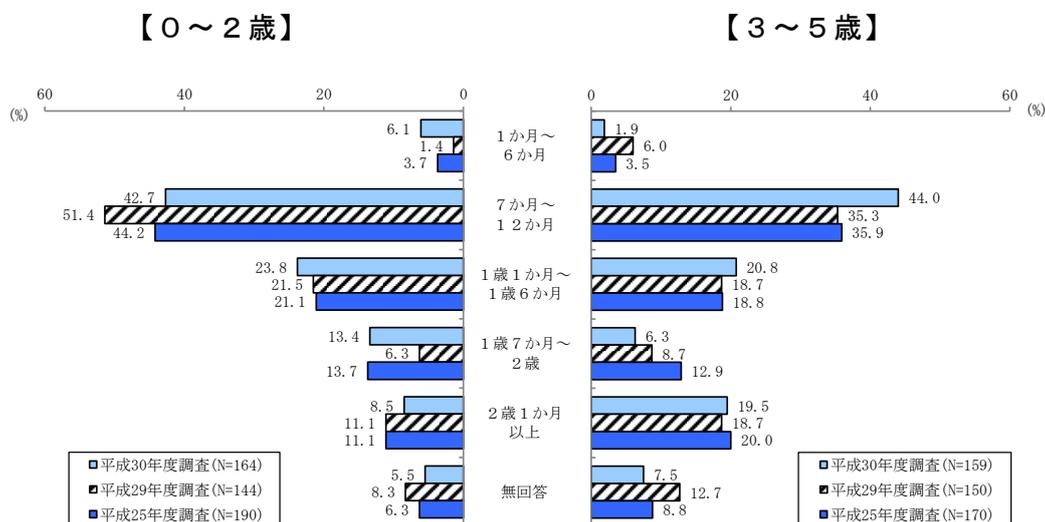
母親の方のみお答えください。

問 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。(0～2歳：問 17-3、3～5歳：問 20-3)

実際の復帰時期



希望の復帰時期

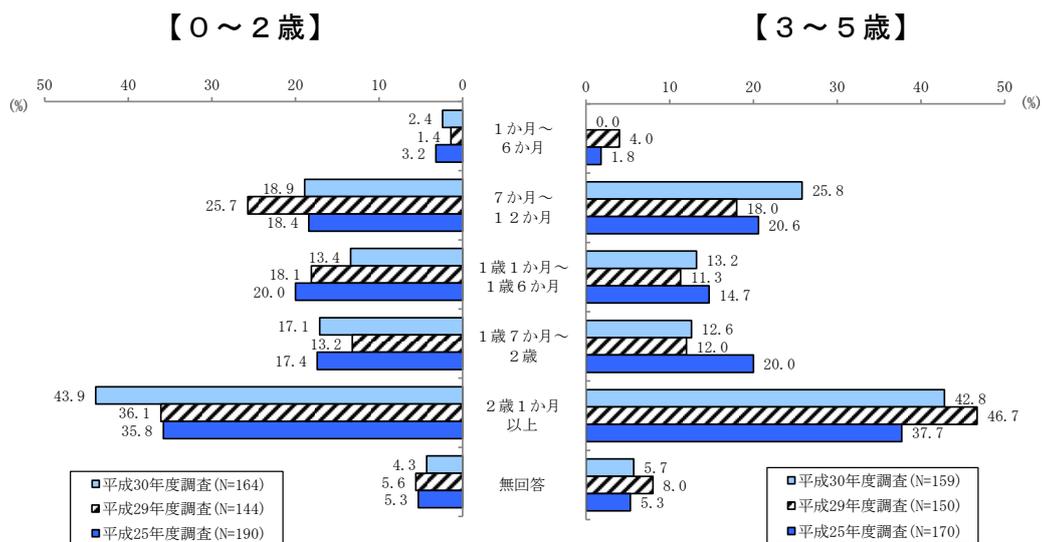


母親の方のみお答えください。

問 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。(0～2歳：問17-4、3～5歳：問20-4)

0～2歳については、「2歳1か月以上」が43.9%と最も高く、次いで「7か月～12か月」が18.9%、「1歳7か月～2歳」が17.1%となっています。

3～5歳については、「2歳1か月以上」が42.8%と最も高く、次いで「7か月～12か月」が25.8%、「1歳1か月～1歳6か月」が14.7%となっています。



母親の方のみお答えください。

問 実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(あてはまる番号すべてに○)

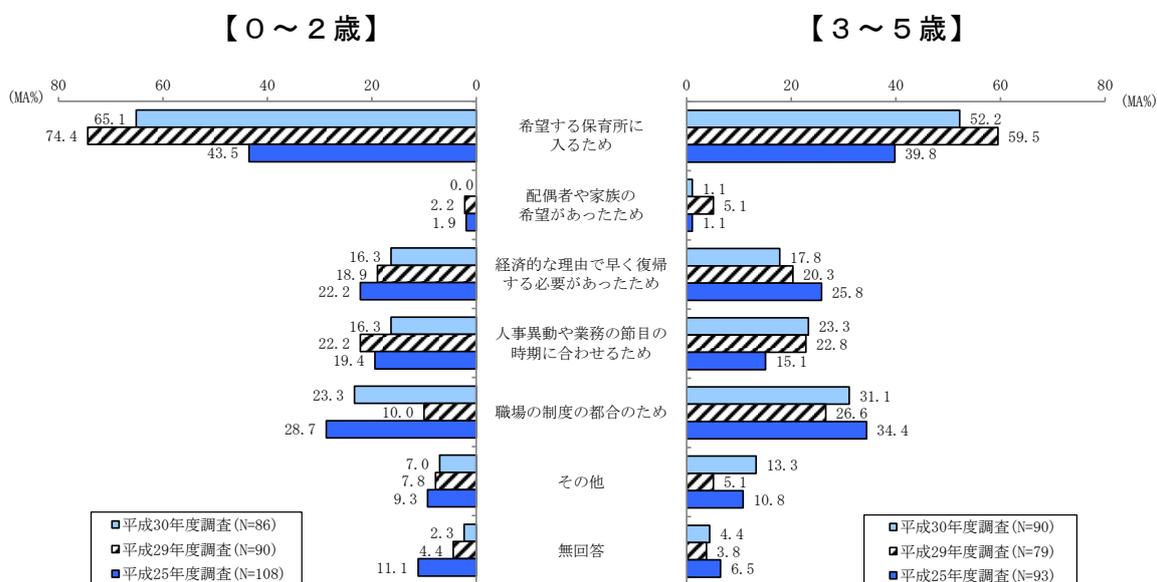
(1)「希望」より早く復帰した方 (2)「希望」より遅く復帰した方 (0～2歳：問17-5、3～5歳：問20-5)

(1)「希望」より早く復帰した方

0～2歳については、「希望する保育所に入るため」が65.1%と最も高く、次いで「職場の制度の都合のため」が23.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ16.3%となっています。

3～5歳については、「希望する保育所に入るため」が52.2%と最も高く、次いで「職場の制度の都合のため」が31.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が23.3%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「希望する保育所に入るため」が増加傾向にあり、3～5歳では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が増加しています。

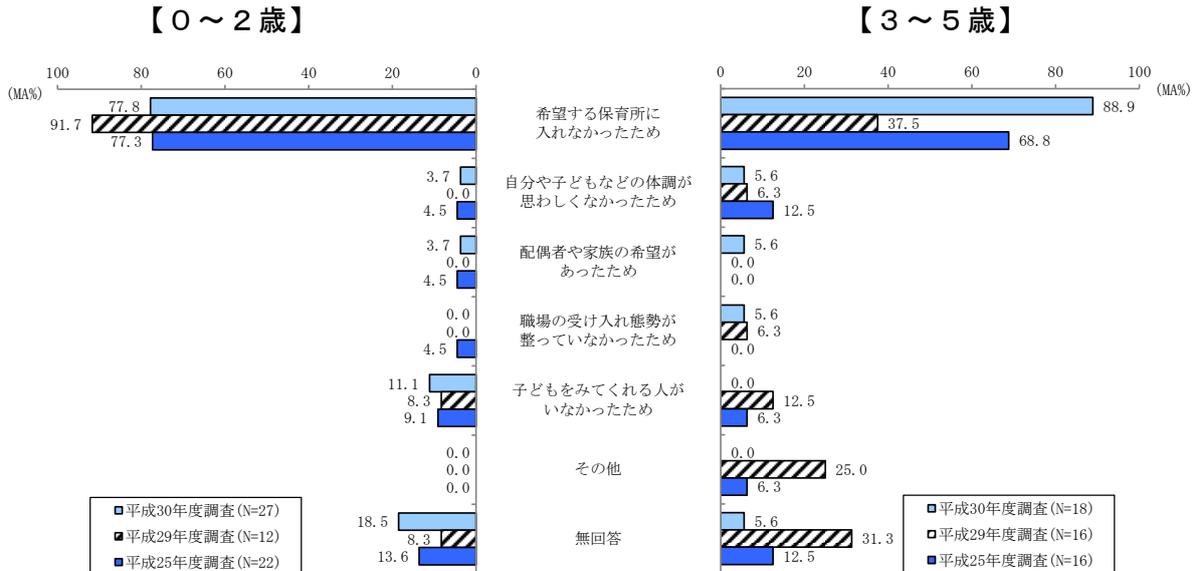


(2) 「希望」より遅く復帰した方

0～2歳については、「希望する保育所に入れなかったため」が77.8%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が11.1%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「配偶者や家族の希望があったため」がそれぞれ3.7%となっています。

3～5歳については、「希望する保育所に入れなかったため」が88.9%と最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「配偶者や家族の希望があったため」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」がそれぞれ5.6%となっています。

経年でみると、0～2歳では大きな違いはありませんが、3～5歳では「希望する保育所に入れなかったため」が増加しています。



母親の方のみお答えください。

問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問17-6、3～5歳：問20-6)

0～2歳については、「利用した」が49.4%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が25.0%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が24.4%となっています。

3～5歳については、「利用した」が50.9%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が26.4%、「利用する必要がなかった」が20.8%となっています。

経年でみると、0～2歳では「利用する必要がなかった」が、3～5歳では「利用した」がそれぞれ増加しています。

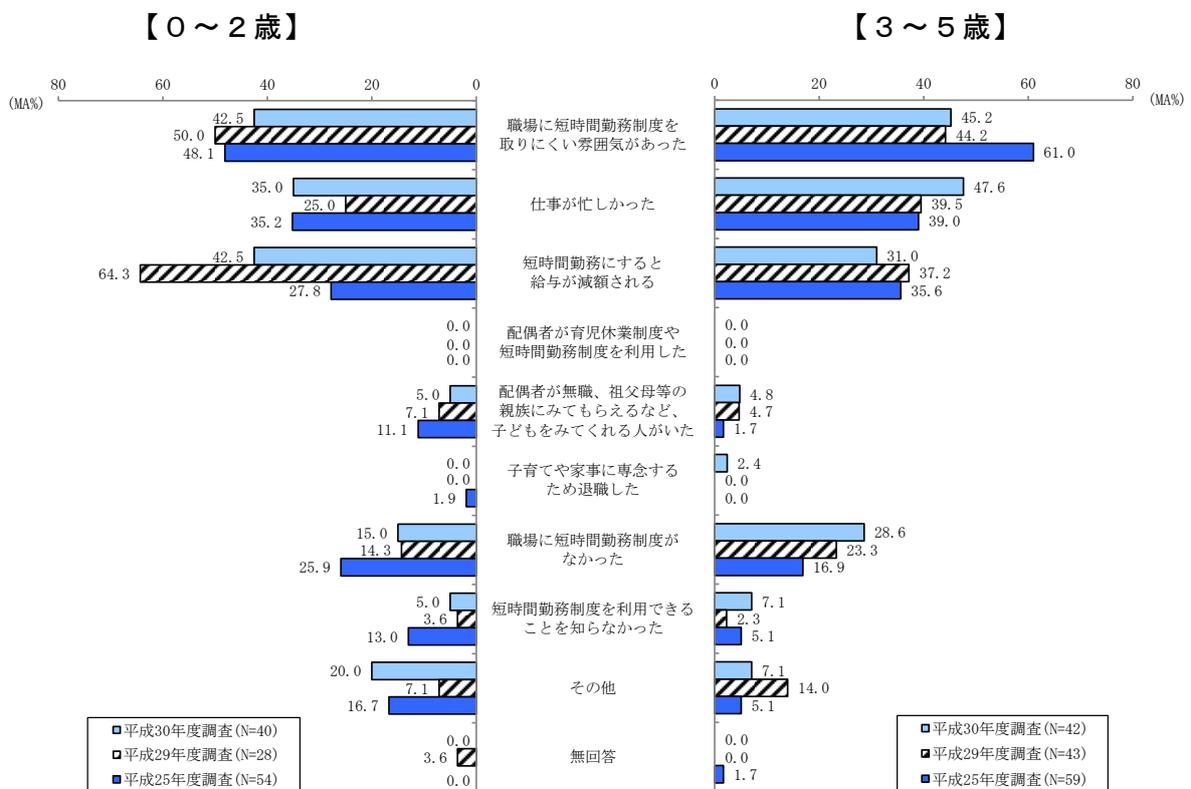


問 前問で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」とお答えの方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（0～2歳：問17-7、3～5歳：問20-7）

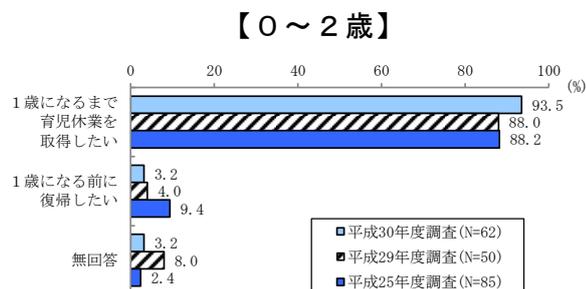
0～2歳については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」がそれぞれ42.5%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が35.0%となっています。

3～5歳については、「仕事が忙しかった」が47.6%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が45.2%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が31.0%となっています。

経年でみると、0～2歳では「短時間勤務にすると給与が減額される」が、3～5歳では「仕事が忙しかった」、「職場に短時間勤務制度がなかった」が増加しています。



問 問17-1で「2. 現在も育児休業中である」とお答えの方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（0～2歳：問17-8）



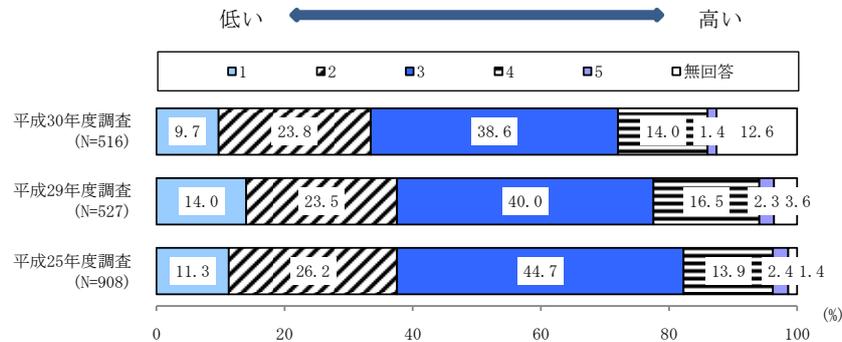
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.5%と高くなっています。

1-11. 子育てに関する困りごとなどについて

問 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。満足度を5段階評価してください。(0～2歳：問18、3～5歳：問21)

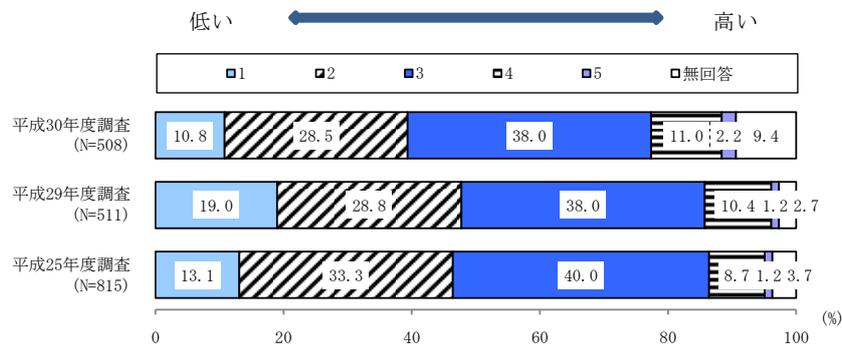
【0～2歳】

0～2歳については、「3」が38.6%と最も高く、次いで「2」が23.8%、「4」が14.0%となっています。



【3～5歳】

3～5歳については、「3」が38.0%と最も高く、次いで、「2」が28.5%、「4」が11.0%となっています。

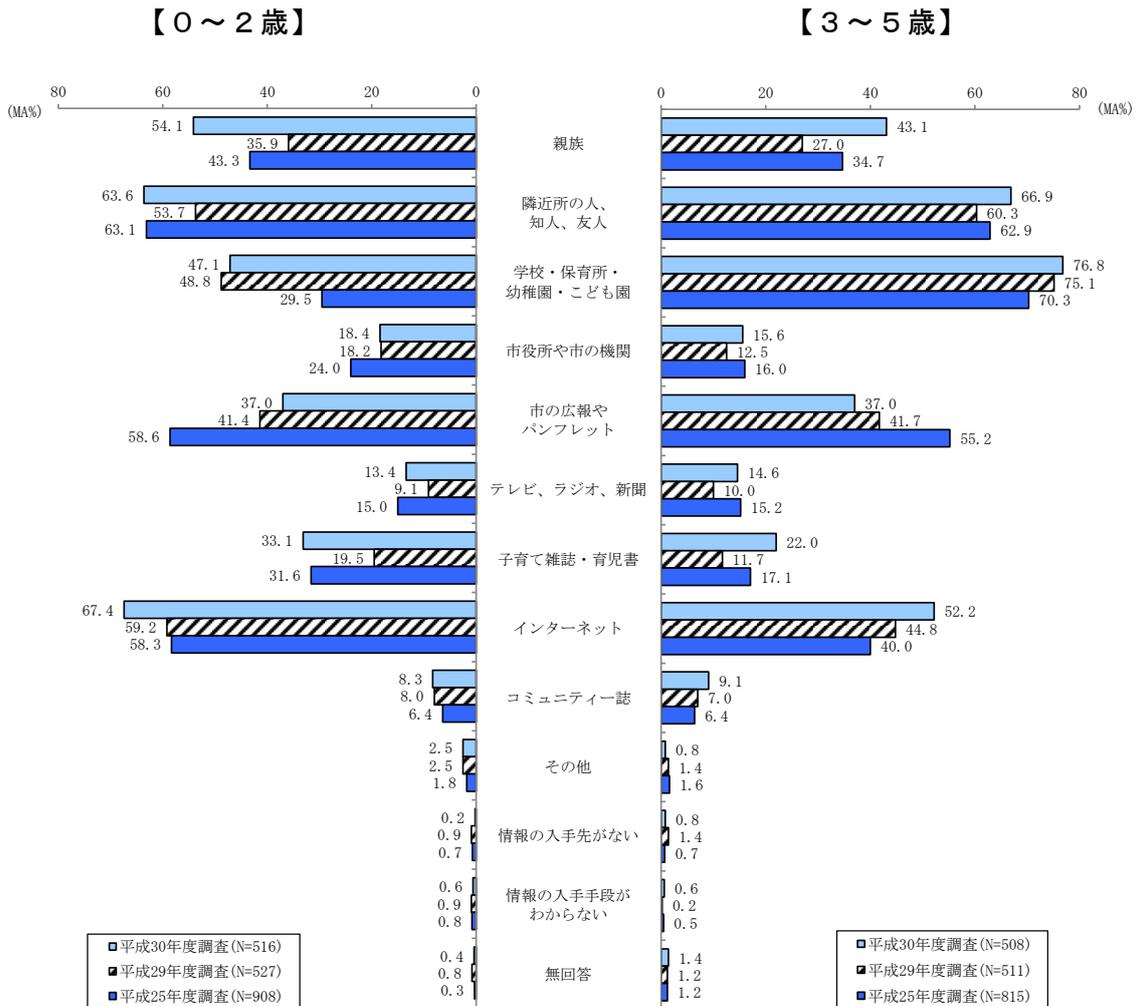


問 子育てに関する情報をどのように入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問19、3～5歳：問22)

0～2歳については、「インターネット」が67.4%と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が63.6%、「親族(親、きょうだいなど)」が54.1%となっています。

3～5歳については、「学校・保育所・幼稚園・こども園」が76.8%と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が66.9%、「インターネット」が52.2%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「親族」、「インターネット」が増加しており、「市の広報やパンフレット」が減少しています。

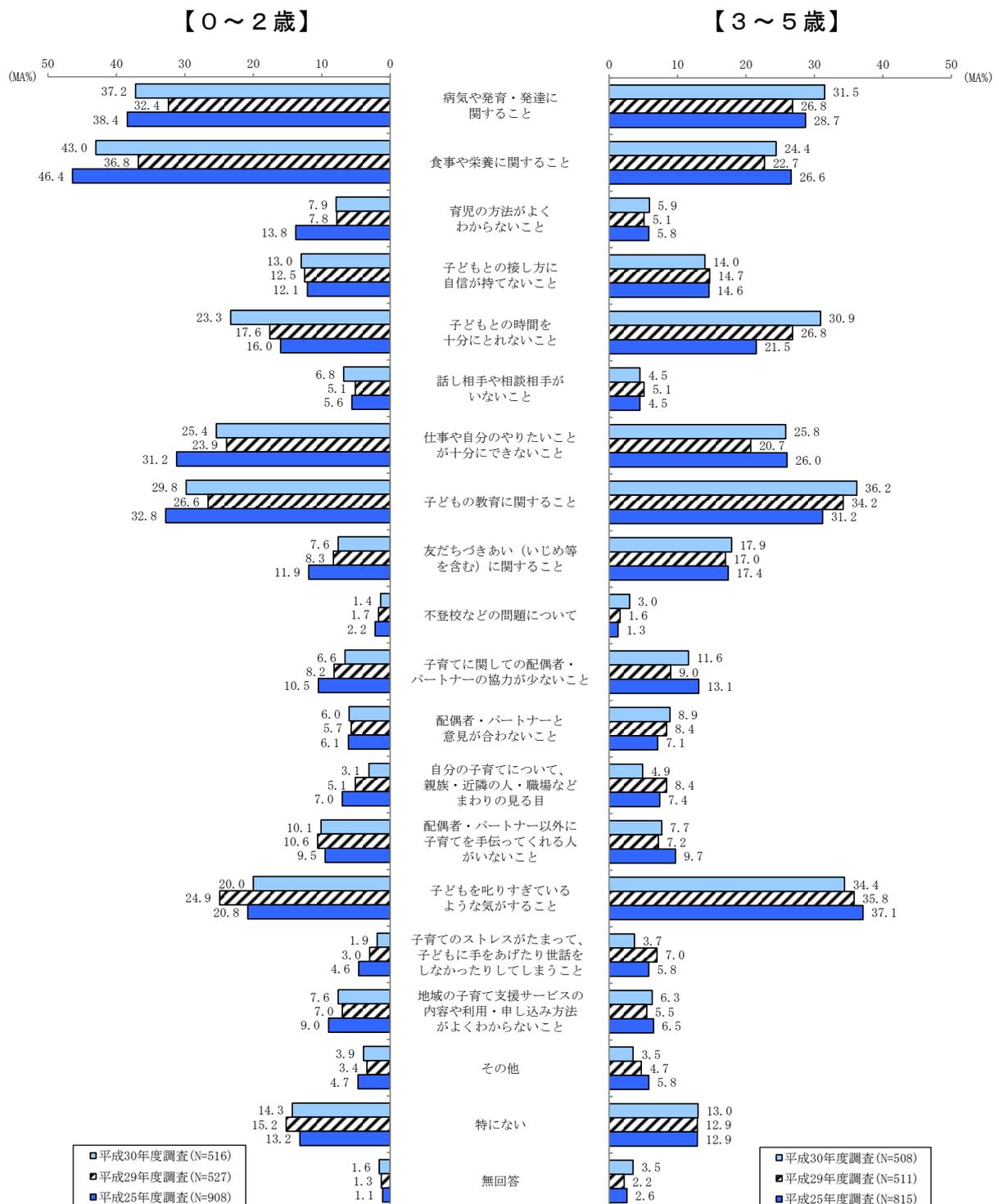


問 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問20、3～5歳：問23)

0～2歳については、「食事や栄養に関すること」が43.0%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が37.2%、「子どもの教育に関すること」が29.8%となっています。

3～5歳については、「子どもの教育に関すること」が36.2%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が34.4%、「病気や発育・発達に関すること」が31.5%となっています。

経年でみると、0～2歳、3～5歳ともに「子どもとの時間を十分にとれないこと」が増加しています。

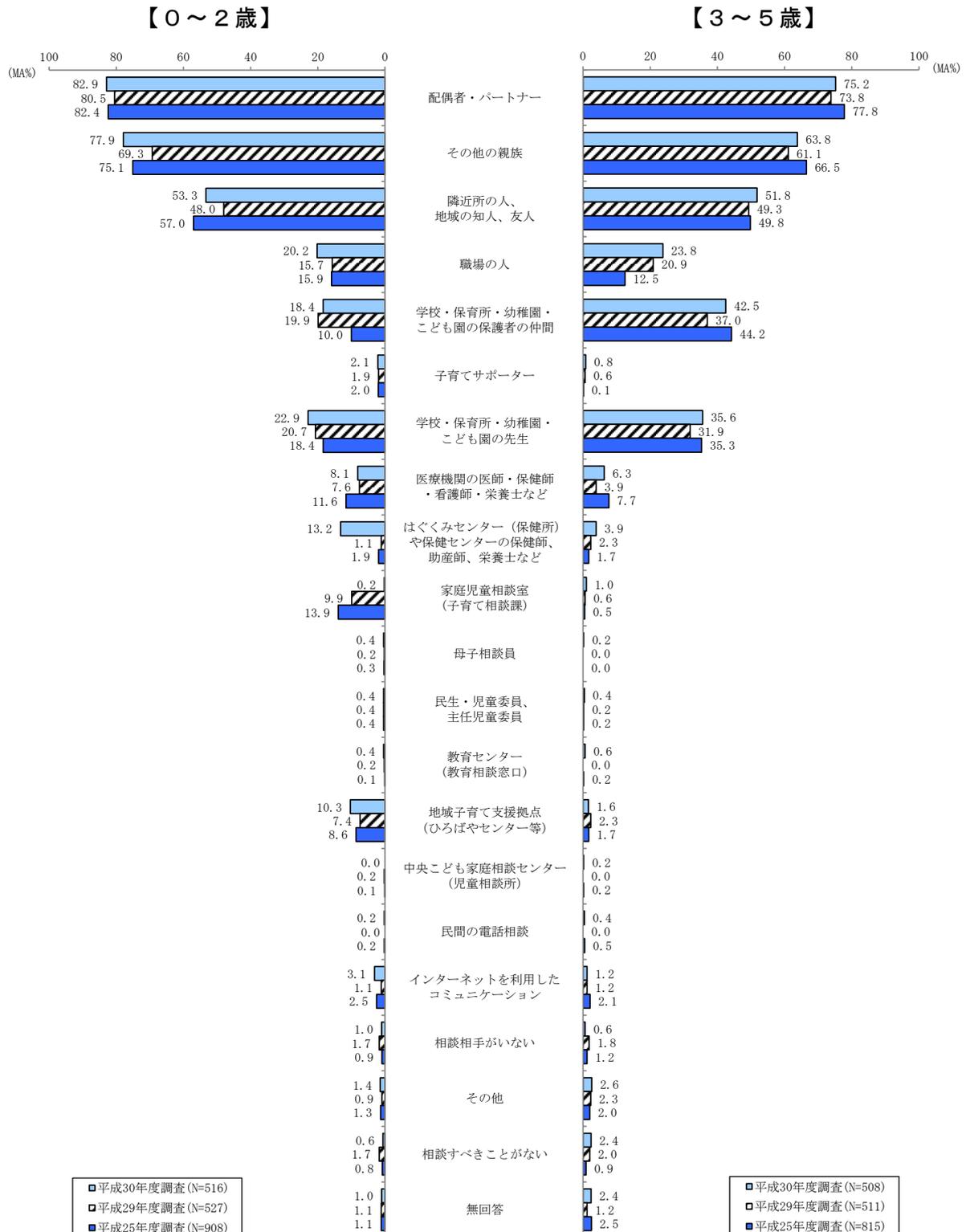


問 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(0～2歳：問21、3～5歳：問24)

0～2歳については、「配偶者・パートナー」が82.9%と最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」が77.9%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が53.3%となっています。

3～5歳については、「配偶者・パートナー」が75.2%と最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」が63.8%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が51.8%となっています。

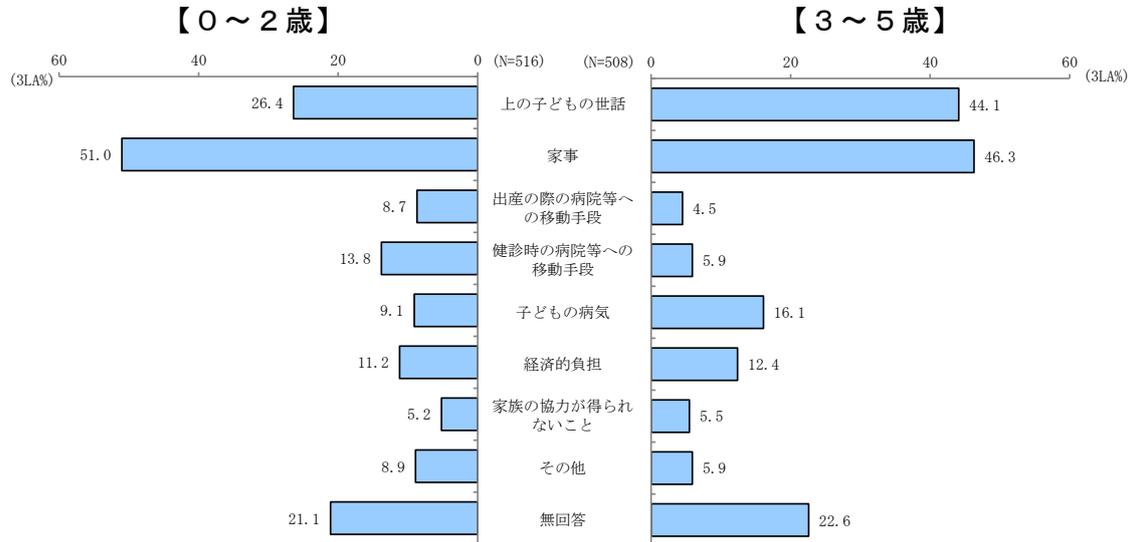
経年で見ると、0～2歳、3～5歳ともに「職場の人」が増加しており、0～2歳では「隣近所の人、地域の知人、友人」が減少傾向にあります。



問 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありましたか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。(0～2歳：問22、3～5歳：問25)

0～2歳については、「家事」が51.0%と最も高く、次いで「上の子どもの世話」が26.4%、「健診時の病院等への移動手段」が13.8%となっています。

3～5歳については、「家事」が46.3%と最も高く、次いで「上の子どもの世話」が44.1%、「子どもの病気」が16.1%となっています。



問 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか(解決につながった、など)について自由にご記入ください。(0～2歳：問23、3～5歳：問26)

希望するサポート

【0～2歳】主な意見

- ・ 母乳についての相談会のようなもの。また、ママ同士での交流の場。家事代行のお試し利用。
- ・ 公園(遊具がある)を作してほしい。
- ・ 半年に1回くらい、電話などで状況を聞いてほしい。自分からはなかなか相談するのは難しい。
- ・ 近くのショッピングセンター等で気軽に相談や集いの場を設けてくれるとうれしい。その情報をもっと発信してほしい。
- ・ 子育て中に必要な情報を色々な形で提供してほしい。インターネットやスマホなど、役所のあいている時間以外にも都合のよいときにいつでも見られるようにしてほしい。
- ・ 気軽にあずけられる場所があればいいと思います。土日祝も利用できる施設もあればいいと思います。
- ・ はぐくみセンターや各施設へ行くための交通手段の確保と無償化。利用したくても遠くて車がないと行けなかったり、子どもの泣き声(寒さ、暑さの子どもへの影響)が気になって公共交通機関を使えず、ひきこもりになっていった。
- ・ 急なお迎えの呼び出し(発熱など)に対応できない時に代わりに子どもの面倒を見てくれるサポート。

- ・産後の家事のサポートをしてくださる方がほしい。初回は無料など安価が良い。
- ・子育てに関する資格保持者（保育士や保健師、助産師等）の方が産後半年間内に週1程度で訪問に来てもらえると心強いと思う。
- ・日常の些細なことを相談できる人が家庭に訪問してきてくれるとうれしい。ヘルパー事業が充実すればよい。
- ・子どもではなく自分が病気等で静養したい時のサポート。
- ・経産婦さんも参加できる離乳食や幼児食の教室
- ・希望する保育園になかなか入所できず、受け入れ人数が増えて欲しい。
- ・経済的なサポート。

【3～5歳】主な意見

- ・子どもの急病、園からの呼出時、気軽に対応をお願いできるサービス。また病児保育をより身近に長時間対応して頂けるとありがたいです。
- ・親が急病の際の子の世話や家事などのサポート。
- ・各分野で専門性のあるアドバイスが聞きたい。
- ・困っているときに気軽に相談できる場所があること。
- ・子どもの医療費と教育費がかからないようにしてほしい。
- ・子どもの事について分からない事があった時、24時間対応してもらいたい所があれば。
- ・経済的支援。
- ・場所の提供だけでなく、スタッフや人材の育成。話しやすい相談しやすい環境づくり。
- ・1～2歳の頃、車がないので雨の日の送り迎えが大変だった。タクシーを利用していたので子育て世帯向けに安いタクシーチケットを作ってほしい。
- ・ファミリーサポート、病後児及び病児保育、ベビーシッター。
- ・自宅に助産師や保健師が定期的に訪問。
- ・保育園・こども園+放課後サポート事業の拡大・強化、保育の低額化。
- ・保育園のお迎えを代わりに行ってもらう、習い事の送り迎えを頼む、休日の仕事のときに子どもを預かってもらう。
- ・産後数ヶ月は家事代行を利用したい。そのための費用補助や税控除があれば良いと思う。
- ・色々なサポートがあると思うのですが、知っている人が少ないので広めてほしいです。
- ・母親が数時間でも一人になれるリフレッシュタイムがあること。
- ・産後の母親ケア、赤ちゃんの健診と同時に母親の状態を診てくれるカウンセリング等あれば良かったと思う。
- ・子育て支援の利用方法やお知らせ・幼稚園などの情報をもっと教えてほしい。

実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか

【0～2歳】主な意見

- ・赤ちゃん訪問は時期的にも良かったと思う。低体重児で生まれたこともあり最初は不安だらけだったが、訪問を受け、アドバイスをもらえたことで安心できました。
- ・子育て包括支援センターで助産師、保健師、管理栄養士さんと話できて、育児に対する悩み、不安を聞いてもらい安心して育児ができるようになった。
- ・ママパパサロン、こんにちは赤ちゃん訪問は、助産師さんに不安なことを相談でき、「大丈夫」と励ましてもらえて、精神的にとっても助かった。

- ・ 病児保育で預ってもらえたこと。ただし、準備するものが多すぎて大変だった。着替え、タオル、おやつ、お弁当、お茶、ビニールなどなど。
- ・ 産後うつで心身ともにダメだった時に細やかに訪問してもらい、必要な情報や（何泊かあずける施設あるとか）サポートをしてもらい物事が動いた。子どもにとって最悪の事態はさけられた。他県にも引き継ぎしてくれた。妊娠中からメンタルに問題があり病院の助産師さんが保健師さんに引き継ぎをしてくれ、スムーズにサポートが受けられた。
- ・ 子育て支援センターの先生には助けてもらっています。アドバイスを頂いたり、子どもを遊ばせながら相談のつてくれて、1人ではないと思える。
- ・ 産後、乳腺炎になったり母乳育児で悩んでいた時、産院でマッサージや相談ができて助かった。
- ・ はぐくみセンターの保健師や栄養士の相談。本だけじゃわからないこと、たまっていた疲れや不安が軽減された。家が近かったらもっと色々利用したかった。
- ・ 近くに住む友人と一緒に昼間過ごしたり晩ご飯やお風呂を協力して済ませたりすることがあります（夫不在時）。話し相手がいるだけで心に余裕がもてます。
- ・ つどいの広場で遊べたり、スタッフに声かけてもらい、ほっと出来たり、日中の話し相手が出来て安心だった。
- ・ 上の子が登校しぶりを抱え本当に行き詰った時に学校からはぐくみのプレイセラピーを紹介され通っています。とても良い方向に向いていますが、そこまで行き詰る前に、そういう場所を知りたかったと思っています。知るすべも、どのように通えることになるのか全く情報がなかったです。
- ・ 歯ピカ教室、実際に行くことで家でも自信をもってできた。
- ・ ぱくぱく教室に行って、同じ「月」生まれの子と友達になって情報交換できたり、たまに一緒に遊んだりできることが良かった。
- ・ 支援センター”こあら”にて、子供に対する言葉がけや色々なことに対する興味の持たせ方、接し方など、勉強会を交じえて教えてもらえたこと。一人で考えて（ネット等で調べて）行動するより、自分に自信が持てるようになった。
- ・ こども園のにこにこランド。
- ・ 相談窓口とTELを利用。1対1で話せるのはすごく心強かったがタイミングにより待ち時間が長く、遊ばせる所もないので相談するまでが大変だった。
- ・ 買い物に行くのが大変だったので宅配サービスを利用した。
- ・ 乳幼児相談（公民館での）月齢が小さいうちはなかなか外出できなくても、近所で相談や測定をしてもらえるのが良かった。

【3～5歳】主な意見

- ・ 子供が2才の時に他県から転入してきました。子供の発達が遅れていた為、転入手続きの際に役所の方に相談したところ、どこに相談したらよいかなど分かりやすく教えていただき、とても助かりました。その後、関わって下さった方々もとても親身になって下さり、療育先や病院など納得のいく所に通う事ができています。
- ・ おとなりさんが、買い物に車をつれていってくれて助かった。不定期の仕事の時、娘の友達のママが娘を預ってくれて助かった。
- ・ 幼稚園、児童発達支援、相談支援、保護者が集まりケース会議をして頂き、共通理解ができました！今後も続けて頂きたいです。

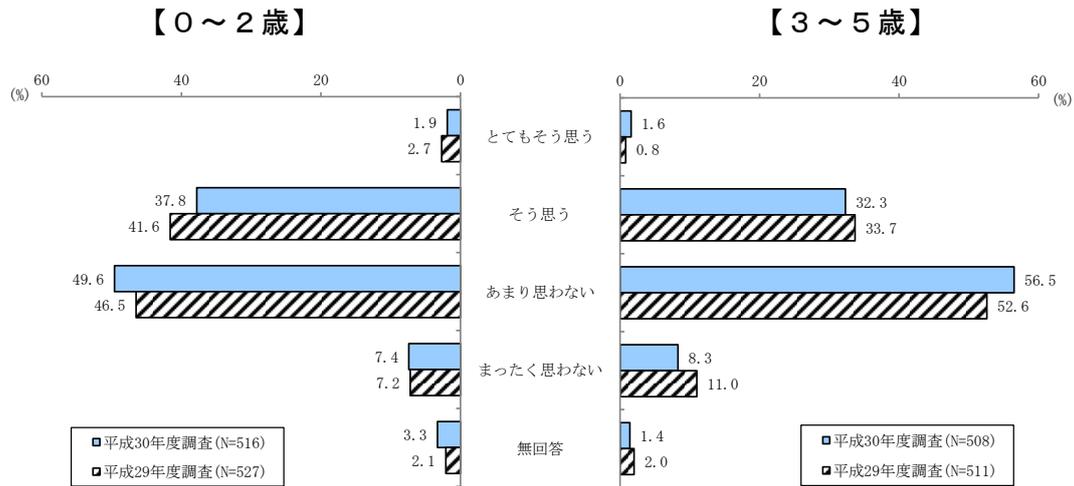
- ・ 授乳に関する相談をはぐくみセンターの助産師さんに聞いてもらい、精神的負担が軽くなった。
- ・ 赤ちゃん訪問で助産師さんに来てもらえて、測定してもらったり自分の困っていることを相談できてよかった。
- ・ 一時預かり、入園前から通ったことで集団生活に慣れ、スムーズに幼稚園に行けた。
- ・ 認定こども園の子育て広場に参加し、ママ友も増えて子育てしやすかった。
- ・ はぐくみセンターで体重、身長等の測定をして下さり、育児相談にのって下さったこと。(赤ちゃん時期によく利用させて頂き、不安や悩み事を親身になって聞いて下さり、とても助かりました。)
- ・ ファミリーサポートの園へのお迎えや休みの時のお預かり、幼稚園の先生に相談できるのは助かります。
- ・ 奈良市子供発達相談センター。相談させてもらったことによって、子どもの発達状況が分かり、次のステップへ進めた。
- ・ 近所の方が子育て支援をしておられたので話を聞いてもらい、助けてもらうことができました。今まで困難な事がたくさんありましたが、その方や行政の窓口の方達、病院の先生、弁護士さん、民生委員さん多くの人にお世話になりながら今の生活があります。全て解決したわけではありませんが、できる事を1つ1つ乗り越えながら子育てをしていきたいです。ありがとうございます。
- ・ つどいの広場で上の子を遊べている時は、子育て相談にのってもらっていた。
- ・ 週2日仕事をしていた時に、一時保育を利用しました。もっと一時保育の受け入れをする保育園が増えれば良いなと思います。
- ・ スクールカウンセラーに相談して子供の接し方を変えられた。予約が取りづらかったので、人数を増やす又は、回数を増やす等して頂けたらよりよいと思います。
- ・ 病児保育は助かる、もう少し使いやすくなるとよい。

1-12. 子どもにやさしいまちについて

問 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(0～2歳：問24、3～5歳：問27)

0～2歳については、「あまり思わない」が49.6%と最も高く、次いで「そう思う」が37.8%、「まったく思わない」が7.4%となっています。

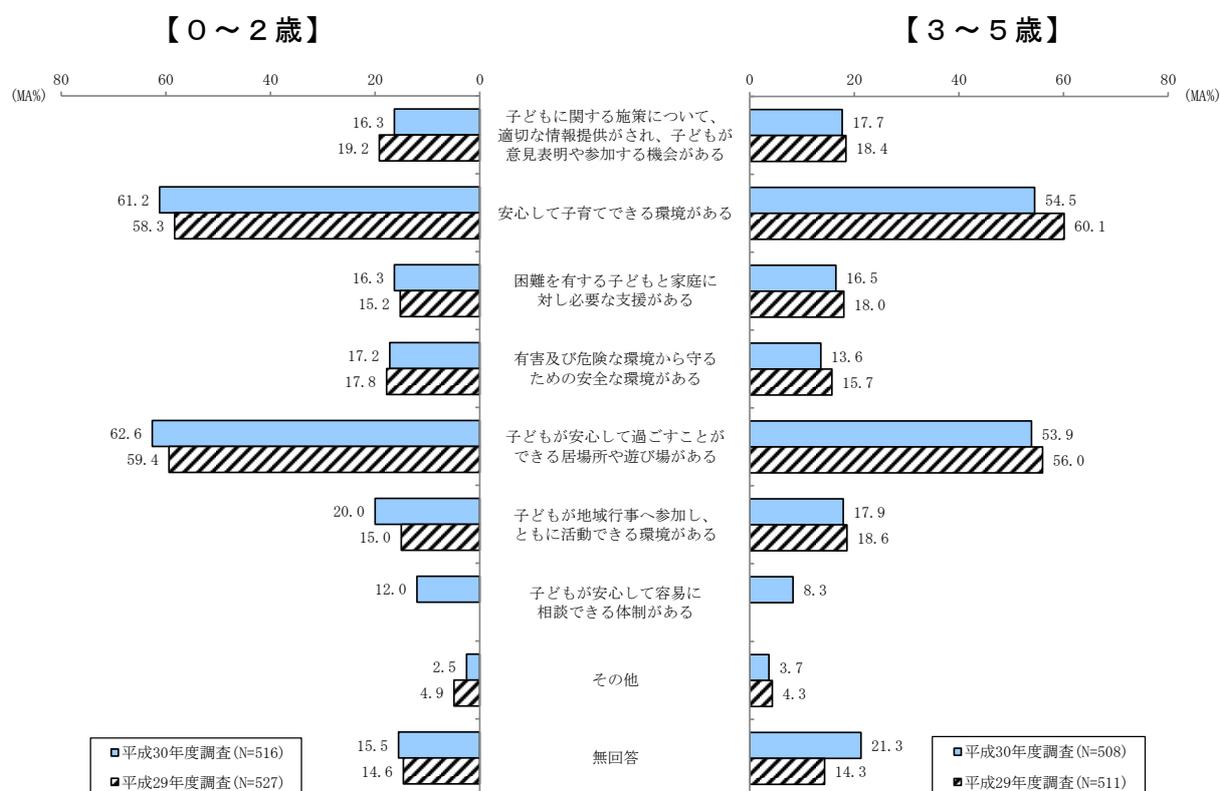
3～5歳については、「あまり思わない」が56.5%と最も高く、次いで「そう思う」が32.3%、「まったく思わない」が8.3%となっています。



問 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。※「子どもにやさしいまち」は子どもが自立するための知識と経験を得られるよう子どもへの支援及び子育て支援に社会全体で取り組み、一人一人の子どもが安心して暮らすことのできるまち、と定義づけられていますが、子どもにやさしいまちを推進していく上で必要なものは何だと思いませんか。(0～2歳：問24-1、3～5歳：問27-1)

0～2歳については、「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」が62.6%と最も高く、次いで「安心して子育てできる環境がある」が61.2%、「子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある」が20.0%となっています。

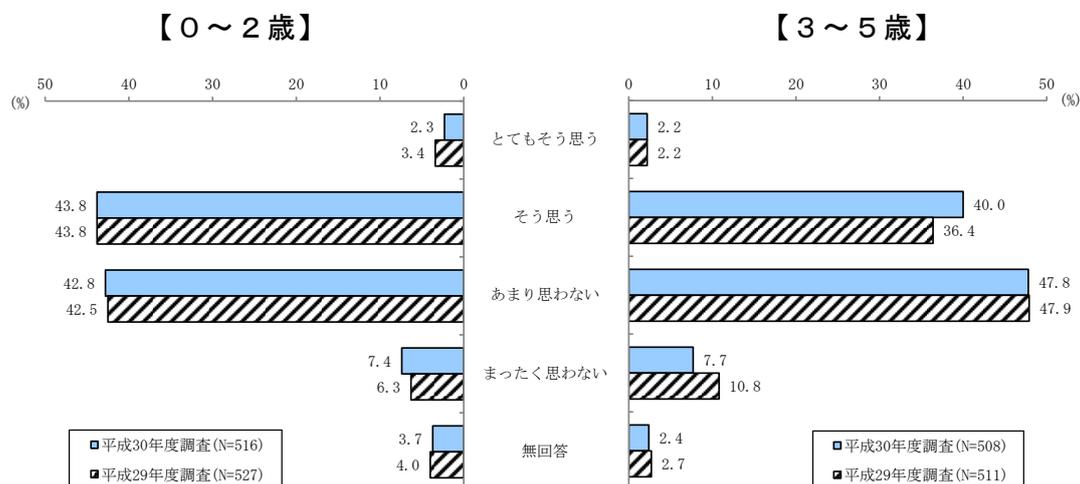
3～5歳については、「安心して子育てできる環境がある」が54.5%と最も高く、次いで「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」が53.9%、「子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある」が17.9%となっています。



問 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
 (0～2歳：問25、3～5歳：問28)

0～2歳については、「そう思う」が43.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」が42.8%、「まったく思わない」が7.4%となっています。

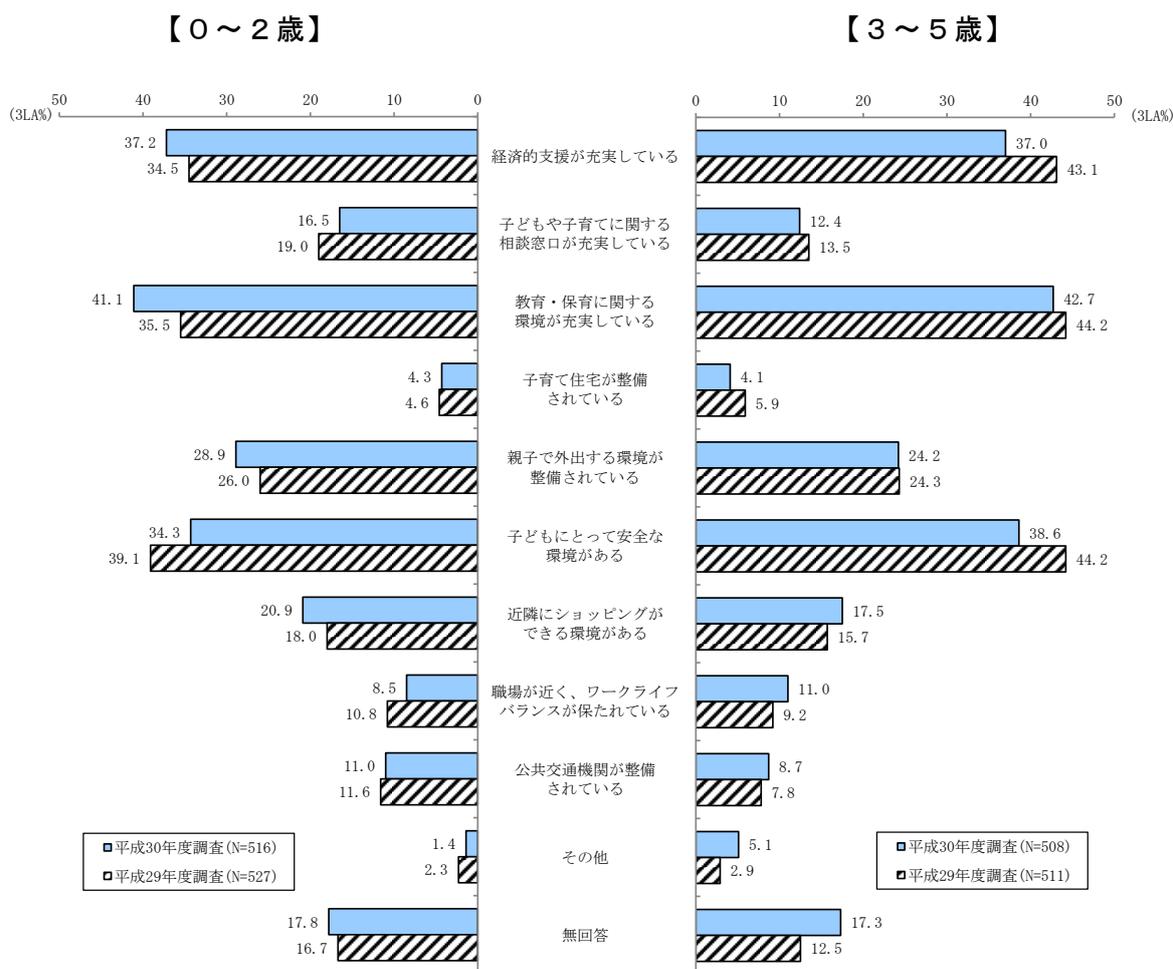
3～5歳については、「あまり思わない」が47.8%と最も高く、次いで「そう思う」が40.0%、「まったく思わない」が7.7%となっています。



問 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。(0～2歳：問25-1、3～5歳：問28-1)

0～2歳については、「教育・保育に関する環境が充実している」が41.1%と最も高く、次いで「経済的支援が充実している」が37.2%、「子どもにとって安全な環境がある」が34.3%となっています。

3～5歳については、「教育・保育に関する環境が充実している」が42.7%と最も高く、次いで「子どもにとって安全な環境がある」が38.6%、「経済的支援が充実している」が37.0%となっています。



2 小学生

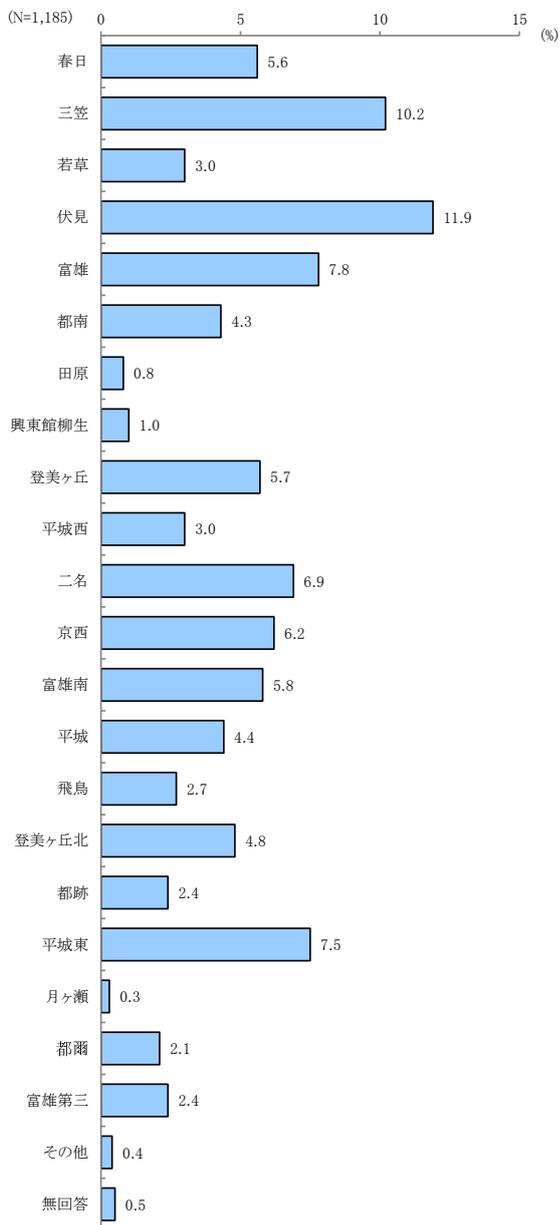
2 小学生

2-1. お住まいの地域について

問1 お住まいの中学校区はどこですか（1つに○）

中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある（ ）内にご記入ください。

「伏見」が11.9%と最も高く、次いで「三笠」が10.2%、「富雄」が7.8%となっています。



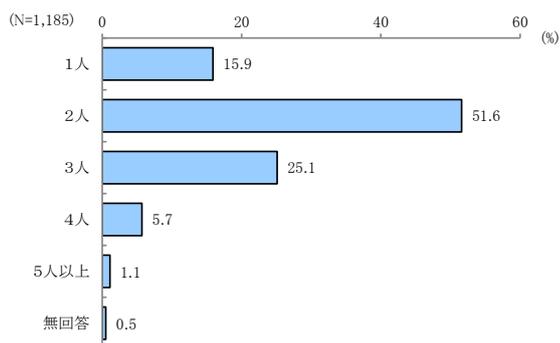
2-2. 子どもと家族の状況について

問2 ご家族の状況についてお答えください。

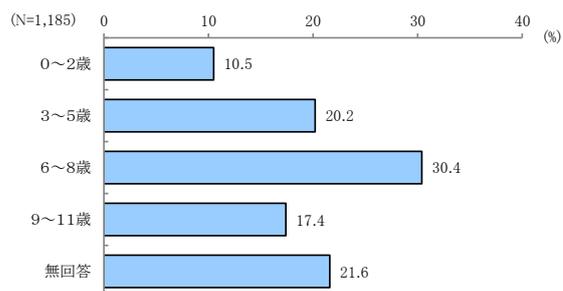
子どもの人数については、「2人」が51.6%と最も高く、次いで「3人」が25.1%、「1人」が15.9%となっています。

一番下のお子さんの年齢については、「6～8歳」が30.4%と最も高く、次いで「3～5歳」が20.2%、「9～11歳」が17.4%となっています。

お子さんの人数



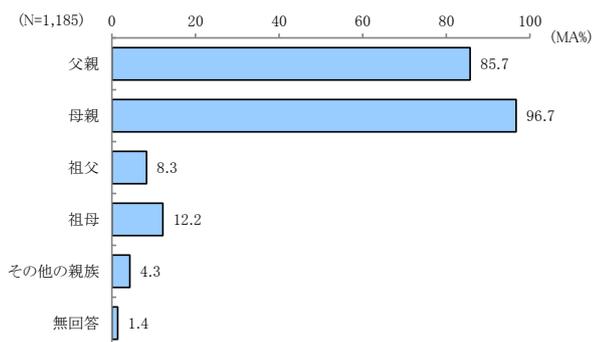
一番年下のお子さんの年齢



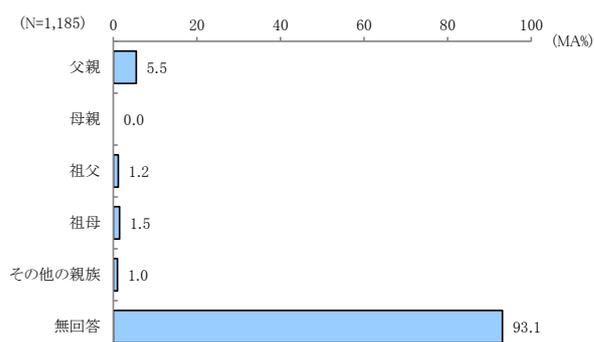
同居の家族については、「母親」が96.7%と最も高く、次いで「父親」が85.7%、「祖母」が12.2%となっています。

単身赴任等で別居については、「父親」が5.5%と最も高く、次いで「祖母」が1.5%、「祖父」が1.2%となっています。

①同居

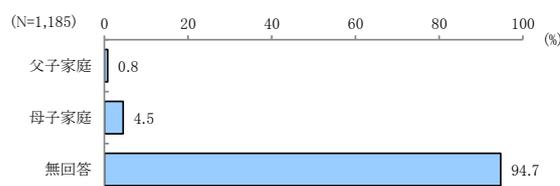


②単身赴任等で別居



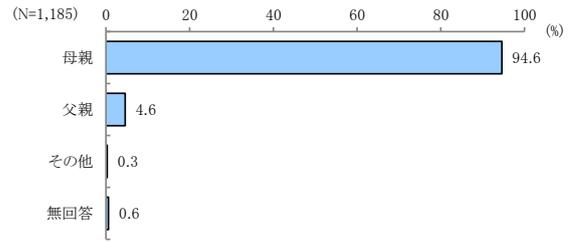
ひとり親家庭等

「母子家庭」が4.5%、「父子家庭」が0.8%となっています。



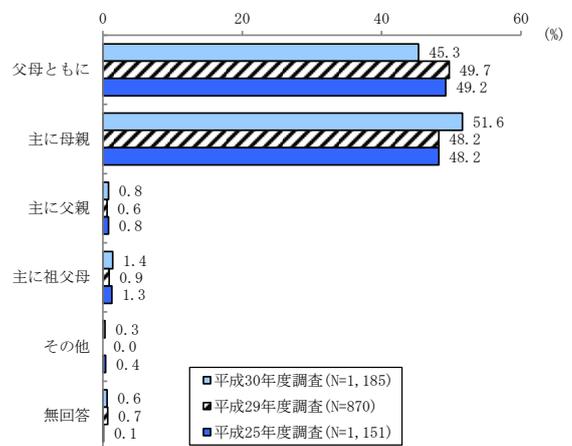
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

「母親」が94.6%と最も高く、次いで「父親」が4.6%、「その他」が0.3%となっています。



問4 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

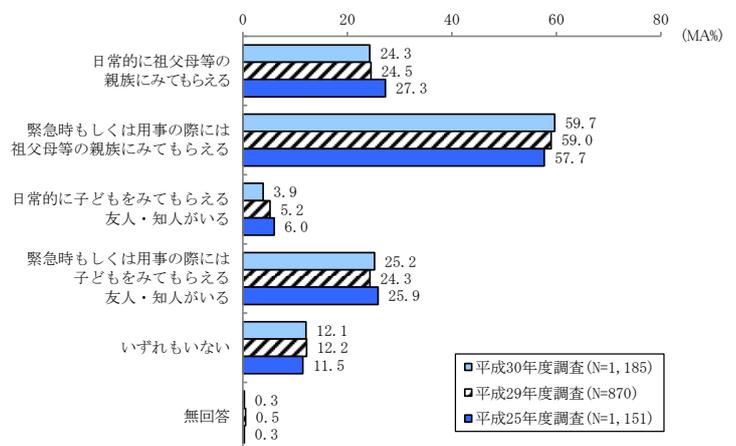
「主に母親」が51.6%と最も高く、次いで「父母ともに」が45.3%、「主に祖父母」が1.4%となっています。



問5 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.7%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が25.2%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が24.3%となっています。

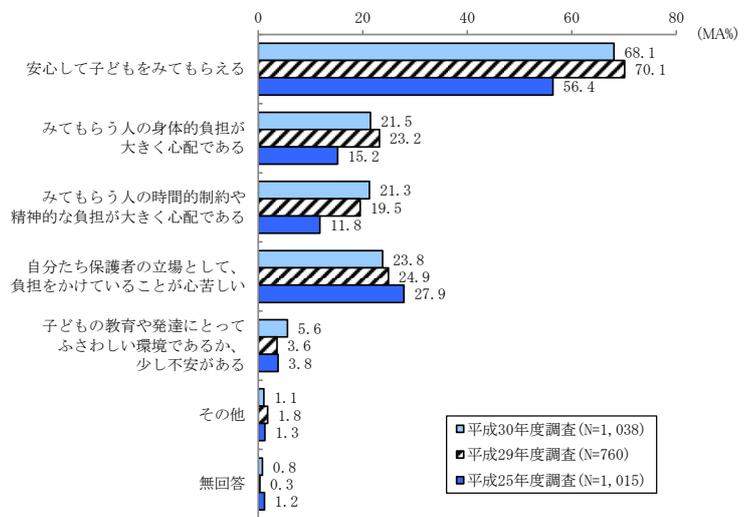
経年でみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加しています。



問5-1 問5で「1」～「4」とお答えの方には、祖父母等の親族や知人にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「安心して子どもをみてもらえる」が68.1%と最も高く、次いで「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が23.8%、「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」が23.2%、「みてもらう人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が21.5%となっています。

経年でみると、「みてもらう人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が増加しています。



2-3. 保護者の就労状況について

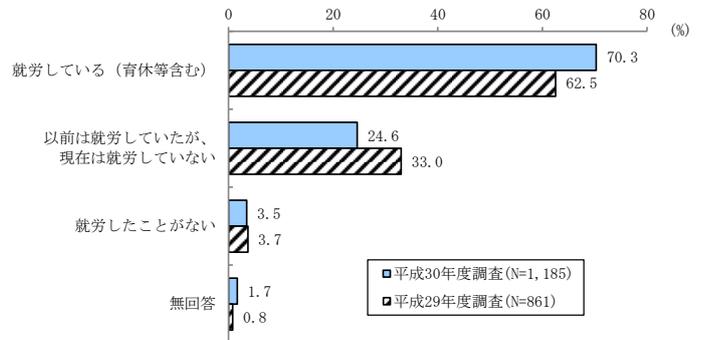
問6 お子さんの保護者の就労状況（自営業、家族状業者含む）についてお答えください。①～⑨の項目ごとにあてはまる番号1つに○をつけてください。※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

【母親】

①就労の有無

「就労している（育休等含む）」が70.3%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が24.6%、「就労したことがない」が3.5%となっています。

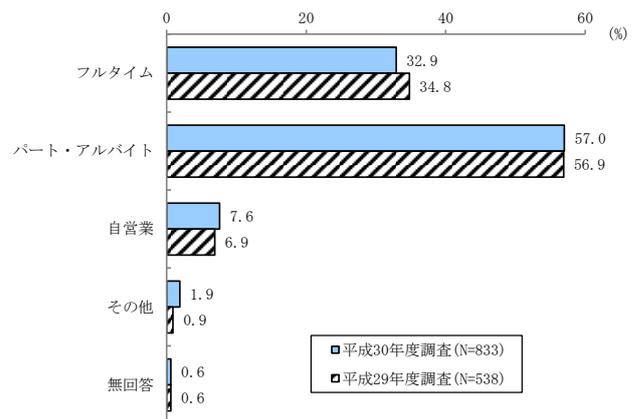
経年でみると、「就労している」と答えた母親の割合が増加しています。



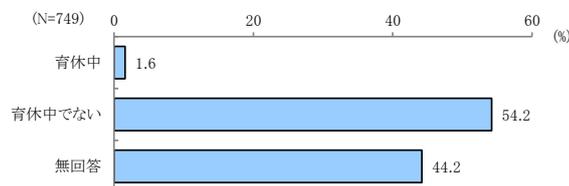
②就労形態

「パート・アルバイト」が57.0%と最も高く、次いで「フルタイム」が32.9%、「自営業」が7.6%となっています。

経年でみると、わずかに「フルタイム」が減少し、「パート・アルバイト」が増加しています。

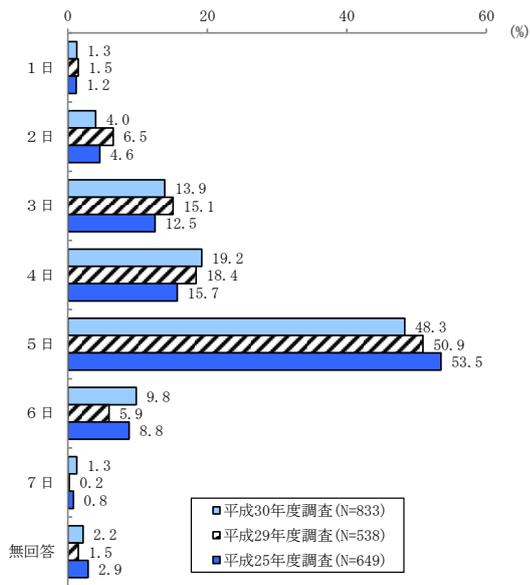


②-1 育休中か

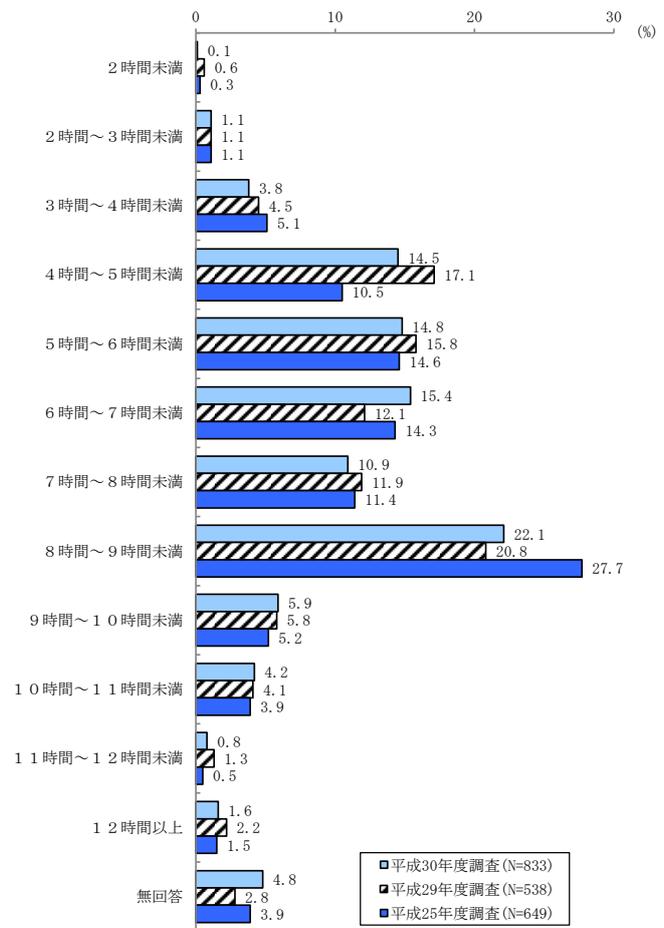


③ 1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間

就労日数

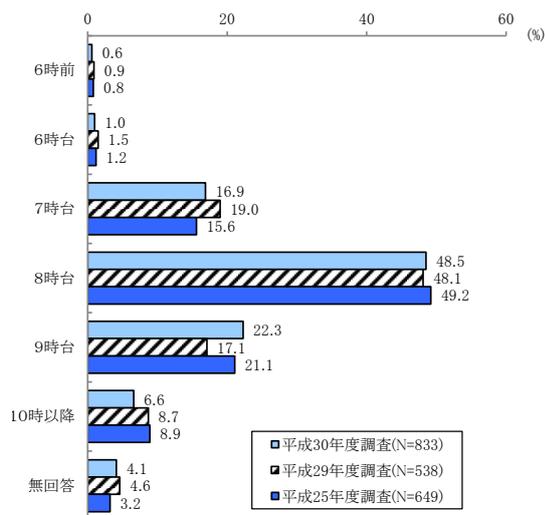


就労時間

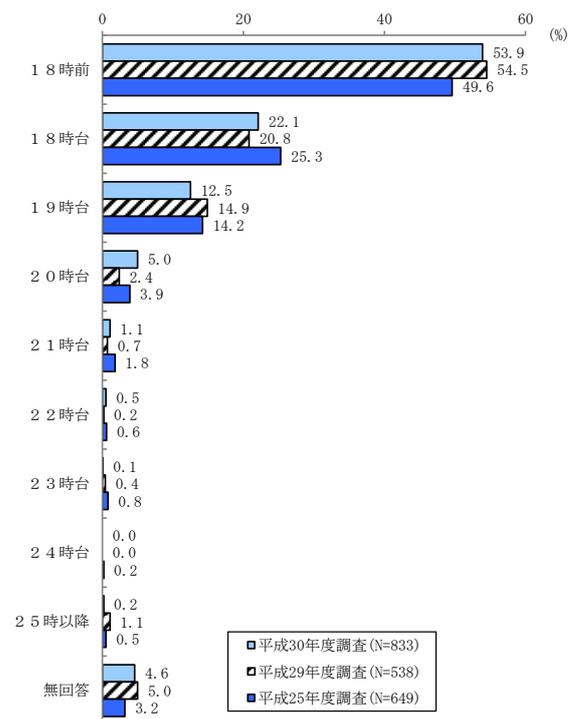


④ 家を出る時間と帰宅時間

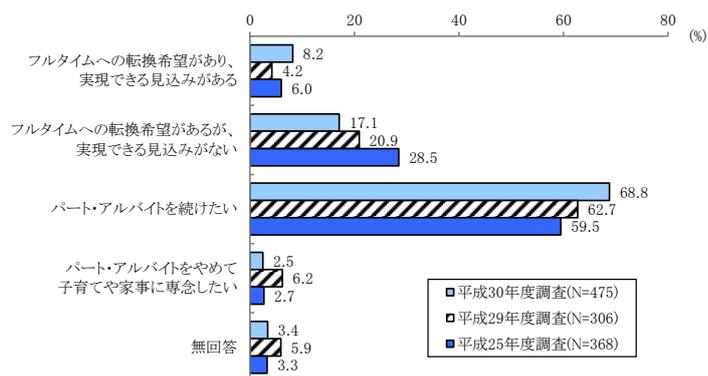
家を出る時間



帰宅時間

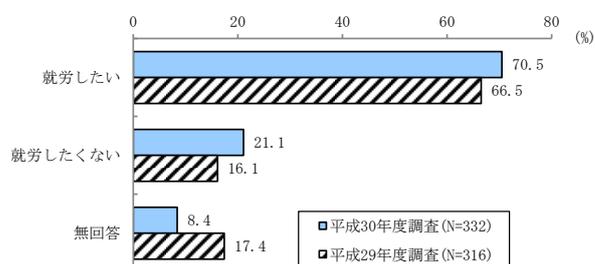


⑤ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望



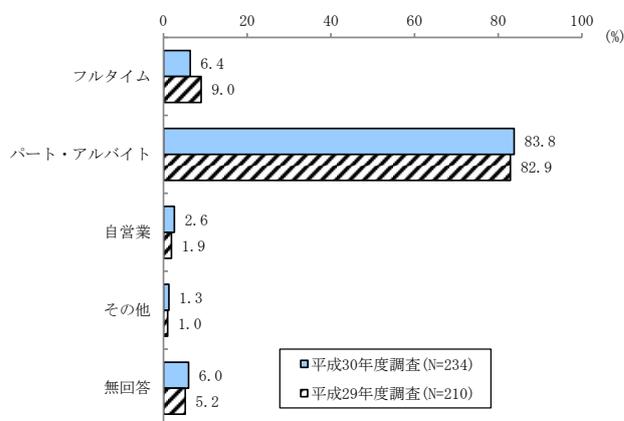
⑥ 就職希望はありますか

「就労したい」が70.5%となっています。



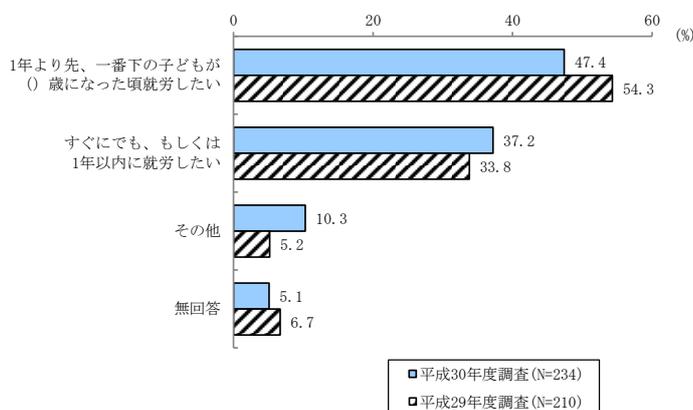
⑦ 希望の就労形態

「パート・アルバイト」が83.8%と最も高く、次いで「フルタイム」が6.4%、「自営業」が2.6%となっています。



⑧ 希望の就労時期

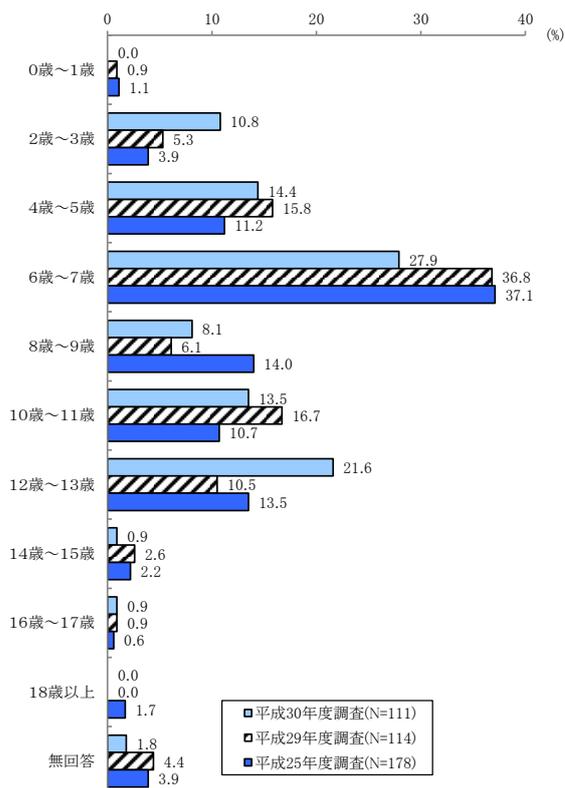
「1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい」が47.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が37.2%、「その他」が10.3%となっています。



⑧-1 一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい

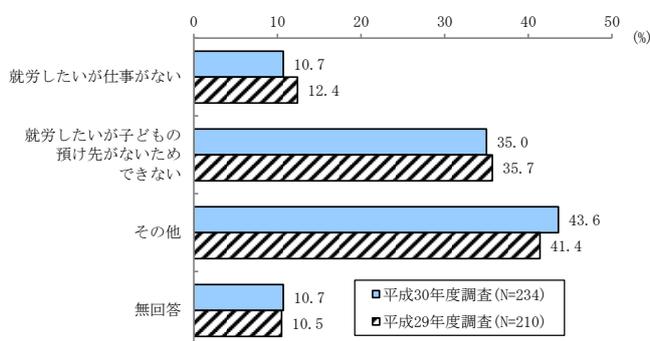
「6歳～7歳」が27.9%と最も高く、次いで「12歳～13歳」が21.6%、「4歳～5歳」が14.4%となっています。

経年でみると、「6～7歳」が大きく減少し、「12～13歳」が増加しています。



⑨現在就労していない理由

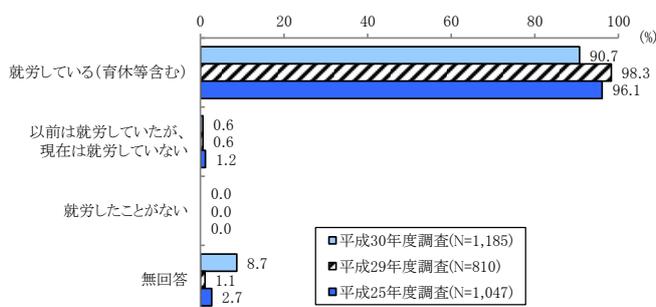
「その他」が43.6%と最も高く、次いで「就労したいが子どもの預け先がないためできない」が35.0%、「就労したいが仕事がない」が10.7%となっています。



【父親】

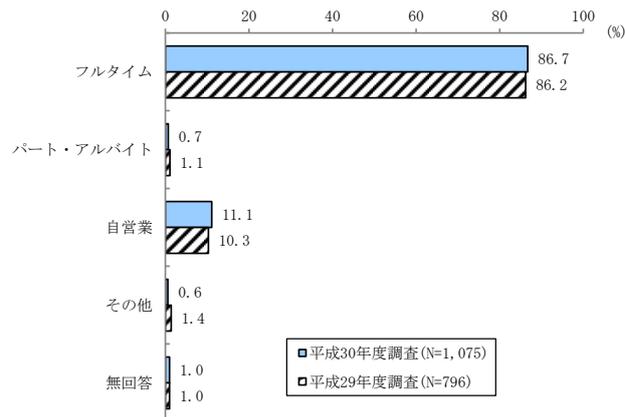
①就労の有無

「就労している(育休等含む)」が90.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.6%となっています。

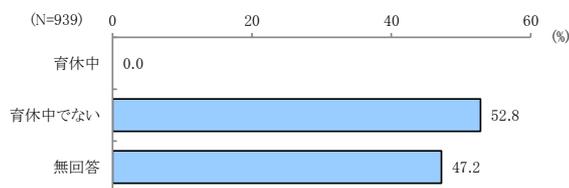


②就労形態

「フルタイム（育休中・育休中でない）」が86.7%と最も高く、次いで「自営業」が11.1%、「パート・アルバイト」が0.7%となっています。

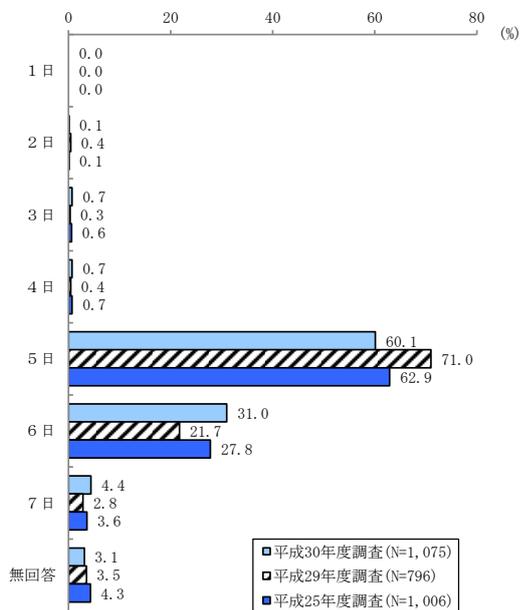


②-1 育休中か

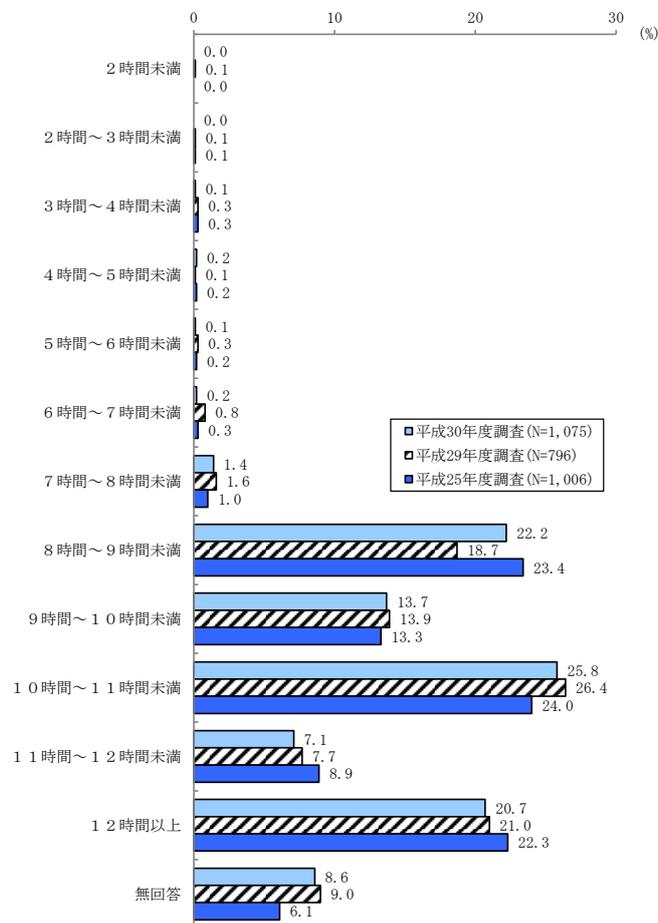


③ 1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間

就労日数

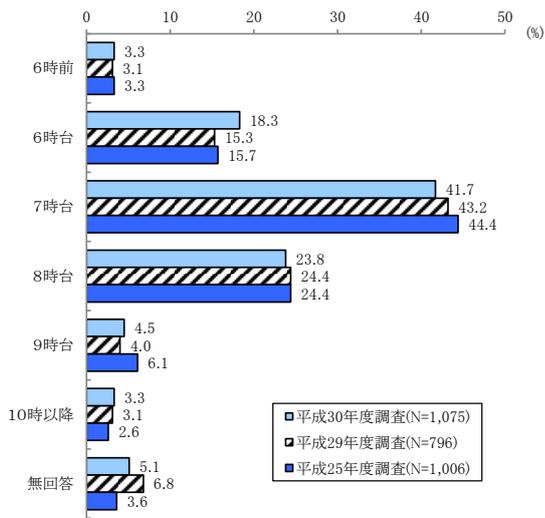


就労時間

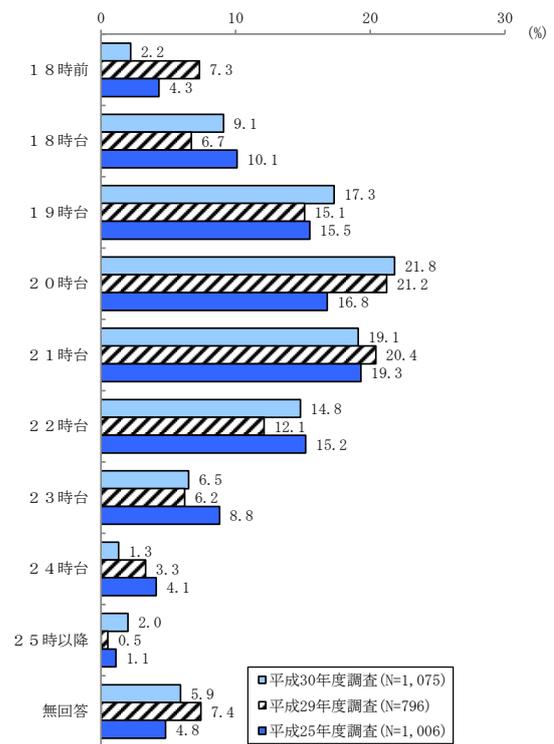


④家を出る時間と帰宅時間

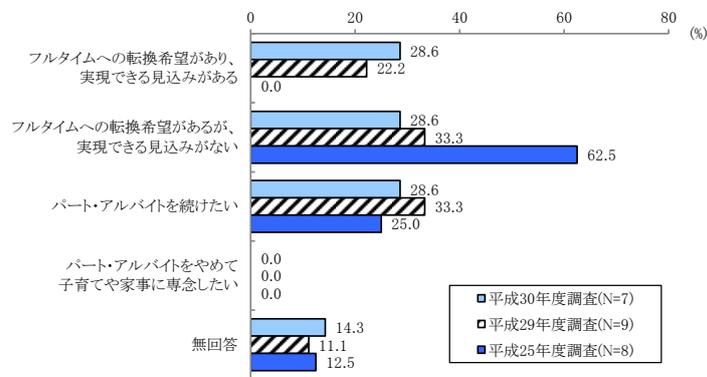
家を出る時間



帰宅時間

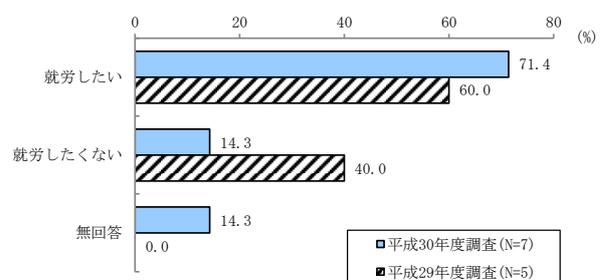


⑤ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望



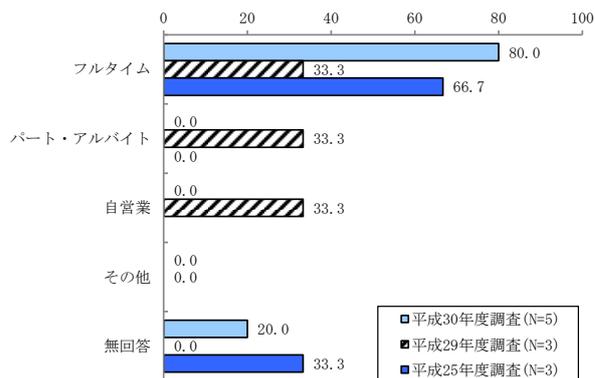
⑥就職希望はありますか

「就労したい」が5件、「就労したくない」が1件となっています。



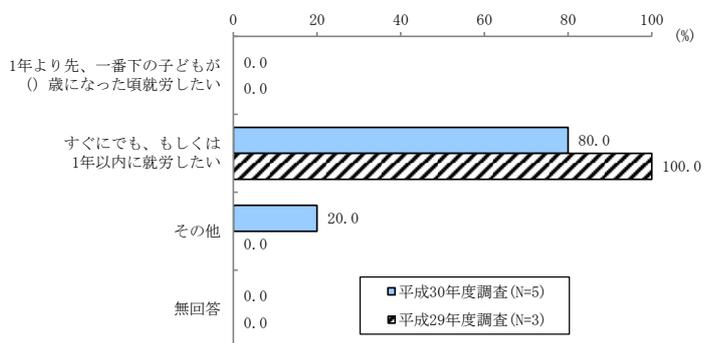
⑦希望の就労形態

「フルタイム」が4件となっています。



⑧希望の就労時期

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4件、「その他」が1件となっています。

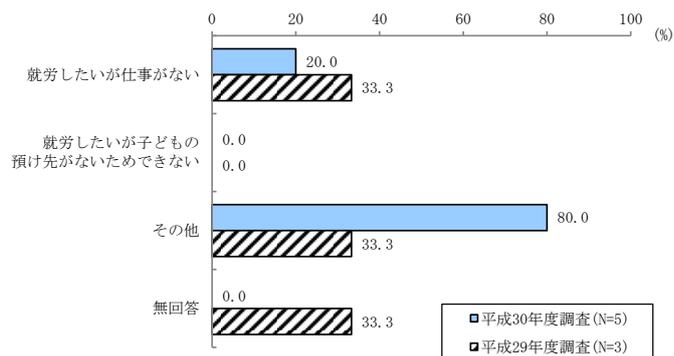


⑧-1 一番下の子どもが()歳になった頃就労したい

有効回答はありません。

⑨現在就労していない理由

「就労したいが仕事がない」が1件、「その他」が4件となっています。



2-4. 子どもの放課後の過ごし方について

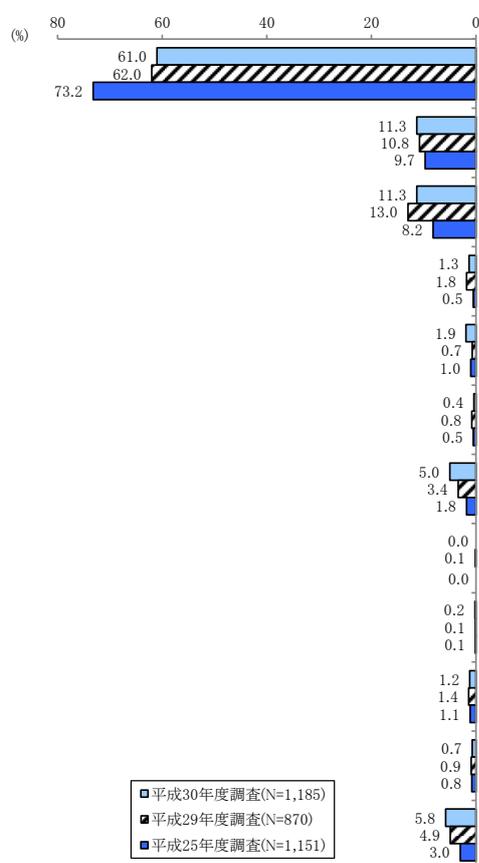
問7 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に記入してください。

14～16時では、「学校にいた」が61.0%と最も高く、次いで「バンビーホーム（放課後児童クラブ）にいた」、「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」がそれぞれ11.3%となっています。

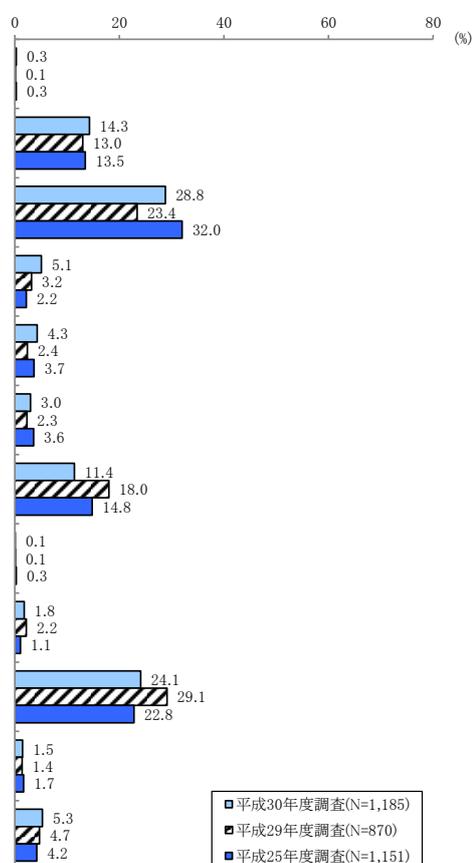
16～18時では、「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」が28.8%と最も高く、次いで「学習塾や習いごとに行っていた」が24.1%、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）にいた」が14.3%となっています。

経年でみると、「バンビーホーム」が14～16時、16～18時ともに増加しています。

14時～16時



16時～18時

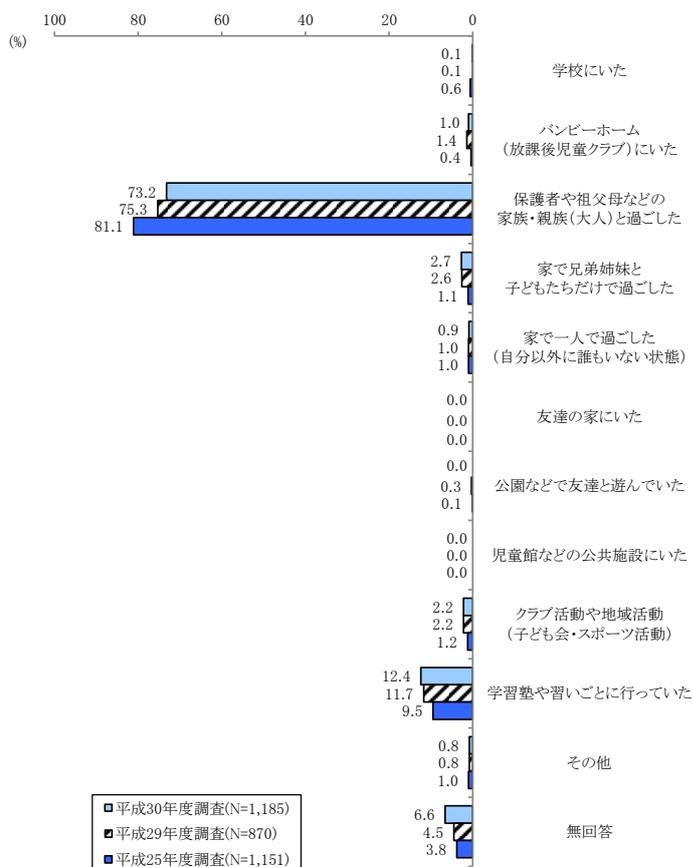


18～20 時では、「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」が 73.2%と最も高く、次いで「学習塾や習いごとに行っていた」が 12.4%、「家で兄弟姉妹と子どもたちだけで過ごした」が 2.7%となっています。

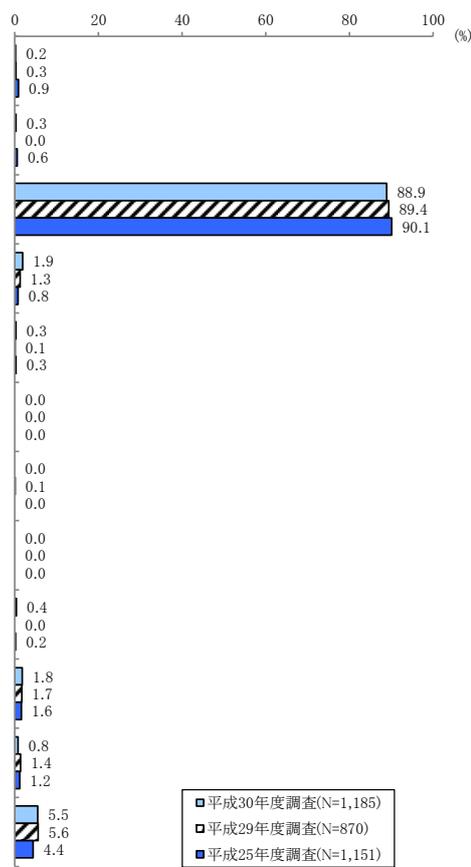
20 時以降では、「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」が 88.9%と最も高く、次いで「家で兄弟姉妹と子どもたちだけで過ごした」が 1.9%、「学習塾や習いごとに行っていた」が 1.8%となっています。

経年でみると、「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごした」が減少しており、「学習塾や習いごとに行っていた」が増加してきています。

18 時～20 時



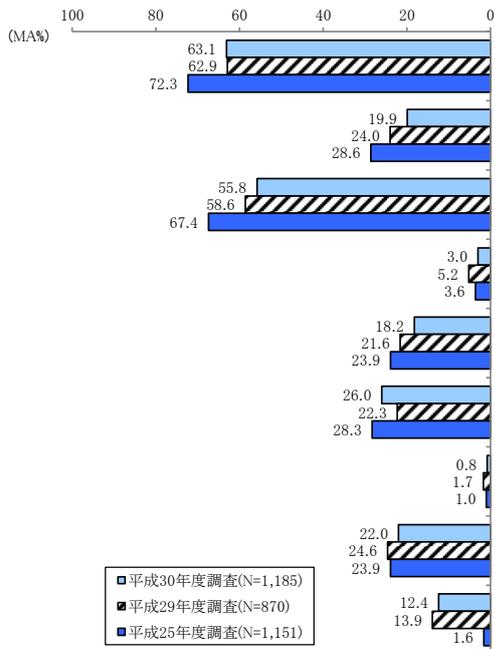
20 時以降



問8 お子さんについて、①小学校低学年（1～3年生）の間、又は②高学年（4～6年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。①②それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。また、それぞれ希望する1週間あたりの日数も記入してください。

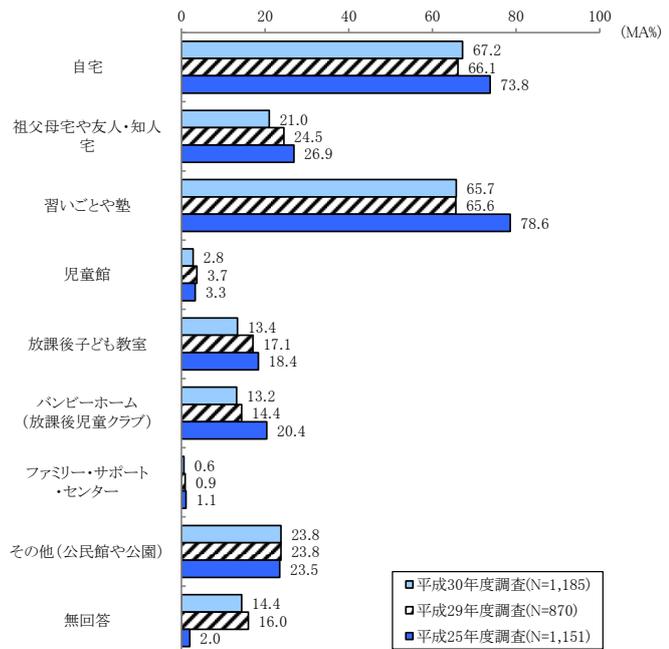
①お子さんが低学年のあいだの希望

「自宅」が63.1%と最も高く、次いで「習いごとや塾」が55.8%、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」が26.0%となっています。

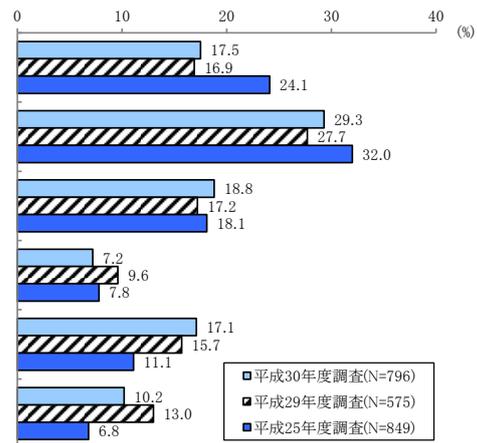
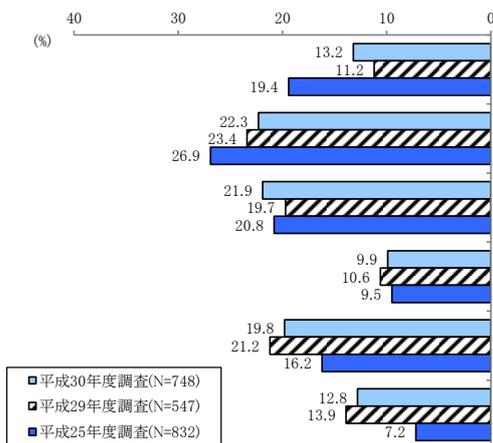


②お子さんが高学年のあいだの希望

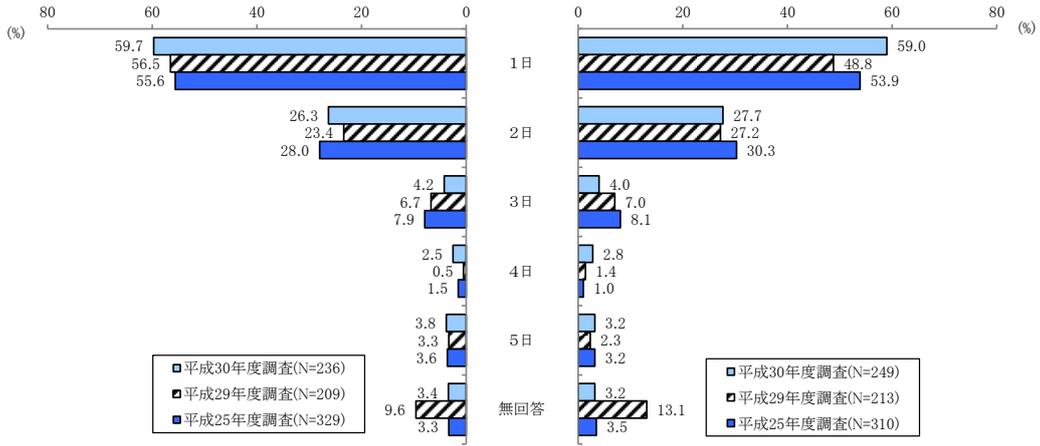
「自宅」が67.2%と最も高く、次いで「習いごとや塾」が65.7%、「その他(公民館や公園)」が23.8%となっています。



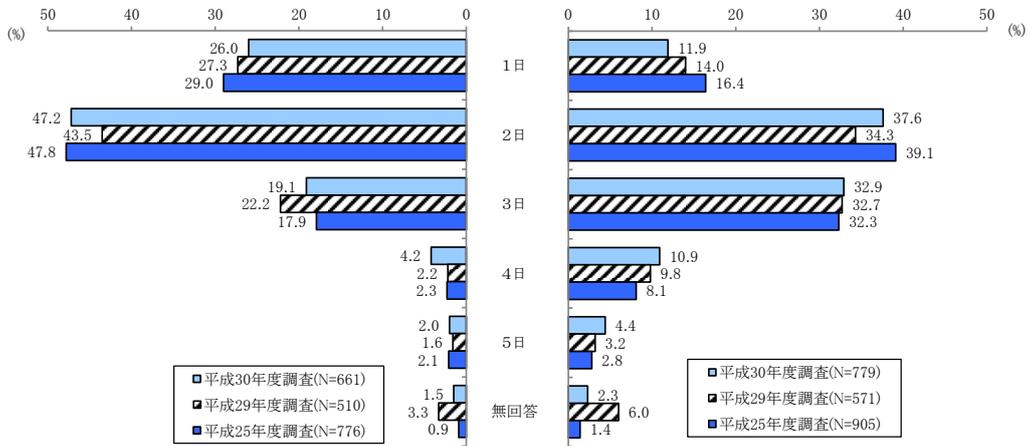
自宅の1週あたりの日数



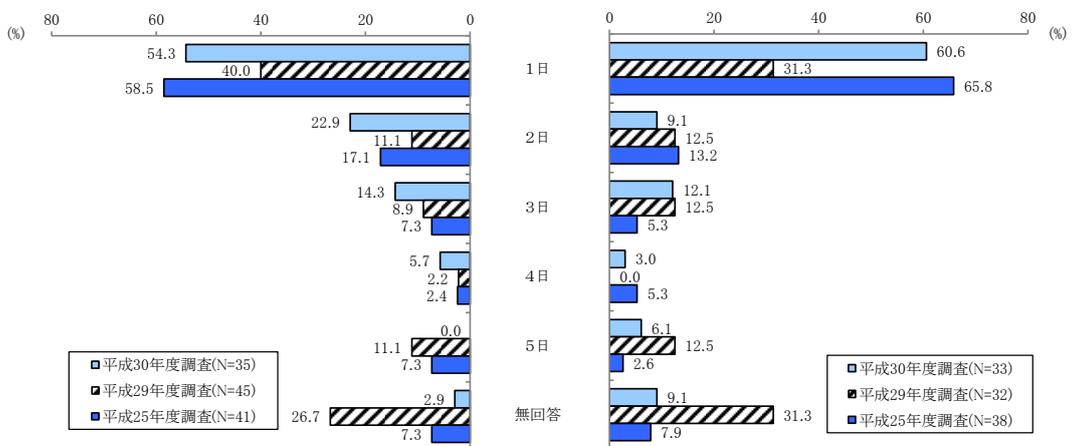
祖父母宅や知人宅の1週あたりの日数



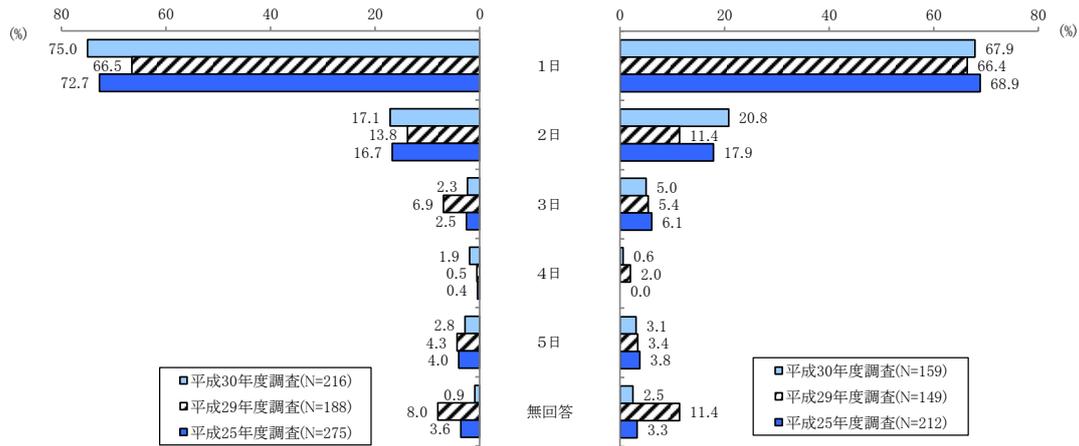
習いごとや塾の1週あたりの日数



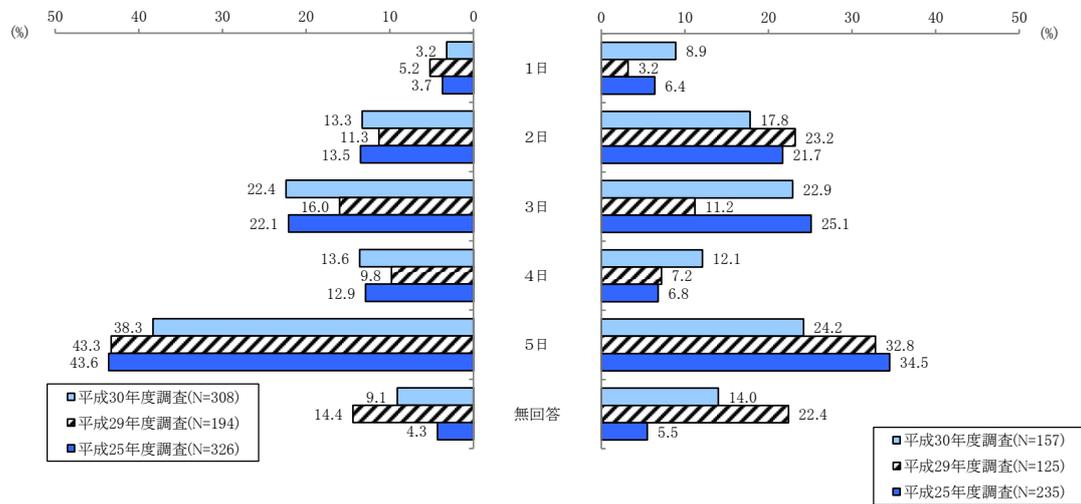
児童館の1週あたりの日数



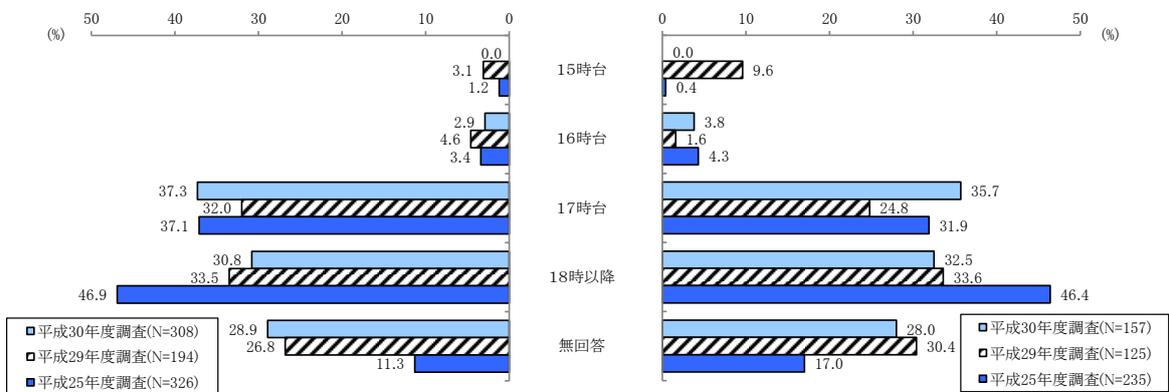
放課後子ども教室の1週あたりの日数



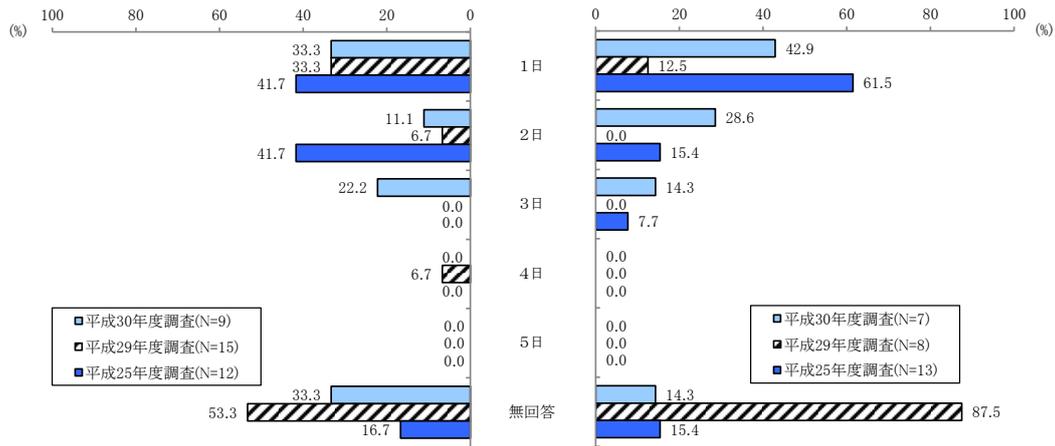
バンビーホームの1週あたりの日数



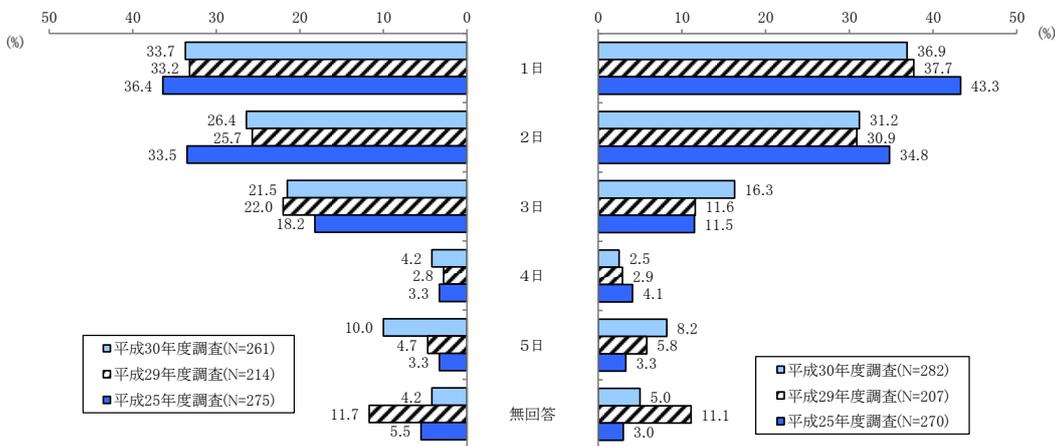
バンビーホームの利用終了時刻



ファミリー・サポート・センターの1週あたりの日数



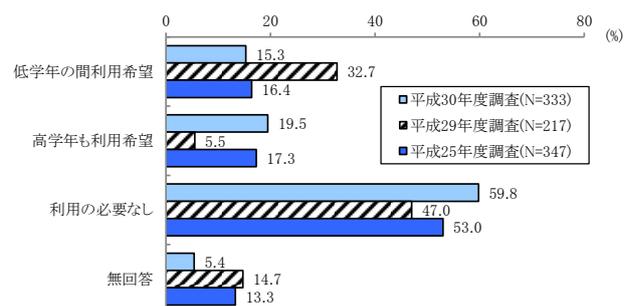
その他の1週あたりの日数



問9 問8で「6.バンビーホーム」とお答えの方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を()内に(例)9時から18時のように24時間制でご記入ください。なお、バンビーホームの利用には一定の利用料がかかります。

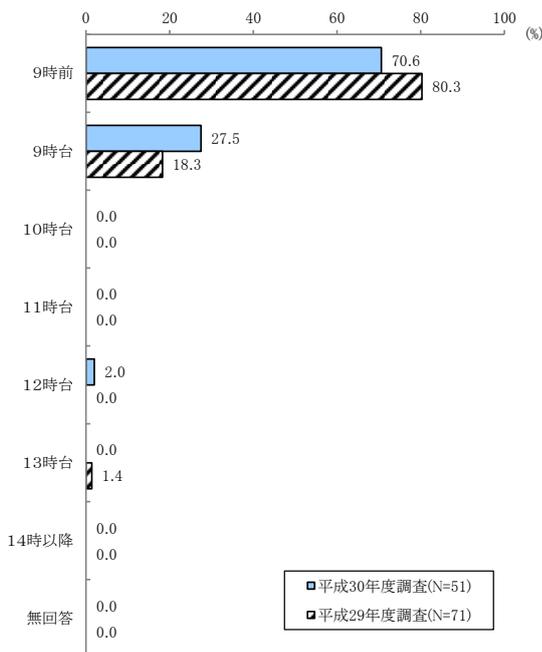
【土曜日】

「利用の必要なし」が59.8%と最も高く、次いで「高学年も利用希望」が19.5%、「低学年の間利用希望」が15.3%となっています。経年でみると、「低学年の間利用希望」が減少し、「高学年も利用希望」が増加しています。

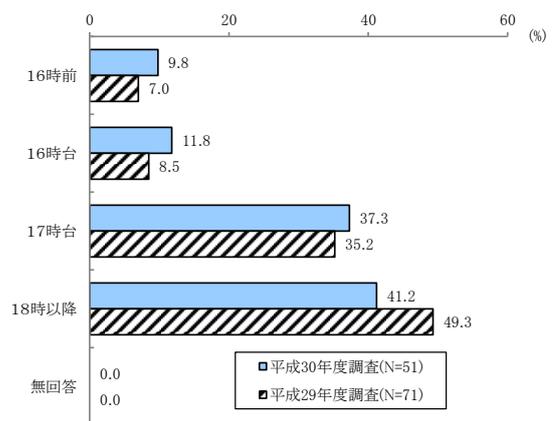


土曜の利用したい時間帯

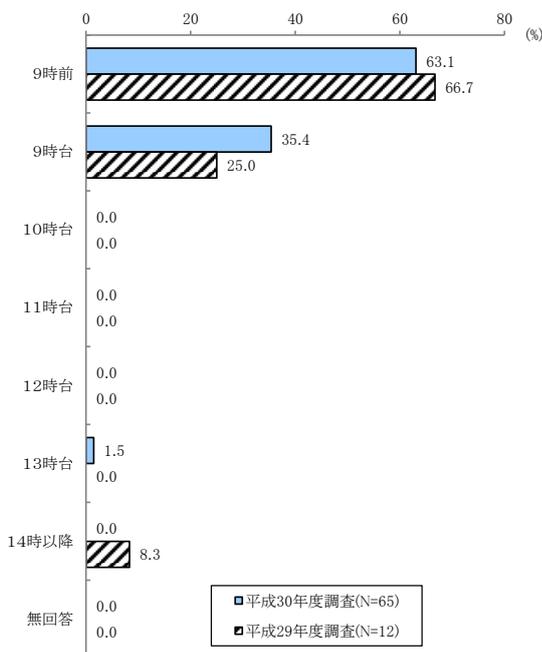
低学年の間 希望利用開始時間



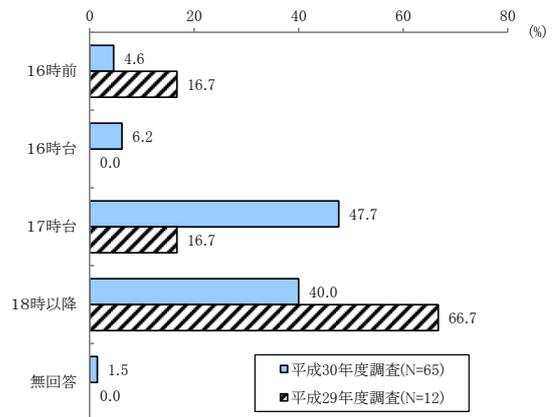
低学年の間 希望利用終了時間



高学年の間 希望利用開始時間

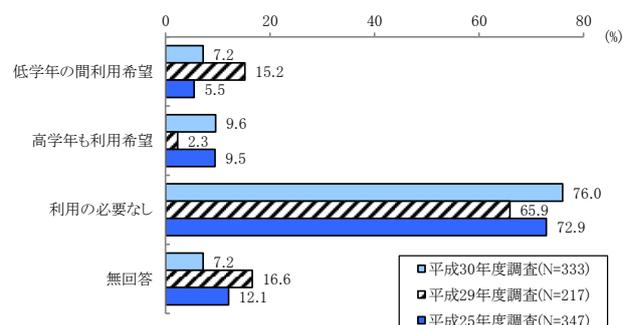


高学年の間 希望利用終了時間



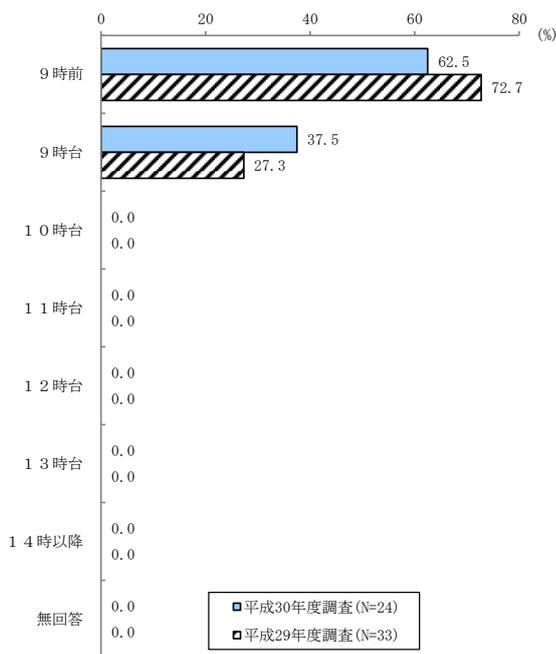
【日曜・祝日】

「利用の必要なし」が76.0%と最も高く、次いで「高学年も利用希望」が9.6%、「低学年の間利用希望」が7.2%となっています。経年でみると、「低学年の間利用希望」と「高学年も利用希望」とともに増加しています。

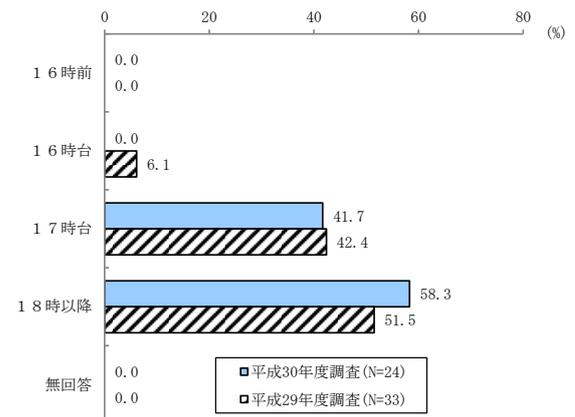


日曜の利用したい時間帯

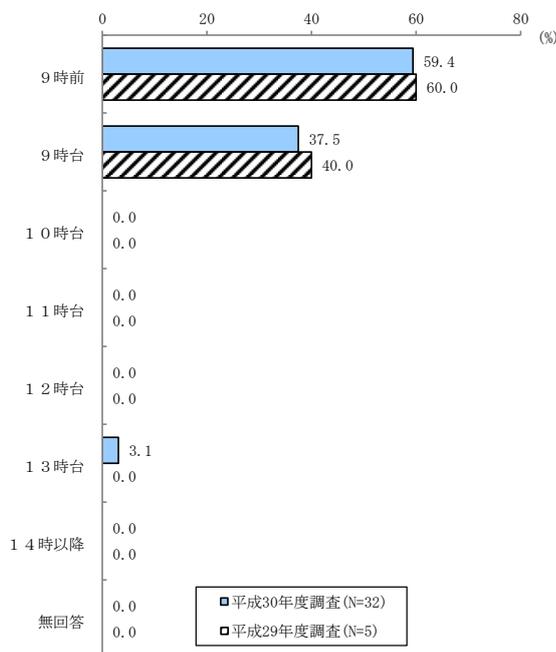
低学年の間 希望利用開始時間



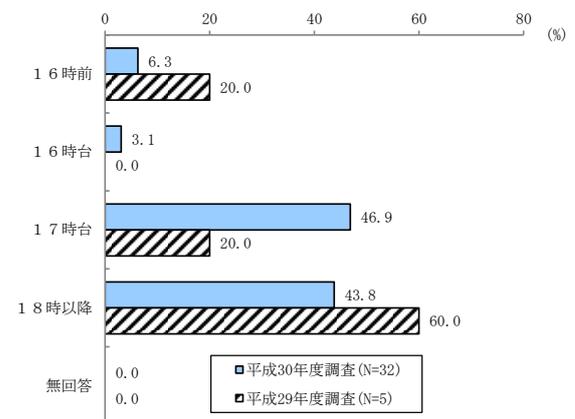
低学年の間 希望利用終了時間



高学年の間 希望利用開始時間

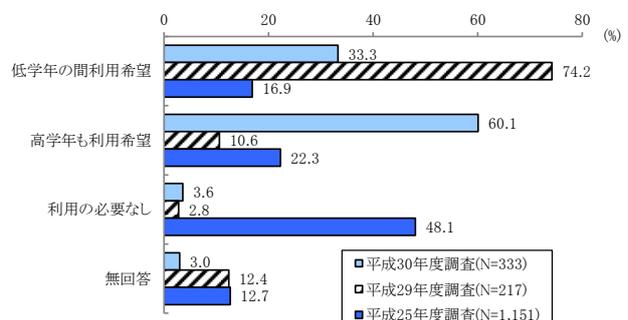


高学年の間 希望利用終了時間



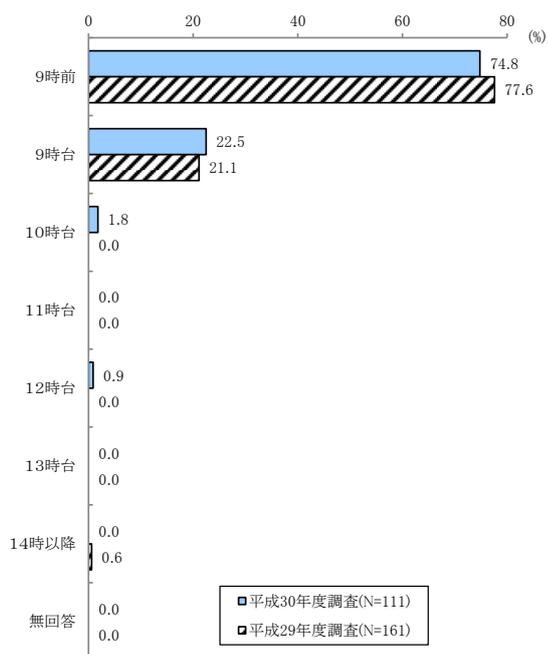
【夏休み・冬休み等長期休暇中】

「高学年も利用希望」が60.1%と最も高く、次いで「低学年の間利用希望」が33.3%、「利用の必要なし」が3.6%となっています。経年でみると、「低学年の間利用希望」と「高学年も利用希望」とともに増加しています。

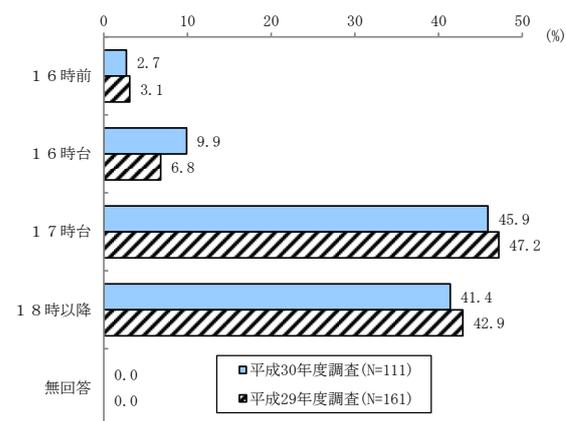


長期休暇中の利用したい時間帯

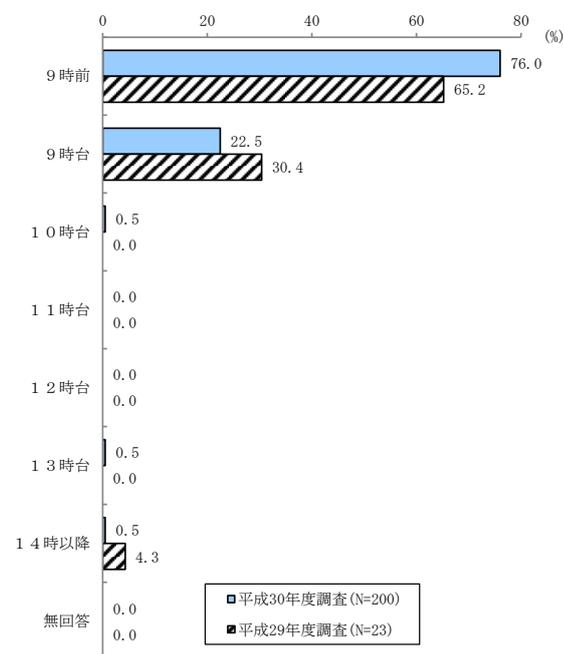
低学年の間 希望利用開始時間



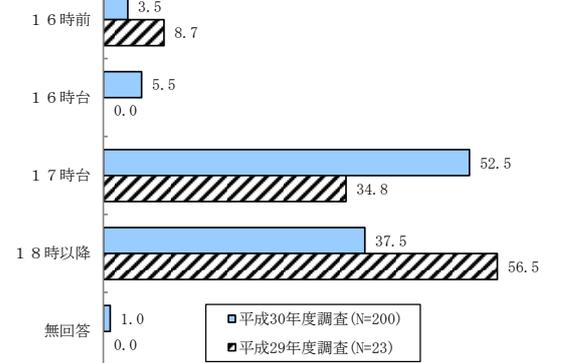
低学年の間 希望利用終了時間



高学年の間 希望利用開始時間

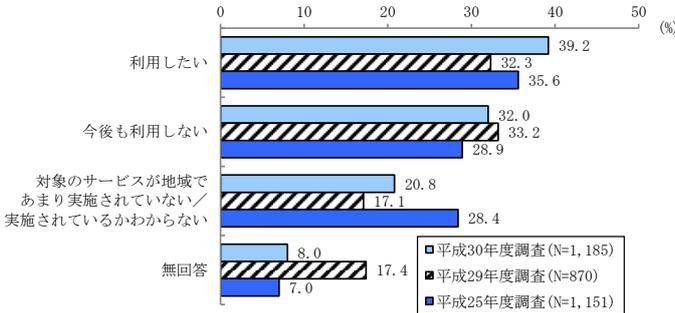


高学年の間 希望利用終了時間

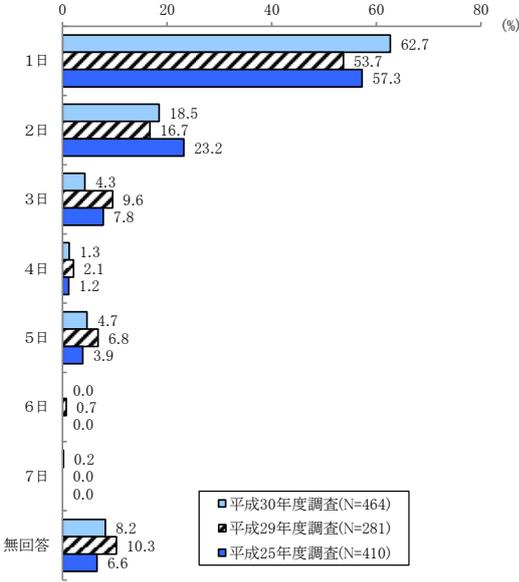


問10 各小学校区ごとに『放課後子ども教室』を実施していますが、その利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は希望の日数を数字で記入してください。

「利用したい」が39.2%と最も高く、次いで「今後も利用しない」が32.0%、「対象のサービスが地域であまり実施されていない／実施されているかわからない」が20.8%となっています。経年でみると、「利用したい」が大きく増加しています。



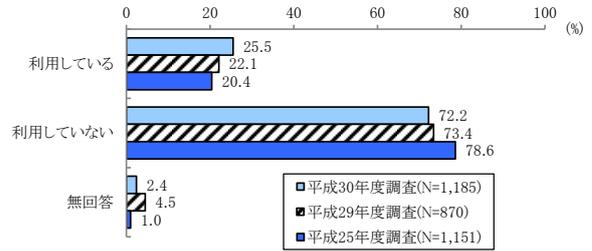
利用したい1週あたりの日数



2-5.バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用について

問11 お子さんについて、現在、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）

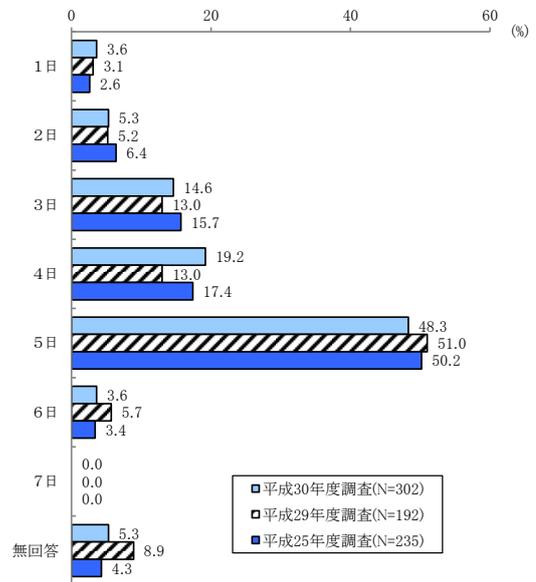
「利用していない」が72.2%と最も高くなっています。



問11-1 問11で「1. 利用している」に○をつけた方は①利用日数を数字で記入し、②利用している理由についてもあてはまる番号1つに○をつけてください。

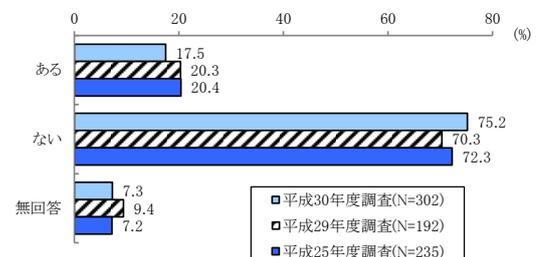
①利用日数

「5日」が48.3%と最も高く、次いで「4日」が19.2%、「3日」が14.6%となっています。



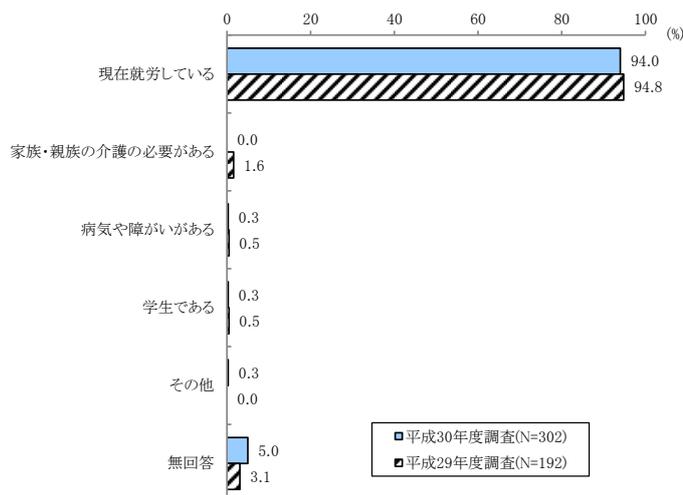
土曜日の利用の有無

「ない」が75.2%と最も高くなっています。



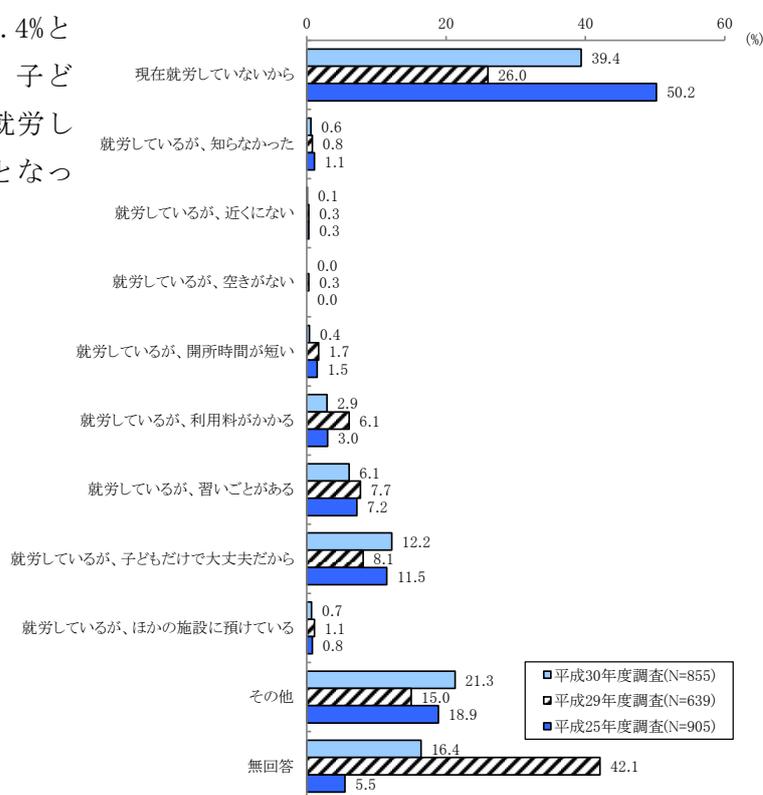
②利用している理由

「現在就労している」が94.0%と最も高く、次いで「病気や障がいがある」、「学生である」がそれぞれ0.3%となっています。



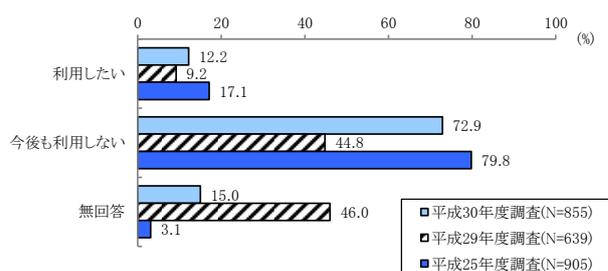
③利用していない理由

「現在就労していないから」が39.4%と最も高く、次いで「就労しているが、子どもだけで大丈夫だから」が12.2%、「就労しているが、習いごとがある」が6.1%となっています。



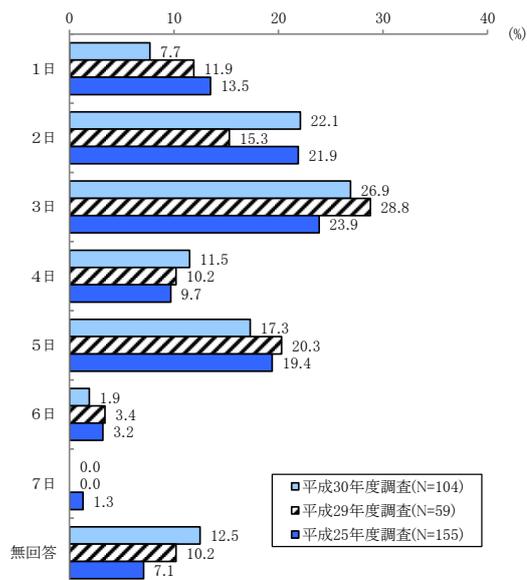
④今後の利用について

「今後も利用しない」が72.9%と最も高くなっています。



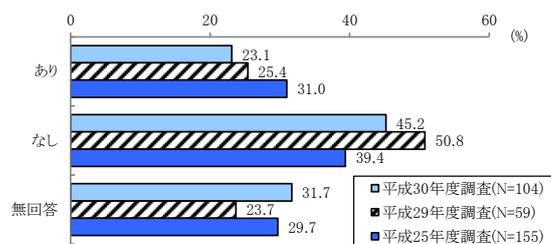
1 週あたり何日利用したいか

「3日」が26.9%と最も高く、次いで「2日」が22.1%、「5日」が17.3%となっています。



土・日の利用希望

「なし」が45.2%と最も高くなっています。

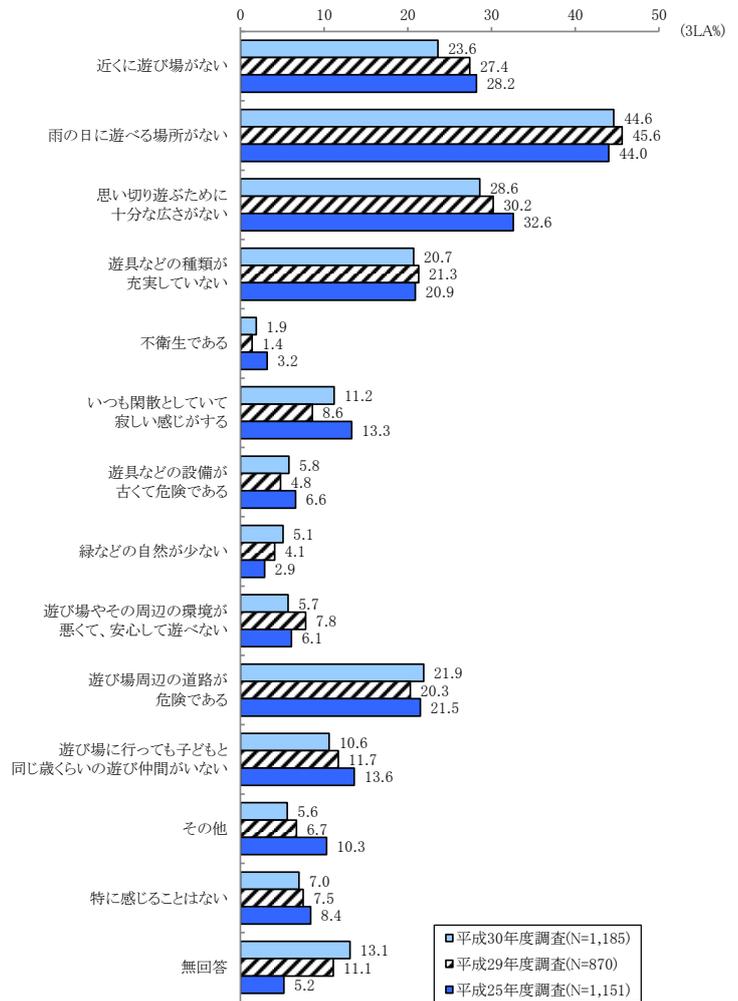


2-6. 子どもの居場所について

問12 家の近くの子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。下の中から3つまで選んで○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」が44.6%と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が28.6%、「近くに遊び場がない」が23.6%となっています。

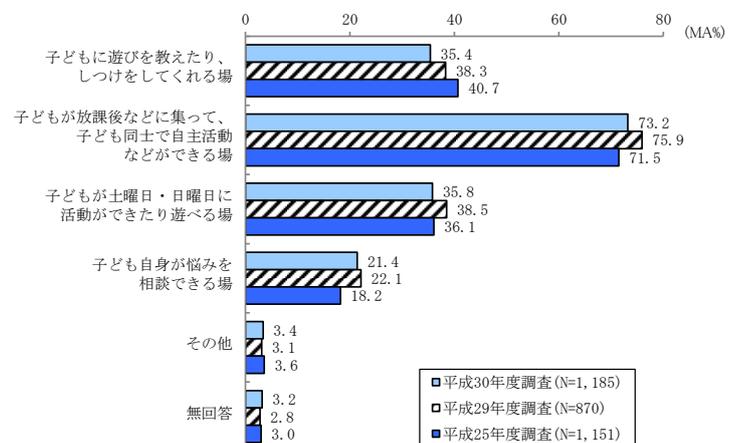
経年でみると、「雨の日に遊べる場所がない」と「緑などの自然が少ない」、「遊び場周辺の道路が危険である」が増加しています。



問13 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場」が73.2%と最も高く、次いで、「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」が35.8%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」が35.4%となっています。

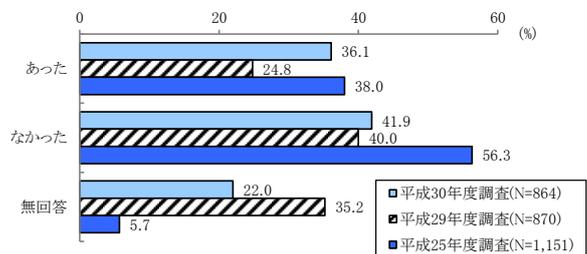
経年でみると、「子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場」と「子ども自身が悩みを相談できる場」が増加しています。



2-7. 病気の際の対応について

問14 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えの方（問7で「1」または「2」と答えた方）にうかがいます。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

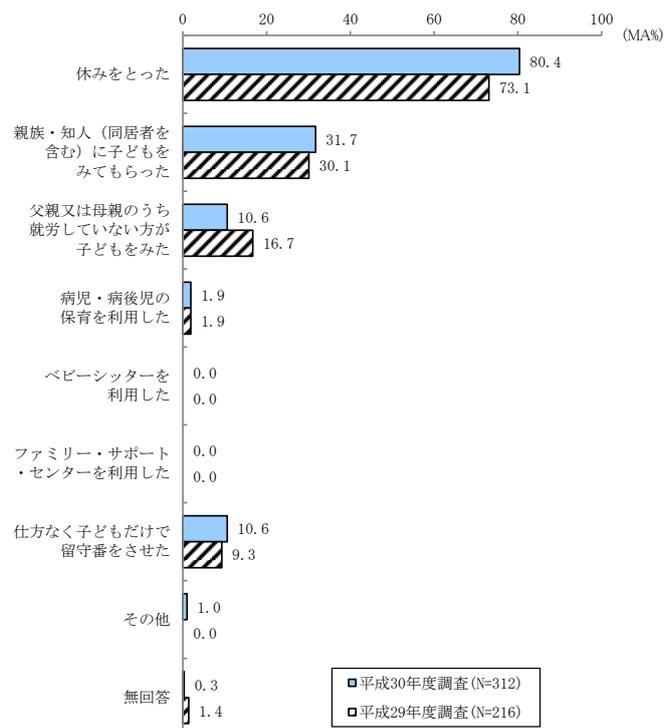
「なかった」が41.9%と最も高くなっています。



問14-1 問14で「1. あった」とお答えの方にうかがいます。その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字で記入ください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

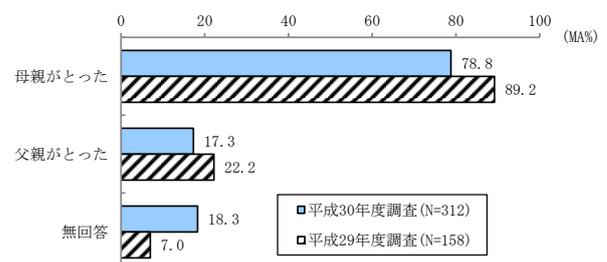
休みを取らなかった際の対応

「休みをとった」が80.4%と最も高く、次いで、「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が31.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」がそれぞれ10.6%となっています。

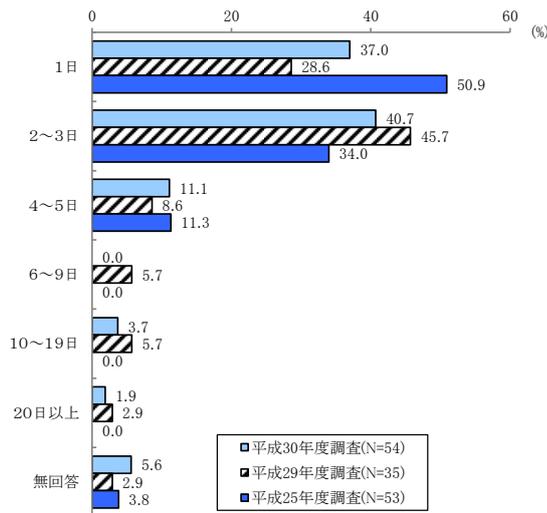


休みをとった人

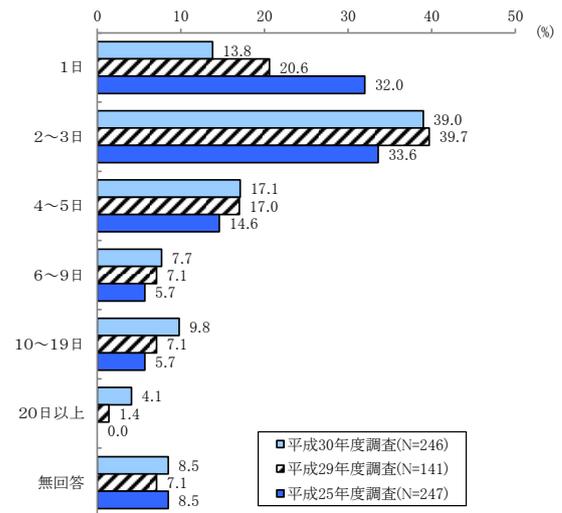
「母親がとった」が78.8%と最も高く、次いで、「父親がとった」が17.3%となっています。



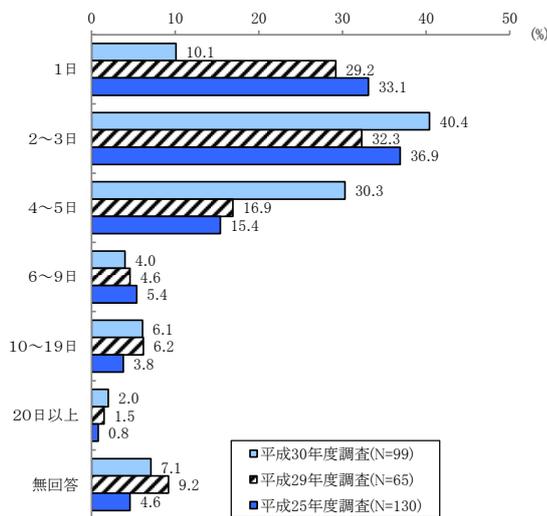
父親が休んだ日数



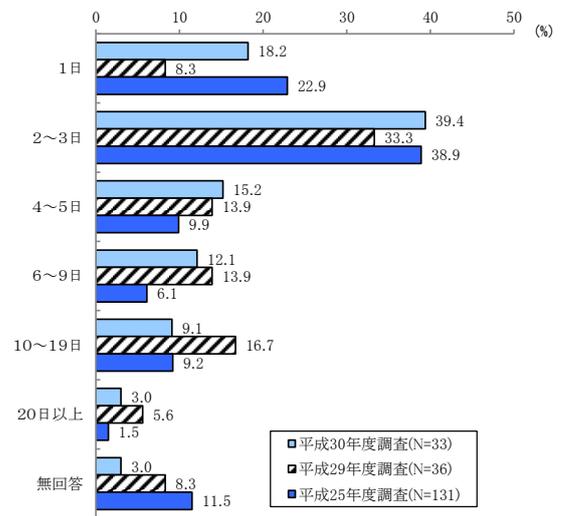
母親が休んだ日数



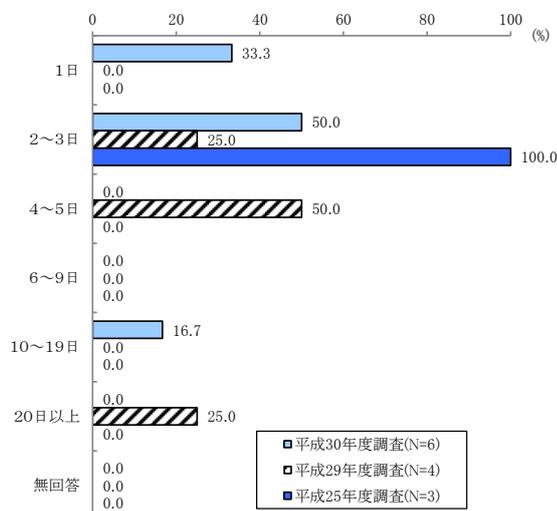
親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった日数



父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



病児・病後児の保育を利用した日数



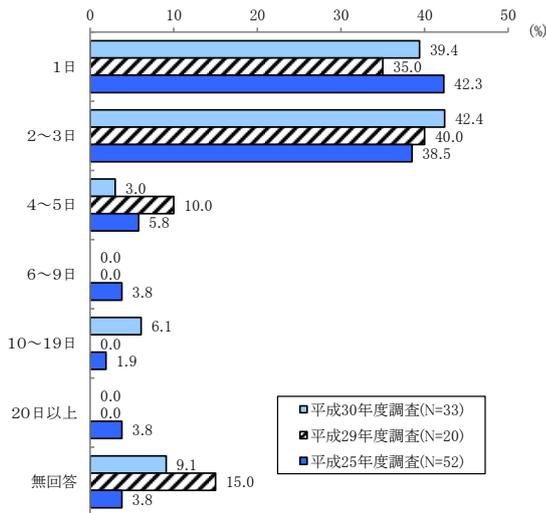
ベビーシッターを利用した日数

有効回答はありません。

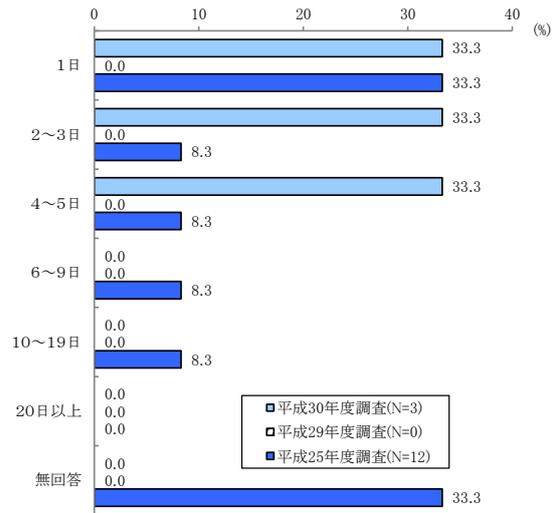
ファミリー・サポート・センターを利用した日数

有効回答はありません。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

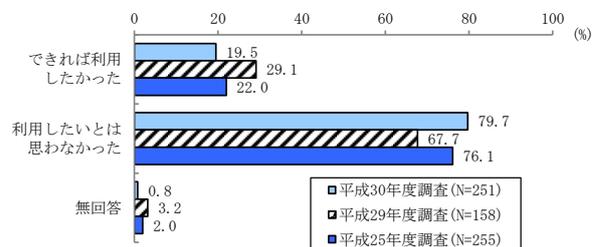


その他



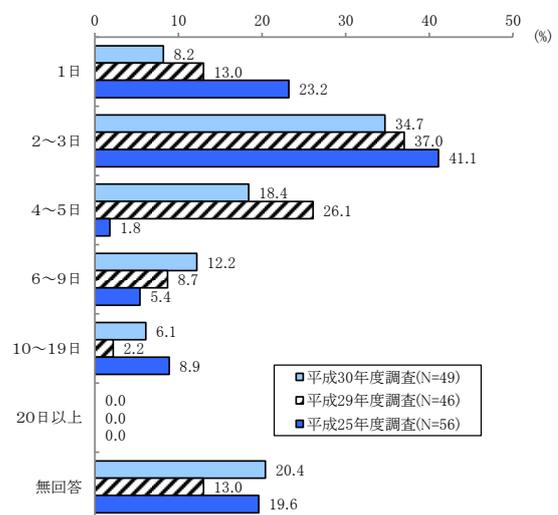
問14-2 問14-1で「1. 休みをとった」とお答えの方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要になります。

「利用したいとは思わなかった」が79.7%と最も高くなっています。経年でみると、「できれば利用したかった」が減少し、「利用したいとは思わなかった」が増加しています。



できれば利用したかった日数

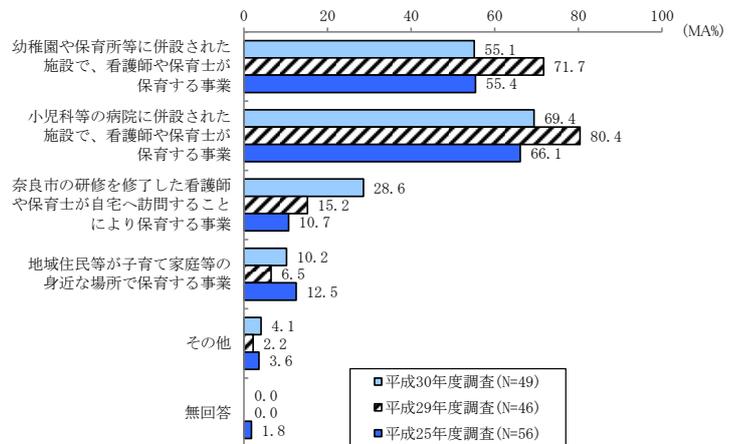
「2~3日」が34.7%と最も高く、次いで「4~5日」が18.4%、「6~9日」が12.2%となっています。



問14-3 問14-2で「1. できれば利用したかった」とお答えの方にはうかがいます。上記の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が69.4%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業」が55.1%、「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」が28.6%となっています。

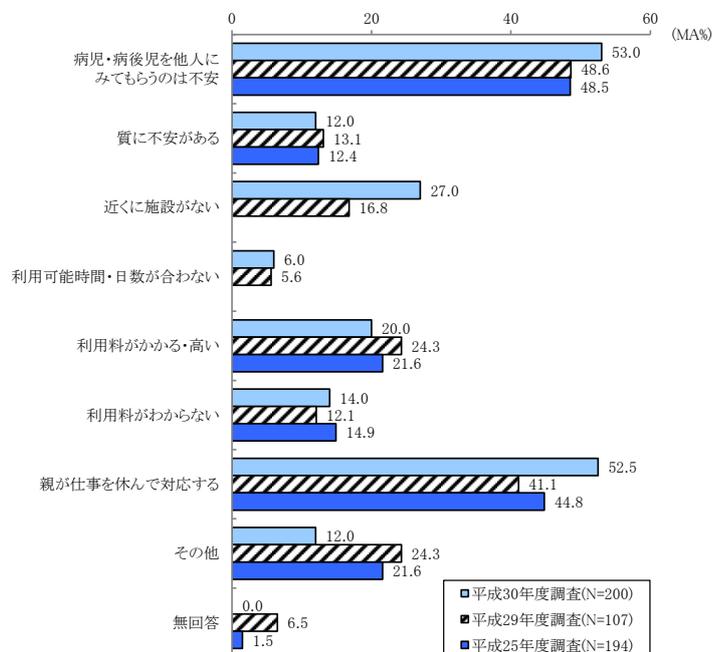
経年でみると、「奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業」が大きく増加しています。



問14-4 問14-2で「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方にはうかがいます。そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が53.0%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が52.5%、「近くに施設がない」が27.0%となっています。

経年でみると、「親が仕事を休んで対応する」が大きく増加しています。



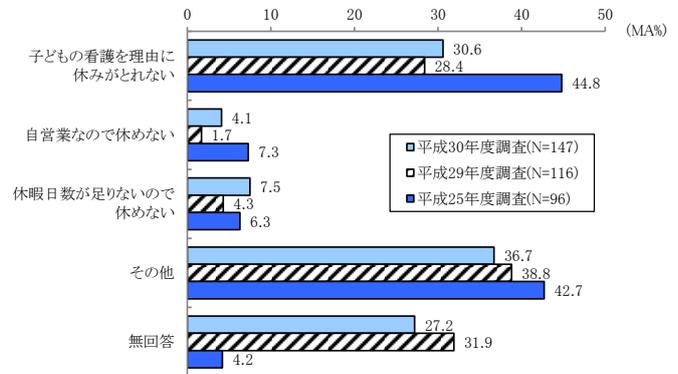
問14-5 問14-1で「2」～「8」（休みをとらず対応をした）とお答えの方にはうかがいます。

（1）休みをとらなかった理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

（2）その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。いずれかに○をつけ、「1」の場合は問14-1の「2」～「8」の日数のうち仕事を休みたかった日数について数字でご記入ください。

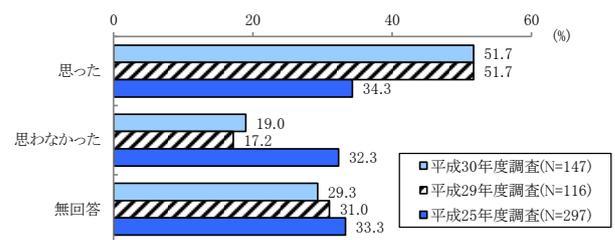
（1）休みをとらなかった理由

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が30.6%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が7.5%、「自営業なので休めない」が4.1%となっています。



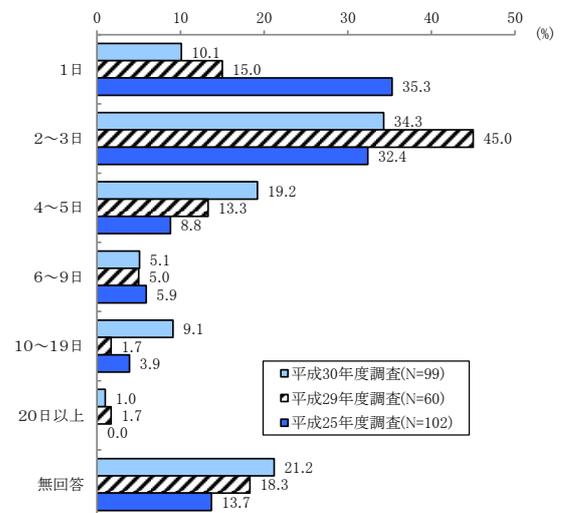
（2）「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思ったか

「思った」が51.7%と最も高くなっています。



仕事を休んで看護したい日数

「2～3日」が34.3%と最も高く、次いで「4～5日」が19.2%、「1日」が10.1%となっています。

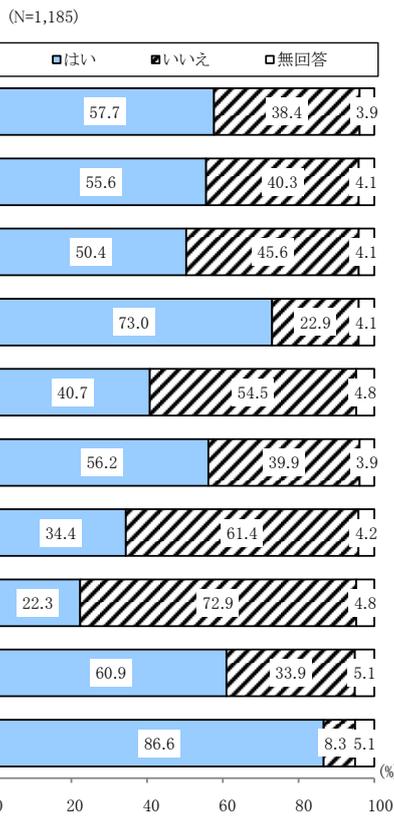


2-8. 地域の子育て支援事業の利用について

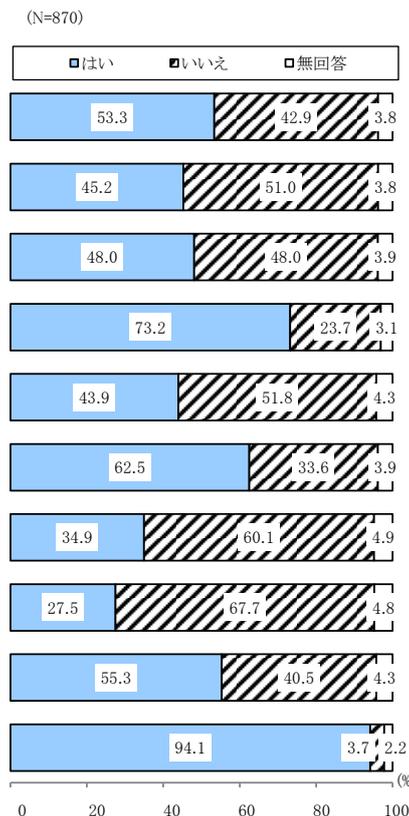
問15 奈良市では、下記の事業や取組を行っていますが、この中で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

<認知度>

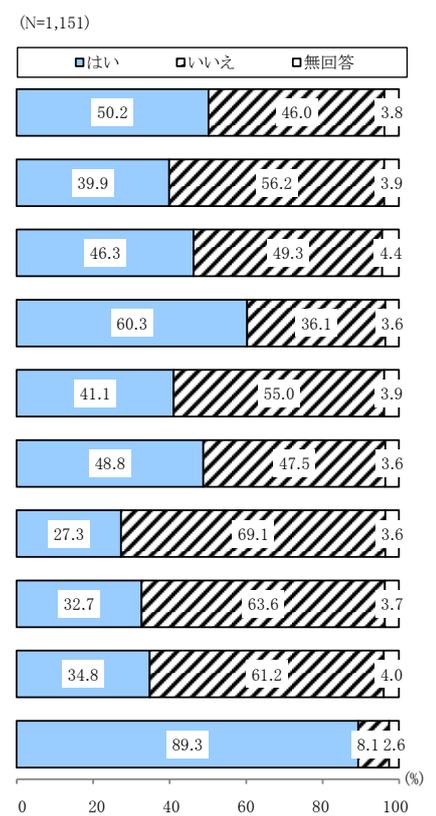
【平成 30 年度調査】



【平成 29 年度調査】



【平成 25 年度調査】

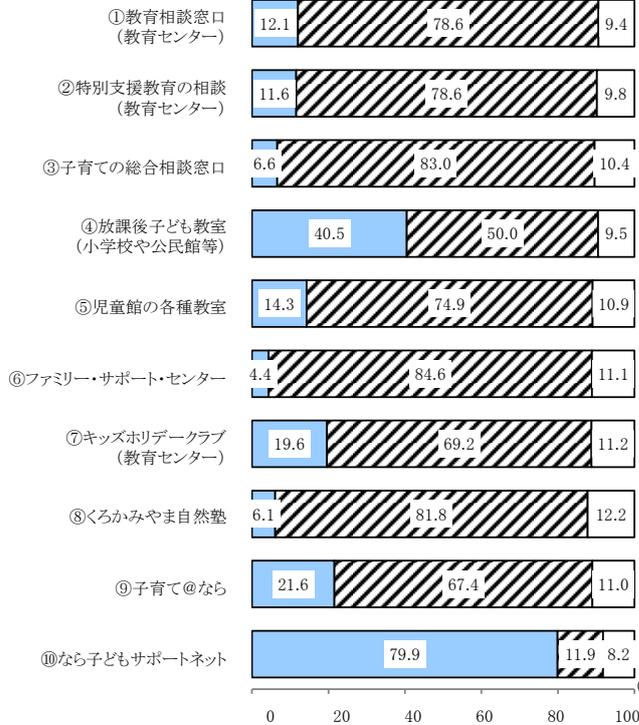


<利用の有無>

【平成 30 年度調査】

(N=1,185)

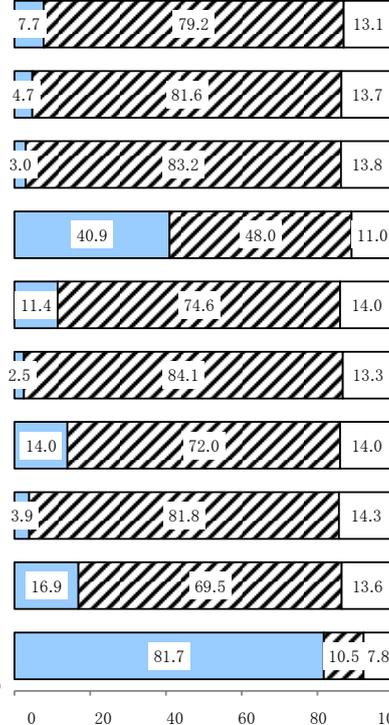
□はい □いいえ □無回答



【平成 29 年度調査】

(N=870)

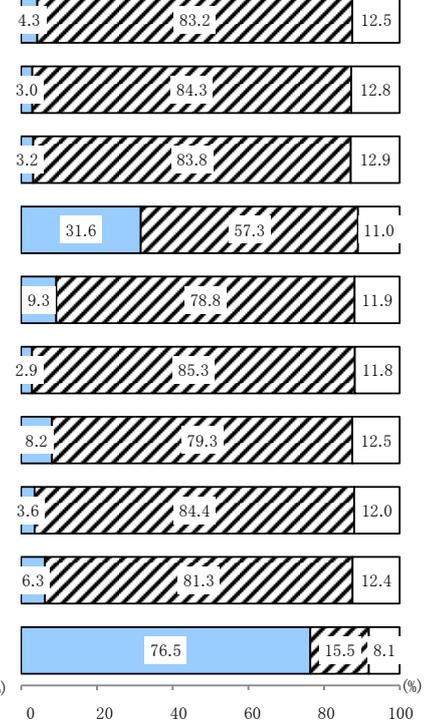
□はい □いいえ □無回答



【平成 25 年度調査】

(N=1,151)

□はい □いいえ □無回答

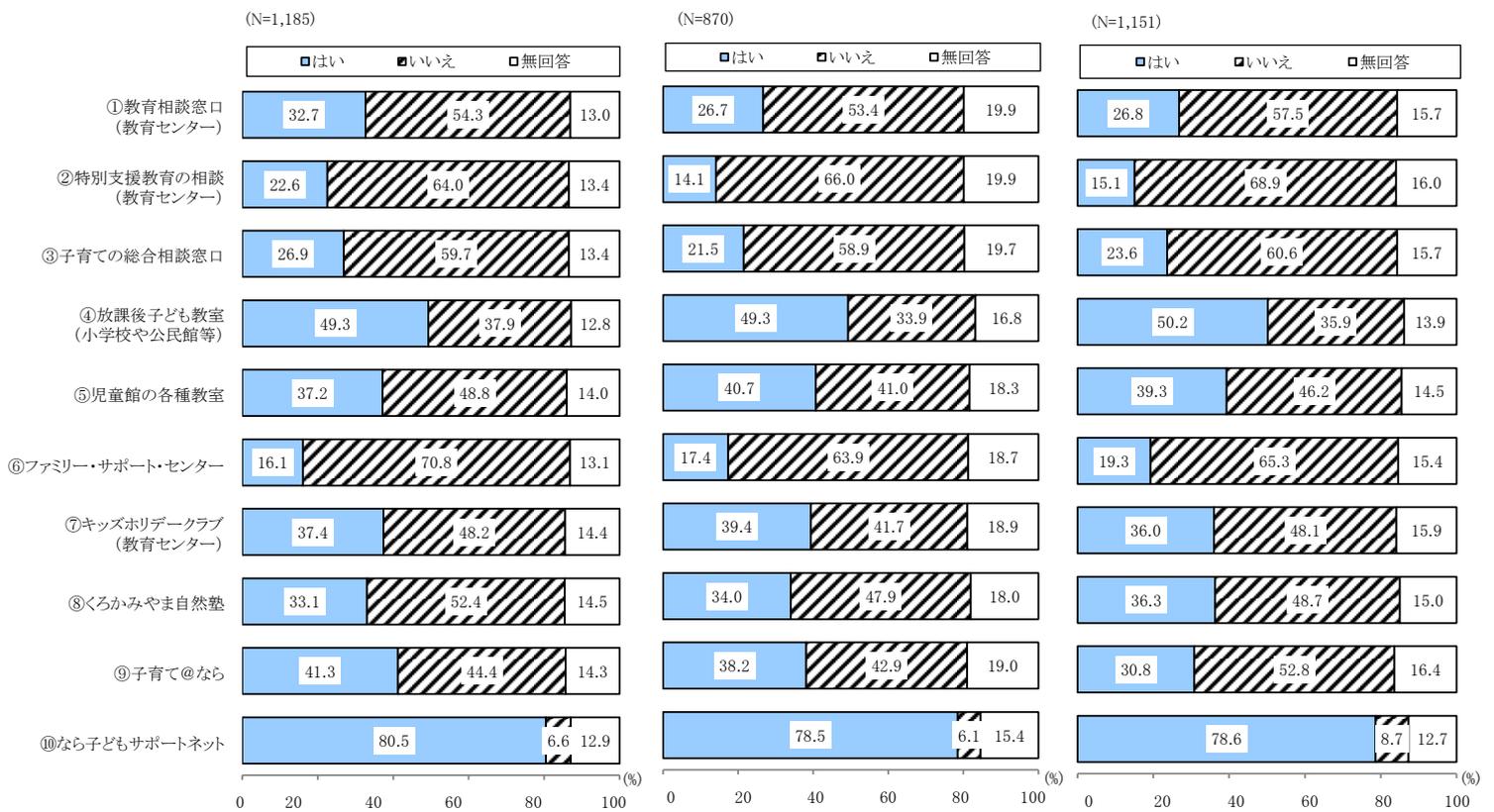


＜今後の利用意向＞

【平成 30 年度調査】

【平成 29 年度調査】

【平成 25 年度調査】

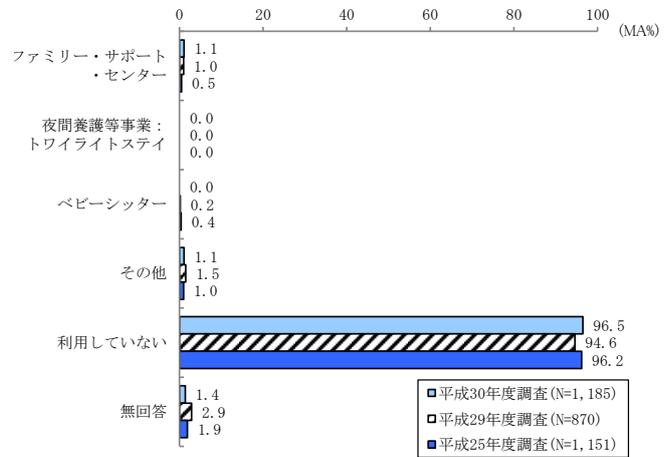


2-9. 一時預かり等の利用状況について

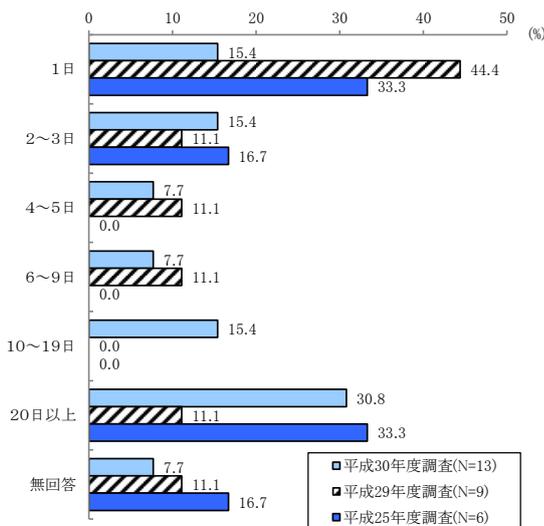
問16 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業

「利用していない」が96.5%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」、 「その他」がそれぞれ1.1%となっています。



①ファミリー・サポート・センター 利用日数



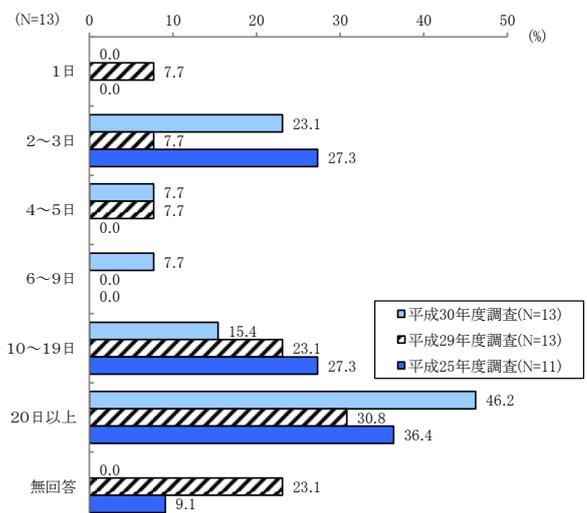
②夜間養護等事業：トワイライトステイ 利用日数

有効回答はありません。

③ベビーシッター

有効回答はありません。

④その他利用日数

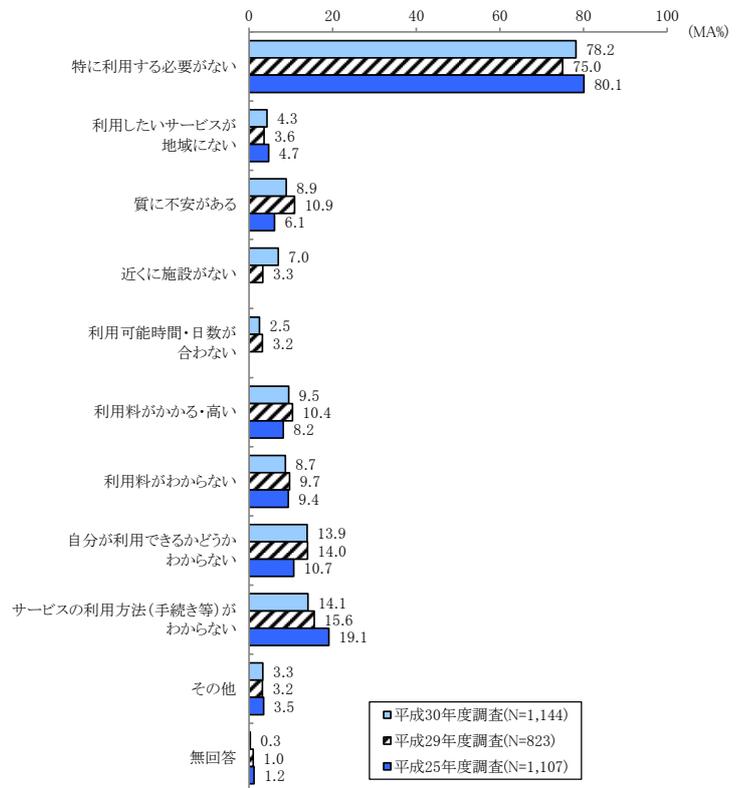


問16-1 問16で「5. 利用していない」と答えた方は、その理由にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

利用している事業がない理由

「特に利用する必要がない」が78.2%と最も高く、次いで「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」が14.1%、「自分が利用できるかどうかわからない」が13.9%となっています。

経年でみると、「特に利用する必要がない」が減少し、「質に不安がある」、「利用料がかかる・高い」、「自分が利用できるかどうかわからない」が増加しています。

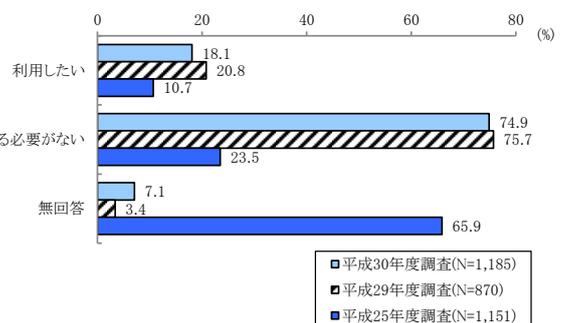


※平成 25 年度調査では「近くに施設がない」、「利用可能時間・日数が合わない」の選択肢はありません。

問17 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用したいと思いますか。いずれか1つに○をつけてください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」が18.1%、「利用する必要がない」が74.9%となっています。

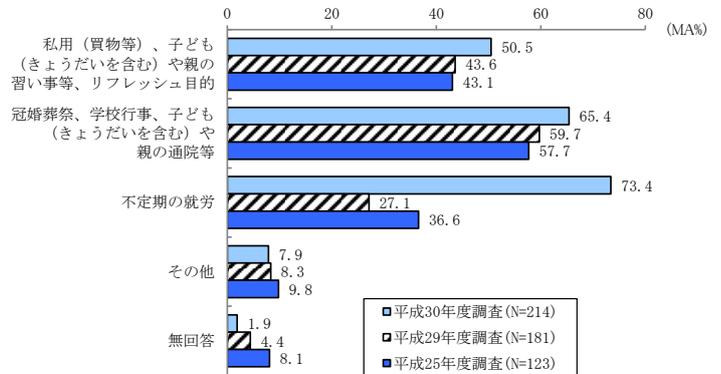
経年でみると、「利用する必要がない」が大きく増加しています。



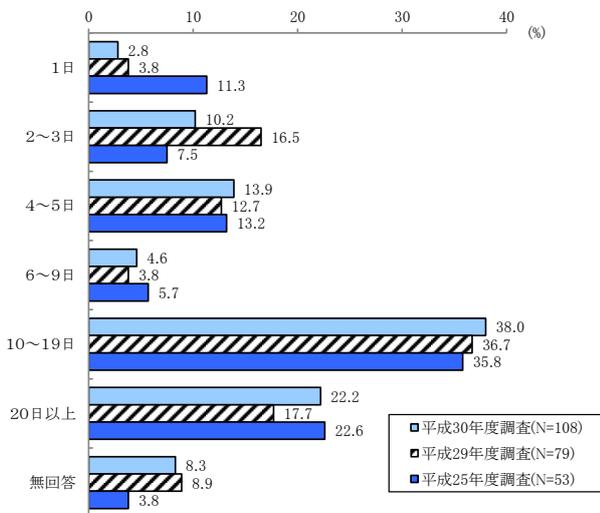
問17-1 問17で「1. 利用したい」とお答えの方は、希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。①②それぞれあてはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を()内に数字でご記入ください。

利用の目的

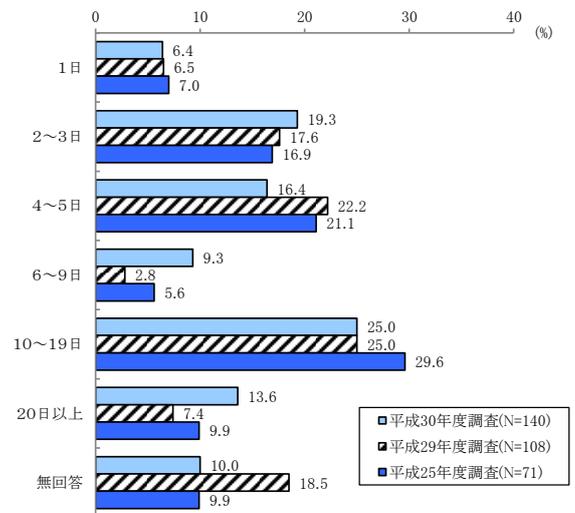
「不特定の就労」が73.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等」が65.4%、「私用（買物等）、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的」が50.5%となっています。経年でみると、「私用（買物等）、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的」と「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等」、「不特定の就労」すべてにおいて増加しています。



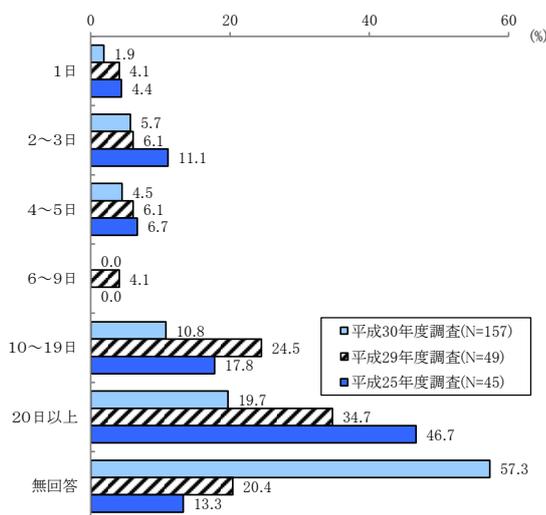
私用（買物等）、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的の日数



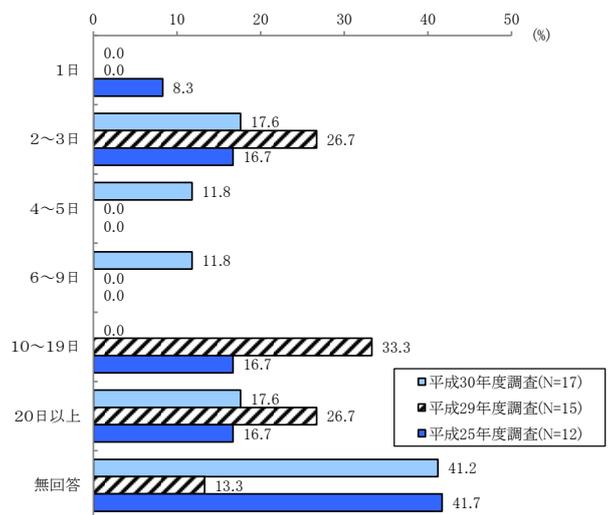
冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等の日数



不特定の就労の日数

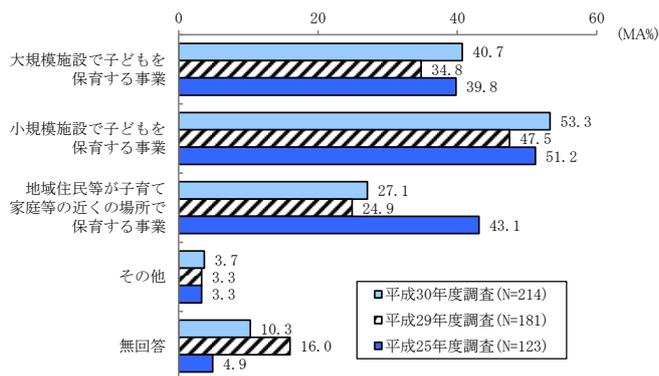


その他の日数



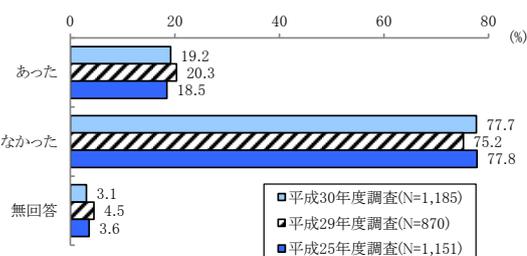
②利用したい場合の事業形態

「小規模施設で子どもを保育する事業」が53.3%と最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」が40.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が27.1%となっています。



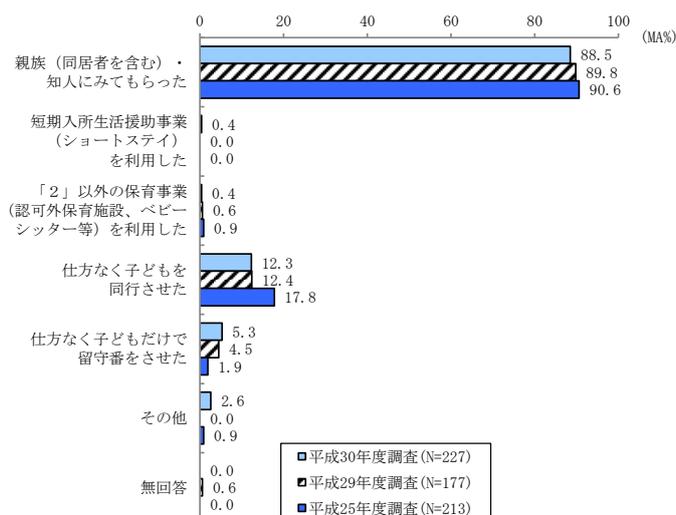
問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者、家族の病気など）により、お子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの宿数も（ ）内に数字でご記入ください。

「なかった」が77.7%と最も高くなっています。

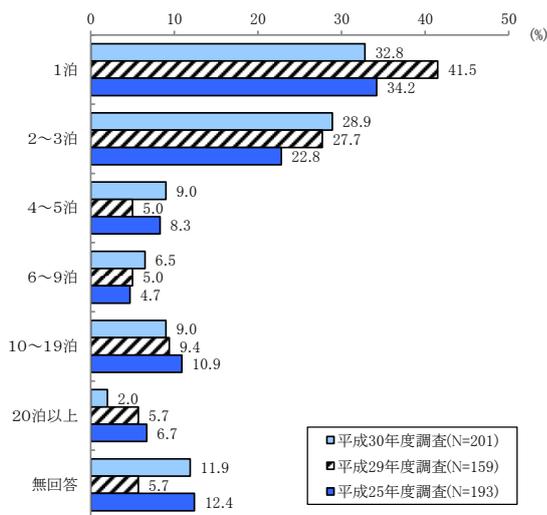


対応方法

「親族（同居者を含む）・知人にみてもらった」が88.5%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が12.3%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が5.3%となっています。



①親族・知人（同居者を含む）に
みてもらった日数

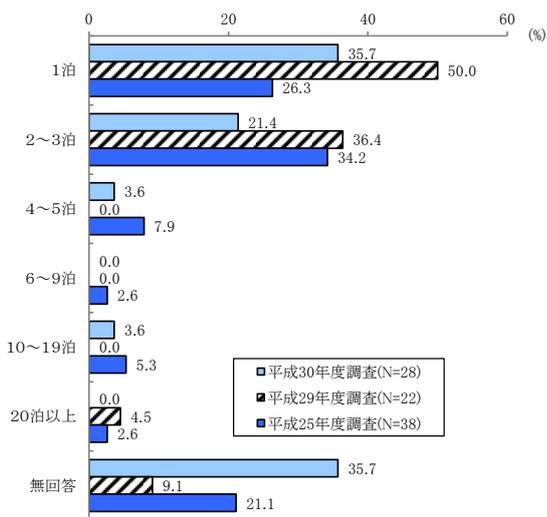


②短期入所生活援助事業を利用した日数
有効回答はありません。

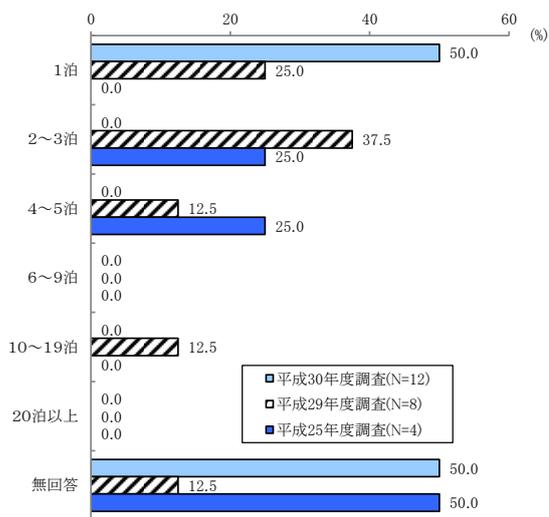
③短期入所生活援助事業以外の保育事業
を利用した日数

有効回答はありません。

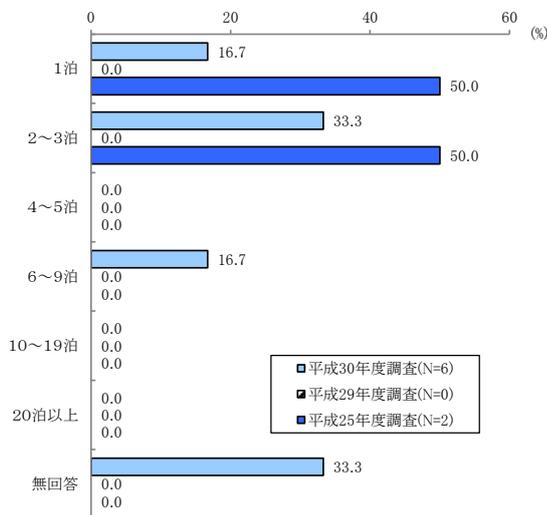
④仕方なく子どもを同行させた日数



⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



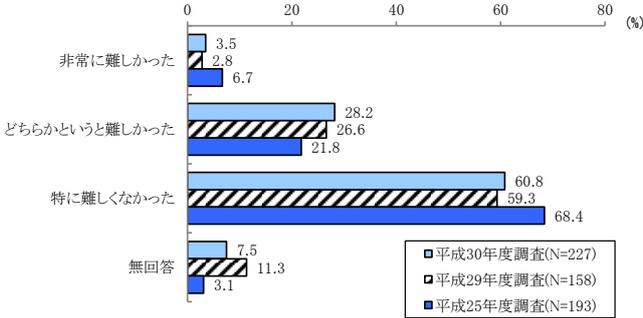
⑥その他の日数



**問18-1 問18で「1. あった」「1. 親族（同居者を含む）・知人にみてもらった」とお答えの方
うかがいます。お子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。あてはま
る番号1つに○をつけてください。**

「特に難しくなかった」が60.8%と最も高く、次いで「どちらかというとなんが難しかった」が28.2%、「非常に難しかった」が3.5%となっています。

経年でみると、「どちらかというとなんが難しかった」が増加しています。



2-10. 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

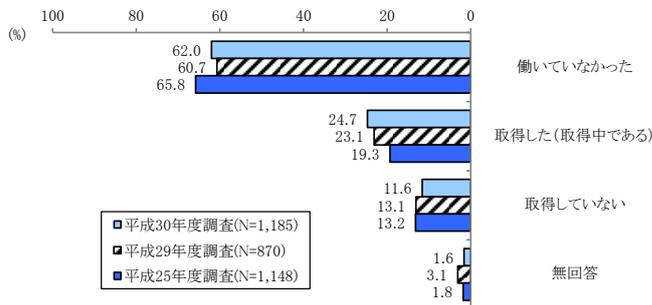
問19 お子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。

母親の育児休業取得状況でみると、「働いていなかった」が62.0%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が24.7%、「取得していない」が11.6%となっています。

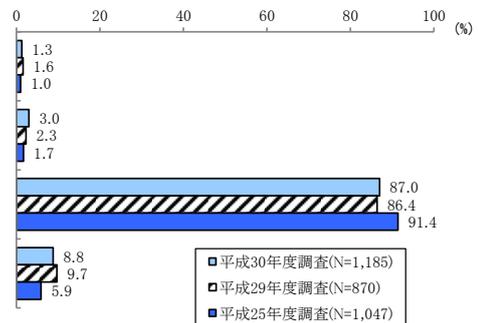
父親の育児休業取得状況でみると、「取得していない」が87.0%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が3.0%、「働いていなかった」が1.3%となっています。

経年でみると、「取得した（取得中である）」が母親、父親ともに増加しています。

母親の育児休業取得状況



父親の育児休業取得状況

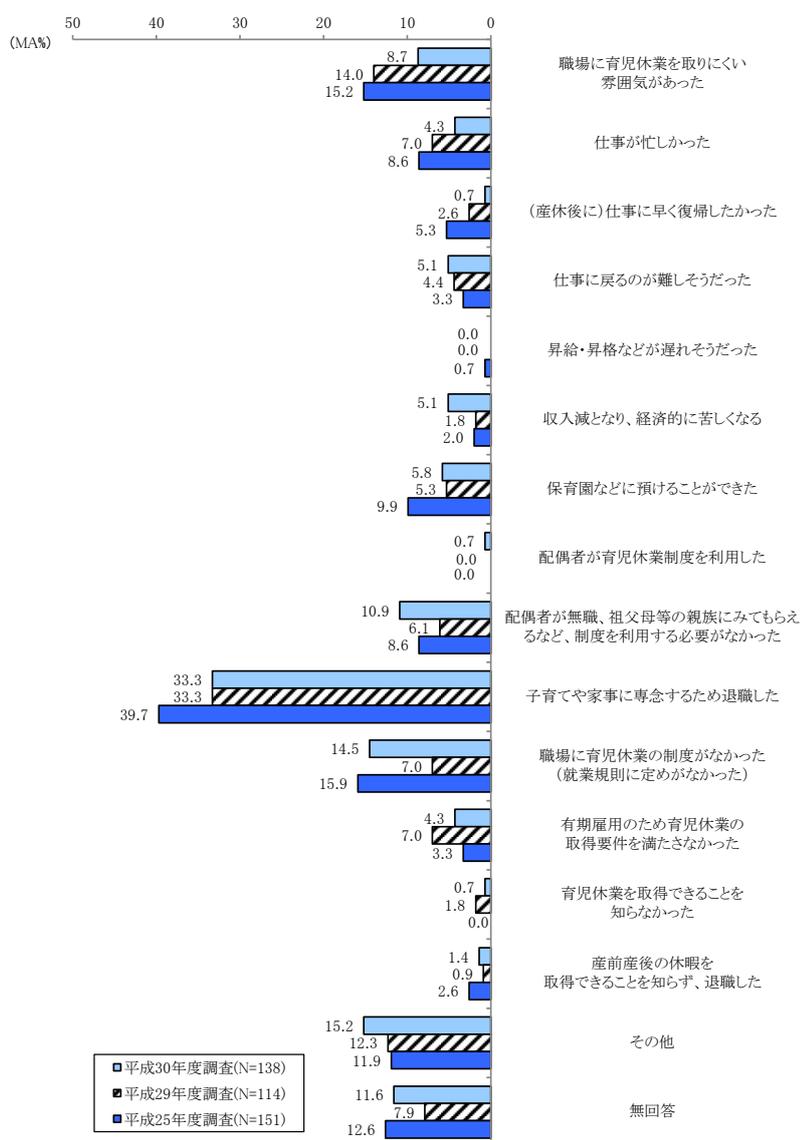


母親が取得していない理由でみると、「子育てや家事に専念するため退職した」が33.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が14.5%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が10.9%となっています。

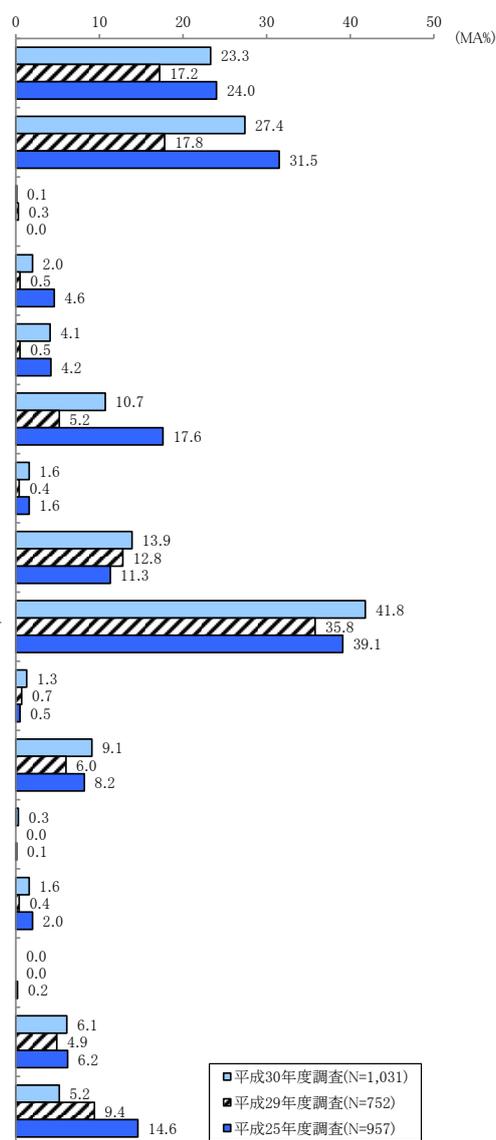
父親が取得していない理由でみると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が41.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が27.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が23.3%となっています。

経年でみると、母親と父親ともに「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が増加しています。

母親が取得していない理由



父親が取得していない理由

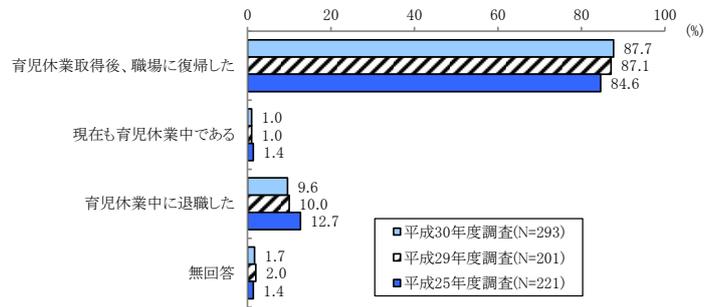


問 19-1～19-7 は母親の方のみお答えください。

問19-1 問19で「2. 取得した（取得中である）」とお答えの方のうちがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.7%と最も高く、次いで「育児休業中に退職した」が9.6%、「現在も育児休業中である」が1.0%となっています。

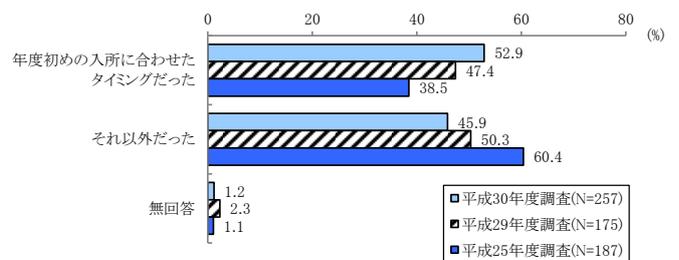
経年でみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が増加しており、「育児休業中に退職した」が減少しています。



問19-2 問19-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方のうちがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が52.9%と最も高くなっています。

経年でみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が増加しています。

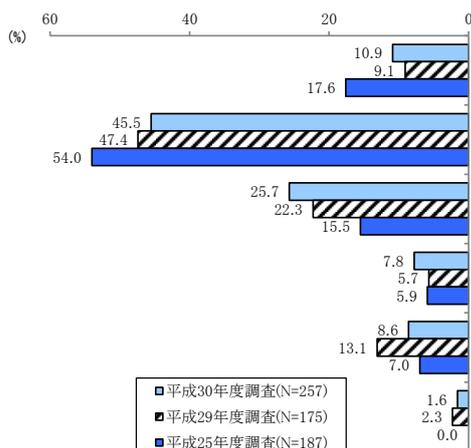


問19-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

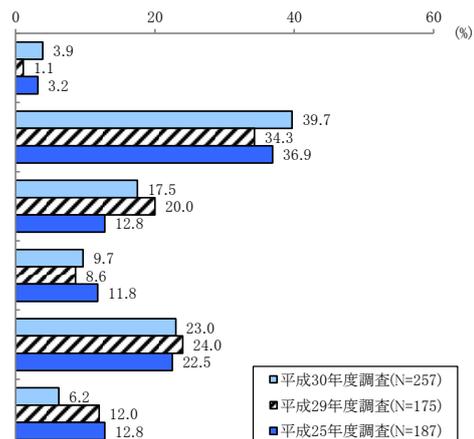
実際の復帰時期でみると、「7か月～12か月」が45.5%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」が25.7%、「1か月～6か月」が10.9%となっています。

希望の復帰時期でみると、「7か月～12か月」が39.7%と最も高く、次いで「2歳1か月以上」が23.0%、「1歳1か月～1歳6か月」が17.5%となっています。

実際の復帰時期



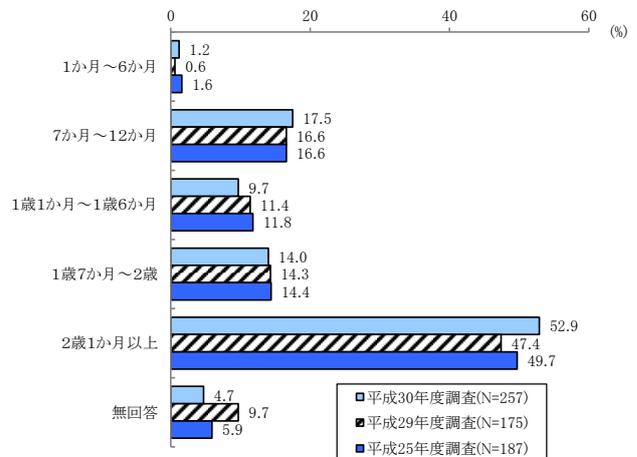
希望の復帰時期



問19-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さん何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

「2歳1か月以上」が52.9%と最も高く、次いで「7か月～12か月」が17.5%、「1歳7か月～2歳」が14.0%となっています。

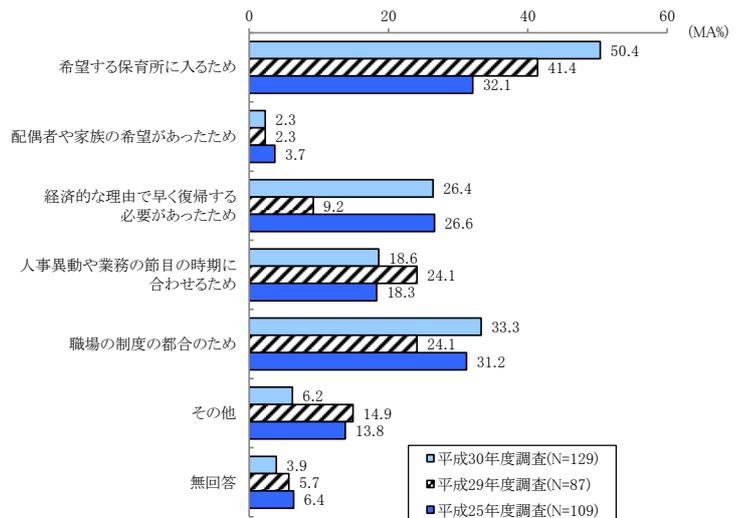
経年でみると、「7か月～12か月」と「2歳1か月以上」が増加しています。



問19-5 実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(あてはまる番号すべてに○)

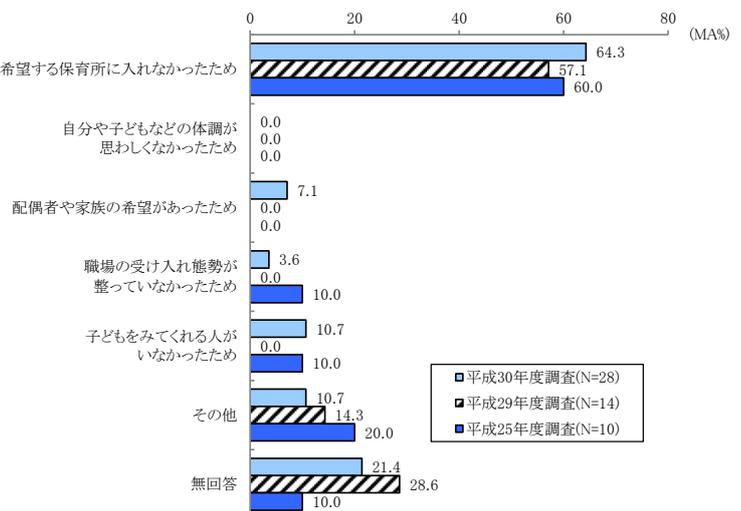
(1) 「希望」より早く復帰した方

「希望する保育所に入るため」が50.4%と最も高く、次いで「職場の制度の都合のため」が33.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が26.4%となっています。経年でみると、「希望する保育所に入るため」が増加しています。



(2) 「希望」より遅く復帰した方

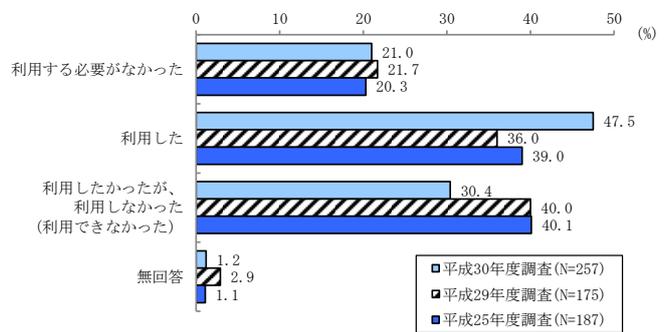
「希望する保育所に入れなかったため」が64.3%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が10.7%、「配偶者や家族の希望があったため」が7.1%となっています。経年でみると、「希望する保育所に入れなかったため」が増加しています。



問19-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。※短時間勤務制度とは、小学校に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。

「利用した」が47.5%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が30.4%、「利用する必要がなかった」が21.0%となっています。

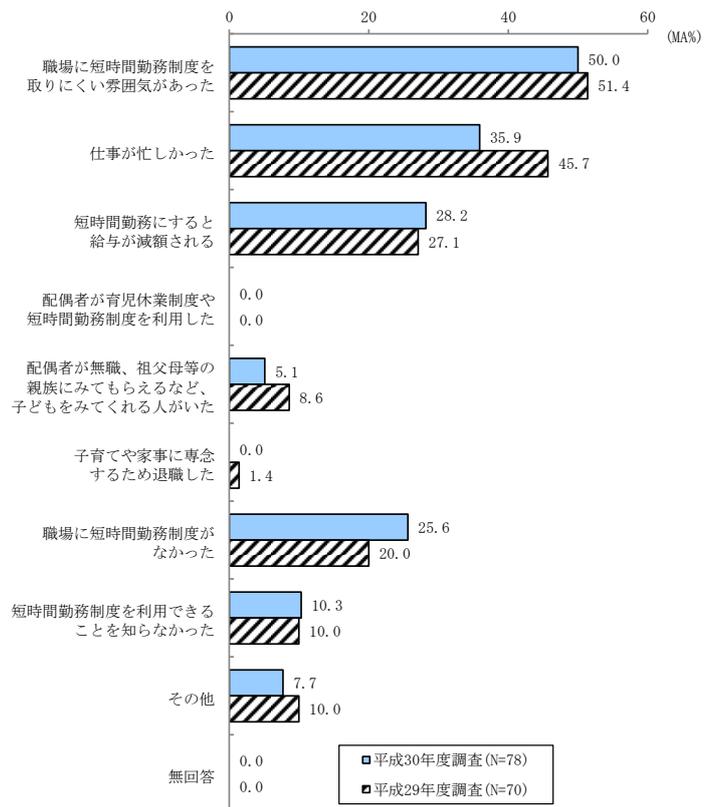
経年でみると、「利用した」が大きく増加しています。



問19-7 「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と答えた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が50.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が35.9%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が28.2%となっています。

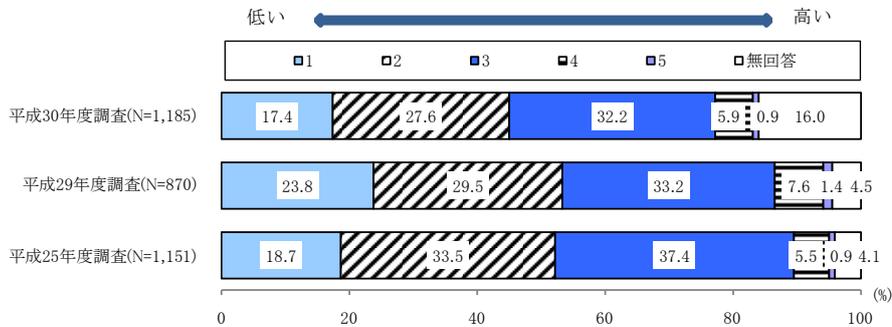
経年でみると、「職場に短時間勤務制度がなかった」が大きく増加しています。



2-11. 子育てに関する困りごとなどについて

問20 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。満足度を5段階評価してください。

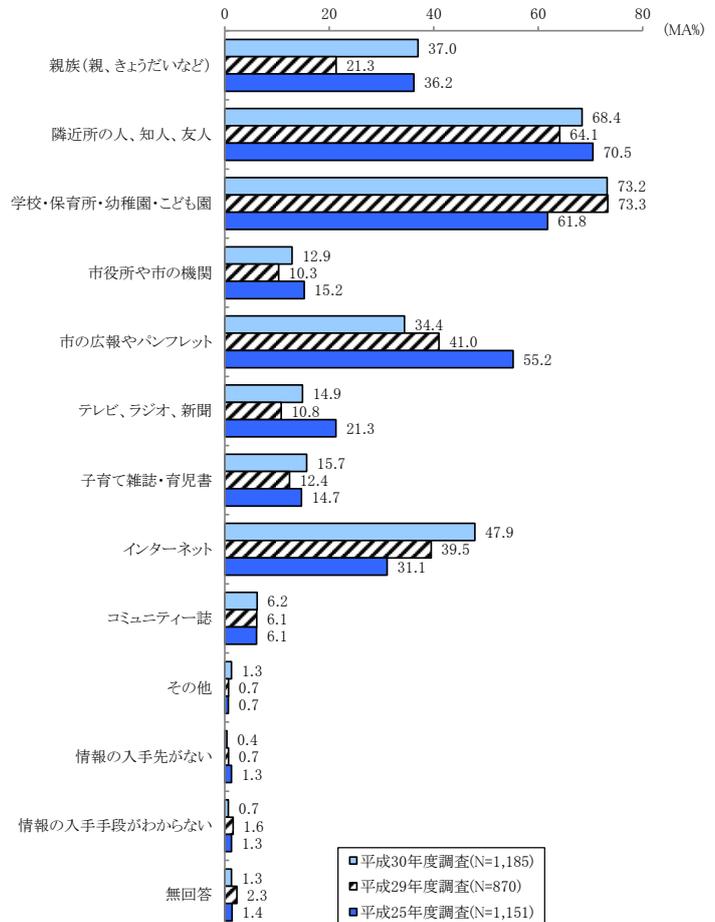
「3」が32.2%と最も高く、次いで「2」が27.6%、「1」が17.4%となっています。
経年でみると、満足度「5」が減少しています。



問21 子育てに関する情報をどのように入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「学校・保育所・幼稚園・こども園」が73.2%と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が68.4%、「インターネット」が47.9%となっています。

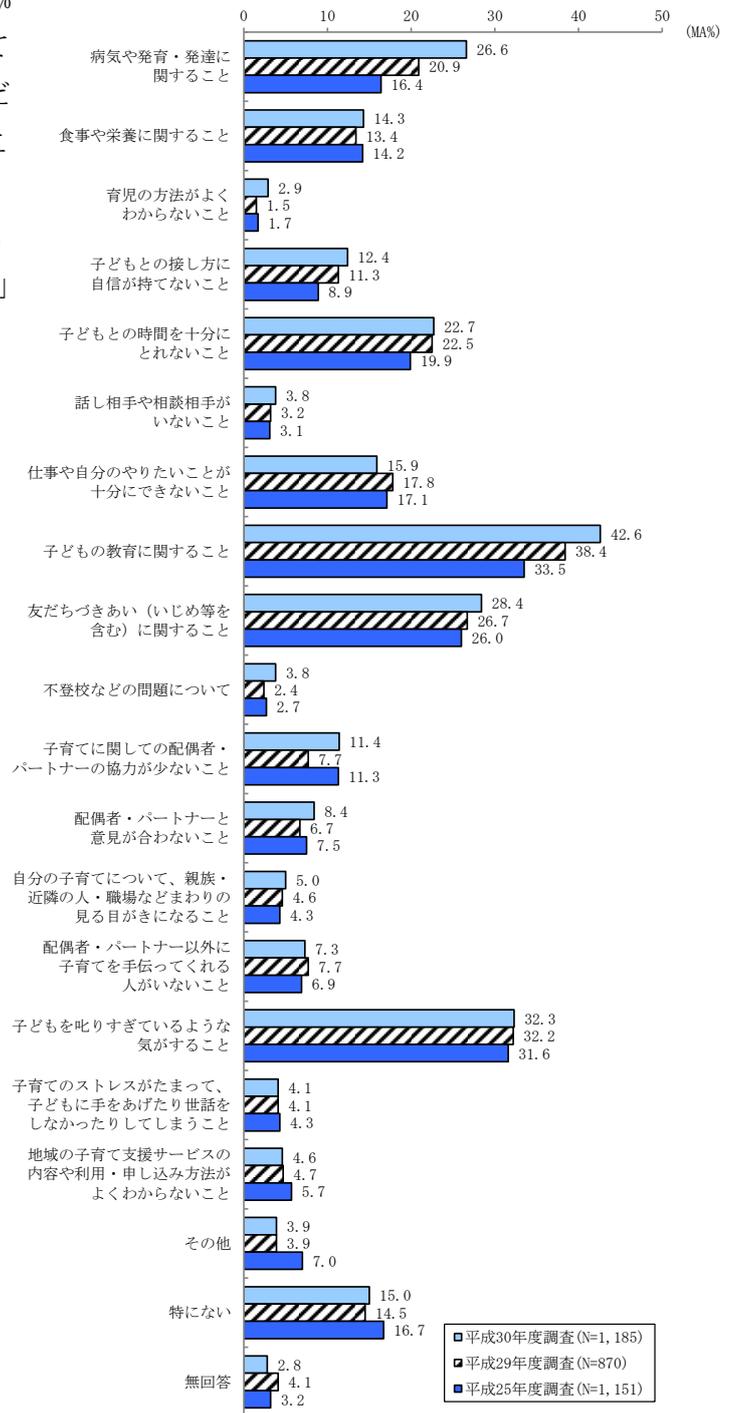
経年でみると、「インターネット」が増加しています。



問22 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育に関すること」が42.6%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」と32.3%、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が28.4%となっています。

経年でみると、「子どもの教育に関すること」と「病気や発育・発達に関すること」が大きく増加しています。



問23 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

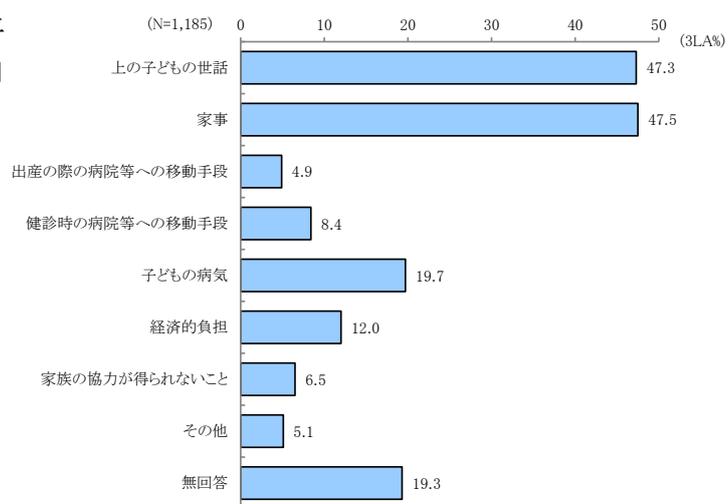
「配偶者・パートナー」が69.7%と最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」が61.4%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が55.4%となっています。

経年でみると、「その他の親族（親・きょうだいなど）」と「職場の人」が増加しています。



問24 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありませんか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

「家事」が47.5%と最も高く、次いで「上の子どもの世話」が47.3%、「子どもの病気」が19.7%となっています。



問25 子育て（教育を含む）をする上で、周囲の（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか（解決につながった、など）について自由にご記入ください。

希望するサポート

主な意見

- ・ 宿題や勉強をみてもらえたり、習い事の送迎をしてもらえること。
- ・ 支援がうけられる場所、内容の周知、家事の援助、話し相手。
- ・ 支援が必要な子供の発達の悩みについて、継続的にサポートしてもらえる体制。
- ・ 通院にかかわらず、リフレッシュ、ショッピングで一時的に子どもを預けたい。
- ・ 登下校時の見守り。
- ・ 金銭的援助。
- ・ 定期的な母親の健診。子どもだけでなく母親の健診が必要！！寝不足や慣れない育児でとても疲れているがしんどいと言えないし、疲れたまま家事と育児がずっと続くのが非常につらかったです。
- ・ 急な用事の時の預かり制度。
- ・ 病院での窓口負担をなくす。
- ・ 週末にスクールカウンセラーの設置。
- ・ 声をかける事。同世代の子を持った親同士のふれあい場所。
- ・ 家事のサポート、子育てについての話し相手、保育士の週一の派遣訪問。
- ・ 病児、病後児保育。
- ・ 遊ぶ場所の確保(室内遊び場であったり、ボール遊びのできる公園やグラウンドなど)。
- ・ 希望する日だけ預けられるバンビーホームの制度。1回日払いで。
- ・ 就労していない母親の子供でも保育園や市の子育て支援センターなどで一時預かりをして頂きたかった。就労している母親への支援や待機児童の問題ばかりがクローズアップされ、家で子どもを育てている母親への支援は充実していないとずっと感じていました。
- ・ 小学校の一時預かり事業。
- ・ 子どもの成長に伴う進学や教育に対する相談や支援を気軽にしてほしい。
- ・ 学童以外に子どもが放課後、安心して行ける所。
- ・ 病気、警報、学級閉鎖にも預かってもらえる保育施設。

実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか

主な意見

- ・ 小学生になり放課後デイが使える、平日はだいぶ動けるようになった。
- ・ 学校のカウンセラー、何でもない事でも、聞いてもらえてスッキリした。
- ・ 学校のPTA懇談で親より先に子供が下校するため小学校低学年を対象に民生委員さんが体育館で預かって下さるサポートはとても良い。
- ・ はぐくみセンターの教育相談。定期的に学校へ様子をみに行ってもらっています。
- ・ 近所の方が色々と声かけをして下さったお陰で地域で一緒に子育てが出来ていると実感。
- ・ 登下校の際、スクールガードさんの見守りは、とてもありがたく思っています。
- ・ なら子どもサポートネットで最新情報を受けることができ良かった。
- ・ 出産後1ヶ月間は夫の実家で家事のサポートがあって良かった、子の世話に専念できた。

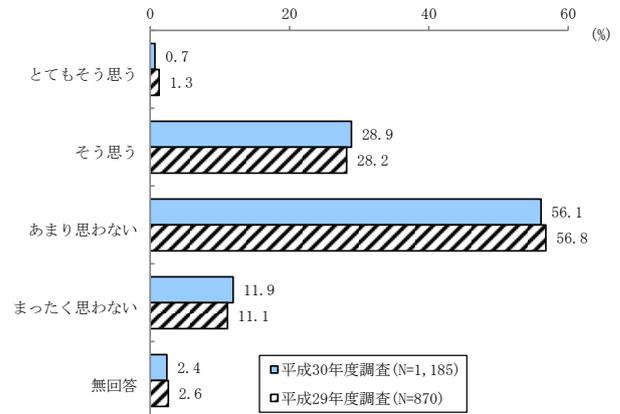
- ・産後の訪問で育児のアドバイスを受けて、気持ちが楽になった。少し考え方を变えることが出来た。
- ・上の子の幼稚園の送迎を生協ボランティア(有料)にお願いしました。下の子が小さかったのでとても助かりました。
- ・あそびの広場「ノル」の子育ての先輩たち。子どもと一緒に遊んでいただいたり、私の悩みを聞いていただき、すごく安心できる場所でした。
- ・保育園の一時預かりを利用した。下の子の御世話がゆっくり出来た。体を休められた。
- ・小学校入学前に、はぐくみセンターで言葉の教室に行ったのは良かった。
- ・幼稚園のお迎えに間に合わない事があると、友人が子どもを園庭や自宅で遊ばせてくれている。とても助かる。
- ・病児保育は今でもかなりお世話になっています(下の子で)。大変有難いですが、周囲の理解が少ない気がする。利用している人を周辺で聞いたことがないです。
- ・赤ちゃん訪問事業で時間の制限なくゆっくり話が出来た事です。育児ストレスが大幅に軽減しました。
- ・ファミリーサポート、良い方に見てもらえて親子共々リフレッシュできています。
- ・中登美支援センターの一時預かり。先生方もとても良くて、1時間単位で利用できて便利。月曜日もやってくれたらもっとうれしい。
- ・ファミリーサポート、バンビーホーム、保育園子どもらすべて社交的であり、学校で問題を起こすことがなかった。
- ・はぐくみセンターで体重、身長測定をしてもらったり、歯の具合を見てもらっていた。また育児で悩んでいる時も話を聞いていただき、アドバイスをしていただき、とても良かったです。

2-12. 子どもにやさしいまちについて

問26 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

「あまり思わない」が56.1%と最も高く、次いで「そう思う」が28.9%、「まったく思わない」が11.9%となっています。

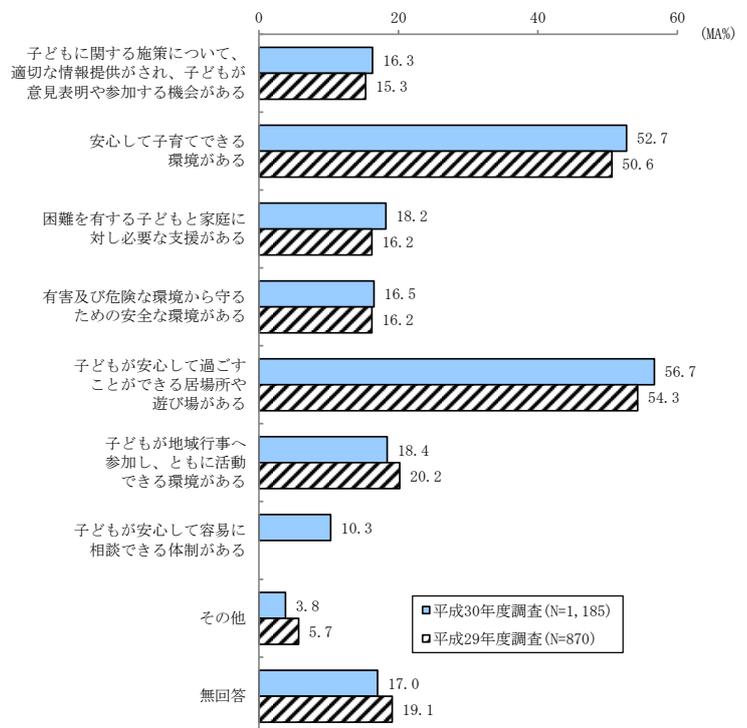
経年でみると、「そう思う」と「まったく思わない」が増加しています。



問26-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。※「子どもにやさしいまち」は子どもが自立するための知識と経験を得られるよう子どもへの支援及び子育て支援に社会全体で取り組み、一人一人の子どもが安心して暮らすことができるまち、と定義づけられています。子どもにやさしいまちを推進していく上で必要なものは何だと思いますか。

「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」が56.7%と最も高く、次いで「安心して子育てできる環境がある」が52.7%、「子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある」が18.4%となっています。

経年でみると、唯一「子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある」が減少しています。

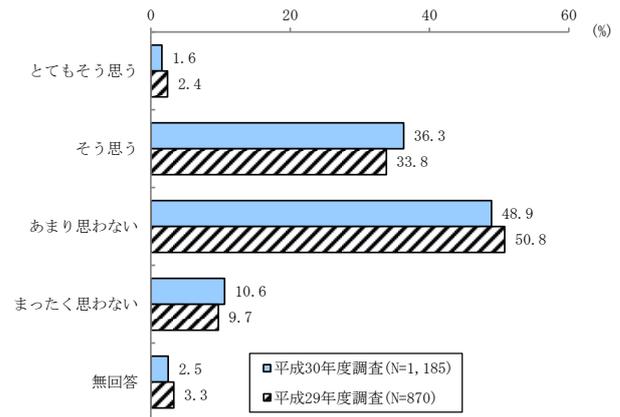


※平成29年度調査に「子どもが安心して容易に相談できる体制がある」は選択肢にありません。

問27 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

「あまり思わない」が48.9%と最も高く、次いで「そう思う」が36.3%、「まったく思わない」が10.6%となっています。

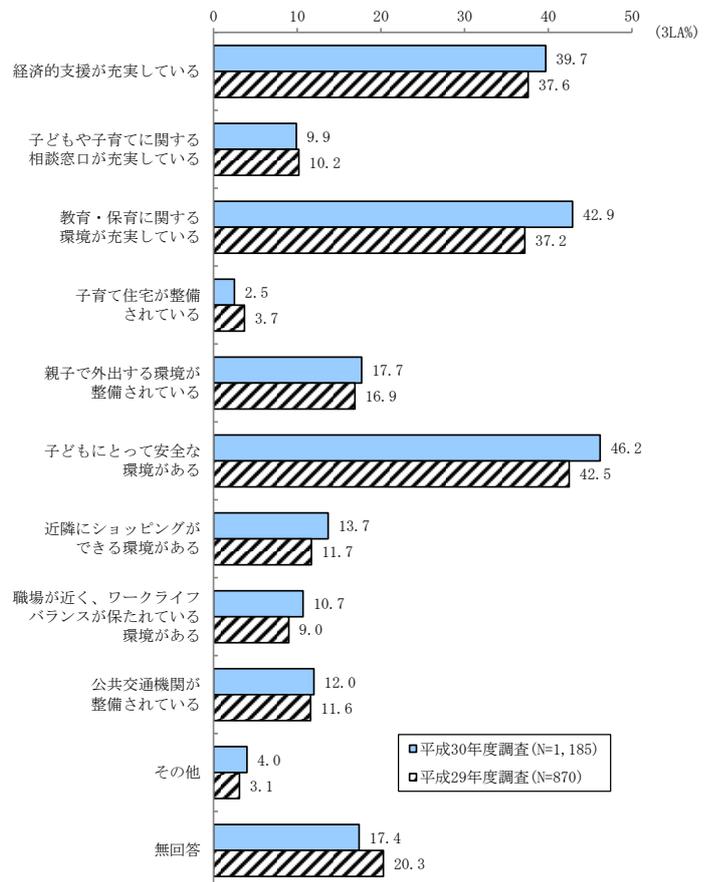
経年でみると、「そう思う」が大きく増加しています。



問27-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「子どもにとって安全な環境がある」が46.2%と最も高く、次いで「教育・保育に関する環境が充実している」が42.9%、「経済的支援が充実している」が39.7%となっています。

経年でみると、「子どもや子育てに関する相談窓口が充実している」と「子育て住宅が整備されている」が減少しています。



3 母子健康手帳交付者

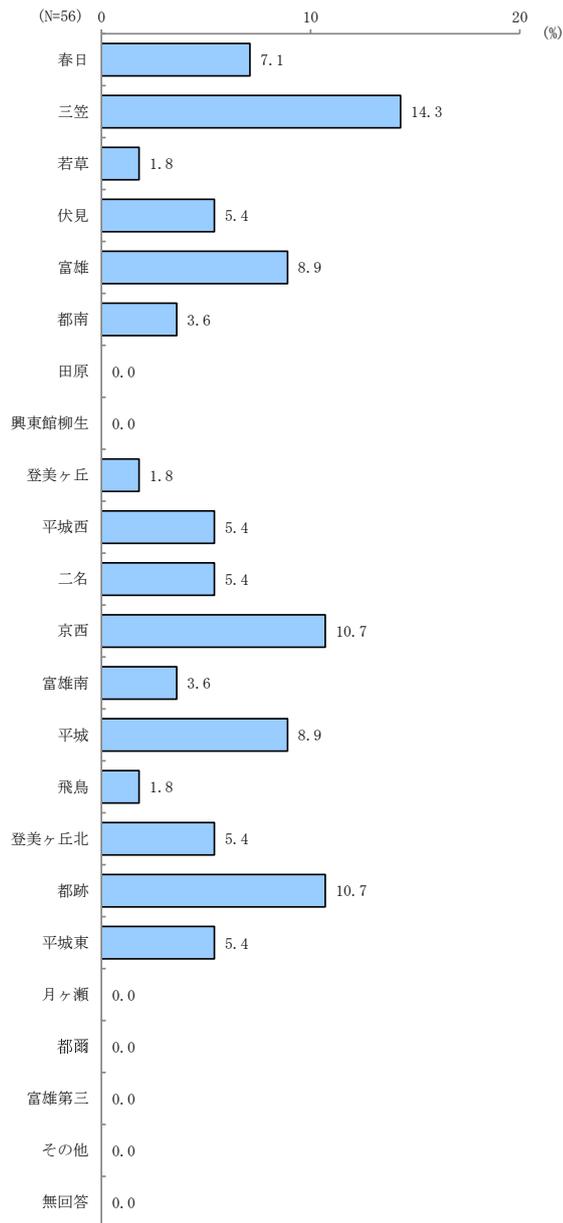
3 母子健康手帳交付者

3-1. お住まいの地域について

問1 お住まいの中学校区はどこですか（1つに○）

中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある（ ）内にご記入ください。

「三笠」が14.3%と最も高く、次いで「京西」、「都跡」がそれぞれ10.7%、「富雄」、「平城」がそれぞれ8.9%となっています。



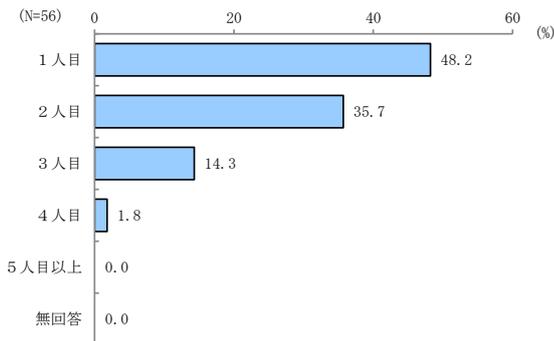
3-2. ご家族の状況について

問2 ご家族の状況についてお答えください。

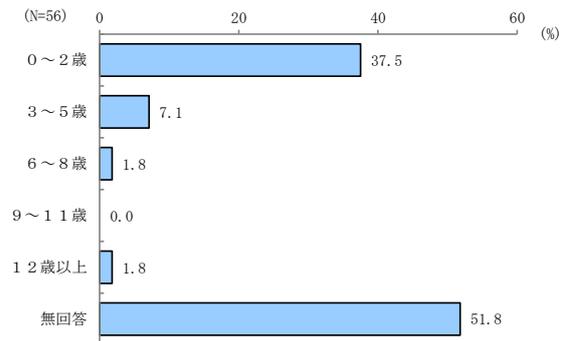
何人目のお子さんかについては、「1人目」が48.2%と最も高く、次いで、「2人目」が35.7%、「3人目」が14.3%となっています。

一番下のお子さんの年齢は、「0～2歳」が37.5%と最も高く、次いで、「3～5歳」が7.1%、「6～8歳」、「12歳以上」がそれぞれ1.8%となっています。

(1) 現在妊娠中のお子さんは 何人目のお子さんですか。

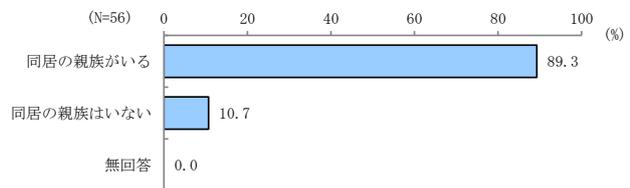


(2) 妊娠中以外のお子さんがいらっしゃる場合、 一番下のお子さんの生年月をお答えください。



(3) あなたのお子さん以外に、あなたと同居されている親族等はいですか。

あなたのお子さん以外に、あなたと同居されている親族等はいますかについては、「同居の親族がいる」が89.3%と最も高く、次いで、「同居の親族はいない」が10.7%となっています。

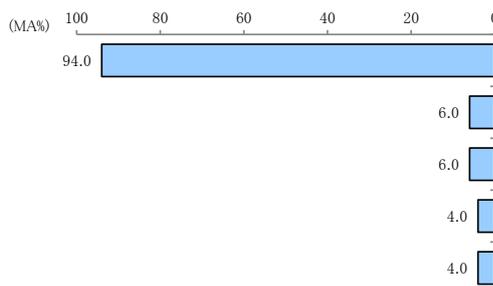


(3)で「1. 同居の親族がいる」と答えた方は、①の欄に同居されている方すべてに○を付けてください。ただし、単身赴任の場合は、②の欄に○を付けてください

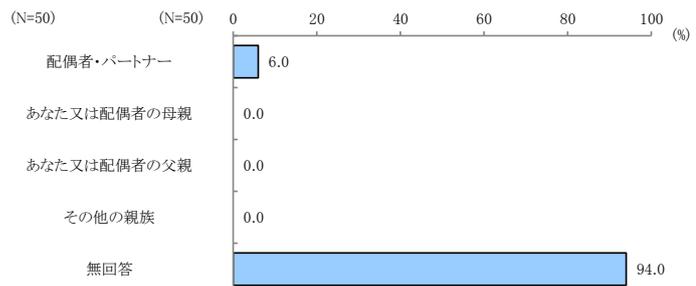
同居は、「配偶者・パートナー」が94.0%と最も高く、次いで、「あなた又は配偶者の母親」、「あなた又は配偶者の父親」がそれぞれ6.0%となっています。

単身赴任等で別居は、「配偶者・パートナー」が6.0%と最も高くなっています。

①同居

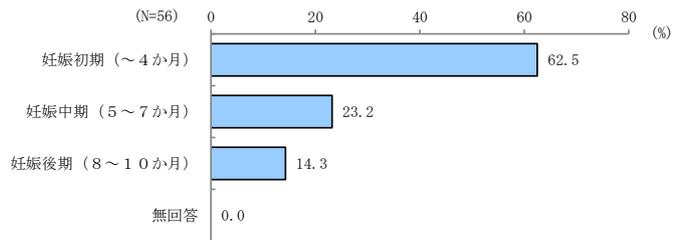


②単身赴任等で別居



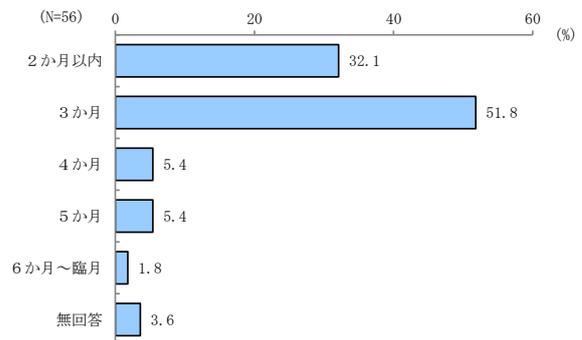
問3 現在の妊娠月数についてお答えください。

現在の妊娠月数については、「妊娠初期（～4か月）」が62.5%と最も高く、次いで、「妊娠中期（5～7か月）」が23.2%、「妊娠後期（8～10か月）」が14.3%となっています。



問4 妊婦一般健康診査受診票は、妊娠何か月から使用を開始する予定ですか。既に使用している方は、使用を開始した妊娠月をお答えください。（1つに○）

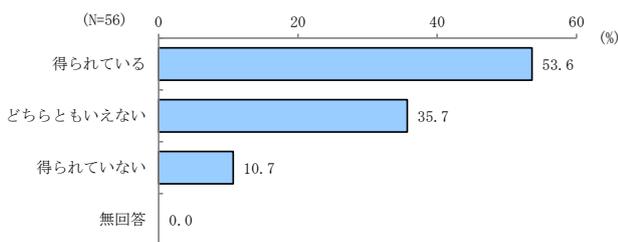
妊婦一般健康診査受診票の使用を開始する予定は、「3か月」が51.8%と最も高く、次いで、「2か月以内」が32.1%、「4か月」、「5か月」がそれぞれ5.4%となっています。



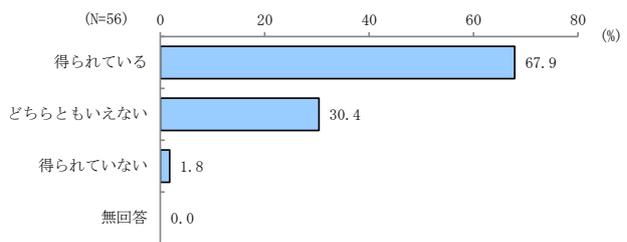
問5 妊娠・出産に関する必要な情報は入手できていますか。（①～⑤それぞれ1つに○）

妊娠出産に関する制度については、「得られている」が53.6%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が35.7%、「得られていない」が10.7%となっており、妊娠中の過ごし方については、「得られている」が67.9%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が30.4%、「得られていない」が1.8%となっています。

①妊娠出産に関する制度について

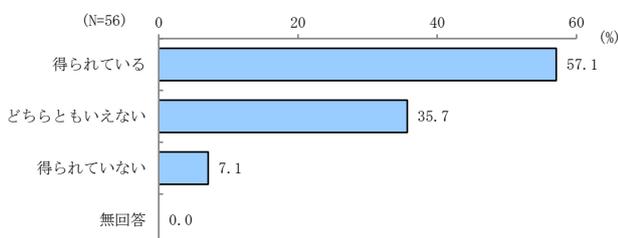


②妊娠中の過ごし方について

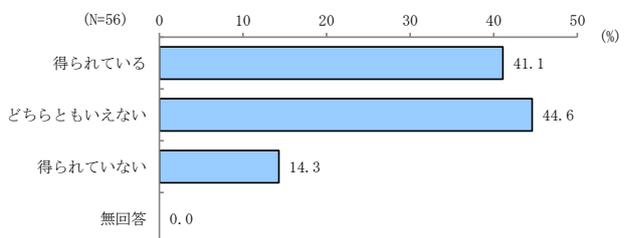


出産・分娩に関することについては、「得られている」が57.1%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が35.7%、「得られていない」が7.1%となっており、出産後のことについては、「どちらともいえない」が44.6%と最も高く、次いで、「得られている」が41.1%、「得られていない」が14.3%となっています。

③出産・分娩に関することについて

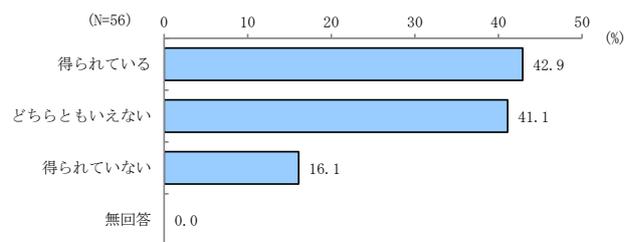


④出産後のことについて



⑤子育てを支援してくれる制度について

子育てを支援してくれる制度については、「得られている」が42.9%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が41.1%、「得られていない」が16.1%となっています。

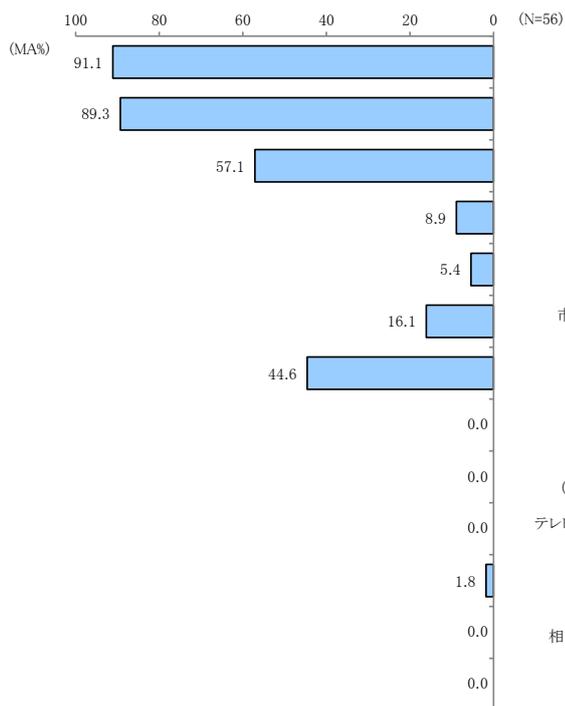


問6 出産や子育て・教育に関して、①気軽に相談できるのは誰（どこ）ですか。また②情報は何かから得ていますか。（①②それぞれあてはまる欄に○）

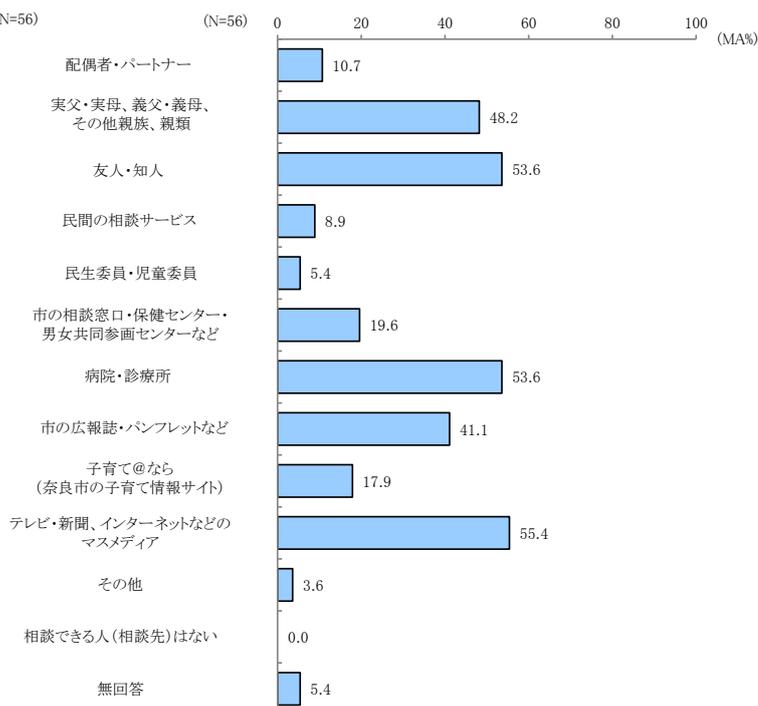
相談先は、「配偶者・パートナー」が91.1%と最も高く、次いで、「実父・実母、義父・義母、その他親族、親類」が89.3%、「友人・知人」が57.1%となっています。

情報源は、「テレビ・新聞、インターネットなどのマスメディア」が55.4%と最も高く、次いで、「友人・知人」、「病院・診療所」がそれぞれ53.6%、「実父・実母、義父・義母、その他親族、親類」が48.2%となっています。

①相談先



②情報源

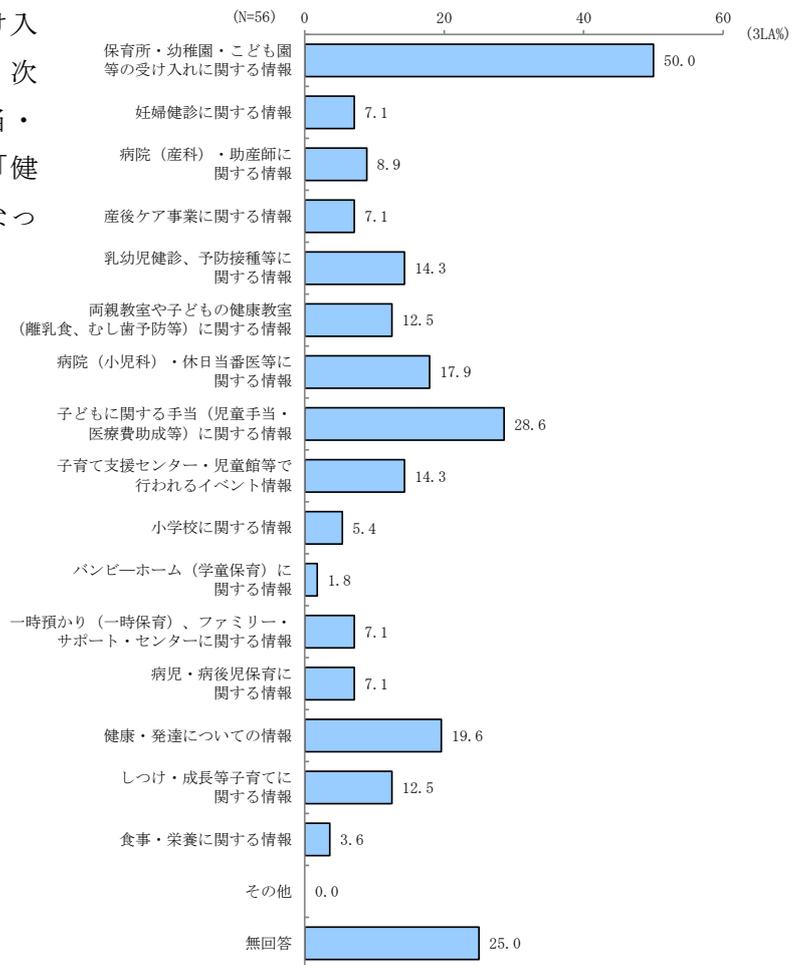


問6-1 今後、どのような相談先を得たいと思いますか。問6の選択肢から選び、下の番号に○をつけてください。（あてはまる番号にすべてに○）

有効回答はありません。

**問6-2 あなたは、どのような妊娠・出産・子育てに関する情報を知りたいと考えていますか。
(主な番号3つに○)**

「保育所・幼稚園・こども園等の受け入れに関する情報」が50.0%と最も高く、次いで、「子どもに関する手当（児童手当・医療費助成等）に関する情報」が28.6%、「健康・発達についての情報」が19.6%となっています。



問7 出産や子育て・教育をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと考えますか。

周囲からあればよいと考えるサポート

主な意見

- ・ 気軽に生活指導や、パパママ教室に行ける環境があればいいなと思います。
- ・ 産後、体が回復するまでの1～2ヶ月間の家事のサポート事業があればいい（里帰り出産しない人にはすごく重要）。
- ・ 出産の際に上の子を見る制度（障害を持つ子たちも含めて）。
- ・ 悩みなどの話を聞いてもらったり、適切な情報を提供してほしい。
- ・ 支えてもらいたい、外出したい時子どもを預かってもらえる環境が必要。
- ・ 話を聞いてもらえる環境作り、一人で頑張りすぎないようにするための。
- ・ お金の事（助成金など）。
- ・ 健康や発達等についての最新な情報が得られると嬉しい。

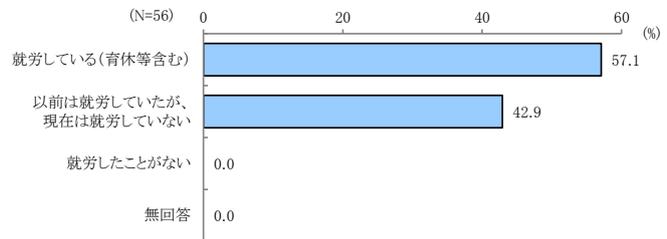
3-3. 就労状況について

問8 あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従業者含む）についてお答えください。

【あなた】

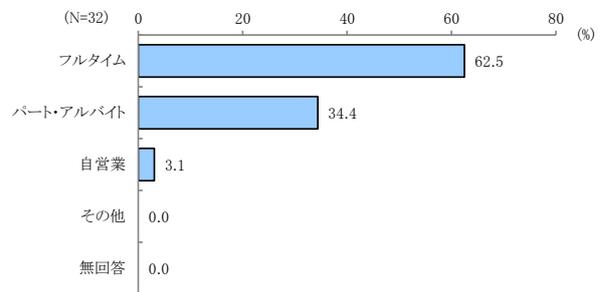
①就労の有無

「就労している（育休等含む）」が57.1%と最も高く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が42.9%となっています。

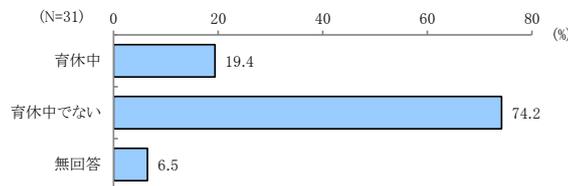


②就労形態

「フルタイム（育休中・育休中でない）」が62.5%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト」が34.4%、「自営業」が3.1%となっています。

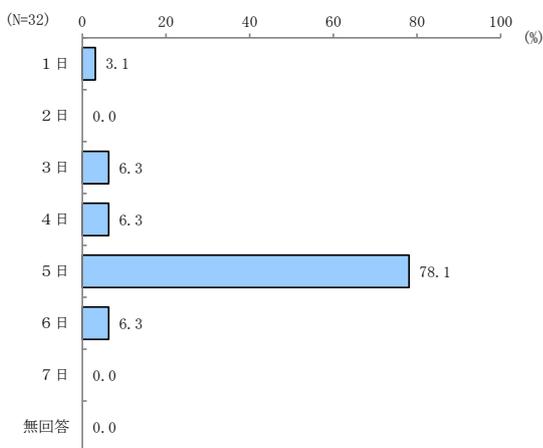


②育休中か

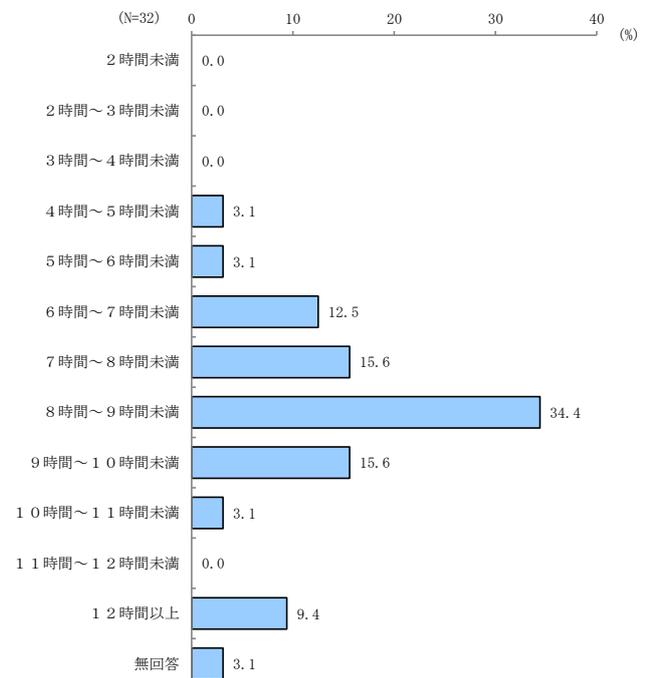


③ 1週間の就労日数と1日あたりの残業時間を含む就労時間

就労日数

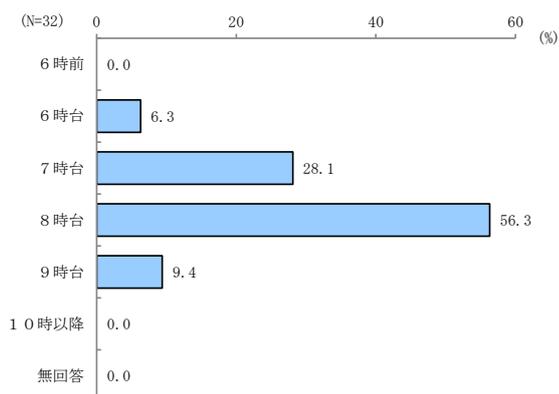


就労時間

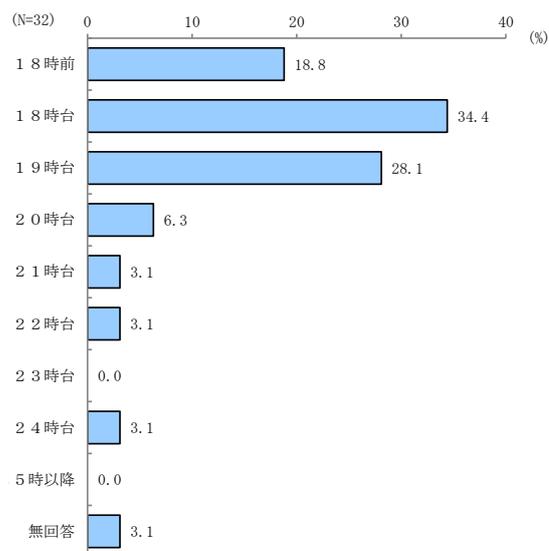


④家を出る時間と帰宅時間

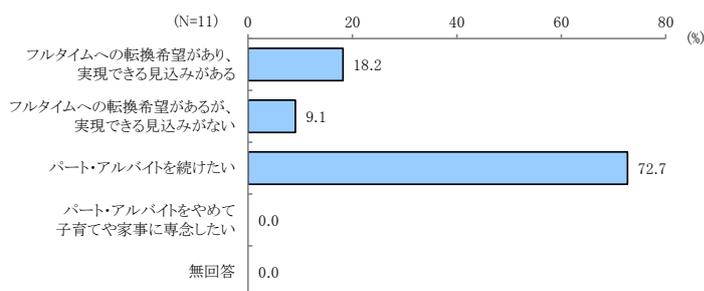
家を出る時間



帰宅時間

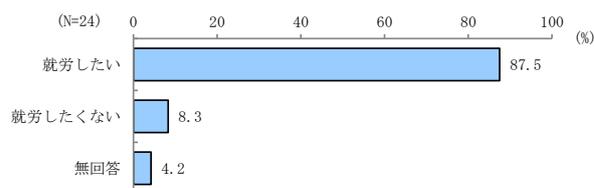


⑤ (パート・アルバイトで就労している人) フルタイムへの転換希望



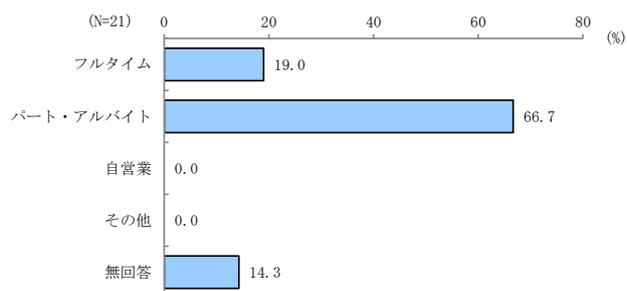
⑥ (就労していない人) 就労希望の有無

「就労したい」が87.5%と最も高く、次いで、「就労したくない」が8.3%となっています。



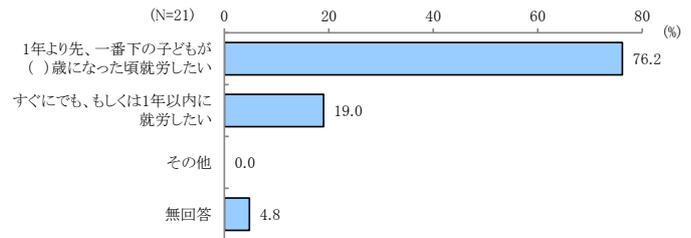
⑦ 希望の就労形態 (就労したい人のみ)

「パート・アルバイト」が66.7%と最も高く、次いで、「フルタイム」が19.0%となっています。



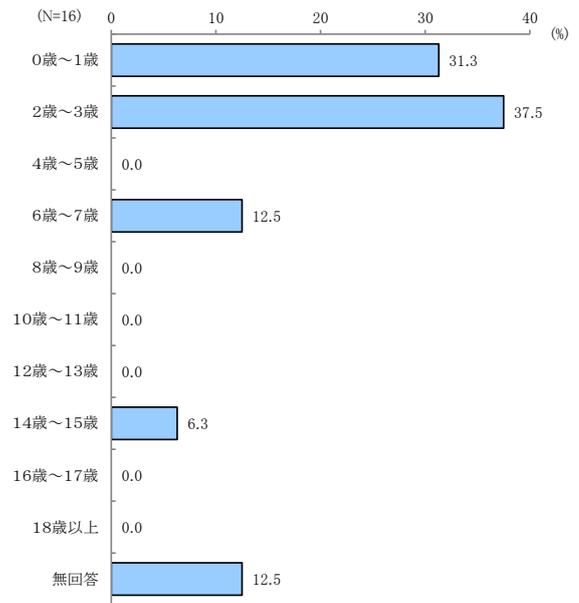
⑧希望の就労時期（就労したい人のみ）

「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい」が76.2%と最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.0%となっています。



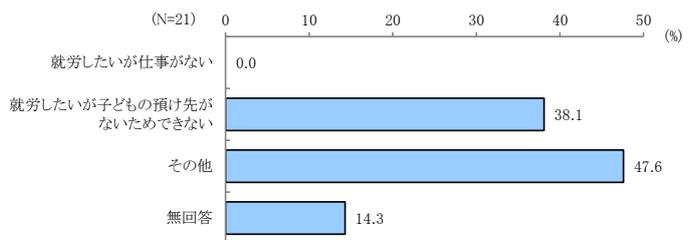
⑧一番下のお子さんが（ ）歳になった頃就労したい

「2歳～3歳」が37.5%と最も高く、次いで、「0歳～1歳」が31.3%、「6歳～7歳」が12.5%となっています。



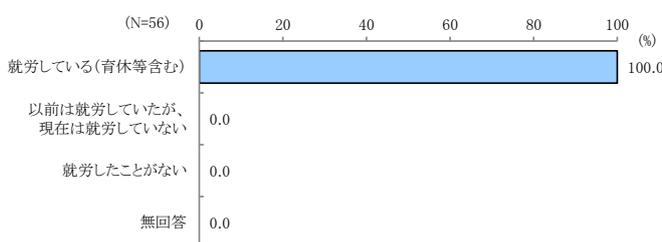
⑨現在就労していない理由

「就労したいが子どもの預け先がないためできない」が38.1%と最も高くなっています。

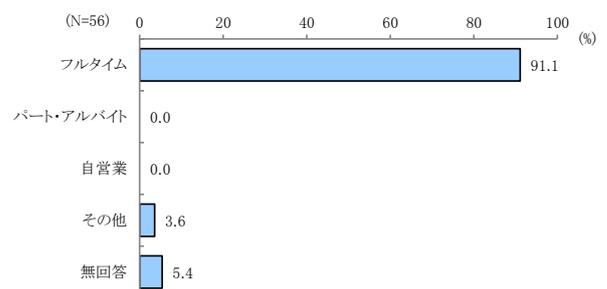


【配偶者・パートナー】

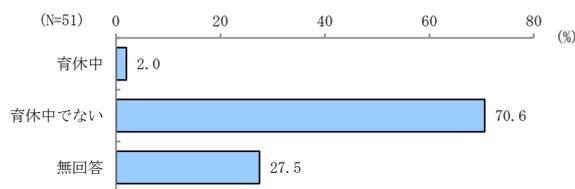
①就労の有無



②勤労形態

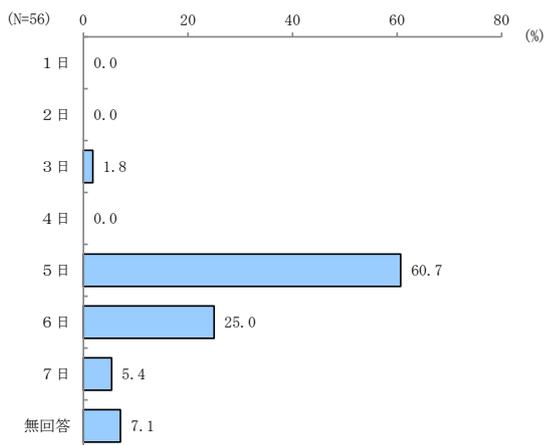


②育休中か

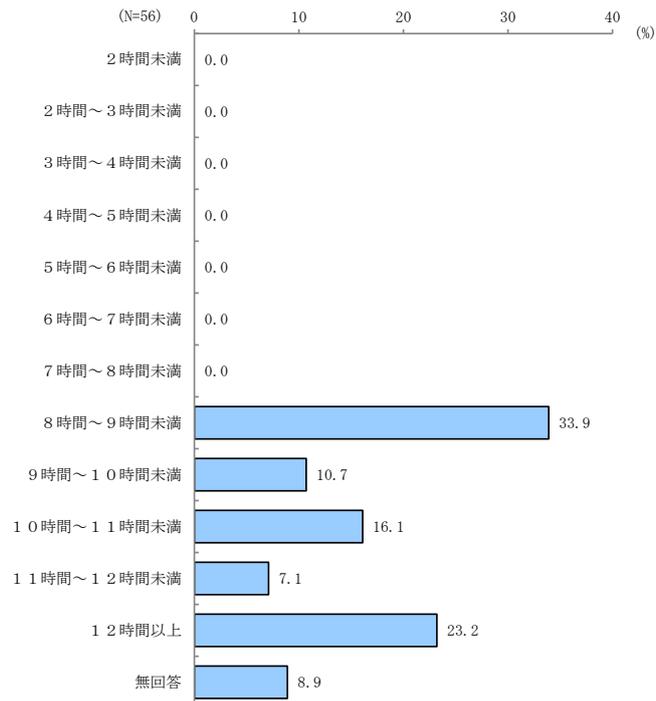


③ 1週間の就労日数と1日あたりの残業時間を含む就労時間

就労日数

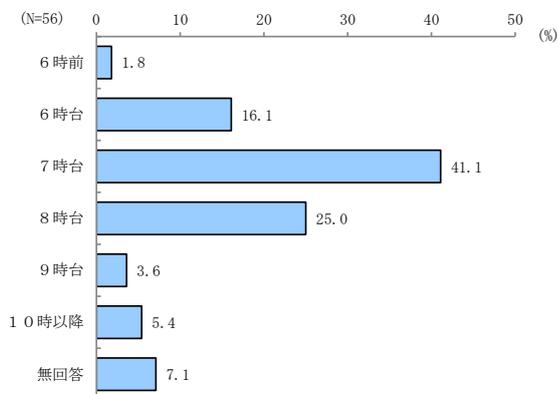


就労時間

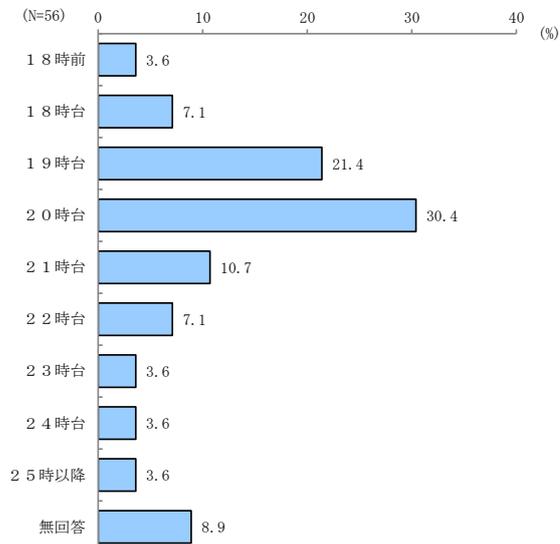


④家を出る時間と帰宅時間

家を出る時間



帰宅時間



⑤（パート・アルバイトで就労している人）フルタイムへの転換希望

有効回答はありません。

⑥（就労していない人）就労希望の有無

有効回答はありません。

⑦希望の就労形態（就労したい人のみ）

有効回答はありません。

⑧希望の就労時期（就労したい人のみ）

有効回答はありません。

⑧-1 一番下のお子さんが（ ）歳になった頃就労したい

有効回答はありません。

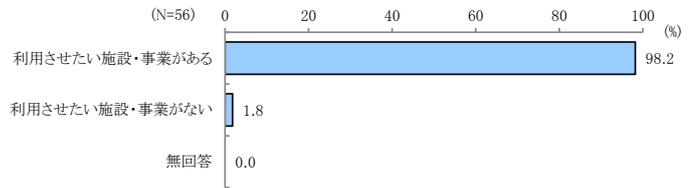
⑨現在就労していない理由

有効回答はありません。

3-4. 平日の施設・事業の利用について

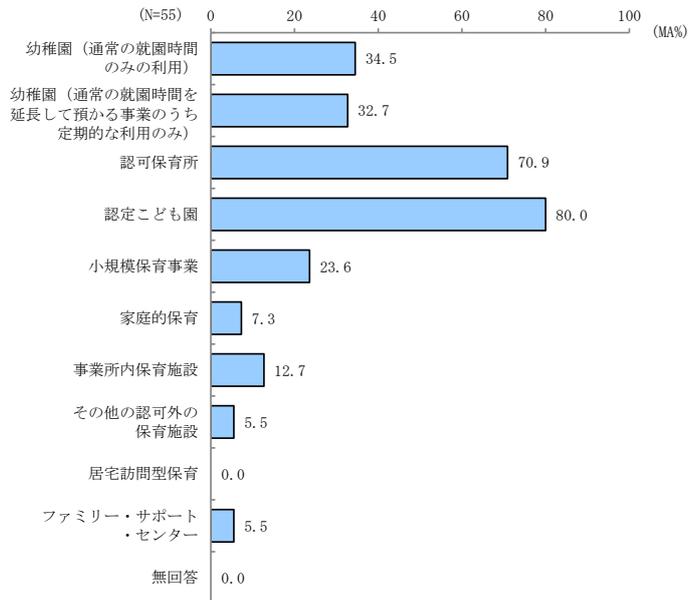
問9 出産後、お子さんの上の表にある施設・事業で、日常的に利用させたいと考えるものはありますか。(あてはまる番号に○)

「利用させたい施設・事業がある」が98.2%と最も高くなっています。



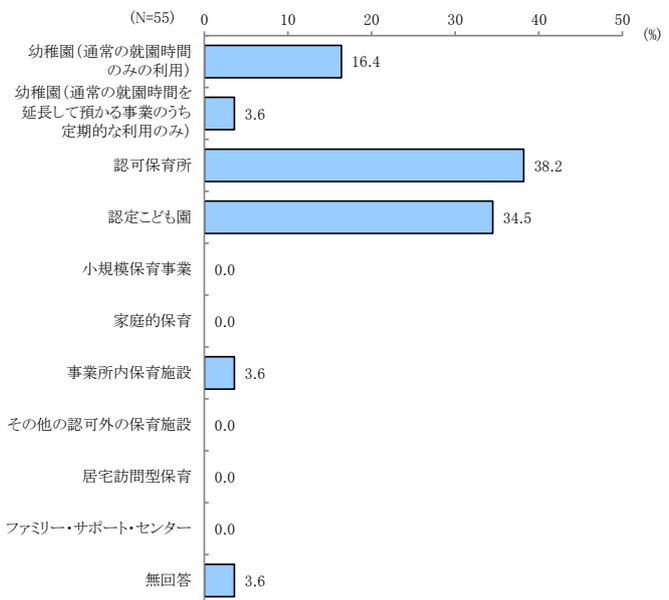
問9-1 日常的に利用させたいと考える施設・事業はどれですか。(複数回答)

「認定こども園」が80.0%と最も高く、次いで、「認可保育所」が70.9%、「幼稚園(通常の就園時間のみの利用)」が34.5%となっています。



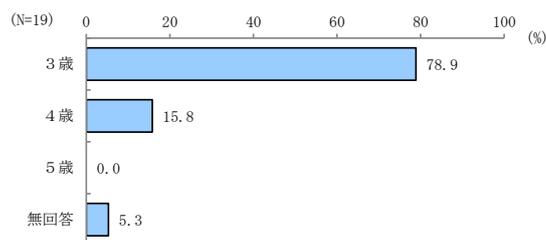
問9-2 問9-1で選んだ施設・事業でもっとも利用したいものはどれですか。1つ選んで番号を記入してください。

「認可保育所」が38.2%と最も高く、次いで、「認定こども園」が34.5%、「幼稚園(通常の就園時間のみの利用)」が16.4%となっています。



問 9-3 問 9-1 で「1. 幼稚園（通常の就園時間のみの利用）」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが何歳になったら利用したいですか。

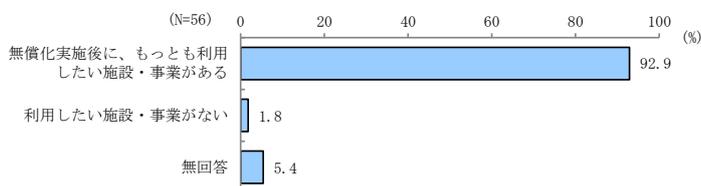
「3歳」が78.9%と最も高く、次いで、「4歳」が15.8%となっています。



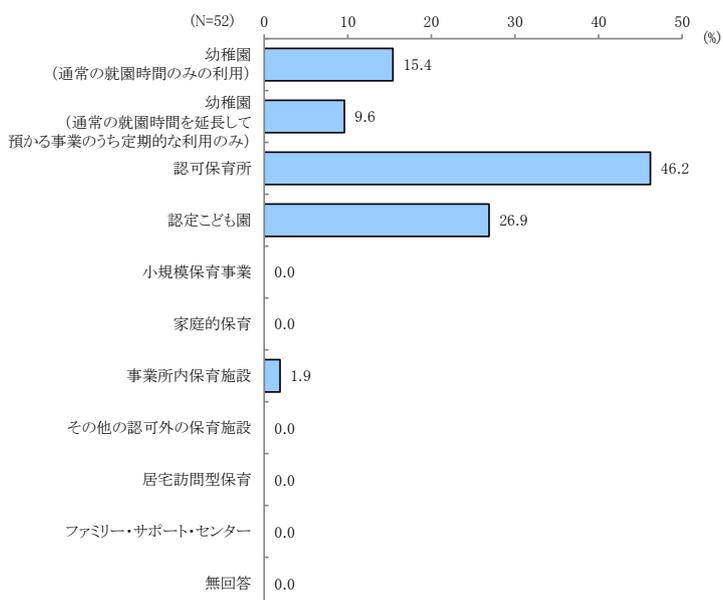
問 10 すべての方にうかがいます。幼児教育の無償化が実施された場合に、表の中にある施設・事業でもっとも利用したいものはどれですか。

無償化実施後に、もっとも利用したい施設・事業

「無償化実施後に、もっとも利用したい施設・事業がある」が92.9%と最も高くなっています。



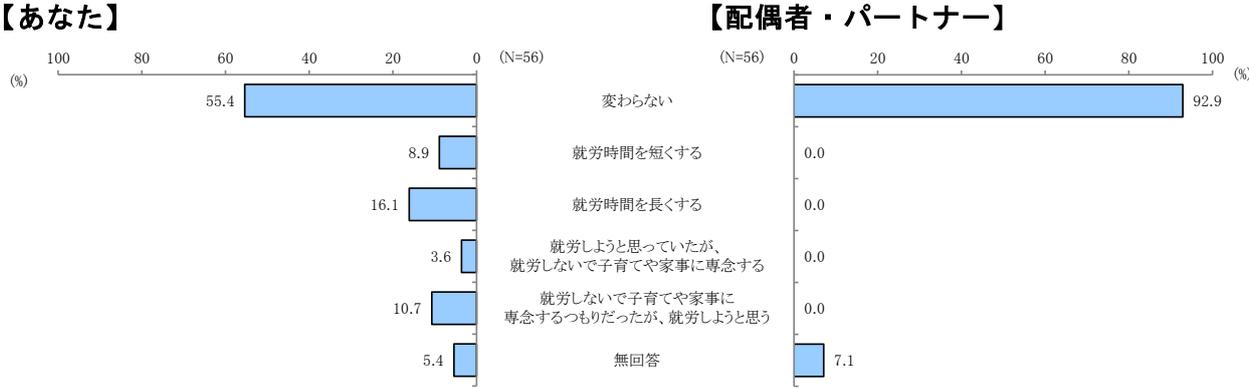
「認可保育所」が46.2%と最も高く、次いで、「認定こども園」が26.9%、「幼稚園（通常の就園時間のみの利用）」が15.4%となっています。



問10-1 幼児教育の無償化が実施された場合、理想とする働き方（就労形態）は変わりますか。（あてはまる欄に○）

あなたでは、「変わらない」が55.4%と最も高く、次いで、「就労時間を長くする」が16.1%、「就労しないで子育てや家事に専念するつもりだったが、就労しようと思う」が10.7%となっています。

配偶者・パートナーでは、「変わらない」が92.9%と最も高くなっています。

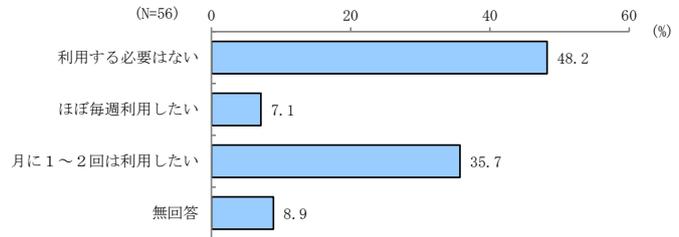


3-5. 土曜・休日の施設や事業の利用希望について

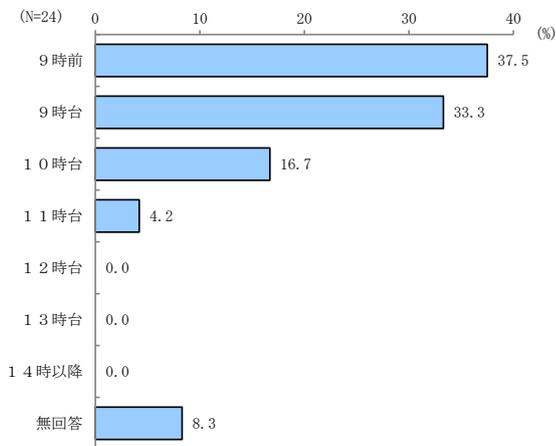
問 1 1 出産後、お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、施設・事業の定期的な利用希望はありますか。(それぞれ1つに○) 希望がある場合は、利用したい時間を記入してください。なお、一時的な利用は除きます。

(1) 土曜日

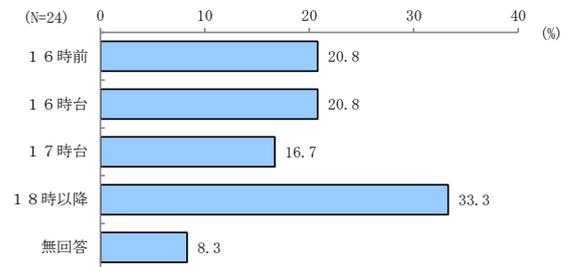
「利用する必要はない」が48.2%と最も高く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が35.7%、「ほぼ毎週利用したい」が7.1%となっています。



①利用の希望開始時間

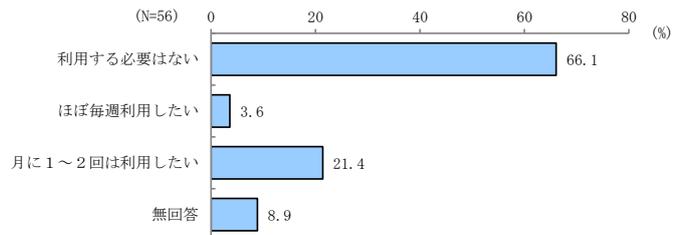


②利用の希望終了時間

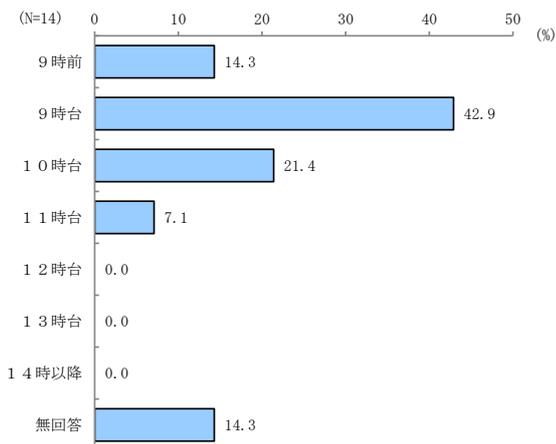


(2) 日曜・祝日

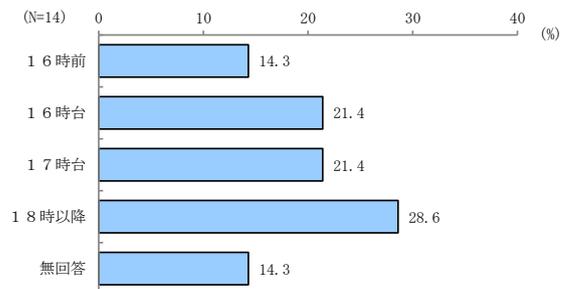
「利用する必要はない」が66.1%と最も高く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が21.4%、「ほぼ毎週利用したい」が3.6%となっています。



①利用の希望開始時間



②利用の希望終了時間

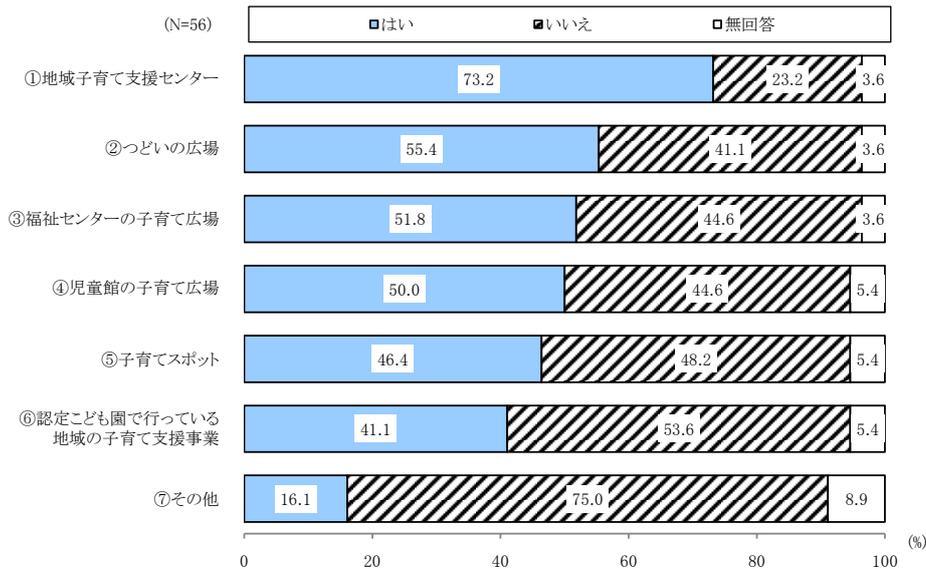


3-6. 地域の子育て支援事業の利用希望について

問12 出産後のお子さんについて、地域の子育て支援事業を利用したいと思いますか。①～⑤の事業ごとにA・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。①～⑥のBで「いいえ」をつけた方は、理由を下記から選び、番号を記入してください。「5. その他」の場合は直接理由を記入してください。

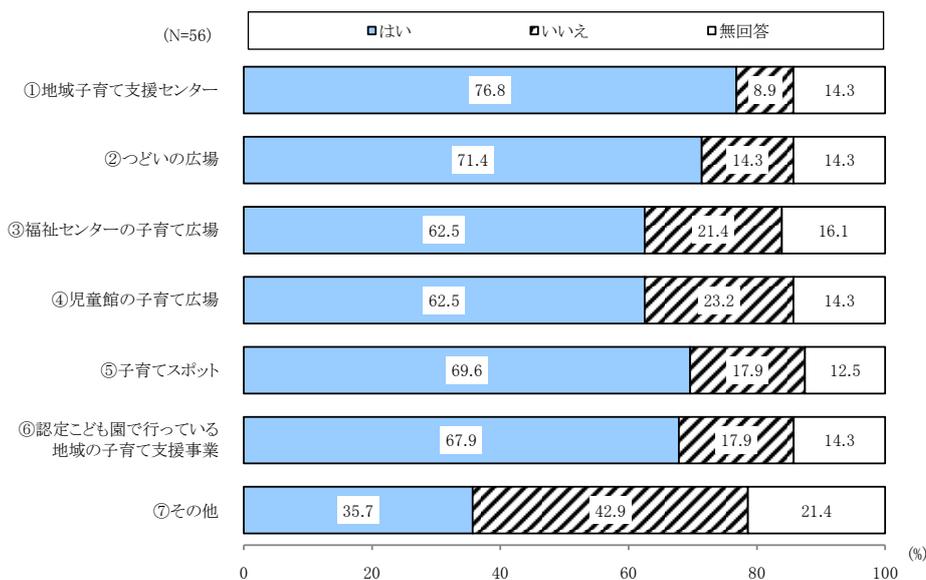
<認知度>

「地域子育て支援センター」の認知度が73.2%と最も高く、次いで「つどいの広場」が55.4%、「福祉センターの子育て広場」が51.8%となっています。

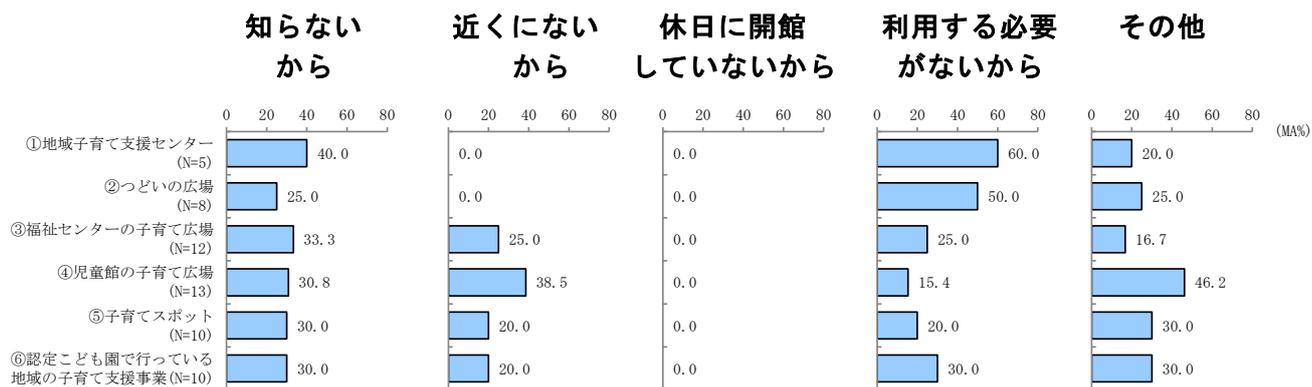


<今後の利用有無>

「地域子育て支援センター」が76.8%と最も高く、次いで「つどいの広場」が71.4%、「子育てスポット」が69.6%となっています。



<今後利用しない理由>



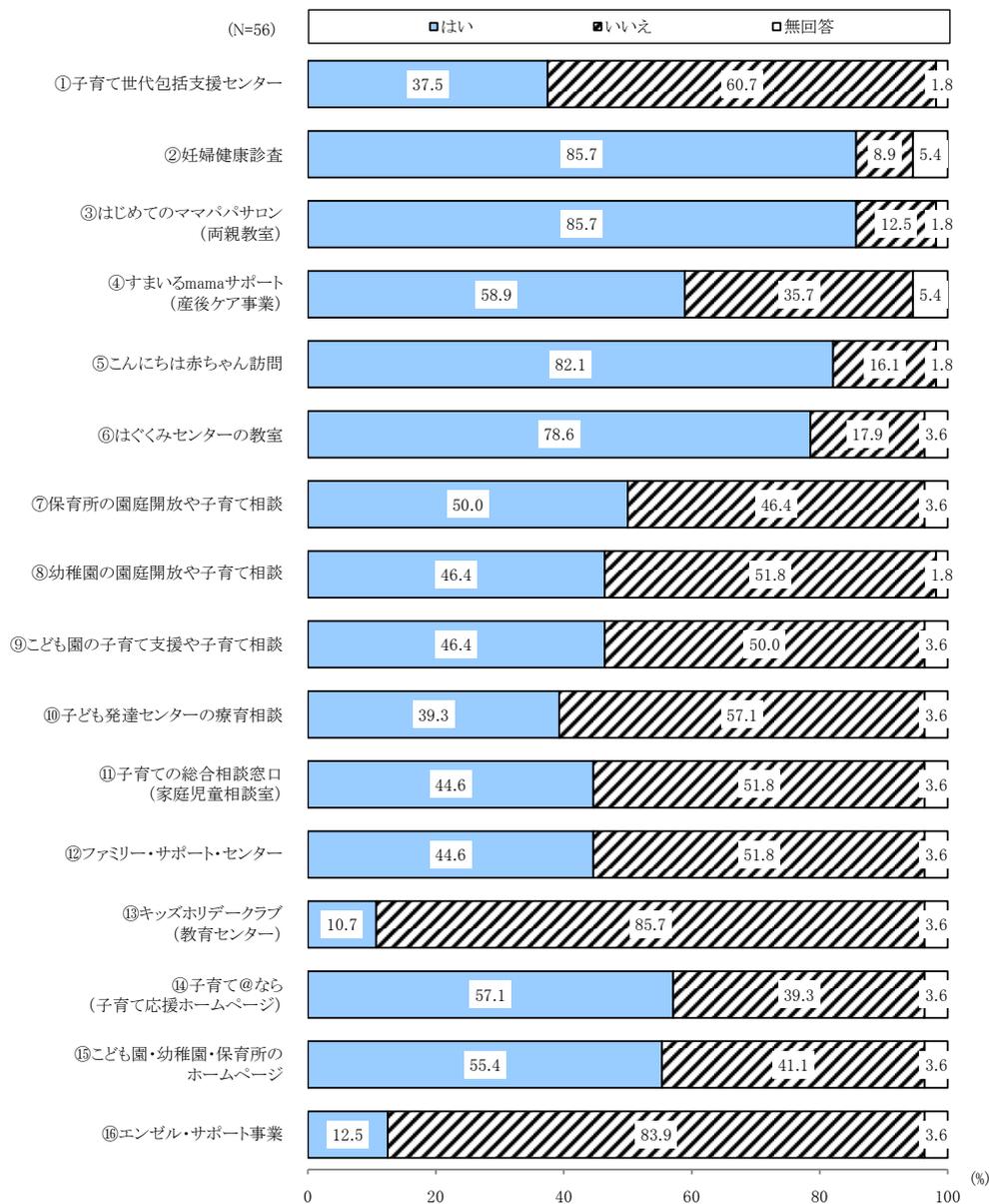
<その他の主な理由>

- ・車の免許がないので、行きにくい所だと行けないと思います。電車やバスだと行きにくい、本数が少ない事が多々あります。
- ・交流は面倒。
- ・家の近くにない。
- ・近所のどこにあるか知らない。
- ・良く分からない。

問13 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、また、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑯の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

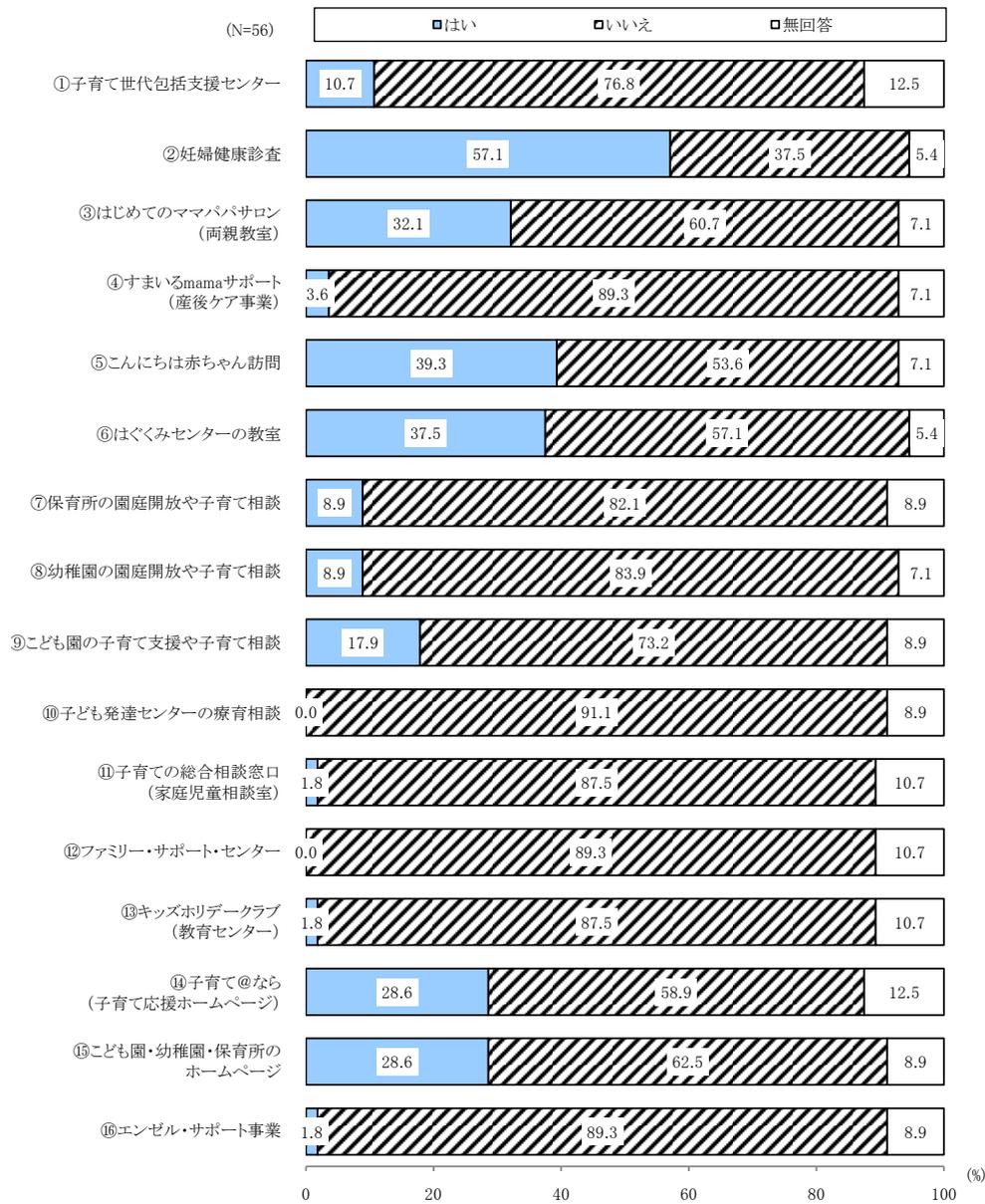
<認知度>

「妊婦健康診査」、「はじめてのママパパサロン」が85.7%と最も高く、次いで「こんにちは赤ちゃん訪問」が82.1%、「はぐくみセンターの教室」が78.6%となっています。



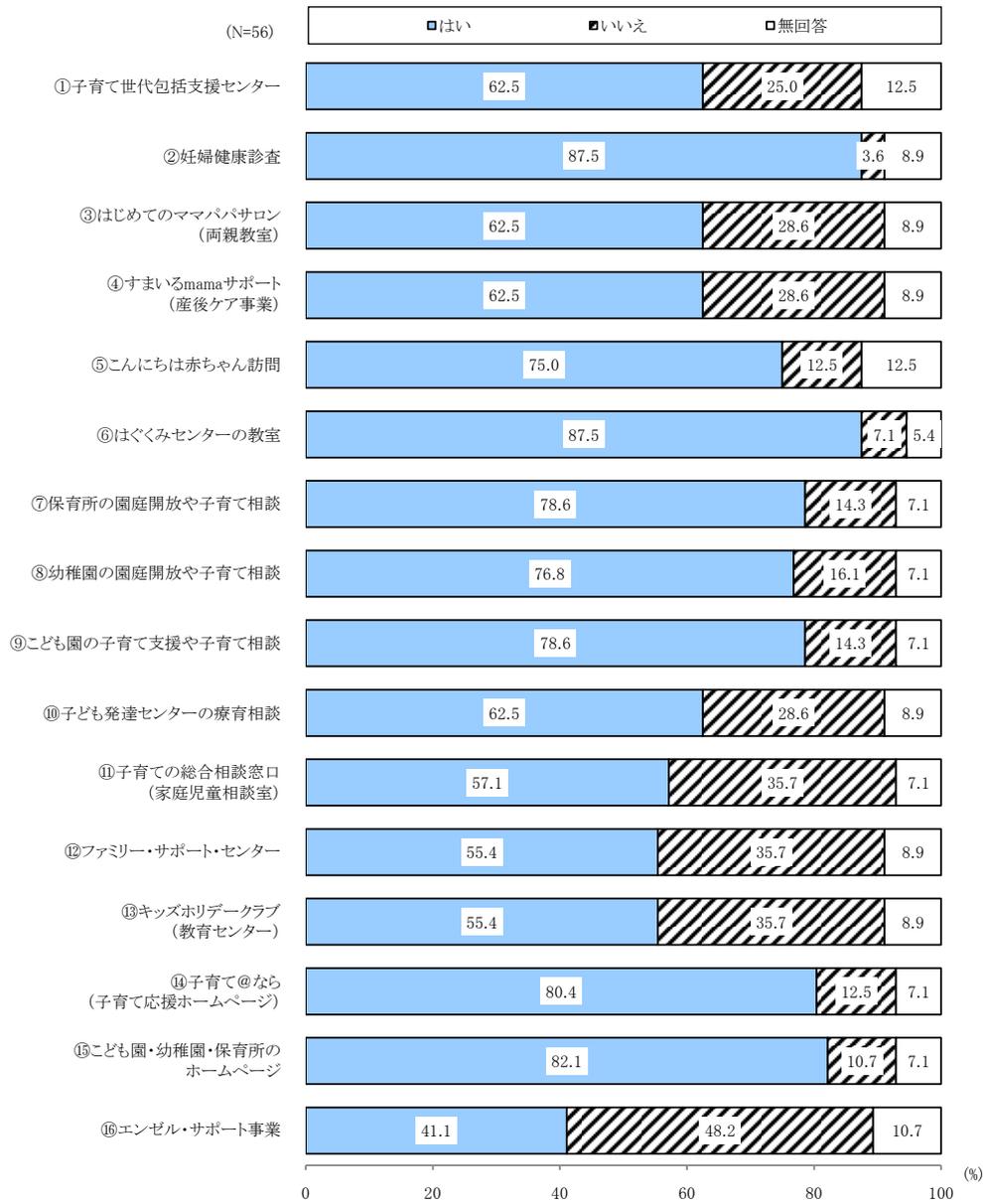
＜利用の有無＞

「妊婦健康診査」が57.1%と最も高く、次いで「こんにちは赤ちゃん訪問」が39.3%、「はぐくみセンター教室」が37.5%となっています。



＜今後の利用希望＞

「妊婦健康診査」、「はぐくみセンター教室」が87.5%と最も高く、次いで「こども園・幼稚園・保育所のホームページ」が82.1%、「子育て@なら」が80.4%となっています。

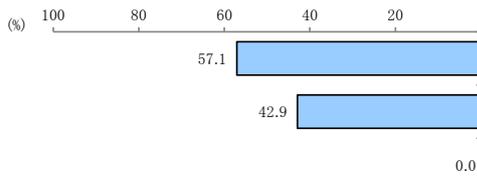


3-7. 育児休業など、職場の支援制度について

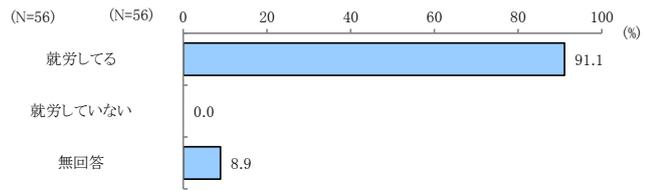
問14 出産後、あなたと配偶者・パートナーのいずれかもしくは双方が育児休業を取得しますか。(1)(2)それぞれお答えください。

あなたでは、「就労してる」が57.1%と最も高くなっており、配偶者・パートナーでは、「就労してる」が、91.1%と最も高くなっています。

【あなた】 就労状況



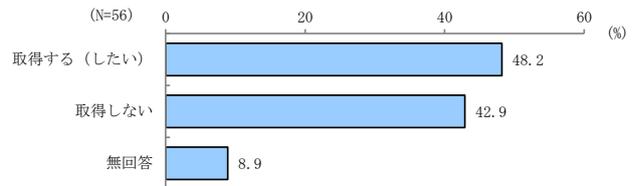
【配偶者・パートナー】



育児休業取得予定

【あなた】・【配偶者・パートナー】

育児休業取得予定は、「取得する(したい)」が48.2%と最も高くなっています。

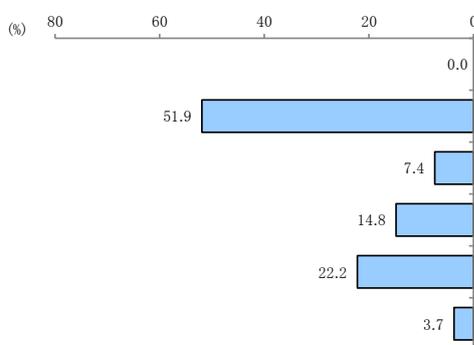


お子さんが何歳になるまで取得したいか

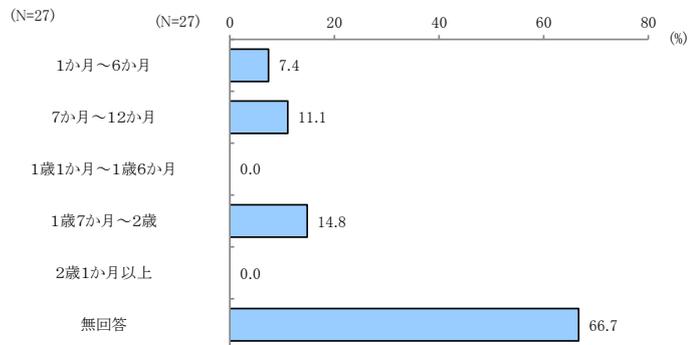
あなたでは、「7か月～12か月」が51.9%と最も高く、次いで、「2歳1か月以上」が22.2%、「1歳7か月～2歳」が14.8%となっています。

配偶者・パートナーでは、「1歳7か月～2歳」が14.8%と最も高く、次いで「7か月～12か月」が11.1%、「1か月～6か月」が7.4%となっています。

【あなた】



【配偶者・パートナー】



問14-1 問14で「3」に○をつけた方にうかがいます。

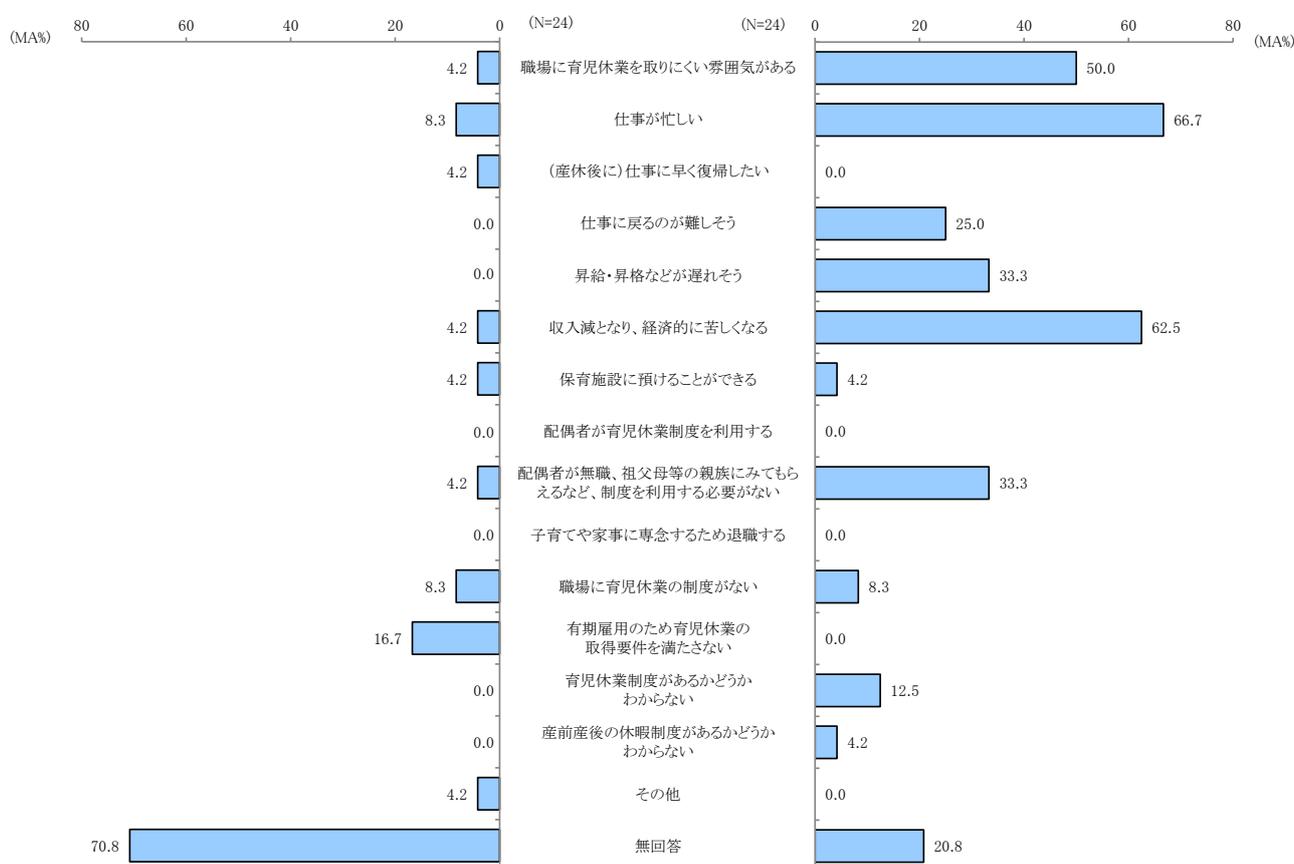
育児休業を取得しない理由をお答えください（あてはまる欄すべてに○）

あなたでは、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさない」が16.7%と最も高く、次いで、「仕事が忙しい」、「職場に育児休業の制度がない」がそれぞれ8.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」、「（産休後に）仕事に早く復帰したい」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「保育施設に預けることができる」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がない」がそれぞれ4.2%となっています。

配偶者・パートナーでは、「仕事が忙しい」が66.7%と最も高く、次いで、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が62.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」が50.0%となっています。

【あなた】

【配偶者・パートナー】



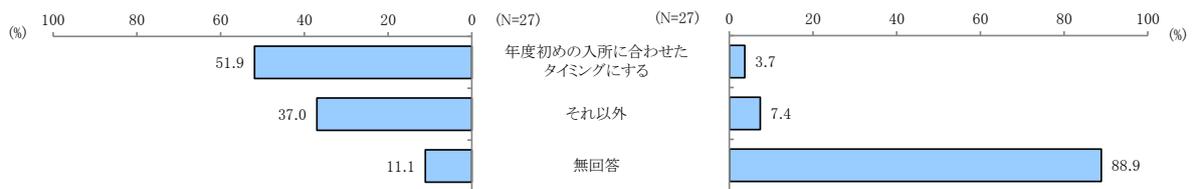
問14-2 問14で「2. 取得する(したい)」○をつけた方にうかがいます。

育児休業から仕事に復帰するには、年度初めの保育施設への入所に合わせたタイミングにする予定ですか。(1つに○) ※年度初め(4月)での許可保育施設の入所を希望するが、早めに復帰して一時的に許可外保育施設等に入所する場合なども「1」にあてはまります。育児休業を取得しない理由をお答えください。(あてはまる欄すべてに○)

あなたでは、「年度初めの入所に合わせたタイミングにする」が51.9%と最も高くなっており、配偶者・パートナーは、「それ以外」が7.4%と最も高くなっています。

【あなた】

【配偶者・パートナー】



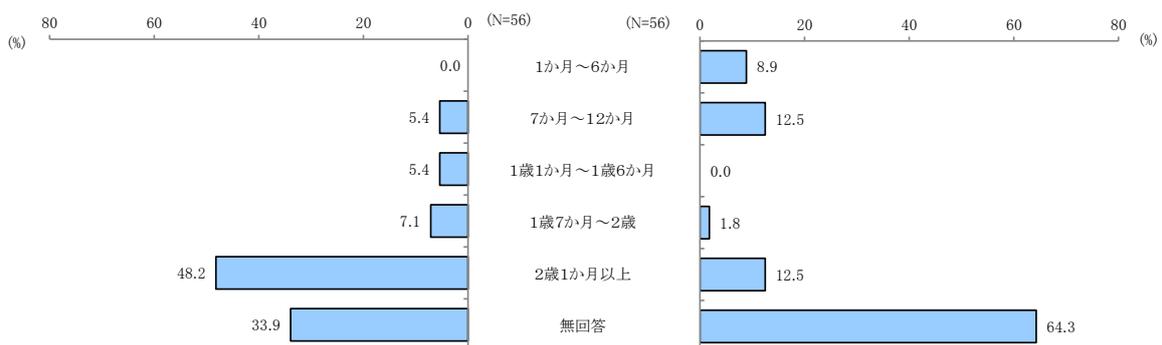
問14-3 勤務先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があるとしたら、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。

あなたでは、「2歳1か月以上」が48.2%と最も高く、次いで、「1歳7か月～2歳」が7.1%、「7か月～12か月」、「1歳1か月～1歳6か月」がそれぞれ5.4%となっています。

配偶者・パートナーでは、「7か月～12か月」、「2歳1か月以上」がそれぞれ12.5%と最も高く、次いで、「1か月～6か月」が8.9%、「1歳7か月～2歳」が1.8%となっています。

【あなた】

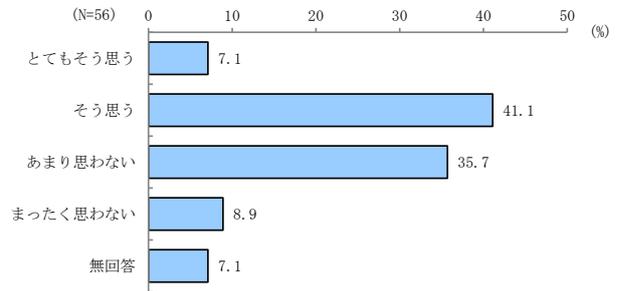
【配偶者・パートナー】



3-8. 子どもにやさしいまちについて

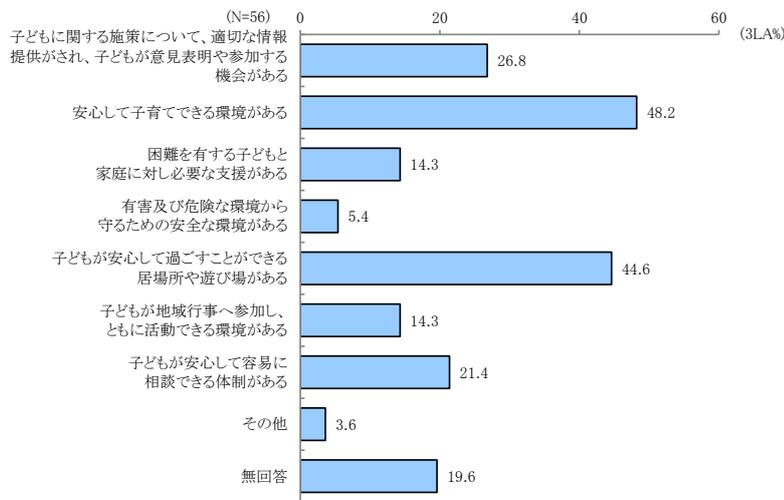
問15 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「そう思う」が41.1%と最も高く、次いで、「あまり思わない」が35.7%、「まったく思わない」が8.9%となっています。



問16 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じる条件はなんですか。あてはまるもの3つにまで○をつけてください。

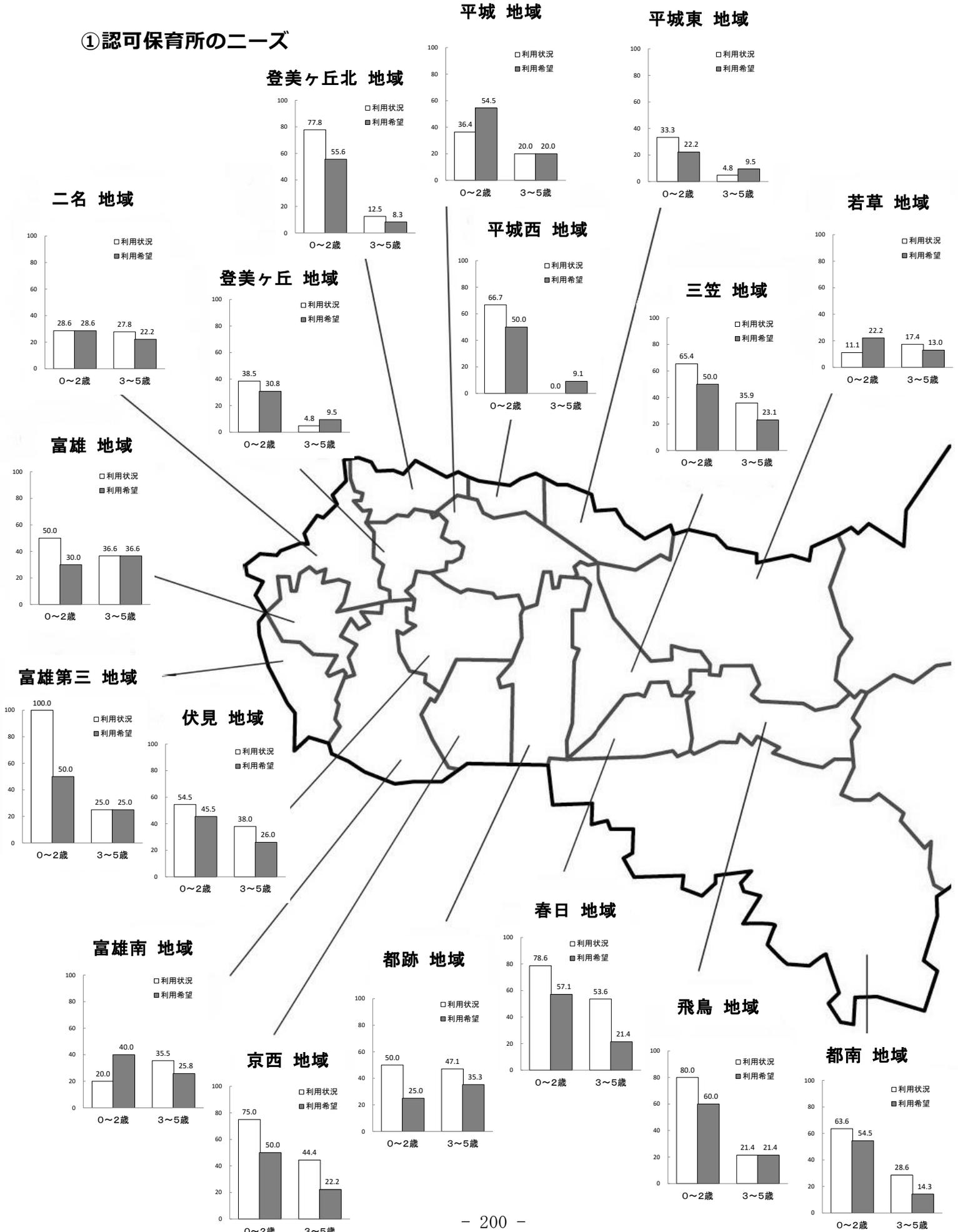
「安心して子育てできる環境がある」が48.2%と最も高く、次いで、「子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある」が44.6%、「子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子どもが意見表明や参加する機会がある」が26.8%となっています。



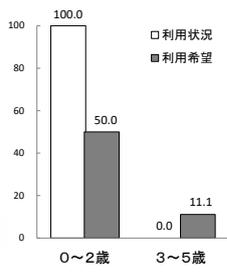
4 地区別集計結果

4 地区別集計結果

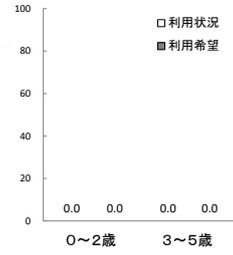
①認可保育所のニーズ



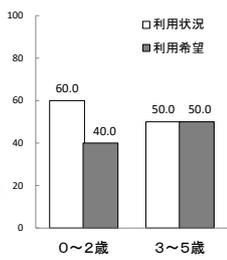
興東館柳生 地域



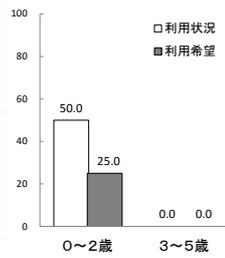
月ヶ瀬 地域



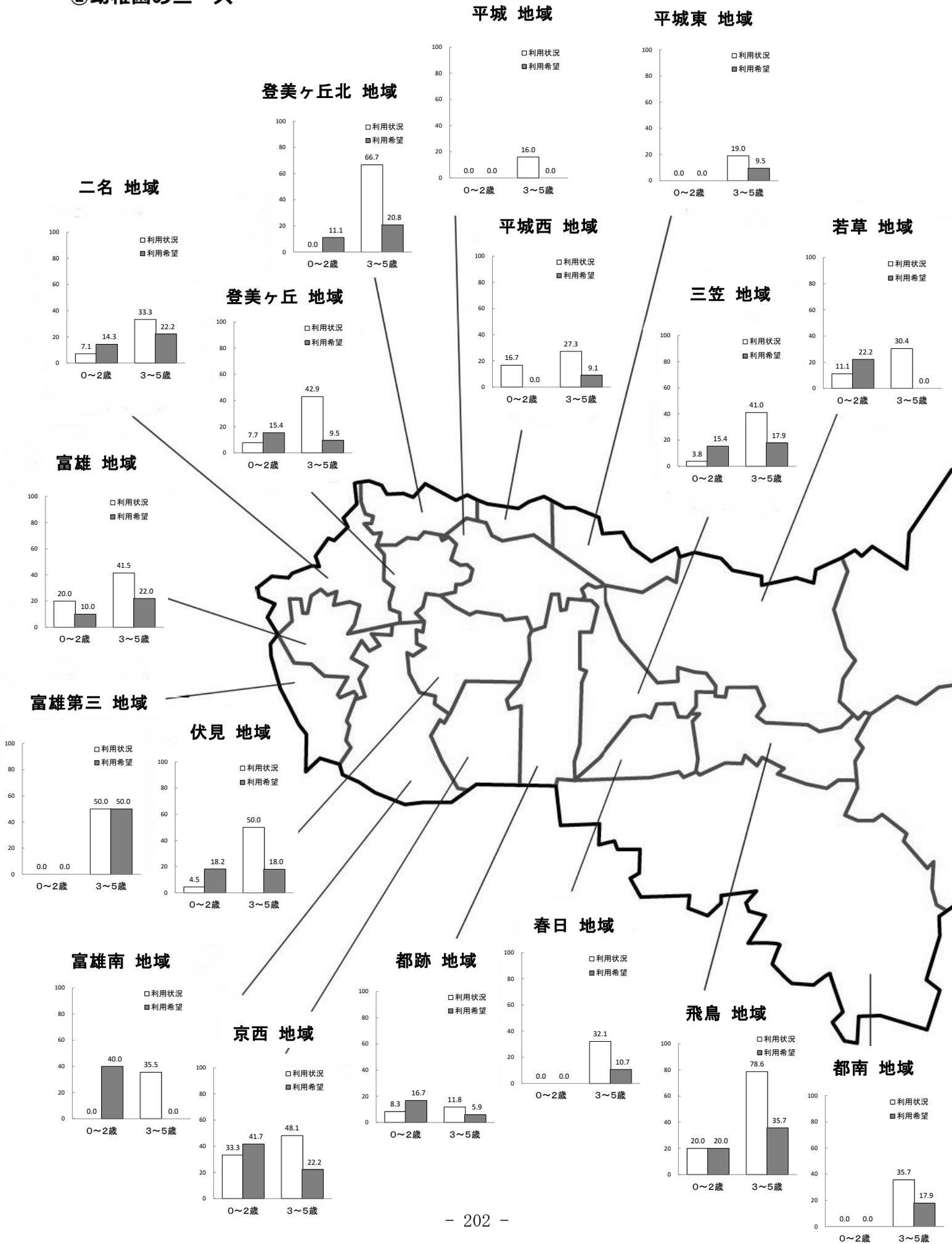
田原 地域



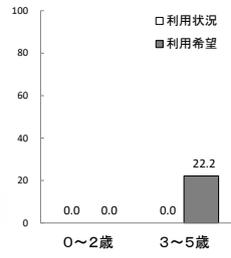
都爾 地域



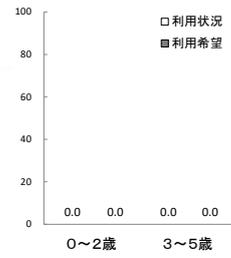
② 幼稚園のニーズ



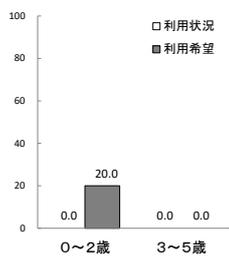
興東館柳生 地域



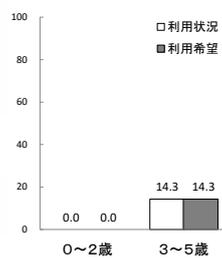
月ヶ瀬 地域



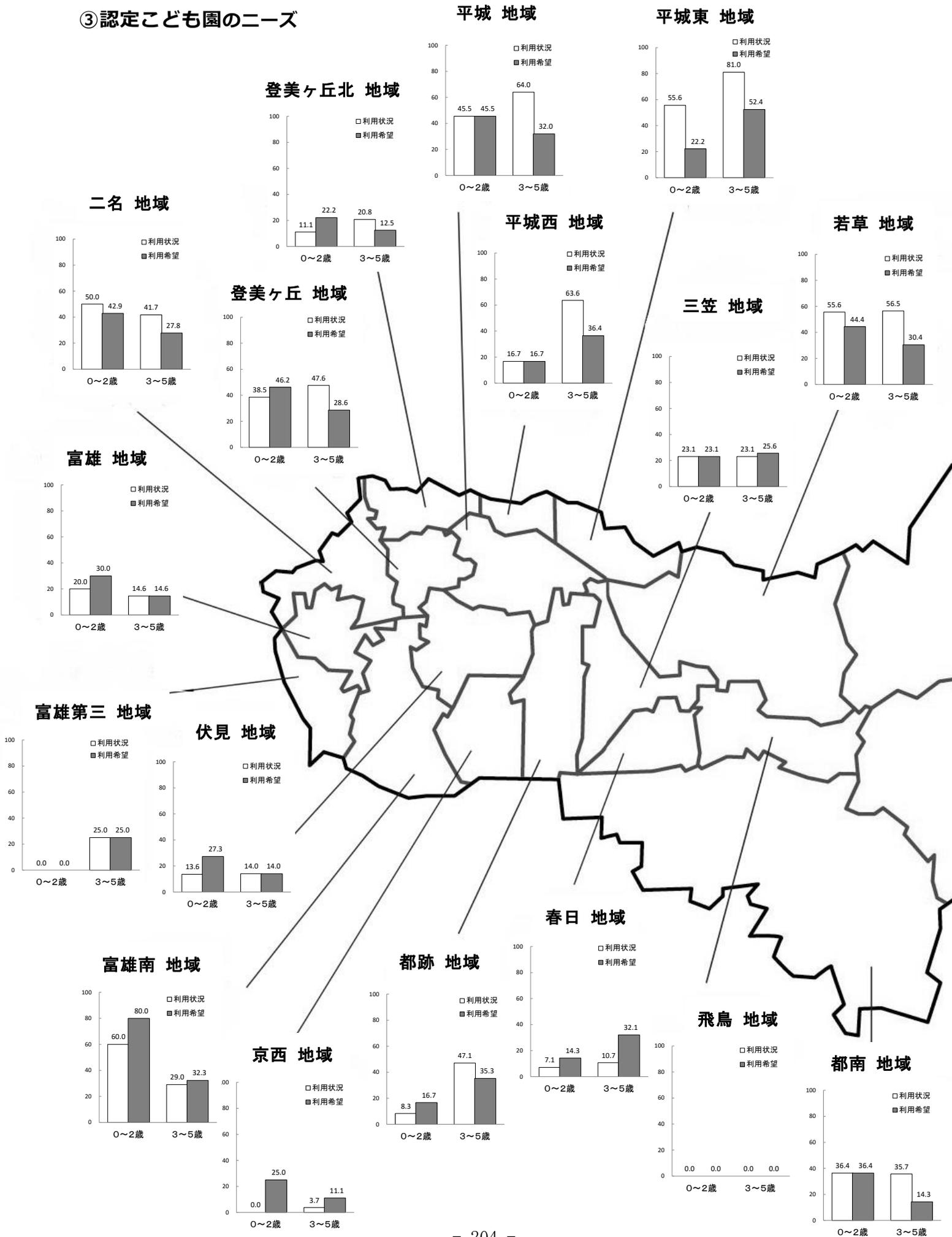
田原 地域



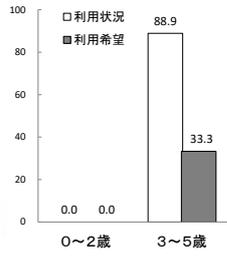
都爾 地域



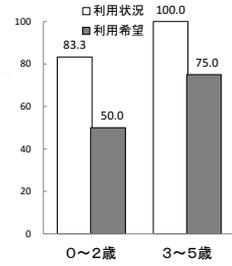
③認定こども園のニーズ



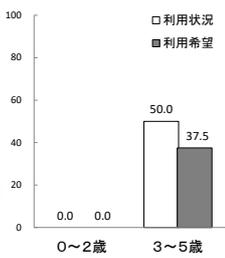
興東館柳生 地域



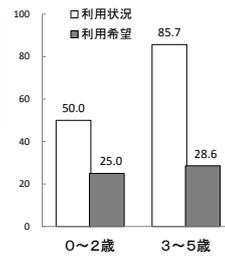
月ヶ瀬 地域



田原 地域



都爾 地域



④地域子育て支援センターの利用状況

平城 地域

平城東 地域

登美ヶ丘北 地域

二名 地域

平城西 地域

若草 地域

登美ヶ丘 地域

三笠 地域

富雄 地域

富雄第三 地域

伏見 地域

春日 地域

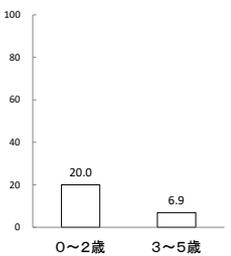
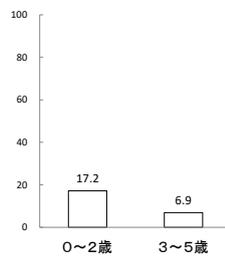
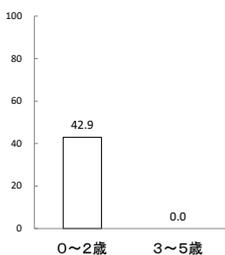
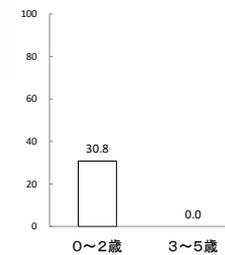
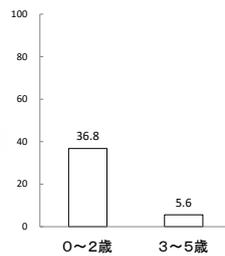
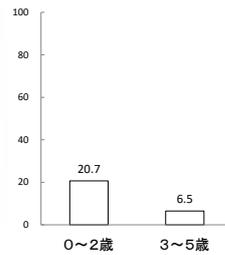
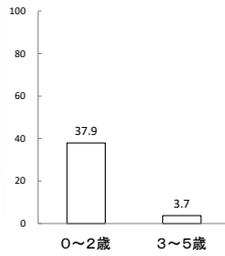
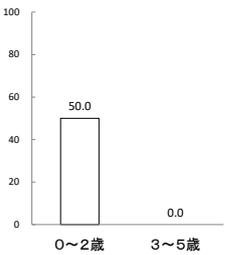
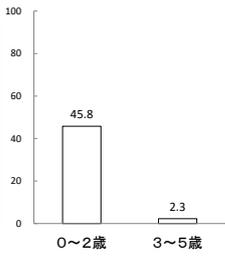
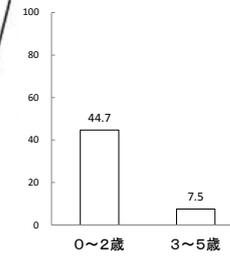
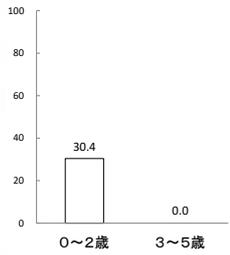
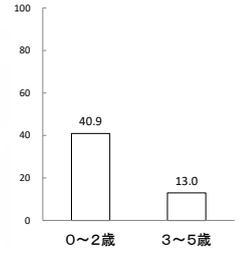
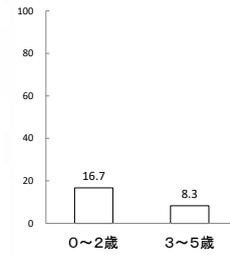
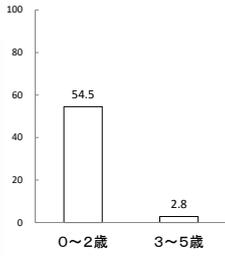
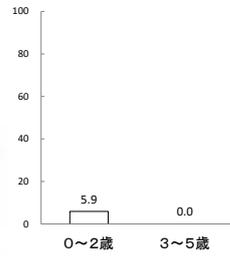
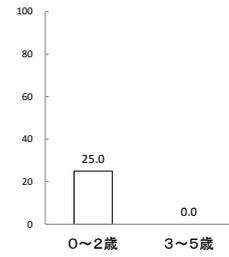
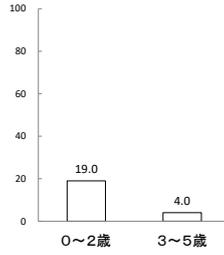
都跡 地域

飛鳥 地域

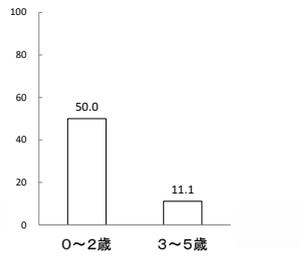
富雄南 地域

京西 地域

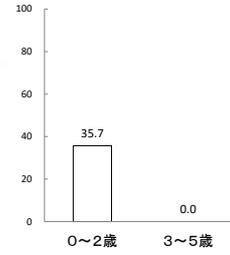
都南 地域



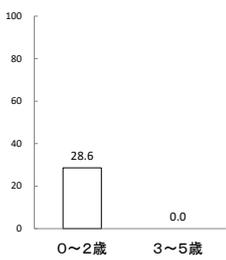
興東館柳生 地域



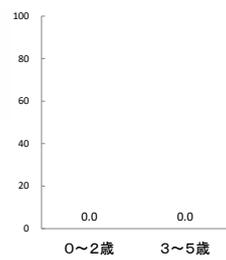
月ヶ瀬 地域



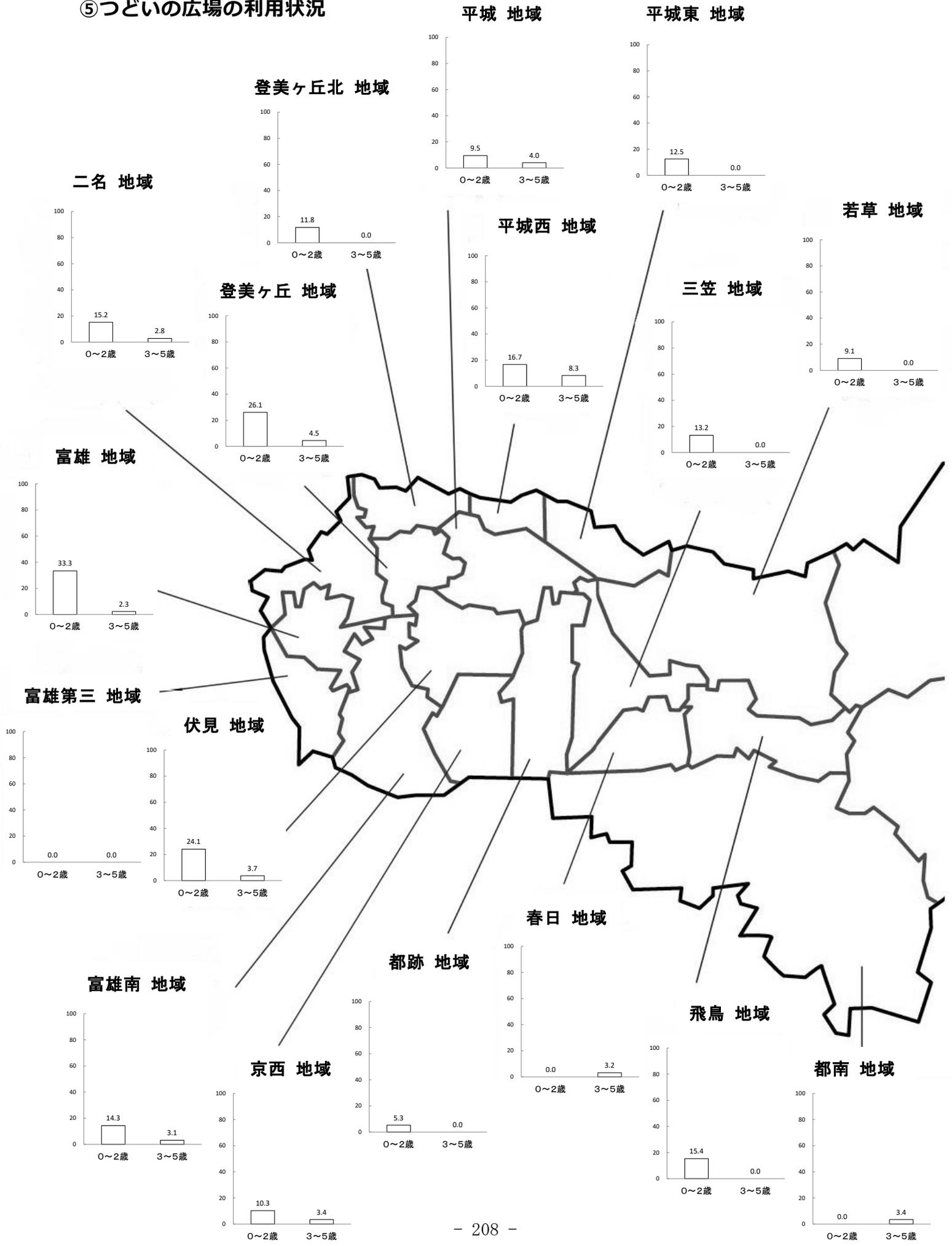
田原 地域



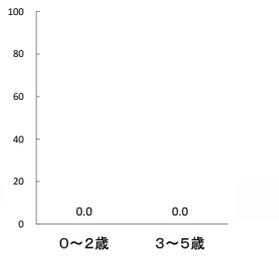
都爾 地域



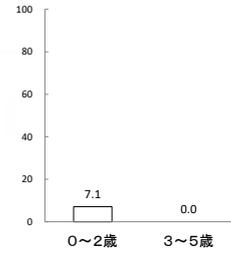
⑤つどいの広場の利用状況



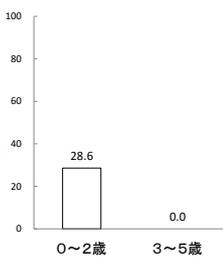
興東館柳生 地域



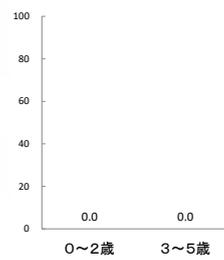
月ヶ瀬 地域



田原 地域

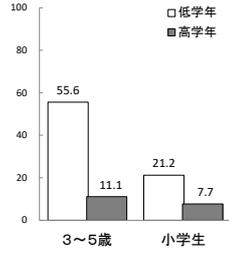


都爾 地域

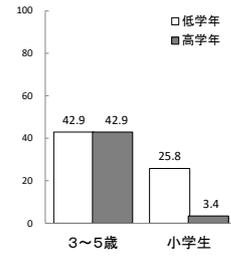


⑥放課後児童クラブのニーズ

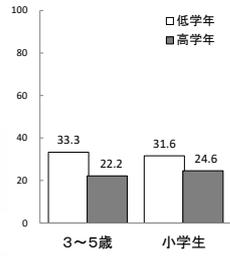
平城 地域



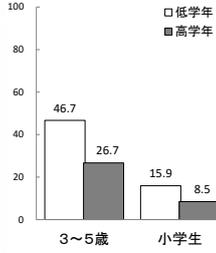
平城東 地域



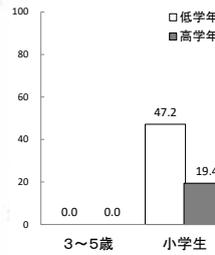
登美ヶ丘北 地域



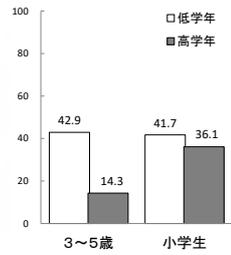
二名 地域



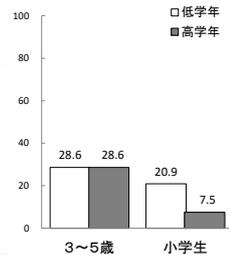
平城西 地域



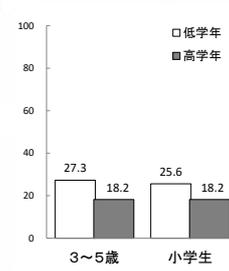
若草 地域



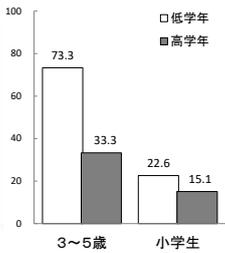
登美ヶ丘 地域



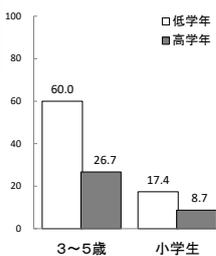
三笠 地域



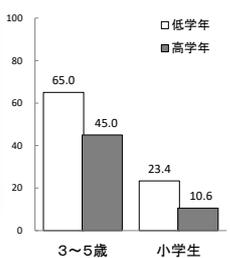
富雄 地域



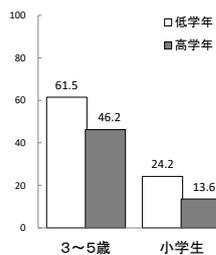
富雄第三 地域



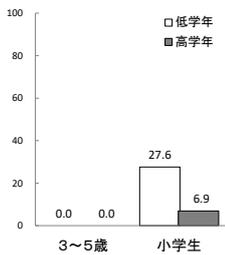
伏見 地域



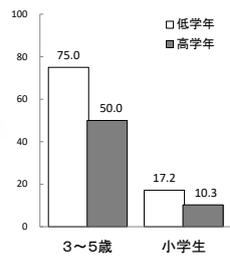
春日 地域



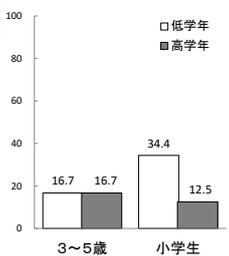
富雄南 地域



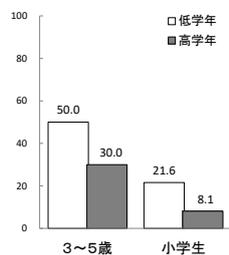
都跡 地域



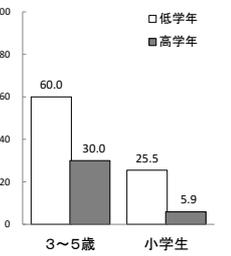
飛鳥 地域



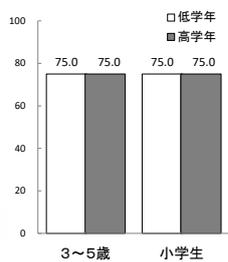
京西 地域



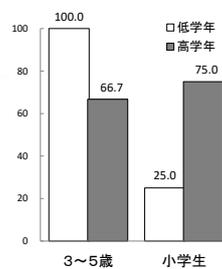
都南 地域



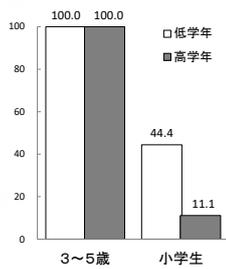
興東館柳生 地域



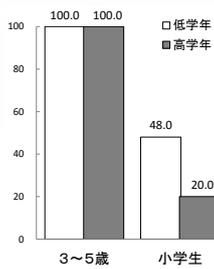
月ヶ瀬 地域



田原 地域



都爾 地域

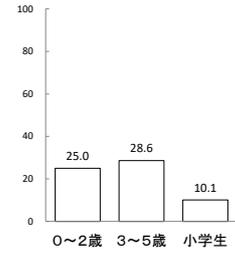
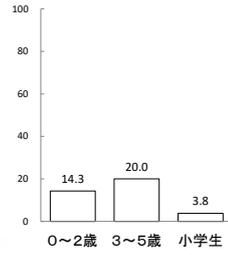


⑦子育て支援の満足度

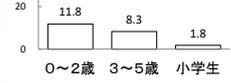
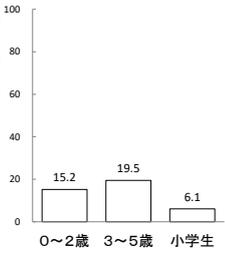
平城 地域

平城東 地域

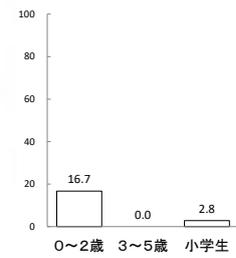
登美ヶ丘北 地域



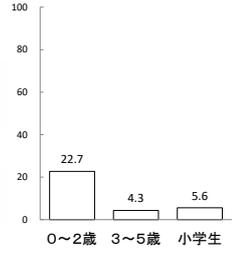
二名 地域



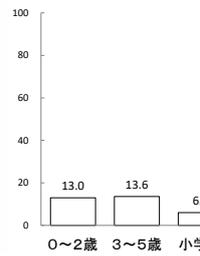
平城西 地域



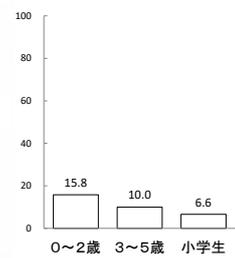
若草 地域



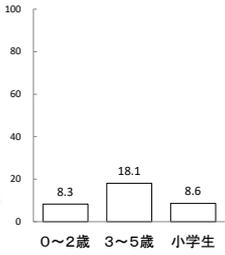
登美ヶ丘 地域



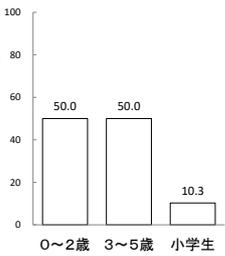
三笠 地域



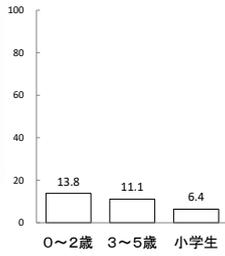
富雄 地域



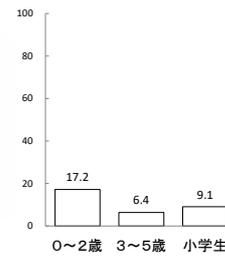
富雄第三 地域



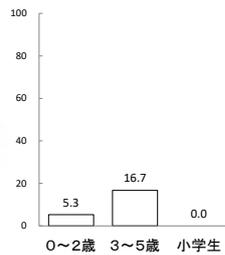
伏見 地域



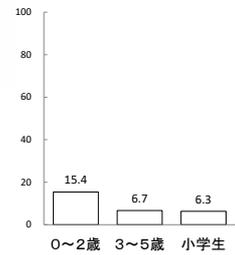
春日 地域



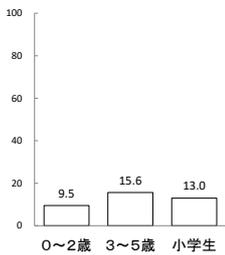
都跡 地域



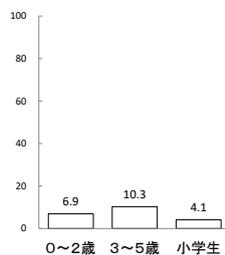
飛鳥 地域



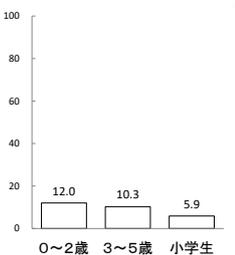
富雄南 地域



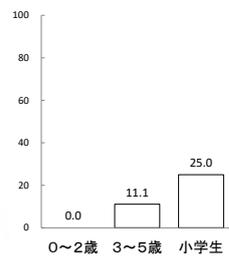
京西 地域



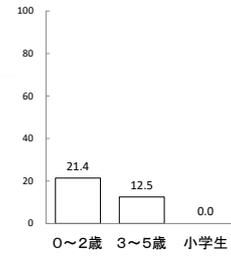
都南 地域



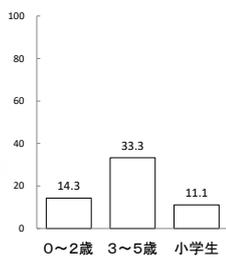
興東館柳生 地域



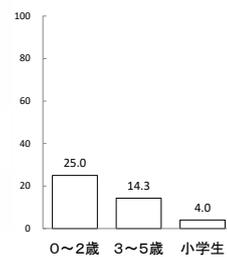
月ヶ瀬 地域



田原 地域



都爾 地域



IV 自由意見のまとめ

IV 自由意見のまとめ

アンケート調査票に自由意見を設けたところ、0～2歳で443件、3～5歳で427件、小学生で807件、母子健康手帳交付者で32件の意見が寄せられました。

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	母子	合計
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	幼稚園について	3年保育の実施	18	16	17	2	53
		設備充実・人員の量質向上・給食改善・教育内容改善・行事は休日に	5	5	0	0	10
		幼稚園の料金見直し	0	1	3	0	4
		幼稚園の増設	1	0	2	0	3
		入園しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ	1	1	1	0	3
		一時・短期・夜間・休日・長期休暇中・警報時の受け入れ	1	2	0	0	3
		小学生の預かり実施	0	2	3	0	5
		幼稚園補助金について	0	0	0	0	0
		園バスの実施	2	5	3	0	10
		公立幼稚園の廃園について	0	3	0	0	3
	幼稚園について 計	28	35	29	2	94	
	保育園について	入所しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ	31	6	5	2	44
		入園条件見直し（未就労時の受け入れ、正社員とパートの区別見直し、出産時の受け入れ、兄弟姉妹同じ園に）	21	7	1	0	29
		設備の充実・人員の量質向上・給食改善・教育内容改善・行事は休日に	9	11	6	0	26
		保育所の増設（空きがない、近場にほしい）	10	2	2	2	16
		一時・短期・夜間・休日・長期休暇中・警報時の受け入れ	8	6	2	1	17
		時間延長（開始時間と終了時間）	4	4	2	0	10
		保育料見直し（無償化、値下げ）	8	10	4	0	22
		不正入園の是正	1	0	0	0	1
		その他	12	9	10	2	33
保育園について 計		104	55	32	7	198	

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	母子	合計
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	認定こども園について	認定こども園の増設 (空きがない、近場にほしい)	5	3	3	0	11
		設備の充実・人員の量質向上・給食改善・教育内容改善・行事は休日に	3	6	3	0	12
		時間延長 (開始時間と終了時間)	1	1	2	0	4
		認定こども園反対	1	0	2	0	4
		不平等がないように	1	5	1	0	7
		認定こども園について 計	11	15	11	0	38
2. 小学校就学後の生活について	小学校について	休日・放課後・長期休暇中に補習授業・習い事	0	3	4	0	7
		公立学校のレベルアップ・教育内容の充実と見直し	2	5	18	0	25
		担任の充実(人数・経験・子どもへの配慮・モラル)	0	3	33	0	36
		登下校の安全確保(集団登下校の実施、警察のパトロール、先生による見守り)	3	4	16	0	23
		授業時間の増加、土曜日授業の復活	0	0	2	0	2
		老朽校舎の改修	1	6	12	0	19
		制服の導入	0	0	1	0	1
		子ども同士のいじめ・先生の子ども差別の対策強化	0	0	5	0	5
		校庭の開放	1	0	7	1	9
		P T A 役員、登下校時の見守り当番の負担軽減	0	3	11	0	14
		行事(卒業式、保護者面談等)を休日にしてほしい	0	0	1	0	1
		給食について (無料化・アレルギー等の対応)	1	1	12	0	14
		満足	0	0	0	0	0
		その他	9	28	97	0	134
		小学校について 計	17	53	220	1	291

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	母子	合計
2. 小学校就学後の生活について	バンビーホームについて	時間延長 (開始時間と終了時間)	0	5	4	0	9
		設備充実・人員の量質向上・内容充実・勉強(宿題)の実施・給食の実施	0	4	14	0	18
		利用条件見直し(未就労時の受け入れ・祖父母がいても利用)	0	4	12	0	16
		警備時の対応改善(時間まで学校で待機、警報が出てでも実施)	0	0	1	0	1
		利用料見直し (無償化、値下げ、1日単位料金、時間単位料金)	0	5	2	0	7
		親の送迎を不要に	0	0	1	0	1
		実施設備の増設(新設、定員増加、全小学校で実施)	0	0	0	0	0
		利用についての不安	1	4	13	0	18
		バンビーホームについて 計	1	22	47	0	70
		3. 子育て支援全般について	地域子育てセンター、広場について	地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター、児童館、ひろば)の充実	13	25	20
福祉サービスセンター、子育てサークルの充実、子育てサロンの充実	0			1	2	0	3
イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実	8			5	7	0	20
子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)充実	0			1	0	0	1
地域子育てセンター、広場について 計	21			32	29	1	83
その他の子育て支援サービスについて	難病・病後児保育事業の充実(預け先の増加、いつもの預け先で預かってほしい)		1	3	3	0	7
	障害児の支援充実		0	3	4	1	8
	一時預かり事業の充実		5	0	4	0	9
	児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し(無償化、値下げ)		10	2	8	0	20
	支援条件の見直し(所得制限)		3	0	10	1	14
	母子家庭の方への支援		0	1	4	0	5
	その他の子育て支援サービスについて 計		19	9	33	2	63

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	母子	合計
	子育てに関する情報について	子育て支援に関する情報を各家庭に周知してほしい	15	4	5	0	24
		子育てに関する相談先の充実（定期的な相談会、相談窓口の増設、相談担当職員の対応改善）	3	4	10	0	17
		子育てに関する情報について 計	18	8	15	0	41
4. 子育て環境について	子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	公園の増設、遊具の設置・点検、ボール遊びできる広場、衛生管理（ペットのふん、たばこの吸い殻、ゴミ等）	59	52	98	4	213
		歩道の整備・通学路の安全確保（ガードレール、外灯、段差、監視カメラ等）	18	16	25	1	60
		図書館の新設・充実	2	5	6	0	13
		公共交通機関の充実	11	0	5	0	16
		子どもが安心して成長できるまちづくり	1	3	15	0	19
		ベビーカーで行動しやすい環境づくり（歩道の段差、坂道、雨天時の雨除け）	21	1	2	0	24
		プールの新設・充実	1	3	6	0	10
		子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について 計	113	80	157	5	355
	母子の保健について	医療費補助、医療体制の充実	14	4	40	0	58
		医療費の窓口負担をなくす	11	24	31	0	66
		健診の拡大（機会、場所）	1	2	4	0	7
		妊娠健診の充実（費用助成、休日の実施）	1	0	1	0	2
		母子の保健について 計	27	30	76	0	133
	地域のつながり、協力等について	地域ぐるみで子育てできる環境にしてほしい	1	1	8	1	11
		子育て支援の強化	4	8	21	0	33
		親（父、母、両親）が子育てに専念できるようにしてほしい	0	1	1	0	2
		地域のつながり、協力等について 計	5	10	30	1	46

大分類	中分類	小分類	0～2歳	3～5歳	小学生	母子	合計	
5. 子育て中の保護者の状況について	子育てと仕事の両立について	企業への子育て支援の啓発活動、企業による子育て世帯への取り組み充実	4	1	6	0	11	
		育児休業制度の改善 (取りやすく、期間の延長、取得対象者の拡大)	2	0	1	0	3	
		子育てと仕事の両立について 計	6	1	7	0	14	
	保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	母親が育児しながら働きやすい環境にしてほしい	0	8	6	0	14	
		子育てしやすい環境にしてほしい	7	7	3	0	17	
		頼れる人が誰もいない	1	0	1	0	2	
		保護者のリフレッシュ、子育て不安等について 計	8	15	10	0	33	
	6. その他	市政について	行政の改善	15	5	1	1	22
			財政再建・行政のみえる化・ムダをなくす	0	3	2	0	5
			経済の活性化	1	0	0	0	1
地域の活性化			2	1	2	0	5	
市政について 計			18	9	5	1	33	
アンケートについて		分かりにくい、長い	8	11	10	0	29	
		アンケートについて 計	8	11	10	0	29	
その他		感想	21	28	57	9	115	
		中学校・高校のこと	5	12	32	0	49	
		感謝	11	1	6	3	21	
		大人のマナー改善	2	1	1	0	4	
		その他 計	39	42	96	12	189	

奈良市子育てに関するニーズ調査
調査結果報告書

平成31年3月

編集・発行 奈良市 子ども未来部 子ども政策課
〒630-8580
奈良市二条大路南一丁目1番1号
TEL 0742-34-4792 (直通)
FAX 0742-34-4798